Printia LASER

B1WY-4421-05

Printia LASER XLシリーズ

取扱説明書

ページプリンタ XL-6700

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
ESC/P、ESC/Pageは、セイコーエプソン(株)の登録商標です。
VP-1000、LP-8000Sは、セイコーエプソン(株)の商標です。
PC-PR201は、日本電気(株)の商標です。
IntranetWare、NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、およびReaderは、アドビシステムズ社の商標です。
True Type フォントは、米国アップルコンピュータ社の登録商標、または商標です。
PowerPC、PowerPC603eは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
Citrix、MetaFrame、MetaFrame XPは、CitrixSystem社の登録商標、または商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標、または商標です。

●ＶＣＣＩ適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
ただし、ページプリンタは突入電流が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

本製品は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラス Ⅰ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-6700をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは最大40ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。

2004年2月

本文中の略語について

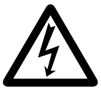
各製品を以下のように略記しています。

- Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP
- Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server → Windows 2000
- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 → Windows NT4.0
- Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 → Windows 98
- Microsoft® Windows® 95 → Windows 95
- Microsoft® Internet Explorer → Internet Explorer
- Netscape® Communicator → Netscape
- Adobe® Reader® → Adobe Reader
- Adobe® Acrobat® Reader → Acrobat Reader
  - Windows 98およびWindows Me→Windows 98/Me
  - Windows 2000およびWindows Me→Windows 2000/Me
  - Windows 95、Windows 98およびWindows Me→Windows 95/98/Me
  - Windows 98、Windows MeおよびWindows 2000→Windows 98/Me/2000
  - Windows 2000およびWindowsNT4.0→Windows 2000/NT4.0
  - Windows XPおよびWindows Server 2003→Windows XP/Windows Server 2003
  - Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003→Windows 2000/XP/Windows Server 2003
  - Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003→Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
  - Windows Me、Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003→Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003
  - Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000およびWindows NT4.0→Windows 95/98/Me/2000/NT4.0
  - Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XPおよびWindows Server 2003→Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

◆プリンタ設置および移動時のご注意

⚠ 警告

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、12.3Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- **ガス管（引火や爆発の危険があります。）**
- **電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）**
- **水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）**

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

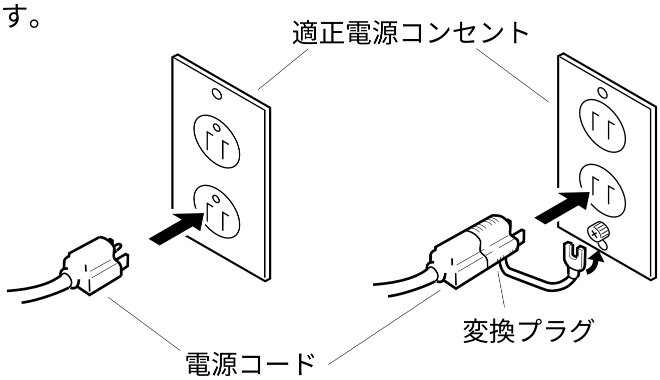
⚠ 警告

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

本プリンタに添付されている平行３ピンの電源コードを使用してください。３ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を必ずいずれかに取り付けてください。

- **電源コンセントのアース線**
- **銅片などを650㎜ 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
感電・火災・故障の原因となります。

近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

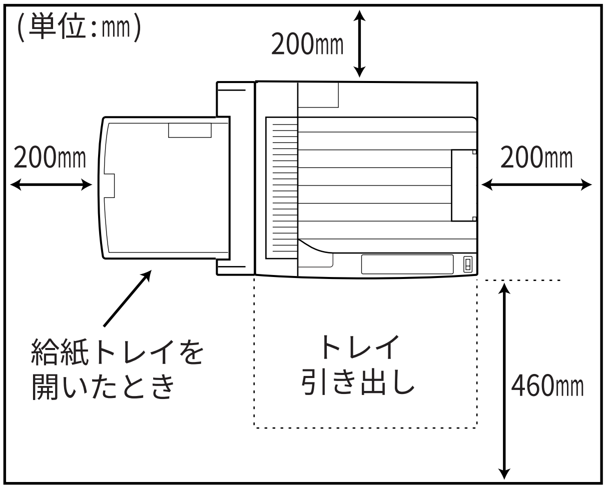
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から200㎜ 以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な200㎜以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

プリンタは、重さ約130kg（フルオプション、消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

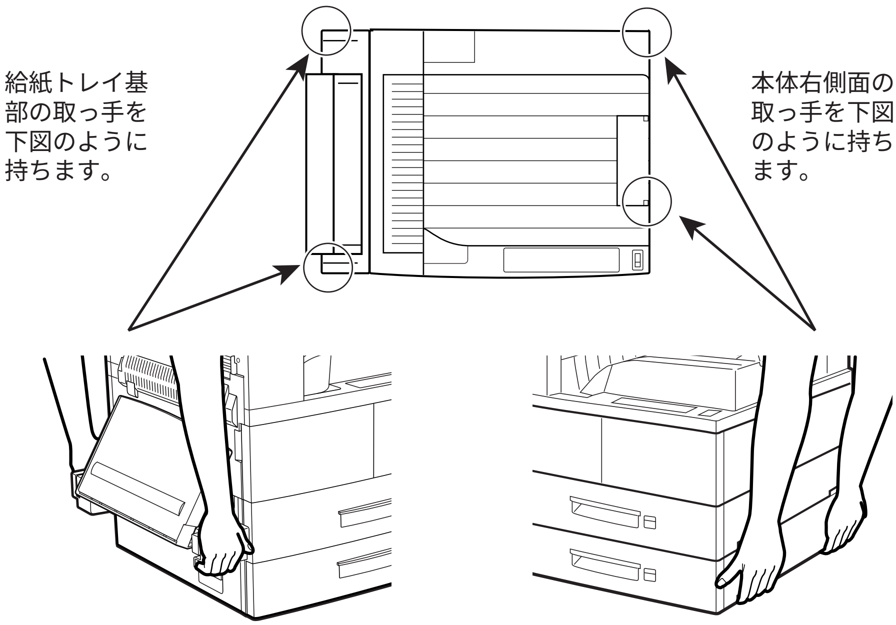
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約42kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ左右の取っ手部分を両手でしっかりと持ってください。指定箇所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

◆プリンタ使用時のご注意

警告

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。
重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
故障の修理はハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

給紙カセットを引き出すときはゆっくり引き出してください。

給紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつけたり、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意



１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。

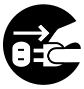
・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。

・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意

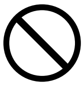
⚠ 警告



プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービス（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（21ページ））をご利用ください。



トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。
本書は、プリンタの設置や操作について説明する「プリンタ編」と、プリンタドライバのインストールおよび添付のユーティリティについて説明する「ソフトウェア編」からなります。
また、添付のCD-ROM内にPDF形式のオンラインマニュアルが収められています。オンラインマニュアルについては、『ソフトウェア編』「オンラインマニュアルの使いかた」（7ページ）を参照してください。

取扱説明書

【プリンタ編】

目　次	内　容
第１章　お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第２章　用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第３章　プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第４章　外部との接続	添付品の取り付けかたやケーブル類の接続について説明します。
第５章　日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第６章　オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第７章　設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第８章　こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第９章　オプションの取り付け	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付　録	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

【ソフトウェア編】

目　次		内　容
第１章	インストールの概要	添付のCD-ROMに収められたソフトウェア類の概要と、これらのインストールの概要について説明します。
第２章	ネットワークを利用せずにプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第３章	ネットワークを利用してプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用してプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第４章	プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。
第５章	プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第６章	ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加	ネットワークソフトウェアのインストール方法およびネットワークポートの追加・設定変更について説明します。
第７章	こんなときには	この章では、セットアップや運用時のソフトウェアに関する問題が発生した場合の対処方法や、留意事項について説明します。
付　録		各ユーティリティのインストールの概要や、プリンタを使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

オンラインマニュアル

目　次		内　容
第１章	インストールの概要	添付のCD-ROMに収められたソフトウェア類の概要と、これらのインストールの概要について説明します。
第２章	ネットワークを利用せずにプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第３章	ネットワークを利用してプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用してプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第４章	プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。
第５章	プリンタドライバの設定	パソコンにインストールしたプリンタドライバの設定方法について説明します。
第６章	ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加	ネットワークソフトウェアのインストール方法およびネットワークポートの追加・設定変更について説明します。
第７章	ログ機能	この章では、印刷実行の履歴を管理したり、プリンタのトナーカートリッジや定着器の交換時期などの情報を管理するログ機能について説明します。
第８章	プリンタ管理機能(Printianaviネットワークマネージャ)	この章では、Printianavi ネットワークマネージャの使いかたについて説明します。Printianavi ネットワークマネージャを使用すると、ネットワークに接続されたXL プリンタの状態監視、および環境設定を、パソコンから行うことができます。
第９章	こんなときには	この章では、セットアップや運用時のソフトウェアに関する問題が発生した場合の対処方法や、留意事項について説明します。
付　録		各ユーティリティのインストールの概要や、プリンタを使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。
NetWare編		プリンタをLAN経由で利用するために必要な設定をパソコン側で行えるようにするユーティリティ（Printianaviネットワーク設定ユーティリティ）のインストール方法と設定方法、およびNetWare環境でプリンタを使用するときに必要な設定について説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い　本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。
操作する前に必ずお読みください。

ガイド　本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。
必要に応じてお読みください。

➡　本書内で参照していただきたい参照先を示します。

目　次

はじめに 1
本文中の略語について 1
　●警告表示マークについて 2
安全上のご注意 3
　◆プリンタ設置および移動時のご注意 3
　◆プリンタ使用時のご注意 7
　◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意 11
本書の構成 12
本書の用語 15

プリンタ編

第 1 章　お使いになる前に 3

製品の確認（梱包されている製品） 4
本プリンタの特長 5
各部の名称と機能 7
いろいろな印刷のしかた 10
　Printia XL ドライバで印刷する 10
　エミュレーションモードで印刷する 11
　コマンドでエミュレーションモードを切り替える 11
　エミュレーションモードを使う上での留意事項 13
オプション品 16
サプライ用品 21

第 2 章　用紙について 23

使用できる用紙 24
使用できない用紙 26
用紙の保管上のご注意 27

第 3 章　プリンタの設置 29

設置上のお願い 30
プリンタの寸法 31
設置手順 32

第 4 章　外部との接続 37

パソコンとの接続 38
LAN 経由の接続 40
パソコンと接続するときの留意事項 42
電源コードの接続 44

第 5 章　日常のメンテナンス 47

電源の投入と切断 48
用紙のセット 50
給紙トレイに用紙をセットする 51
給紙カセット 1 ～ 3 に用紙をセットする 53
給紙カセット 4、5 に用紙をセットする 56
プロセスカートリッジの交換 59
プロセスカートリッジを取り外す 62
プロセスカートリッジを取り付ける 64
プロセスカートリッジの取り扱いと保管 67
取り扱い上のご注意 67
保管上のご注意 67
プリンタの清掃 68
プリンタ外部の清掃 68
プリンタ内部の清掃 69
プリンタを長時間使用しないとき 70
プリンタを移動するとき 72
近くに移動する 73
梱包して運搬する 76

第 6 章　オペレータパネルの操作 77

液晶ディスプレイの表示内容 78

オペレータパネルを操作する 80

オンライン状態とオフライン状態を切り替える 80

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える 80

縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を
一時的に変更する(メニュー印刷設定モード) 84

プリンタをリセットする 89

印刷を中止する 89

未印刷データを強制的に印刷する 90

第 7 章　設定値を変える 93

セットアップ項目について 95

メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する 95

テスト印刷 ～ テスト印刷をする 95

エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える 96

印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える 96

EP モード設定 ～ ESC/P モードの印刷条件を設定する .. 100

EG モード設定～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する . 102

PC モード設定～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する . 103

VF モード設定～ Virtual FM モードの印刷条件を設定する . 106

環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える 109

補助機能設定 ～ 補助機能を設定する 112

登録 ～ 設定値を登録する 115

保守モード ～ 保守モードを設定する 115

印字濃度調整 ～ 印刷濃度を調整する 115

LAN 設定 115

設定の変更手順(セットアップの操作方法) 118

基本的な操作 118

選んだ項目に設定する操作 118

数値を設定する操作 120

メニュー印刷やテスト印刷を行う操作 120

HEX ダンプ印刷を行う操作 121

セットアップ項目一覧 122

第 8 章　こんなときには 133

故障かなと思ったとき **134**

紙づまりになったとき **136**

紙づまりの取り除きかた 137

印刷品質が低下したとき **149**

エラーメッセージが表示されたとき **153**

第 9 章　オプションの取り付け 161

オプション取り付け上のご注意 **162**

プリンタ RAM モジュールの取り付けかた **162**

プリンタ RAM モジュールを取り付ける 163

プリンタ RAM モジュールを取り外す 165

両面ユニットの取り付けかた **166**

両面ユニットを取り付ける 167

両面ユニットを取り外す 170

拡張給紙ユニットの取り付けかた **172**

拡張給紙ユニットを取り付ける 173

拡張給紙ユニットを取り外す 178

拡張スタッカユニットの取り付けかた **182**

拡張スタッカユニットを取り付ける 183

拡張スタッカユニットを取り外す 188

付 録　......................... 193

プリンタの仕様 **194**

基本仕様 194

インタフェース仕様 196

用紙関係 197

コマンド（機能コード）一覧 **199**

ESC/P モードコマンド一覧表 199

ESC/Page モードコマンド一覧表 201

PC-PR201 モードコマンド一覧表 204

Virtual FM モードコマンド一覧表 206

キャラクタコード一覧 208
ESC/P モードキャラクタコード一覧表 208
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 209
PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表 213
Virtual FM モードキャラクタコード一覧表 216
ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表 217
ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表 220
ＪＩＳ漢字コードについてのご注意 223
アフターサービスについて 231

ソフトウェア編 1

第1章　インストールの概要 3

はじめに 4
添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介 5
オンラインマニュアルの見かた 6
オンラインヘルプの見かた 8
インストールの手順と設定の概要 11

第2章　ネットワークを利用せずに プリンタを接続する 13

パソコンとの接続 14
パラレルインタフェースによる接続 14
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき 16
インストール 16
Windows XP/Windows Server 2003 のとき 20
インストール 20

第 3 章　ネットワークを利用して
プリンタを接続する 25
ネットワークプリンタの準備 26
LAN による接続とインストール 26
LAN ケーブルの接続 27
LAN 設定の一覧を印刷する 28
IP アドレスの設定 29
設定方法の種類 29
IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定 30
オペレータパネルによる設定 40
DHCP によるアドレス自動取得 44
ネットワークソフトウェアと
プリンタドライバのインストール 46
準　備 47
インストール 47
LPR 印刷の設定 53
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の準備 53
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のときの設定手順 .. 54
Windows NT4.0 のときの準備 57
Windows NT4.0 のときの設定手順 58

第 4 章　プリンタ共有の設定 63
Windows 95/98/Me のとき 64
サーバ側の設定 64
クライアント側の設定 66
Windows NT4.0 のとき 67
サーバ側の設定 67
クライアント側の設定 70
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき 71
サーバ側の設定 71
クライアント側の設定 74

第 5 章　プリンタドライバの設定 79

印刷手順 80

プリンタの状態を見る（ポップアップ）............ 82

印刷を中止する 83

パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）83

オペレータパネルから中止する 84

プロパティの開きかた 86

アプリケーションソフトから開く 86

〔プリンタ〕フォルダから開く 86

プリンタドライバで設定できる内容 88

〔基本設定〕ダイアログ 89

〔便利な機能〕ダイアログ 99

〔グラフィックス〕ダイアログ 109

〔印刷オプション〕ダイアログ 111

〔装置オプション〕ダイアログ 114

〔Printianavi〕ダイアログ 122

プリンタの接続方法を変更するとき

（印刷先ポートの追加と変更）................ 132

Windows 95/98/Me のとき 132

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき .. 134

プリンタドライバの更新 136

プリンタドライバの削除 138

第 6 章　ネットワークソフトウェアの インストールとネットワークポートの追加 ... 141

ネットワークソフトウェアのインストール 142

新規インストール 143

ソフトウェアの起動 151

コンポーネントの追加、削除 152

ポートの追加 156

第 7 章　こんなときには 165

ソフトウェアに関するトラブルシューティング 166

セットアップ時のトラブルシューテング 166

運用時のトラブルシューティング 172

ソフトウェアに関する留意事項 188

Windows をアップグレードする場合 188

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境で使用時の留意事項 . 189

ACPI の動作について 190

旧バージョン・レベルとの混在運用について 191

旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項 . 193

付　録 195

ネットワーク用語の解説 196

Printianavi の機能概要 198

Printia XL ドライバ 198

ネットワークソフトウェア 199

MetaFrame／Windows ターミナルサービス環境での利用について .. 200

確認環境 200

Printianavi 使用時の注意事項 201

HyperPrint の概要 202

RepoAgent の概要 203

かんたんバーコード Lite の概要 204

プリンタドライバの入手方法 205

プリンタドライバのバージョンを確認する方法 206

索　引～ソフトウェア編 213

索　引～プリンタ編 207

プリンタ編

第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ用品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

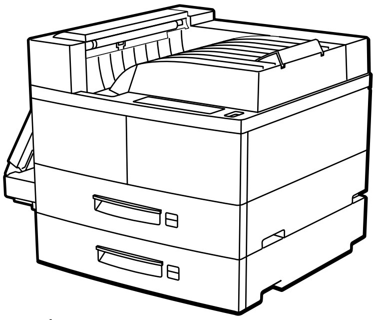
製品の確認（梱包されている製品）. 4
本プリンタの特長 5
各部の名称と機能 7
いろいろな印刷のしかた 10
Printia XLドライバで印刷する 10
エミュレーションモードで印刷する 11
コマンドでエミュレーションモードを切り替える . . 11
エミュレーションモードを使う上での留意事項 . . 13
オプション品 16
サプライ用品 21

製品の確認（梱包されている製品）

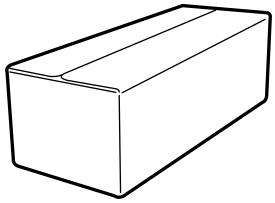
本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

梱包箱

1.プリンタ本体



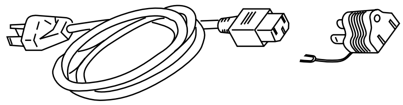
2.プロセスカートリッジ



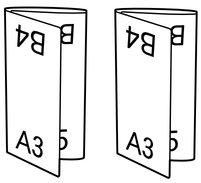
3.保証書
(梱包箱に貼付)



4.電源コード、変換プラグ

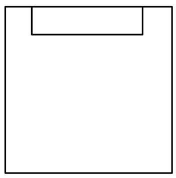


5.用紙サイズ
カード(2枚)
(給紙カセット内に貼付)

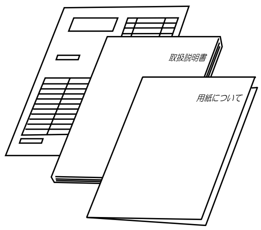


ドキュメントパック

6.CD-ROM



7.取扱説明書、用紙について、
修理・サービス網一覧表



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(プリンタケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブルについて」(20ページ)参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

本プリンタの特長

1 Windows 95/98/MeおよびWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003対応

Printia XLドライバにより、各社パソコンのWindows環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。

2 双方向プリンティングシステム「Printianavi(プリンティアナビ)」とネットワークでのプリンタの利用を向上させる「Printianaviネットワークソフトウェア(*)」を標準添付(Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、Windows 95/98/Me対応)

プリントサーバとプリンタとの双方向通信機能、およびクライアントとプリントサーバとのメッセージ連携機能により、従来のパソコン用プリンタでは実現できなかったエラーリカバリの信頼性に優れたプリンティングシステムを提供します。

* Windows95では「Printianaviネットワークマネージャ」および「Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ2」をサポートしていません。

3 多彩な動作モード(ESC/P、ESC/Page、PC-PR201、Virtual FM)

動作モードを切り替えることによって、次のプリンタの動作をエミュレーションして印刷することができます。

- ESC/Pモード　：セイコーエプソン 24ドットプリンタ VP-1000 相当
- ESC/Pageモード　：セイコーエプソン ページプリンタ LP-8000S 相当
- PC-PR201モード　：日本電気PC-PR201系シリアルプリンタ相当
- Virtual FMモード　：富士通ページプリンタFMLBP121相当（ただし、LAN経由で利用可能）

4 優れた印刷品質

縦横１インチ当たり480/600ドットの高解像度エンジンと富士通独自のFEIT（Fujitsu Enhanced Image Technology）機能により、ギザギザの少ない美しい印刷結果を得ることができます。

5 高速印刷

最大40枚/分(A4)の高速エンジンに、Power PC™コントローラを搭載し、さらにTrue Typeフォントの高速印刷モードを採用することにより、大幅なスループット向上を実現しています。

6 多彩な給紙機能

拡張給紙ユニット、両面ユニット(いずれもオプション)を取り付けると次のような給紙機能が使用できます。

・異なったサイズの用紙を6種類まで同時にセットすることができます。
・標準1,050枚、最大3,550枚の用紙を一度にセットできます。
・両面ユニットを装備することで自動的に両面印刷ができます。

7 ネットワーク対応

10BASE-Tおよび100BASE-TX対応の高速LANポートを標準装備しました。Printianavi対応の専用ネットワークポートモニタにより、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、Windows 95/98/Meパソコンから LAN経由で直接印刷できます。

またマルチプロトコル機能により、IPS/SPXプロトコルを使用したIntranetWare/NetwareやTCP/IPプロトコルを使用したWindows NT/NetWare5（NDPS）対応のサーバプリンタとしてご利用になれます。

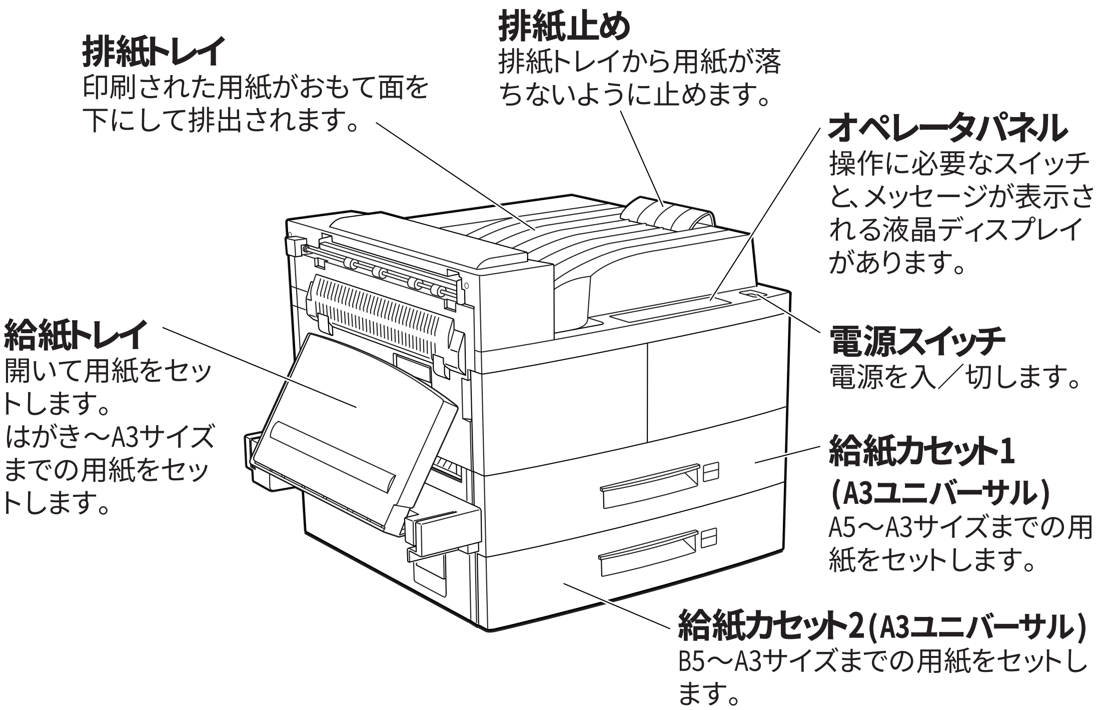
8 パワーセーブ機能により消費電力を節約

9 トナーセーブ機能によりトナーの消費量を節約

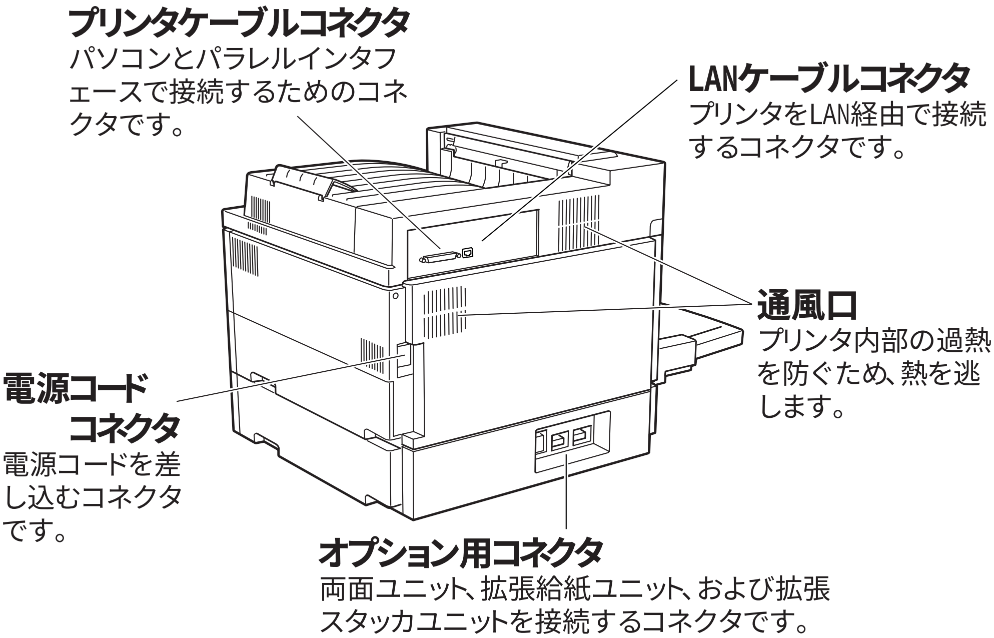
各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

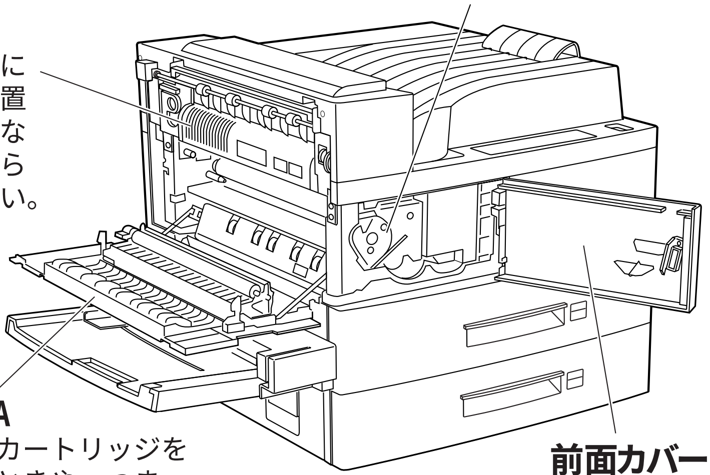
前　面



背　面



内　部


プロセスカートリッジ
感光ドラム、現像器ユニット、および
トナーから構成される機構です。
定着器
用紙をトナーに
定着させる装置
です。高温にな
りますので触ら
ないでください。
カバーA
プロセスカートリッジを
交換するときや、つまっ
た用紙を取り除くときに
開きます。
前面カバー
プロセスカートリッ
ジを交換するときに
開きます。

オペレータパネル

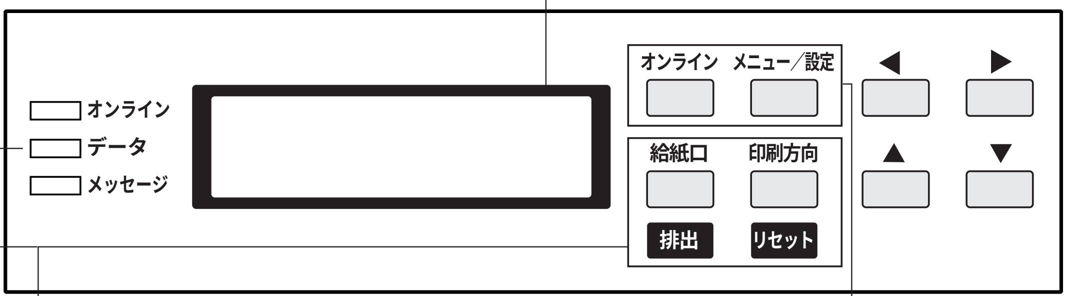
オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

●オンラインランプ（緑色）
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。
　点灯：オンライン状態
　　　（パソコンからのデータを受け取ることができる状態）
　消灯：オフライン状態
　　　（パソコンからのデータを受け取ることができない状態）

●データランプ（緑色）
プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。
　点灯：データが残っている
　点滅：データをパソコンから受信中
　消灯：データがない
点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。

●メッセージランプ（オレンジ色）
印刷できない状態にあることを知らせます。
　点灯：エラーやアラームが発生し、印刷できない状態
　　　(エラー内容を知らせるメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。メッセージに従って対処してください。詳しくは、「エラーメッセージが表示されたとき」（153ページ）を参照してください。)
　消灯：印刷できる状態

●液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(１行16文字の２段に表示されます。)



●印刷方向／リセットスイッチ
印刷方向の選択およびポート／エミュレーション部の初期化を行います。

●給紙口／排出スイッチ
給紙口の選択および強制排出モードへの移行を行います。

●オンラインスイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。一時的な設定(*)を終了させる機能もあります。

●メニュー／設定スイッチ
プリンタの動作条件を設定します。

＊:一時的な設定については、「オペレータパネルを操作する」(80ページ)を参照してください。

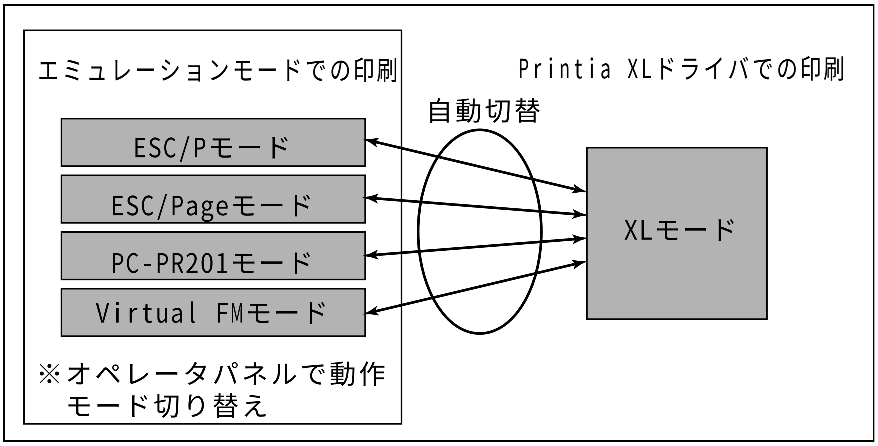
ガイド　「設定」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(118ページ)を参照してください。

いろいろな印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

Printia XL ドライバで印刷する

Windows 対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ（FUJITSU XL-6700_2003）を選択します。プリンタの設定は、Windowsのダイアログボックスの設定内容に従います。Windowsからの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。



ガイド コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通FMVシリーズや各社AT互換機および日本電気PC-9800シリーズのパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

・ESC/Pモード　　：セイコーエプソン　ドットプリンタ　VP-1000 相当
・ESC/Pageモード　：セイコーエプソン　ページプリンタ　LP-8000S 相当
・PC-PR201モード　：日本電気PC-PR201系シリアルプリンタ相当

さらに、本プリンタをサーバプリンタとして使用する場合には、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

・Virtual FMモード：富士通ページプリンタFMLBP121相当（240dpi）

動作モード（エミュレーションモード）は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。オペレータパネルで切り替える方法は、「第7章 設定値を変える」（93ページ）を参照してください。

コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード（コマンド）で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWareやNetWare、Windows NTなどのネットワークOSを使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワークOSのマニュアルをお読みください。

エミュレーションモードを切り替える

エミュレーションモードを切り替えるには、次のコマンドを発行します。(〈××〉$_{16}$ は、16進数表記での値です。)

【形式】

ESC +	／ +	イ +	@ +	DEL +	ESC +	DEL +	NULL +	NULL +	SOH +	Pa
〈1B〉$_{16}$	〈2F〉$_{16}$	〈B2〉$_{16}$	〈40〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈1B〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈01〉$_{16}$	〈××〉$_{16}$

【解説】

・Paは１バイトの選択パラメータで、切り替えるエミュレーションモードを指定します。各エミュレーションごとのPaの値は次のとおりです。

ESC/P　　　：Pa ＝〈09〉$_{16}$
ESC/Page　 ：Pa ＝〈06〉$_{16}$
PC-PR201　 ：Pa ＝〈04〉$_{16}$
Virtual FM ：Pa ＝〈00〉$_{16}$

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次のPaを使用します。

デフォルトモード：Pa ＝〈05〉$_{16}$

・パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
・エミュレーションモードを切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
・設定されたエミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。(「液晶ディスプレイの表示内容」（78ページ）参照)
・コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XLドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。(「プリンタをリセットする」（89ページ）参照)

切り替えコマンドの使い方

複数のエミュレーションの印刷やPrintia XLドライバの印刷を行う場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷を行うアプリケーションソフトの印刷では、エミュレーションモードの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

エミュレーションモードを使う上での留意事項

エミュレーションモードは、本プリンタに、次のプリンタと同等の動作をさせるものです。

・セイコーエプソンの24ドットマトリクスプリンタVP-1000（ESC/Pモード）
・セイコーエプソンのページプリンタ LP-8000S（ESC/Page モード）
・日本電気の PC-PR201 系シリアルプリンタ（PC-PR201 モード）
・富士通ページプリンタ FMLBP（Virtual FM モード）

ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

次に、各エミュレーションモードを使う場合の留意事項について説明します。

セイコーエプソン VP-1000 との違い

ESC/P エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の VP-1000 と、次の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(197 ページ)をご覧ください。

セイコーエプソン LP-8000S との違い

ESC/Pageエミュレーションモードでの動作および印刷結果は、セイコーエプソン製の LP-8000S とは、次の点で違います。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・Windows の LP-8000S プリンタドライバでの 80%縮小は、75%縮小で印刷します。
・登録、または記憶を行うコマンドは、メモリ容量の違いから、「登録メモリオーバー」エラーになることがあります。

PC-PR201 系プリンタとの違い

PC-PR201エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、日本電気製の PC-PR201 系シリアルプリンタとは以下の点が違います。

・文字パターンの大きさ、デザイン等が多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で印刷可能領域が異なります。印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(197 ページ)をご覧ください。
・Windows の PC-PR201系プリンタドライバや市販のソフトウェアで用紙位置を中央に設定した場合は、印刷位置がずれたり、最後の方の文字が次の行に印刷されたりします。このようなときは、「PC モード設定」の「136/LM 設定」を「136 桁モード」に設定し、「用紙位置設定」を「中央」に設定してください。(「第７章　設定値を変える」(93 ページ)参照)

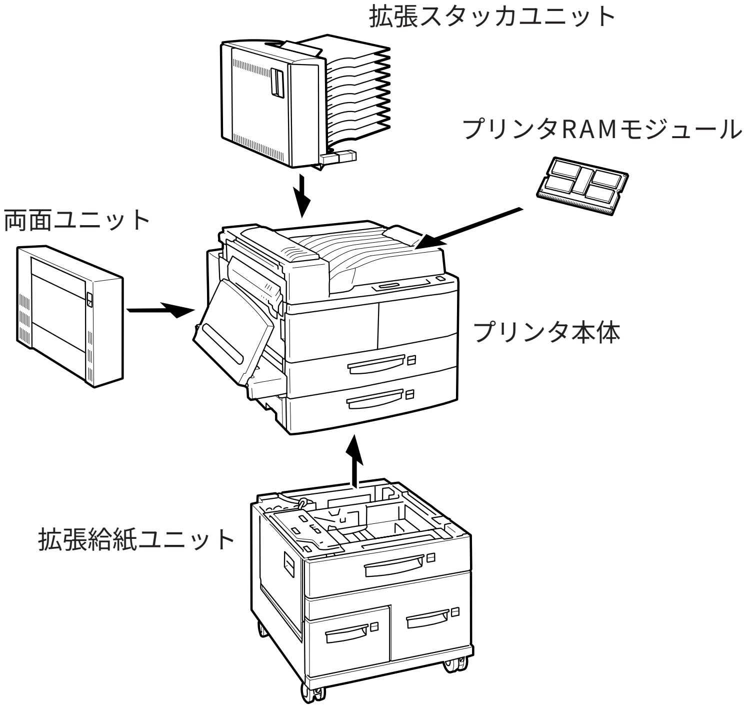
富士通ページプリンタ FMLBP との違い

Virtual FM エミュレーションモードでの動作および印刷結果は、次の点が異なります。

- FMLBPの接続インタフェースと一部の仕様が異なるため、FMR/FM-TOWNSシリーズなどに直接接続して、Virtual FMモードで印刷することはできません。
- サーバプリンタとして使用する場合に限り、Virtual FMモードで印刷できます。
- FMLBP121 相当のコマンドに対応しています。
- 400dpi の印刷はできません。400dpi の解像度コマンドを受信すると「解像度指定エラー」になります。
- 以下の文字パターンを内蔵しています。
  明朝体 ...... 7 ポ／ 9 ポ／ 10.5 ポ／ 12 ポ／アウトライン
- フリーサイズ用紙の印刷を行う場合、FMLBP と印刷位置が異なる場合があります。
- 給紙口設定コマンド（給紙トレイを除く）を受信した場合、通常、用紙サイズにより、給紙カセットを自動的に選択します。

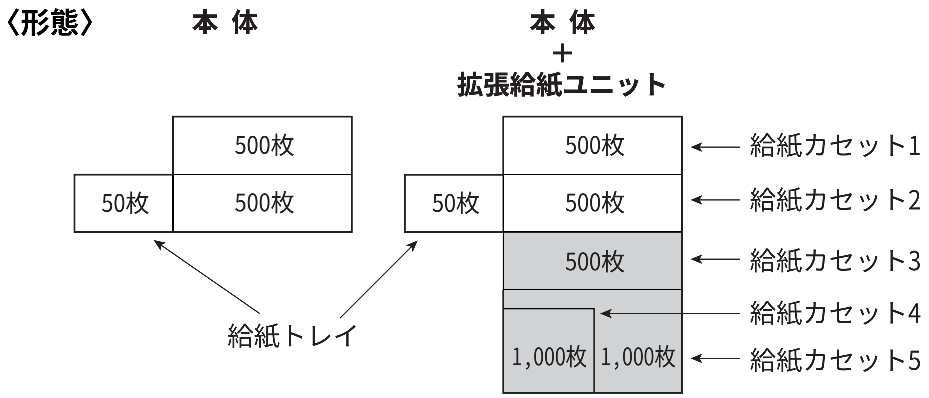
オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。



拡張給紙ユニット

品 名	型 名	内 容
拡張給紙ユニット	XL-EF250L1	3～5段目の給紙ユニットです。B5～A3サイズの用紙を500枚までセットできる給紙カセット1個と、B5～A4サイズの用紙を1,000枚セットできる給紙カセット2個から構成されています。



拡張スタッカユニット

品　名	型　名	内　容
拡張スタッカユニット	XL-ES100L1	約 100 枚× 10 段のスタッカユニットです。メールボックス、大容量排紙、マルチソータの各種モードで使用できます。

ガイド

・拡張スタッカユニットを取り付けるには、別オプションの拡張給紙ユニットを取り付けておくことが必要です。
・ご使用の用紙の紙質や湿度の影響による用紙の変形（カール）などにより、排出できる用紙枚数はトレイごとに異なります。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPL1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

プリンタ RAM モジュール

プリンタ RAM モジュールは、次の 2 種類のいずれか 1 枚のみ取り付けることができます。

品　名	型　名	内　容
プリンタ RAM モジュール -32MB	XL-EM32M4	RAM を 32MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール -64MB	XL-EM64M4	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。

〈用途〉

・ビットマップメモリの容量増加により、印刷速度の向上が図れます。特に、600ドット／インチの印刷をする場合は、より効果があります。(例えば、A4用紙に600ドット／インチ印刷をする場合のビットマップメモリ枚数が、メモリ増設なしのときの4ページに対し、8ページになります。)

・登録領域の容量増加により、ESC/Pageモードでのダウンロードフォント、マクロ、フォームオーバレイ等の登録量やVirtual FMでのフォームオーバレイ等の登録量の増加が図れます。

	部単位印刷	メモリ量（注1）	ページ数（注1）
標準メモリ（24MB）	機能なし(注2)	0MB	0ページ
32MBメモリ増設	機能あり	8.4MB	18ページ
64MBメモリ増設	機能あり	40.4MB	91ページ

注1) 部単位印刷を行う場合に使用可能なプリンタメモリ量および印刷可能なページ数（目安）です。ページ数は以下の印刷条件を用いており、実際の印刷でのページ数は印刷条件により異なります。

アプリケーション：Microsoft Word 97
OS　：Windows 98
印刷データ　：電子協標準パターン　J5/Ver.1
解像度　：600dpi
用紙サイズ　：A4

部単位印刷を行う印刷データのサイズが、プリンタメモリをオーバした場合、1部のみ印刷して終了します。（部単位印刷メモリオーバ）※注3を参照。

注2) プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で、Printianavi機能が有効な場合には、標準メモリでも部単位印刷機能を使用できます。ただし、プリントサーバから指定部数に相当する印刷データを繰り返し送信するため、プリンタメモリを増設したときに比べ、印刷処理に時間がかかることがあります。

注3) プリンタメモリを増設していて、部単位印刷メモリオーバが発生した場合、プリントサーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で、Printianavi機能が有効であれば、メモリオーバ後も、部単位印刷を続行します。ただし、プリントサーバから指定部数に相当する印刷データを繰り返し送信するため、メモリオーバが発生したときは通常時に比べ、印刷処理に時間がかかることがあります。

プリンタ LAN アダプタ

本プリンタ内蔵のプリンタLANポートは100BASE-TX/10BASE-Tに対応し、プロトコルとして TCP/IP をサポートしています。
IPX/SPX プロトコルでは次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品 名	型 名	内 容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。 NetWare 3.1xJ/4.1 に対応しています。

プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

- **本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。**
- **長さが1.5メートル以下のシールドケーブルをお使いください。**

別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
FMR シリーズ	―(*1)
FM-Server シリーズ	FMS-CBL711

*1: FMR シリーズは LAN 経由でご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

サプライ用品

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙	Ａ３サイズ	0411650	500枚×３冊で１ケース
	Ｂ４サイズ	0411620	500枚×５冊で１ケース
	Ａ４サイズ(Ｙ)	0411612	
	Ｂ５サイズ(Ｙ)	0411645	
	Ａ５サイズ(Ｙ)	0411635	
プロセスカートリッジ	LB310	0879110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約20,000枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB310	給紙カセット(A3ユニバーサル)	0879310	A5～A3サイズで500枚 (A5はカセット１のときのみ) 添付のカセットと同一です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法600(W)×610(D)×440(H)mm

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-30-0693

平日　8:40～12:00および13:00～17:30

（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

第2章

用紙について

使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙 24
使用できない用紙 26
用紙の保管上のご注意 27

使用できる用紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。（「サプライ用品」（21ページ）参照）

お願い

- **用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。**
- **OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。**

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙カセット 1、2、3 （A3ユニバーサル）	普通紙 （再生紙）	Ａ３タテ Ｂ４タテ Ａ４ヨコ Ｂ５ヨコ Ａ５ヨコ（*1） レターヨコ	60～90g/m^2	約500枚 （重量64g/m^{2}の用紙の場合）
給紙カセット 4、5 （A4ユニバーサル）	普通紙 （再生紙）	Ａ４ヨコ Ｂ５ヨコ レターヨコ	60～90g/m^2	約1,000枚 （重量64g/m^{2}の用紙の場合）
給紙トレイ （ユニバーサル）	普通紙 （再生紙）	ハガキ～ A3	60～190g/m^2	約50枚 （重量64g/m^{2}の用紙の場合）
	官製はがき	ハガキタテ	190g/m^2	約30枚
	OHPフィルム	A4ヨコ	60～135g/m^2	約30枚
	ラベル紙	A4ヨコ	60～135g/m^2	約30枚
両面印刷	普通紙 （再生紙）	Ａ３タテ Ｂ４タテ Ａ４ヨコ Ｂ５ヨコ レターヨコ リーガルタテ	60～90g/m^2	

*1：　カセット１のみ

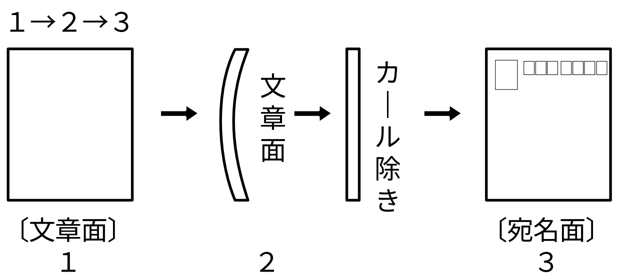
お願い

はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。



ＯＨＰフィルム

定着時の熱（約190°C）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

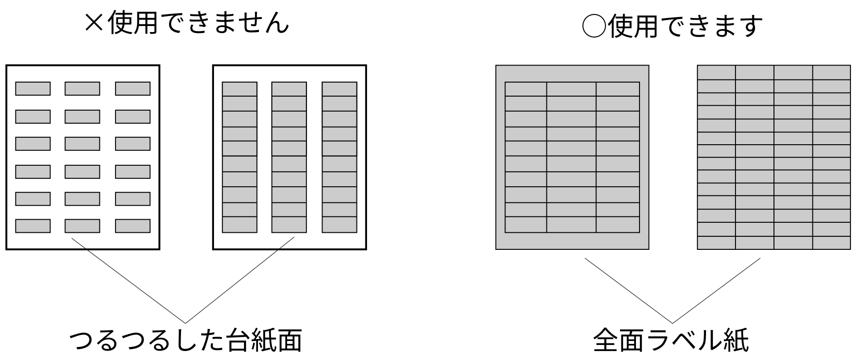
ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190°C）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
・湿っている用紙や、濡れている用紙
・一度印刷された用紙
・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
・カールしている用紙
・静電気で密着している用紙
・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
・表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190°C以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
・190　°C以上の熱で溶けたり、変質する用紙
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
・裁断部のバリが大きい用紙
・紙粉の多い用紙
・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙



用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20°C、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド　長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置

この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い 30
プリンタの寸法 31
設置手順 32

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

- いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度：10 ～ 35℃　　湿度：15 ～ 85％（結露がないこと）
  温度32℃のときは湿度70％以下、湿度が85％のときは温度28℃以下でご使用ください。
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- プリンタを前後左右に５°以上傾けないでください。
  トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。
  電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
  - ・プリンタとラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
  - ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
  - ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

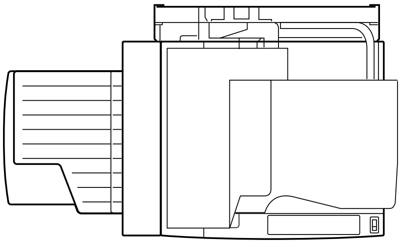
お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

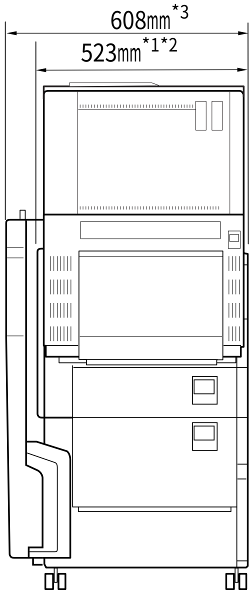
プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。
（図はフルオプション時）

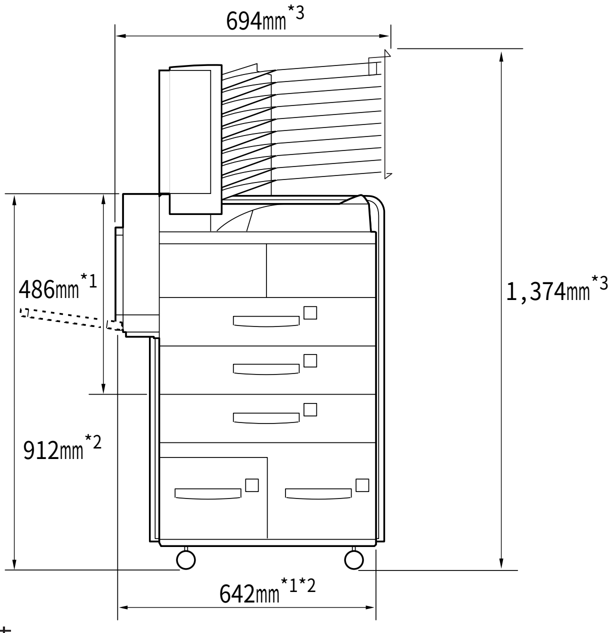
<上面図>



<側面図>



<正面図>



*1：標準構成時
*2：拡張給紙ユニット装着時
*3：拡張給紙ユニットと拡張スタッカユニットを装着時
両面ユニットを装着しても外形寸法は変わりません。

⚠注意	
	火　災　プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。（「安全上のご注意」（2）ページ参照）
	け　が　設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

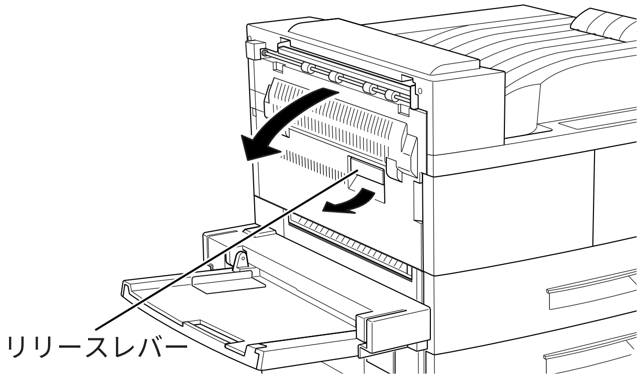
設置手順

プリンタは、次の手順で設置してください。

1　製品がすべて揃っていることを確認する

「製品の確認（梱包されている製品）」(4 ページ) 参照

2　カバー A のリリースレバーを引きながら、ゆっくりと開く



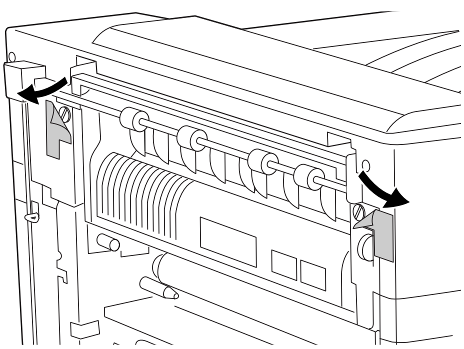
お願い

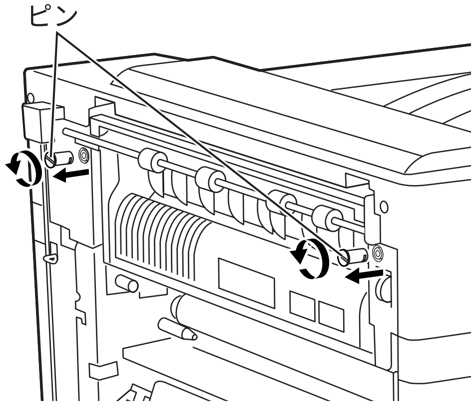
プリンタ内部の部品には手を触れないでください。印字不良の原因となります。

⚠注意

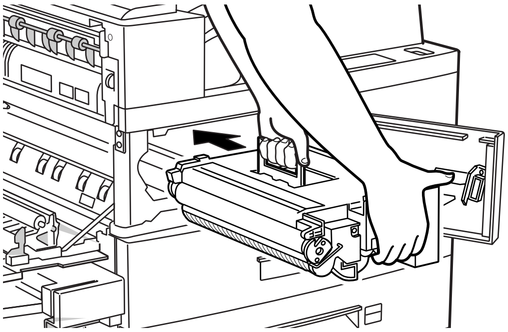
やけど「高温注意」ラベルが貼ってある周辺には絶対に手を触れないでください。やけどの原因になることがあります。

3　両側のシールを図のようにはがす



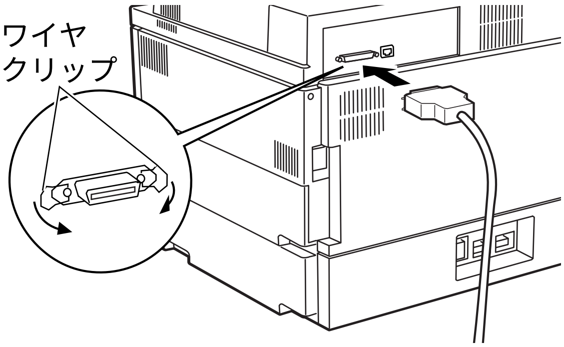


4　ピンを回し、引き抜く



5　プロセスカートリッジを取り付ける

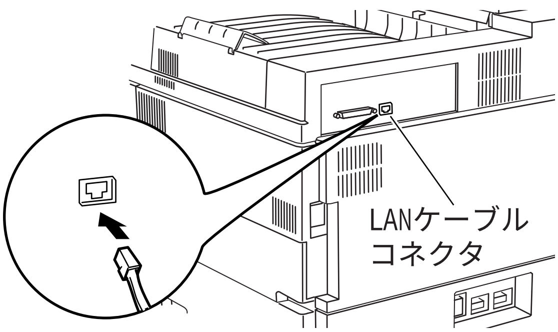
詳しくは、「プロセスカートリッジを取り付ける」(64 ページ) 参照



6　パソコンと接続する

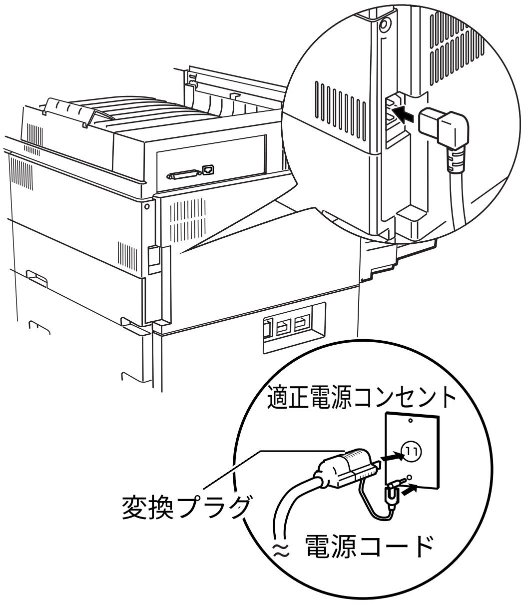
プリンタケーブルを使い、パソコンと接続します。

詳しくは、「パソコンとの接続」(38 ページ) 参照



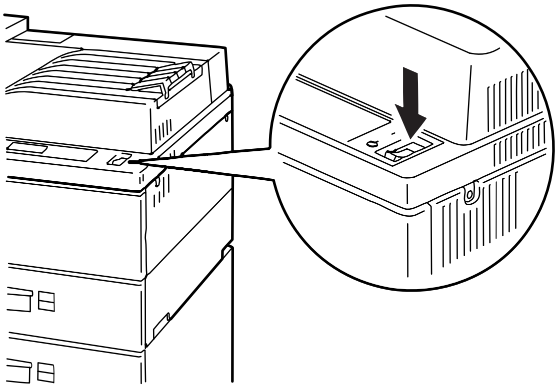
7　LAN と接続する

詳しくは、「LAN 経由の接続」(40 ページ) 参照



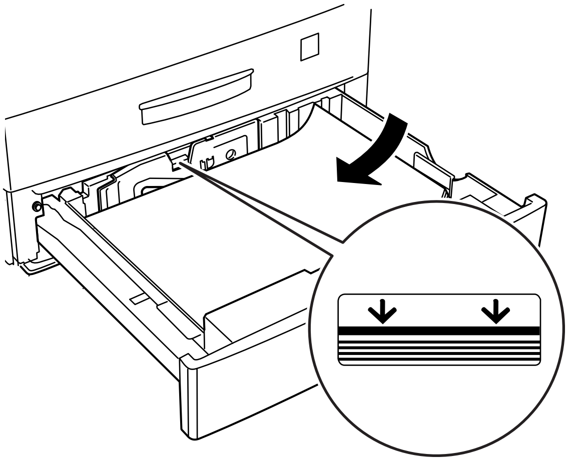
8 ***電源コードを接続する***

詳しくは、「電源コードの接続」(44 ページ)参照



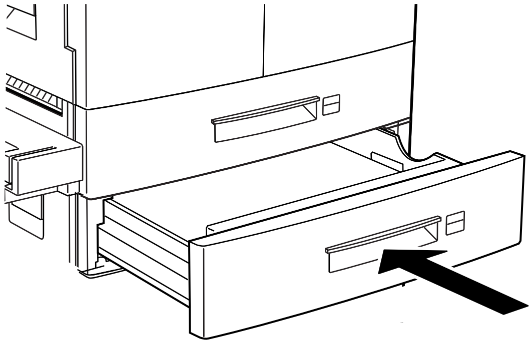
9 ***プリンタの電源を入れる***

詳しくは、「電源の投入と切断」(48 ページ)参照



10 用紙をセットする

詳しくは、「用紙のセット」(50ページ)参照



第4章

外部との接続

この章では、パソコン、LAN および電源との接続のしかたについて説明します。

パソコンとの接続 38
LAN 経由の接続 40
パソコンと接続するときの留意事項 42
電源コードの接続 44

パソコンとの接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

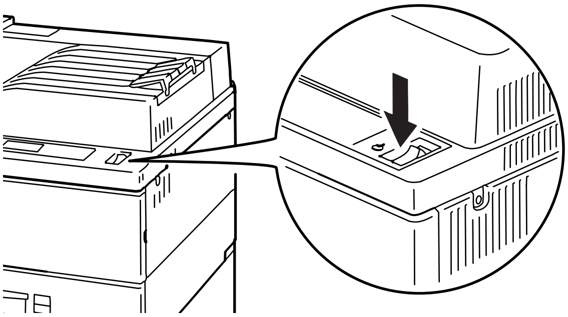
⚠警告	感　電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠注意	故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

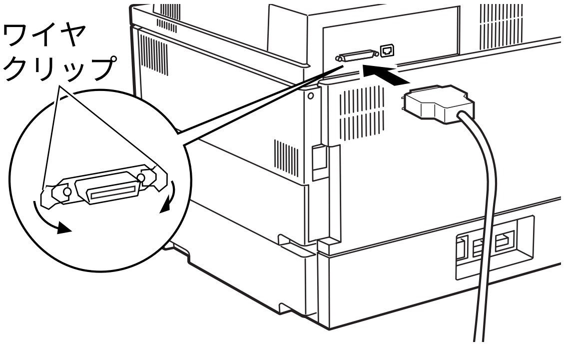
- **プリンタケーブルについては、次の制約があります。**
  - **パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。**
  - **ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。**
- **本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。（「プリンタケーブルについて」(20 ページ)参照）**

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 ***プリンタとパソコンの電源の切断を確認する***

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



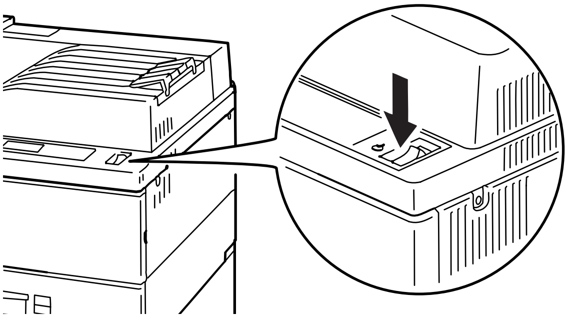
2 ***プリンタケーブルを接続する***

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

LAN 経由の接続

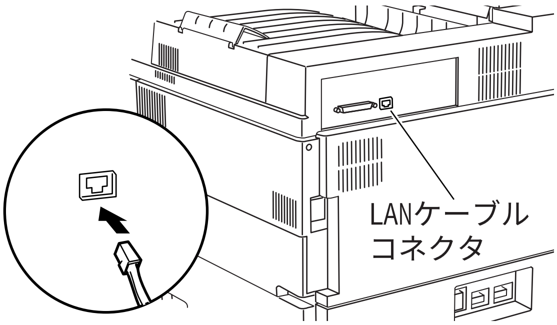
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、XL-6700 とハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリ -5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

接続のしかた



1　プリンタの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



2　LAN ケーブルを接続する

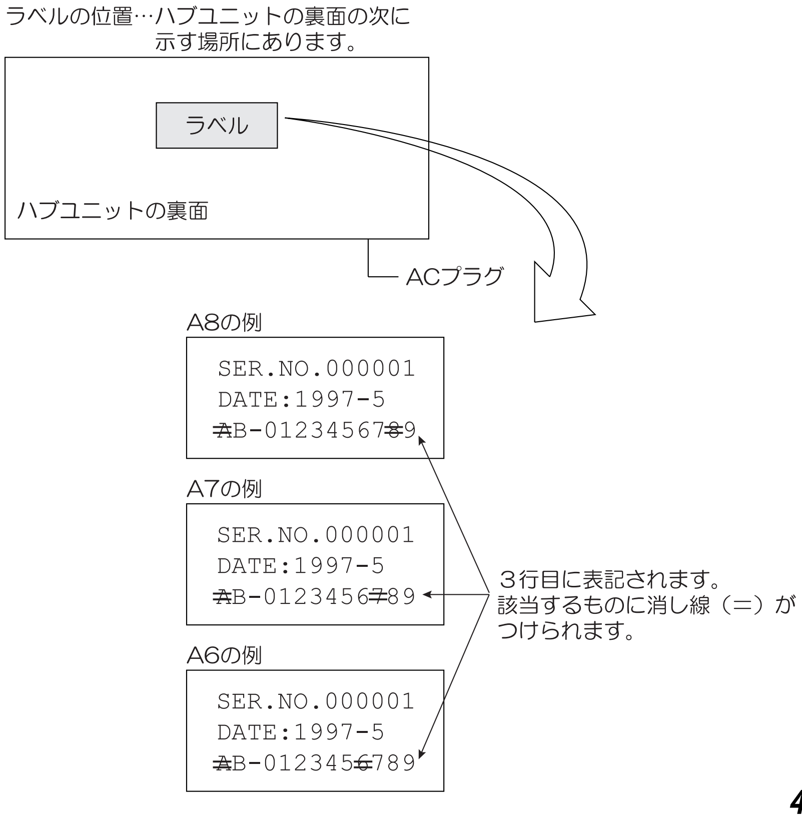
LANケーブルを、プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

お願い

プリンタの電源が入っている状態で、LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

LANに接続するときの注意事項

- LANケーブルをハブユニットに接続した場合で、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。
  本プリンタのEthernetタイプは、「自動」「100MbpsFull」「100MbpsHalf」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのEthernetタイプは、セットアップの「LAN設定」にある「Ethernetタイプ」で変更します。(セットアップについては、「第7章　設定値を変える」(93ページ)参照)
  ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
- ハブユニットLH1100と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  ・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  ・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご相談ください。
  ラベルの見かたを次の図に示します。

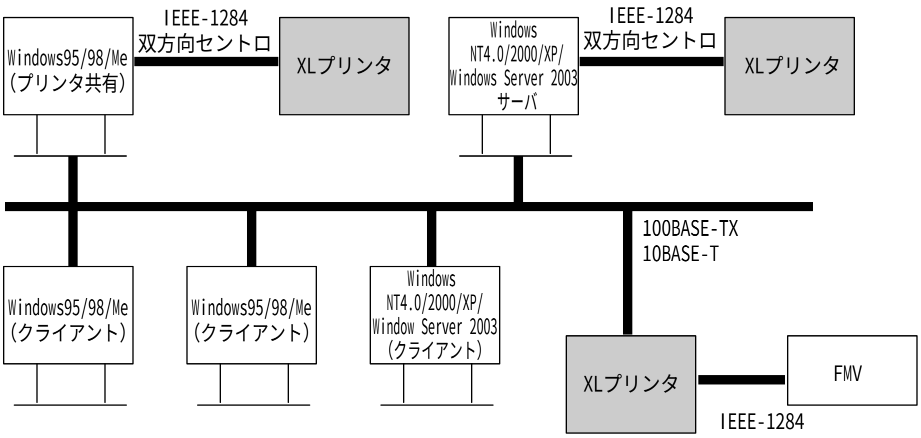


パソコンと接続するときの留意事項

双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時のネットワーク接続形態

本プリンタは、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバおよびクライアント)から使用することができます。さらに、添付の双方向プリンティングシステム「Printianavi」をインストールすることにより、プリンタのエラーメッセージの表示や制御を、クライアントで行うことができます。

また、添付のPrintianaviネットワークポートモニタを使用すると、LAN(TCP/IP)で接続したパソコン(サーバまたはクライアント)から、直接LANに接続したプリンタに印刷することができます。



双方向プリンティングシステム「Printianavi」使用時の留意事項

・Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Widows Server 2003が動作するパソコンで使用してください。
・パソコンのプリンタポートにプリンタを接続してPrintianaviを利用する場合、ご使用のパソコンがIEEE-1284準拠の双方向プリンタポートに対応している必要があります。当社のパソコンでは、FMVシリーズがこれに対応しています。
・ネットワークで本機能を使用する場合のインストールや設定については、本書の「ソフトウェア編」を参照してください。

パソコンとLANの両方に接続したときの留意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう１台のパソコンをパラレルポートに接続することができます。
パラレルポートとLANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご留意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
  一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
- PrintianaviおよびPrintianaviネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- 片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

お願い

パラレルポートから印刷している間は、プリンタからLANケーブルを抜き差ししないでください。

ガイド

ポートの切り替え時間は、セットアップで変更することができます。（「ポート切替時間〜ポート切替時間を設定する」（112ページ）参照）

電源コードの接続

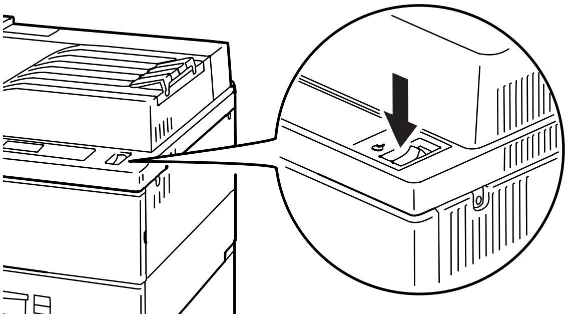
次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

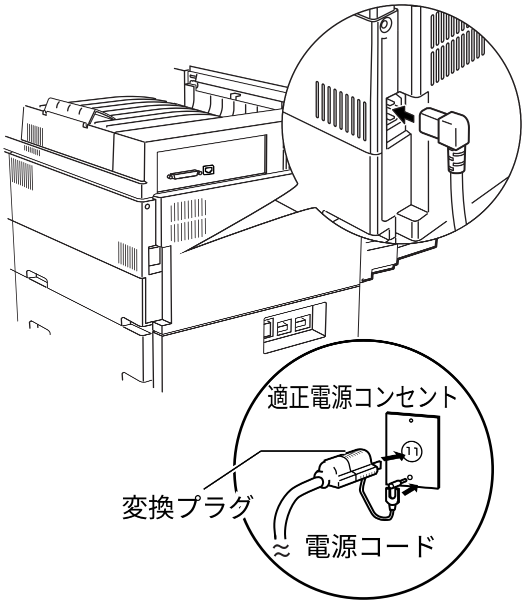
⚠警告

感　電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「○」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
火　災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電 危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）



1　電源の切断を確認する

電源が切れていることを確認します。（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。）



2　電源コードを接続する

電源コードをプリンタ背面にあるコネクタに差し込みます。
本プリンタには平行３ピンの電源コードが添付されています。できるだけ３ピンのコンセントをご使用ください。
もし、３ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

第5章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

電源の投入と切断 48

用紙のセット 50

給紙トレイに用紙をセットする 51

給紙カセット1～3に用紙をセットする 53

給紙カセット4、5に用紙をセットする 56

プロセスカートリッジの交換 59

プロセスカートリッジを取り外す 62

プロセスカートリッジを取り付ける 64

プロセスカートリッジの取り扱いと保管 67

取り扱い上のご注意 67

保管上のご注意 67

プリンタの清掃 68

プリンタ外部の清掃 68

プリンタ内部の清掃 69

プリンタを長時間使用しないとき 70

プリンタを移動するとき 72

近くに移動する 73

梱包して運搬する 76

電源の投入と切断

プリンタを起動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約 60 秒後に印刷ができる状態になります。
１日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。

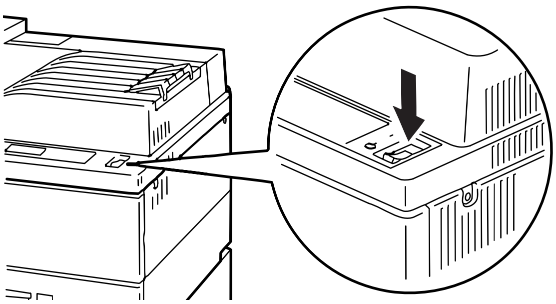
お願い

電源を入れる際に、給紙トレイに用紙がセットされている場合は、いったん用紙を取り出して、電源を入れた後にセットし直してください。

ガイド

- 電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- パワーセーブの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的にパワーセーブ状態に切り替わります。

電源を入れる



電源を入れるときは、電源スイッチを「｜」側に倒します。

オペレータパネルの「メッセージ」「データ」「オンライン」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

ショキシンダ゛ンチュウ	初期診断中を示します。

↓

メモリ　ヨウリョウ ＸＬ－６７００　　　××ＭＢ	メモリの総容量を示します。

↓

ファーム ロード゛チュウ ××××××××××××	ファームロード中を示します。 下段にMACアドレスを表示します。

↓
↓
↓
↓

初期化動作およびファームロード動作に約30秒程度かかりますので、そのままお待ちください。オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されると印刷できる状態になります。

オンライン　　　　×× ×××××　×－××××

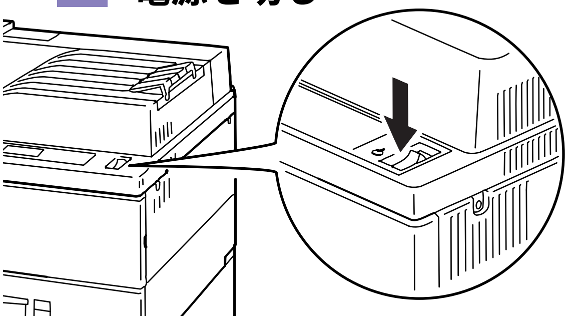
お願い

メモリを変更した場合には、必ずメモリ容量を確認してください。

ガイド

電源を入れても、液晶ディスプレイや「オンライン」ランプが点灯しないときは、「故障かなと思ったとき」(134ページ)をお読みください。

電源を切る



電源を切るときは、電源スイッチを「○」側に倒します。

電源が切断され、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」(136ページ)を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

用紙のセット

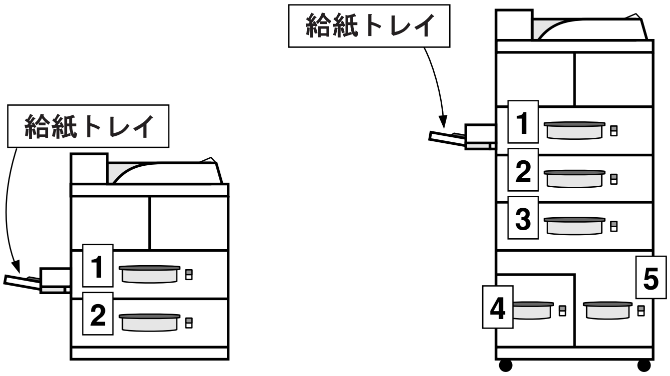
給紙トレイおよび給紙カセットに用紙をセットする方法について説明します。

次の図を参考に、該当する説明をお読みください。

給紙トレイ ：「給紙トレイに用紙をセットする」（51 ページ）参照

1 2 3 ：「給紙カセット 1～3 に用紙をセットする」（53 ページ）参照

4 5 ：「給紙カセット 4、5 に用紙をセットする」（56 ページ）参照



標 準　　拡張給紙ユニット（オプション）を装着したとき

ガイド

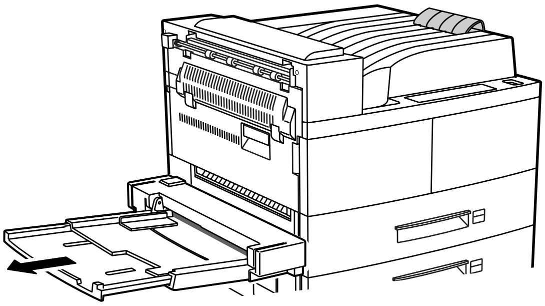
・給紙トレイおよび給紙カセットにセットできる用紙については、「第２章 用紙について」(23 ページ）を参照してください。

・給紙トレイおよび給紙カセットで対応している用紙サイズは、次のとおりです。

		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	ハガキ
標準	給紙トレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
	給紙カセット 1	○	○	○	○	○	×	○	×
	給紙カセット 2	○	○	○	○	×	×	○	×
拡張給紙ユニット（オプション）	給紙カセット 3	○	○	○	○	×	×	○	×
	給紙カセット 4	×	×	○	○	×	×	○	×
	給紙カセット 5	×	×	○	○	×	×	○	×

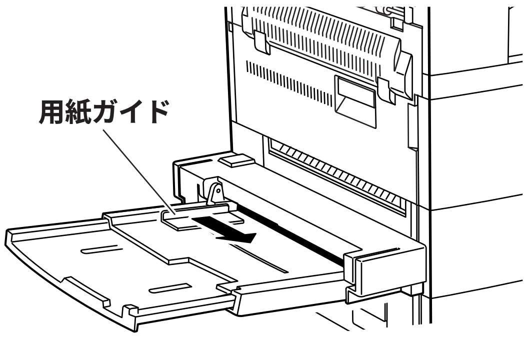
給紙トレイに用紙をセットする

次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。



1 給紙トレイを横に倒す

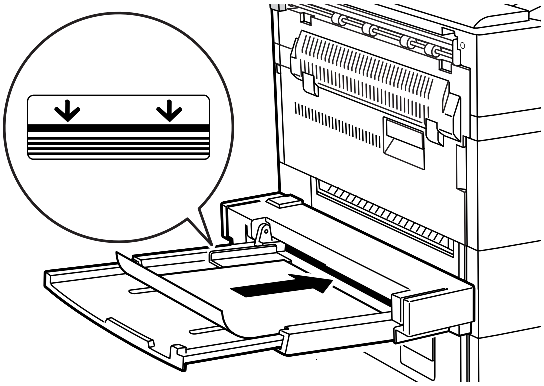
必要に応じてトレイを延長します。



2 用紙ガイドを、使用する用紙の目盛りに合わせる

3 用紙をさばく

用紙の間に空気を入れるように、紙をさばきます。



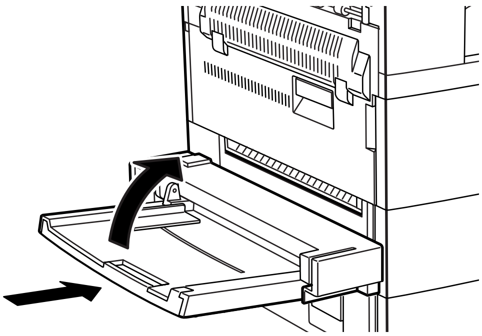
4　用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷面を下にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

お願い

- 折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。
- A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。
- 印刷方向については、「用紙関係」（197ページ）を参照してください。
- 用紙ガイドにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。

ガイド　給紙トレイに収容できる枚数は、約50枚（64g/㎡の場合）です。



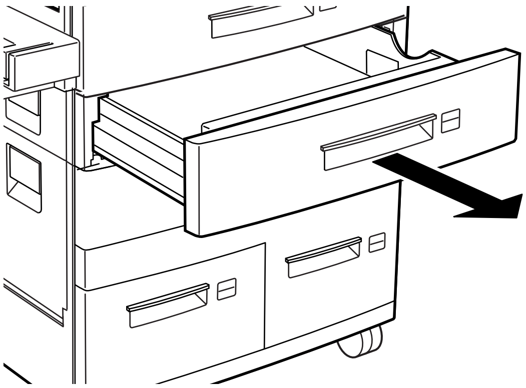
5　印刷が終了したら、延長トレイと給紙トレイを元に戻す

給紙カセット１～３に用紙をセットする

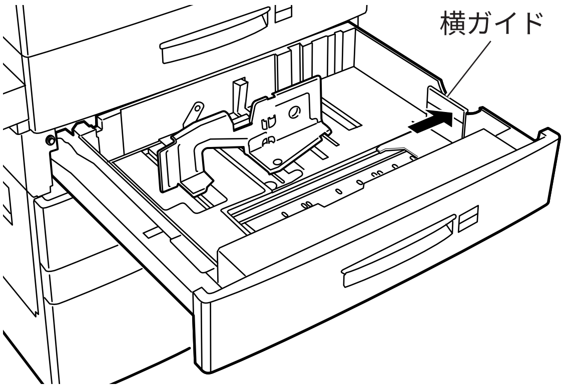
給紙カセット１ ～３ に用紙をセットする手順について説明します。(給紙カセット3は、オプションの拡張給紙ユニットの最上段にある給紙カセットです。)

ガイド

・異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。
・A5 サイズの用紙をセットできるのは、給紙カセット１のみです。

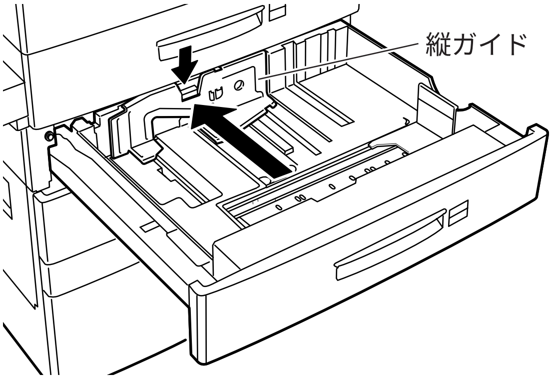


1 給紙カセット手前に引き出す



2 横ガイドを外側にずらす

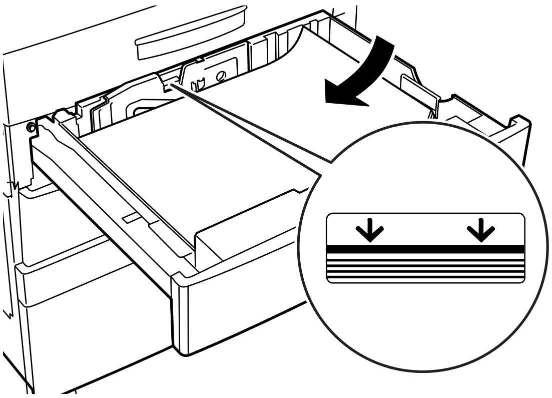
横ガイドを指で持ち上げながら、セットする用紙サイズより外側にずらします。



3　縦ガイドを奥側にずらす

縦ガイドのつまみを押しながら、セットする用紙サイズより奥側にずらします。
用紙サイズの位置は給紙カセットの下面に表示されています。

ガイド　同じサイズの用紙をセットする場合は、この手順は不要です。



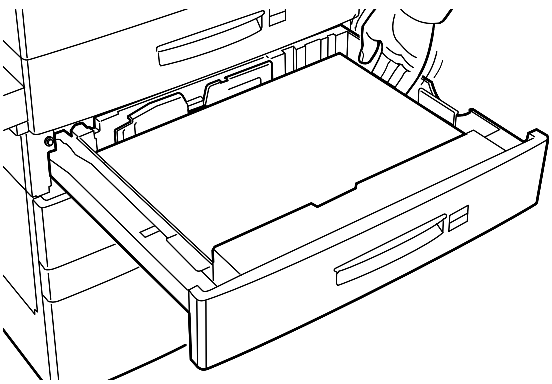
4　用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセット左側の手前に合わせてセットします。

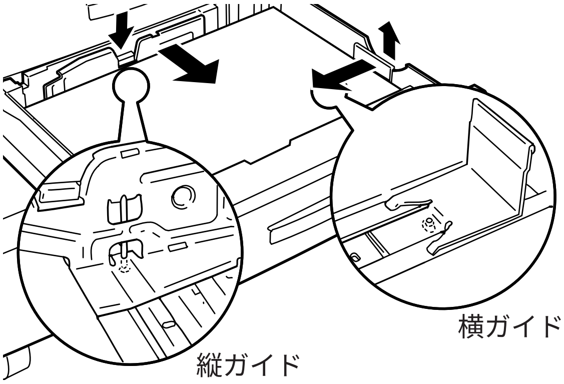
お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **A4、B5、A5（給紙カセット１のみ）、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。（「用紙関係」（197ページ）参照）**
- **給紙カセットの奥にある線が、セットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**

ガイド　給紙カセット１～３に収容できる枚数は、それぞれ約 500 枚（64g/㎡ の場合）です。

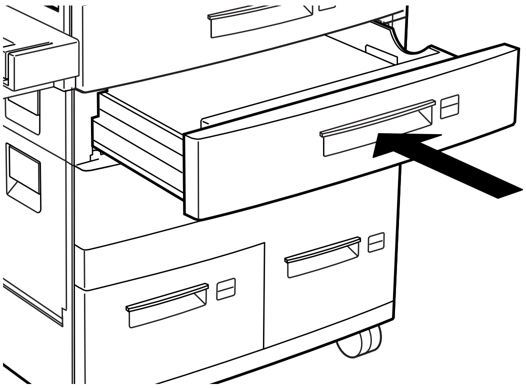


5　用紙の端をそろえる



6 横ガイドと縦ガイドを用紙サイズの目盛りに合わせる

縦ガイドはつまみを下げながら、横ガイドは持ち上げながらずらします。
それぞれのガイドのストッパーが目盛りの穴に固定されていることを確認してください。正しく固定されていないと、用紙サイズが検出されず、紙づまりの原因となることがあります。



7 給紙カセットをプリンタに押し込む

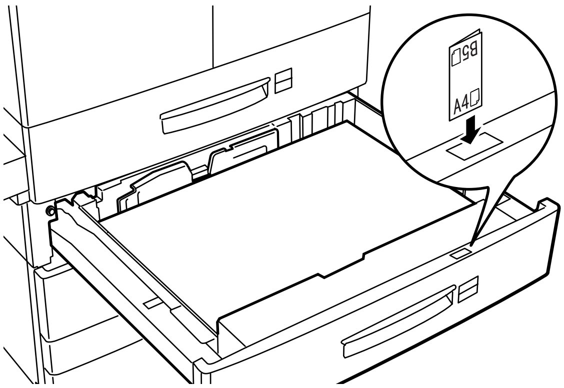
給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

ガイド

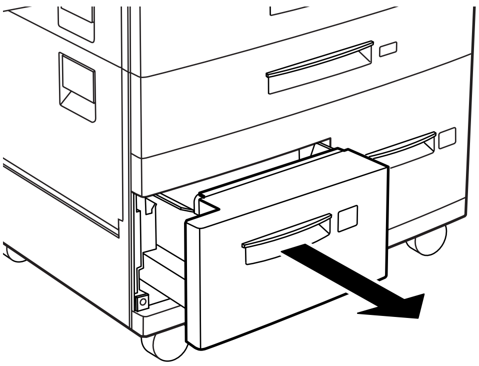
必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズカードを折りたたみ、給紙カセットに差し込みます。



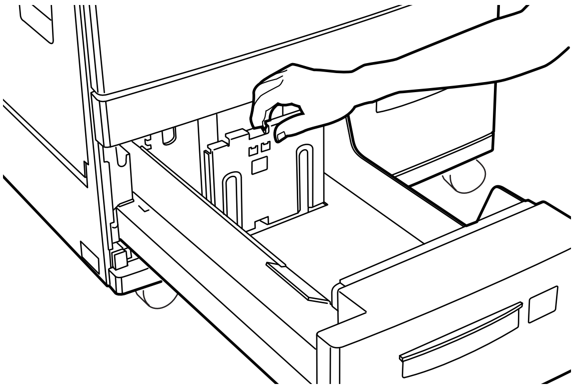
給紙カセット 4、5 に用紙をセットする

拡張給紙ユニット（オプション）の給紙カセット４、５に用紙をセットする手順について説明します。

ガイド 給紙カセット 4、5 には、A4、B5、レターサイズの用紙がセットできます。



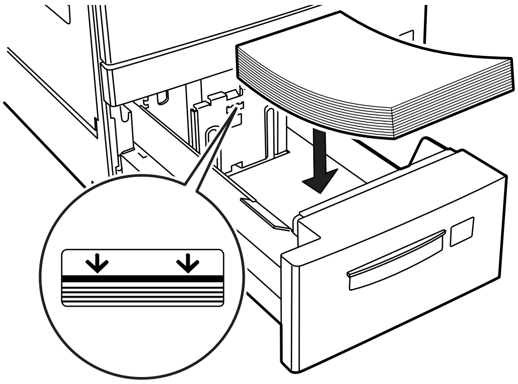
1　給紙カセットを手前に引き出す



2　縦ガイドを奥にずらす

縦ガイドのつまみを引きながら、セットする用紙サイズより奥にずらします。
用紙サイズの位置は、給紙カセットの下面に表示されています。

ガイド 同じサイズの用紙をセットする場合は、この手順は不要です。



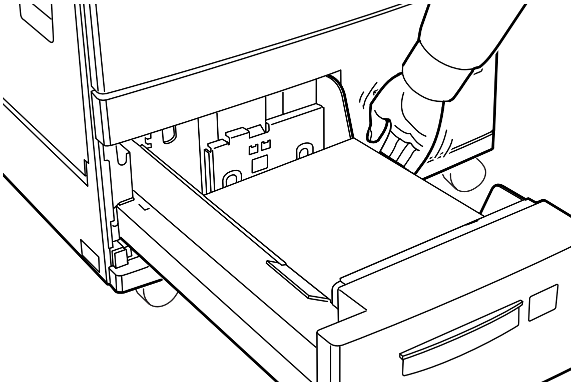
3　用紙をセットする

用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセット左側の手前に合わせてセットします。

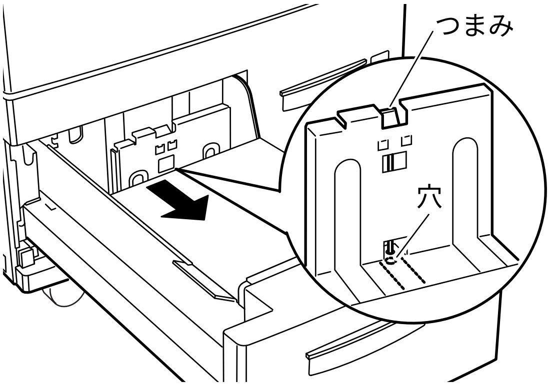
お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **用紙は、横長にセットしてください。(「用紙関係」(197ページ) 参照)**
- **給紙カセットの奥にあるガイドの線が、セットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**

ガイド　給紙カセット4、5に収容できる枚数は、約1000枚（64g/㎡の場合）です。

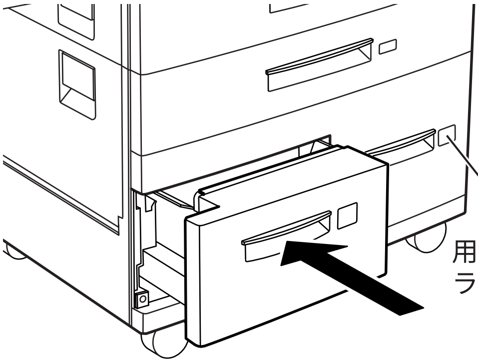


4　用紙を端をそろえる



5　縦ガイドを用紙サイズの目盛りに合わせる

縦ガイドのつまみを引きながらずらします。縦ガイドのストッパーが目盛りの穴に固定されていることを確認してください。正しく固定されていないと、用紙サイズが検出されず、紙づまりの原因となることがあります。



6 ***給紙カセットをプリンタに押し込む***

給紙カセットを突き当たるまでプリンタに押し込みます。奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

ガイド

必要に応じ、拡張給紙ユニットに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ１本あたりの目安として、A4 サイズの用紙で約 20,000 枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、「プロセスカートリッジを取り外す」(62 ページ)、「プロセスカートリッジを取り付ける」(64 ページ) にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。

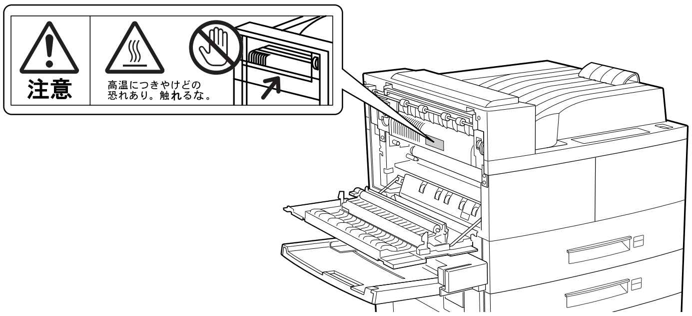
⚠警告

破　裂 プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
地球環境への配慮から使用済みのプロセスカートリッジを処分する際は、弊社の回収サービス（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(21ページ) 参照）をご利用ください。

誤　飲 ・トナーは目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

⚠注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

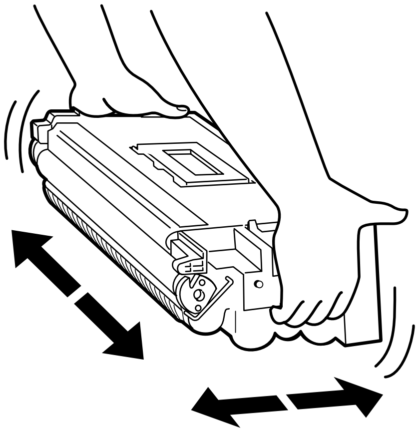


お願い

- **プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。**
  - **直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。**
  - **ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。**
- **感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。**
- **立てたり、裏返しにして置かないでください。**
- **トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。**
- **常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。**

ガイド

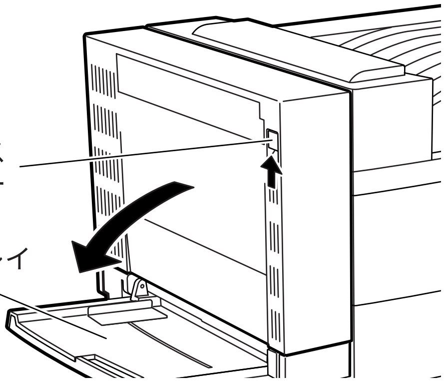
・プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。
・プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
交換の前にプロセスカートリッジを前後左右に５～６回振り、トナーの状態を均一にして印刷し直してみてください。



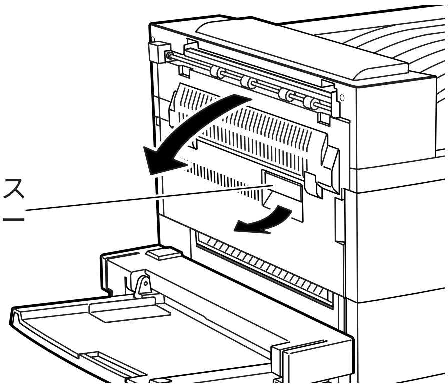
・プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  ・縦のカスレや部分的なカスレがある場合
  プロセスカートリッジを取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
  ・不鮮明な印刷状態が発生した場合
  適切な用紙に変えて印刷しても改善されないとき

プロセスカートリッジを取り外す

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。



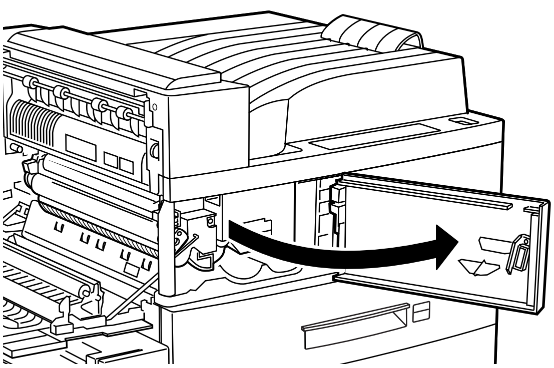
1 両面ユニットを取り付けている場合は、給紙トレイを開き、両面ユニットのリリースレバーを引きながらゆっくりと倒す



2 リリースレバーを引きながら、ゆっくりとカバーAを開く

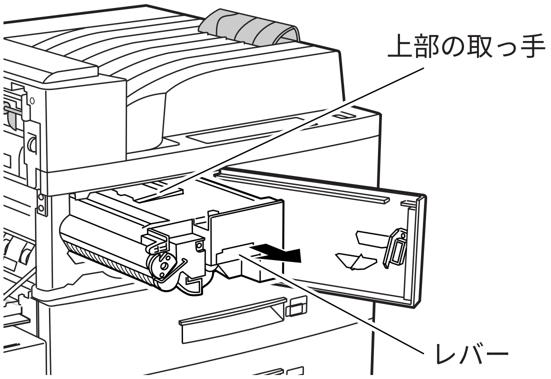
お願い

プリンタ内部の部品には手を触れないでください。印字不良の原因となります。



3 前面カバーを開く

前面カバーは自動的に閉じます。

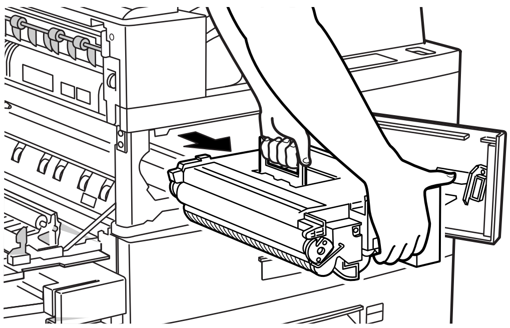


4　プロセスカートリッジのレバーを引き出す

プロセスカートリッジのレバーを引き、ゆっくり引き出しながら、上部の取っ手を起こして持ちます。

ガイド

- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 地球環境への配慮から、使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービス（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(21ページ) 参照）をご利用ください。



5　プロセスカートリッジ上部の取っ手とレバーを持ち、プロセスカートリッジを取り出す

ガイド

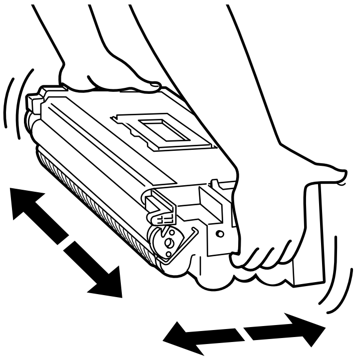
プロセスカートリッジは、必ず上部の取っ手を持って引き出してください。上部の取っ手を持たずにプロセスカートリッジを引き出すと、プロセス カートリッジが抜け落ちて床を汚すことがあります。

プロセスカートリッジを取り付ける

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り付けます。

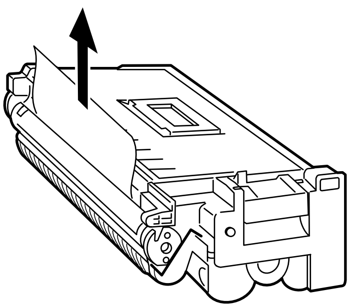
1 カバーAと前面カバーを開く

カバーAと前面カバーが閉じている場合は、「プロセスカートリッジを取り外す」（62ページ）の1～3に従って開きます。

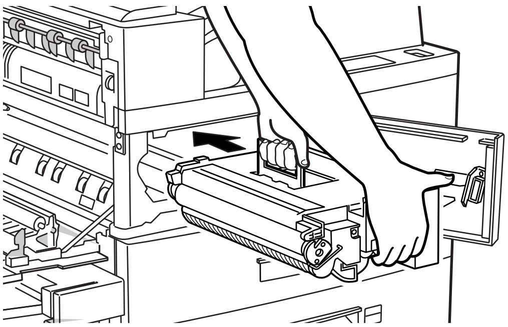


2 トナーを均一にするため、プロセスカートリッジを振る

図のように前後左右に5～6回振ります。トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

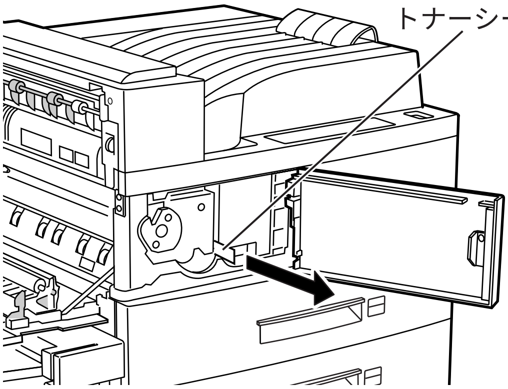


3 テープでとまっている紙を外す



4 プロセスカートリッジ上部の取っ手とレバーを持ち、プリンタ内部のガイドに合わせながらセットする

「カチッ」と音がして、プロセスカートリッジが確実にセットされたことを確認してください。

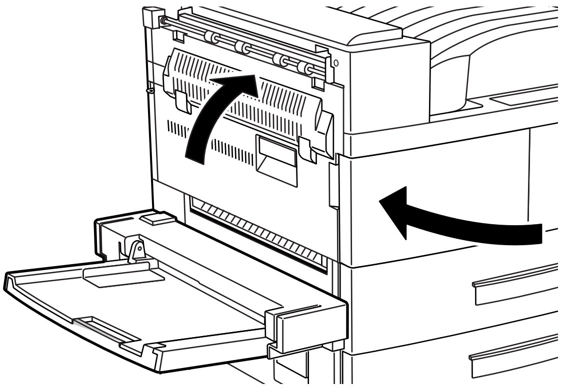


5　トナーシールを引き抜く

トナーシールは約60㎝ほど伸びます。

お願い

- **トナーシールは、平行にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で切れることがあります。**
- **トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。**



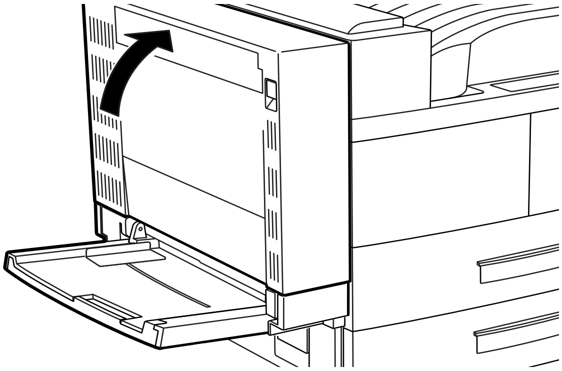
6　カバーAを閉じる

リリースレバーは持たず、カバーAの上部中央を押して、「カチッ」と音がするまで確実に閉じます。

前面カバーは自動的に閉じます。

ガイド

プロセスカートリッジが正しくセットされていないと、前面カバーは閉じません。この場合は、再度プロセスカートリッジを正しくセットし直してください。



7　両面ユニットを閉じる

両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットを閉じます。

お願い

- 各カバーが確実にロックしていることを確認してください。完全にロックしていないと、印字不良が発生することがあります。
- プロセスカートリッジをセットしたあと、1、2枚目までの出力の際に、紙が薄黒くなったり、音がしたりすることがありますが、動作およびその後の画質には影響ありません。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。
- 室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを５分以上放置しないでください。
- プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体（ドラム）が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターはむやみに開けないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲　０～35°C、　湿度範囲　15～80%RH
  （ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- CRT画面、ディスクドライブ、フロッピィディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠注意

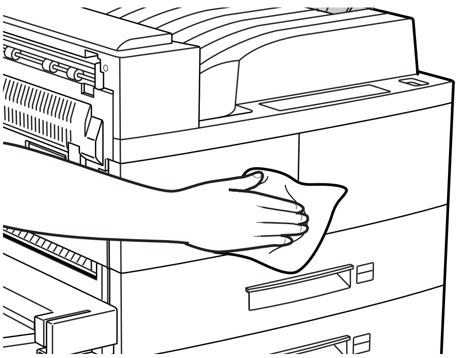
やけど　プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感　電　電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お願い

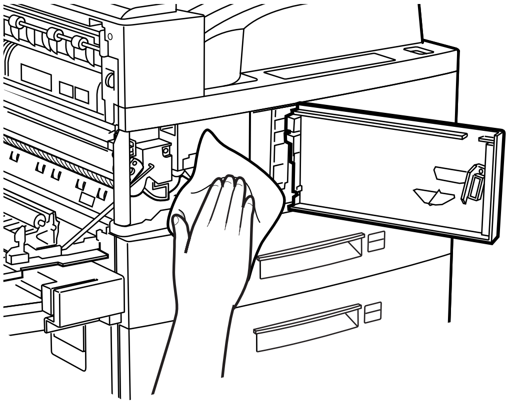
清掃に際しては、以下の点に注意してください。
- **プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。**
- **水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。**
- **油をさす必要はありません。注油はしないでください。**

プリンタ外部の清掃



プリンタの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部の清掃

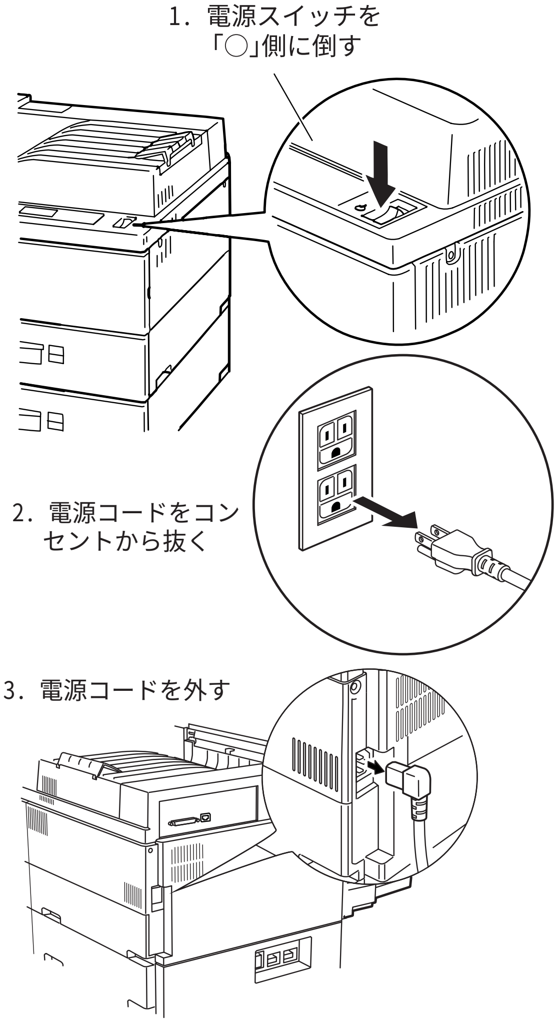


紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、前面カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

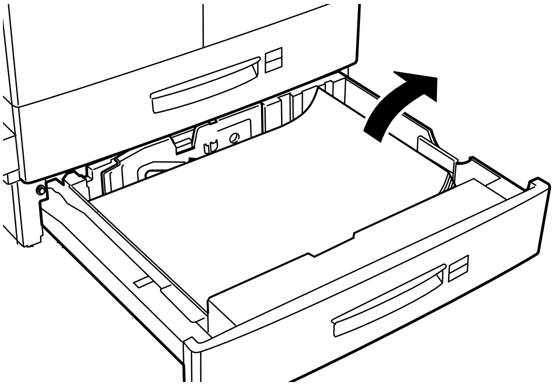


1　電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」（153 ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



2 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

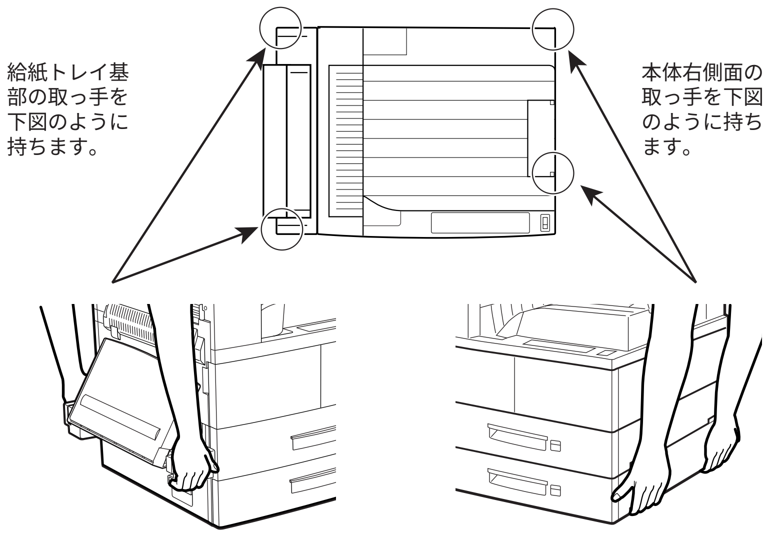
ガイド　用紙の保管については、「第２章　用紙について」（23ページ）を参照してください。

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠注意

け　が　プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約42kgあります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ左右の取っ手部分を両手でしっかりと持ってください。取っ手部分以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

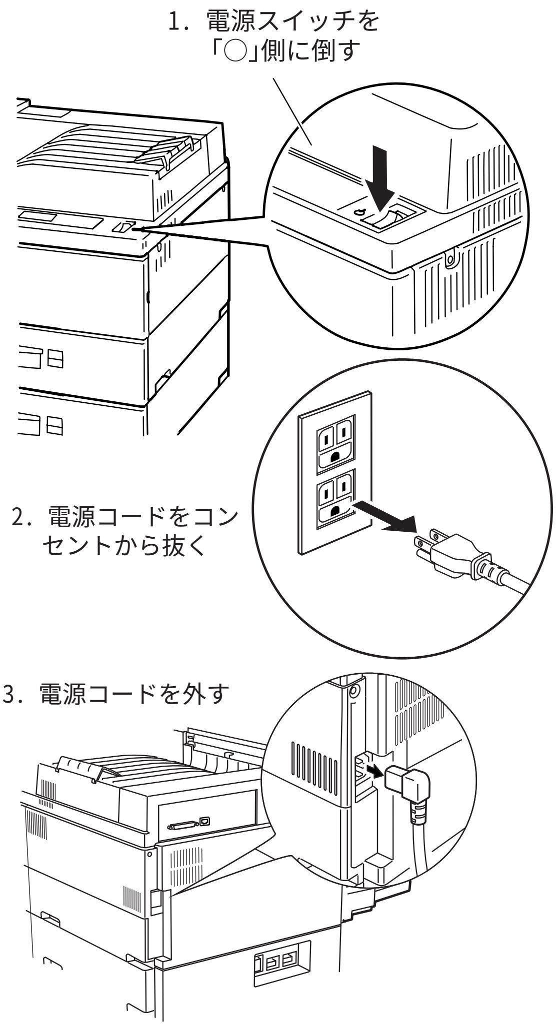


ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを、異なるフロアなど段差のある場所に移動する場合は、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

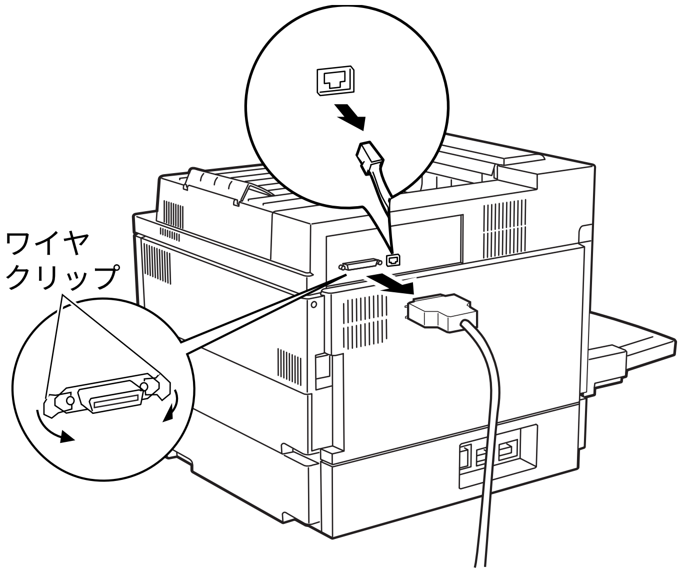


1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

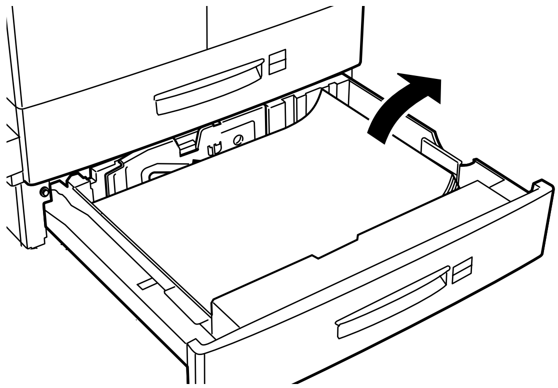
お願い

エラーメッセージが表示されているときは「エラーメッセージが表示されたとき」（153 ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。



2　プリンタケーブルを抜く

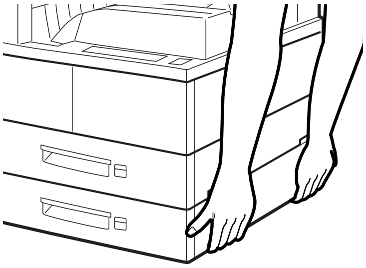
プリンタケーブルコネクタからプリンタケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合は、ケーブルを外します。

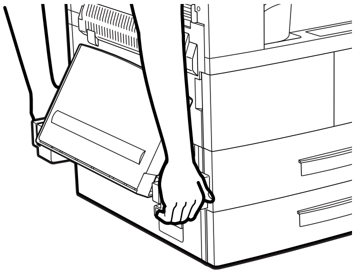


3　用紙を取り出す

用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイ、給紙カセットと排紙止めは閉じます。

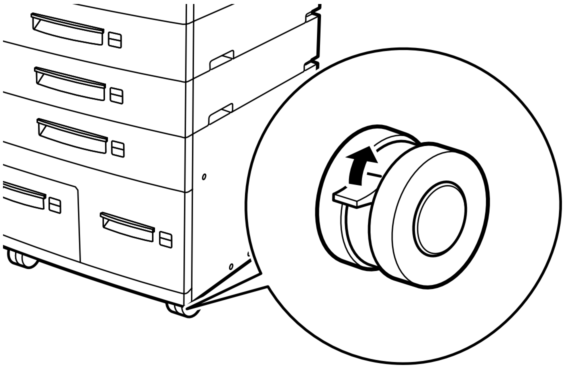
ガイド　用紙の保管については、「第２章　用紙について」(23ページ)を参照してください。





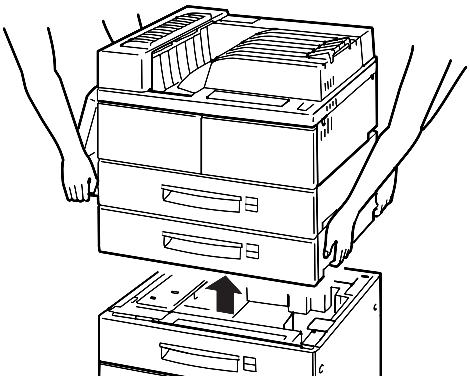
4 拡張給紙ユニットがない場合は、両側の取っ手部分に両手をしっかりとかけて、静かにプリンタを移動する

必要に応じて、台車を利用してください。
プリンタを長距離運搬するときは、傷がつかないように梱包してください。（「梱包して運搬する」（76 ページ）参照）



5 拡張給紙ユニットを装着している場合はそのまま移動する

拡張給紙ユニットが取り付けられている場合は、正面左右のキャスターのロックを外し、ゆっくりと押しながら移動します。
ただし、衝撃を避けるため、段差のある場所ではオプションを取り外し、プリンタを持って移動してください。



6 適切な場所にプリンタを設置し直す

お願い

設置し直すときの手順については、「設置手順」（32 ページ）を参照してください。

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。
給紙カセットは、本体に取り付けた状態で梱包してください。

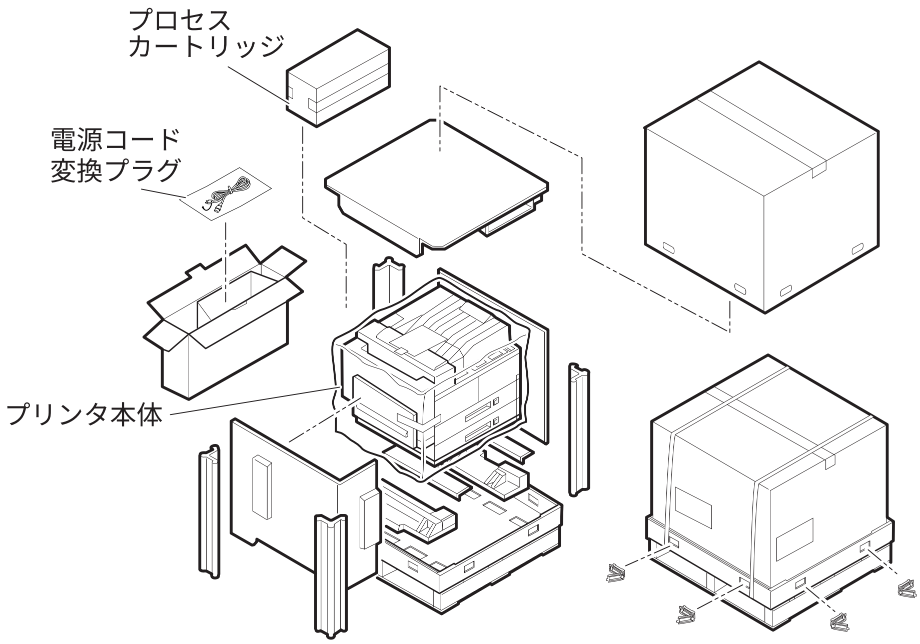
1 付属品を取り外す

「近くに移動する」の手順1～4（73ページ）に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（67ページ）も合わせて参照してください。

・梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
・プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。



第6章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

液晶ディスプレイの表示内容 78

オペレータパネルを操作する 80

オンライン状態とオフライン状態を切り替える .. 80

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える 80

縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を
一時的に変更する(メニュー印刷設定モード) ... 84

プリンタをリセットする 89

印刷を中止する 89

未印刷データを強制的に印刷する 90

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。１行16文字で２段に表示されます。通常時とPrintia XLドライバ印刷時とでは、表示内容が異なります。

障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「エラーメッセージが表示されたとき」（153ページ）を参照してください。

通常時の表示内容

●パソコンインタフェース

オンライン／オフラインを表示します。

- オフライン□：オフライン状態
- オンライン□：オンライン状態（データ未受信）
- オンライン１：オンライン状態（プリンタケーブル経由でのデータ受信）
- オンライン２：オンライン状態（LAN経由でのデータ受信）

●印刷状態

両面印刷を設定しているかどうかを表示します。（両面ユニット装着時）

- □：通常
- Ｄ：両面印刷

●状態表示

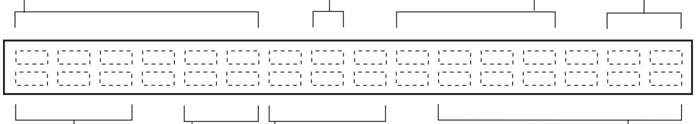
プリンタの状態を表示します。

- □□□□：レディ状態
- セーフ゛：パワーセーブ状態
- ウォーム：ウォームアップ状態

●動作モード

設定されているモードを表示します。

- ＥＰ：ESC/Pモード
- ＥＧ：ESC/Pageモード
- ＰＣ：PC-PR201モード
- ＶＦ：Virtual FMモード



●印刷方向

設定されている印刷方向を表示します。

- タテ□：縦方向印刷
- タテヨ：余白付き縦方向印刷
- ヨコ□：横方向印刷
- ヨコヨ：余白付き横方向印刷

●縮小印刷／ＨＥＸダンプ印刷

設定されている縮小印刷およびＨＥＸダンプ印刷を表示します。

- □□：100％印刷
- ７５：75％ 縮小印刷
- ７０：70％ 縮小印刷
- ＬＡ：リスト印刷A4
- ＬＢ：リスト印刷B4
- ＨＸ：ＨＥＸダンプ印刷

●消耗品

トナーの残量が少なくなったときに表示します。

- □□□：トナーがある状態
- トナー：トナーが残り少ない状態

●給紙口／用紙サイズ

設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。

- １－××××：カセット１
- ２－××××：カセット２
- ３－××××：カセット３
- ４－××××：カセット４
- ５－××××：カセット５
- Ｍ－××××：給紙トレイ

注：
- ××××には、現在セットされている用紙サイズ、または給紙トレイサイズで設定した用紙サイズを表示します。
- 『ハガキ』『フテイ』『ＬＧＬ』は、カセットのとき表示されません。
- 『Ａ５』は、カセット１のときのみ表示されます。
- 『Ａ３』と『Ｂ４』は、カセット４、５のとき表示されません。

××××

- 『Ａ３□□』：Ａ３用紙
- 『Ｂ４□□』：Ｂ４用紙
- 『Ａ４□□』：Ａ４用紙
- 『Ｂ５□□』：Ｂ５用紙
- 『Ａ５□□』：Ａ５用紙
- 『ＬＧＬ□』：リーガル用紙
- 『ＬＴＲ□』：レター用紙
- 『ハガ゛キ』：ハガキ用紙
- 『フテイ□』：不定形用紙

Printia XL ドライバ印刷時の表示内容

●パソコンインタフェース

オンライン／オフラインを表示します。
オフライン□：オフライン状態
オンライン□：オンライン状態
（データ未受信）
オンライン１：オンライン状態
（プリンタケーブル経由でのデータ受信）
オンライン２：オンライン状態
（LAN経由でのデータ受信）

●印刷状態

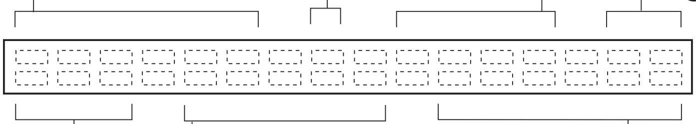
両面印刷を設定しているかどうかを表示します。
（両面ユニット装着時）
□：通常
Ｄ：両面印刷

●状態表示

プリンタの状態を表示します。
□□□□：レディ状態
セーブ゛：パワーセーブ状態
ウォーム：ウォームアップ状態

●動作モード

部単位印刷中の動作を表示します。
ＭＷ：部単位印刷時のメモリ書き込み中
ＭＲ：部単位印刷時のメモリ読み出し中



●給紙口／用紙サイズ

設定されている給紙口と用紙サイズを表示します。
１−××××：カセット１
２−××××：カセット２
３−××××：カセット３
Ｍ−××××：給紙トレイ

注：・××××には、現在セットされている用紙サイズ、または給紙トレイサイズで設定した用紙サイズを表示します。
・『ハガキ』『フテイ』『ＬＧＬ』は、カセットのとき表示されません。
・『Ａ５』は、カセット１のときのみ表示されます。
・『Ａ３』と『Ｂ４』は、カセット４、５のとき表示されません。

××××		
	『Ａ３□□』	：Ａ３用紙
	『Ｂ４□□』	：Ｂ４用紙
	『Ａ４□□』	：Ａ４用紙
	『Ｂ５□□』	：Ｂ５用紙
	『Ａ５□□』	：Ａ５用紙
	『ＬＧＬ□』	：リーガル用紙
	『ＬＴＲ□』	：レター用紙
	『ハカ゛キ』	：ハガキ用紙
	『フテイ□』	：不定形用紙

●描画位置

プリンタ内部でビットマップメモリに描画している状態を表わします。
□□□□□：描画開始前
▷▷▷▷▷：１ページ描画開始（※）
※20%データを処理するごとに左から▷が▶に変わります。

●消耗品

トナーの残量が少なくなったときに表示します。
□□□：トナーがある状態
トナー：トナーが残り少ない状態

ガイド　Printia XL ドライバ印刷時の縮小印刷、印刷方向、給紙口、用紙サイズは、パソコンで設定した内容に従います。

オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、給紙口を切り替えたり、用紙の印刷方向を切り替えたりするためにオペレータパネルを操作します。

オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの「オンライン」スイッチによって切り替えます。

オンライン状態

オンライン

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に「オンライン」スイッチを押すと、オンライン状態になります。

オフライン状態

オフライン

パソコンからのデータを受信できない状態をいいます。

オンライン状態のときに「オンライン」スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『ハイシュツショリチュウ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

印刷方向と給紙口を一時的に切り替える

オンライン状態のときに「給紙口」または「印刷方向」スイッチを押すと、一時的に設定を切り替えることができます。ただし、次の３つの場合は無効です。

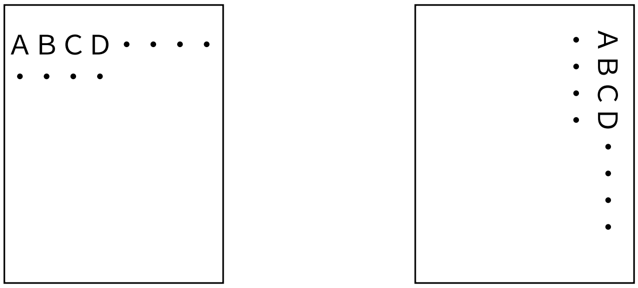
- 未印刷データがある場合（データランプ点灯中）
- オンライン状態で HEX ダンプ印刷設定中
- Printia XLドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されます。)

設定中は液晶ディスプレイに『インサツ　セッテイ』と表示されます。また、設定中に「オンライン」スイッチを押すと設定を終了し、オンライン状態に戻ります。

印刷方向を一時的に切り替える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するか否かを一時的に変更します。設定値は電源を切ると元に戻ります。

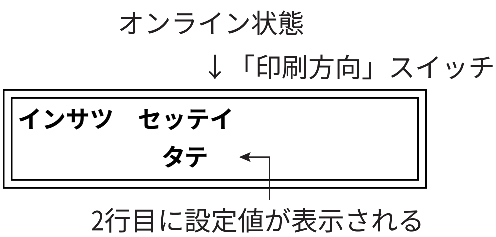
「印刷方向　縦」「印刷方向　横」は、それぞれ次のように印刷されます。



印刷方向　縦　　　印刷方向　横

印刷方向の切り替えかた

1 ***オンライン状態で　「印刷方向」スイッチを押し、目的の印刷方向を表示する***



スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の印刷方向が表示されるまで、「印刷方向」スイッチを押します。

選択できる設定値には、次の４種類があります。

設定値	機　能
タテ	縦方向で印刷します。
タテヨ	余白付きの縦方向で印刷します。
ヨコ	横方向で印刷します。
ヨコヨ	余白付きの横方向で印刷します。

2 ***「オンライン」スイッチを押して設定を確定する***

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の印刷方向に設定されます。

・余白なしの場合、上端および左端の余白は、次の値になります。

動作モード	印刷方向　縦		印刷方向　横	
	上端余白	左端余白	上端余白	左端余白
ESC/P モード(注)	8.5 または 22㎜	5 ㎜	8.5 または 22㎜	5 ㎜
ESC/Page モード	5 ㎜	5 ㎜	5 ㎜	5 ㎜
PC-PR201 モード	5 ㎜	7.9㎜	7.9㎜	5 ㎜
Virtual FM モード	5 ㎜	5 ㎜	5 ㎜	5 ㎜

注：ESC/P モードの上端余白（印刷方向の縦／横とも）は、「給紙位置」（124 ページ）の設定値になります。

・余白付きの場合、「余白設定」（101、105、106 ページ）で設定した「上端」および「左端」の値に従って印刷されます。余白付きはESC/P、PC-PR201、および Virtual FM モード時に有効になります。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、印刷方向を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

ガイド

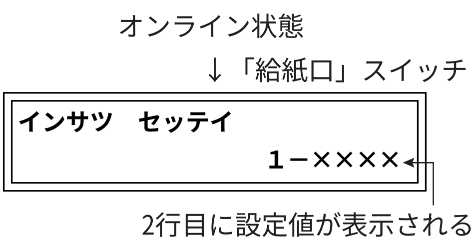
縮小印刷の表示が『ＬＡ』、『ＬＢ』または『ＨＸ』の場合は、印刷方向を切り替えることができません。

給紙口を一時的に切り替える

用紙を供給する場所を一時的に切り替えます。設定値は電源を切ると元に戻ります。

給紙口の切り替えかた

1　***オンライン状態で　「給紙口」スイッチを押し、目的の給紙口を表示する***



スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の給紙口が表示されるまで、「給紙口」スイッチを押します。

設定値(＊1)	機　能
１－××××	給紙カセット１から給紙します。
２－××××	給紙カセット２から給紙します。
３－××××	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 給紙カセット３から給紙します。
４－××××	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 給紙カセット４から給紙します。
５－××××	拡張給紙ユニットが取り付けられているときに表示されます。 給紙カセット５から給紙します。
Ｍ－××××	給紙トレイから給紙します。

（＊1）××××には、次の用紙サイズが表示されます。

Ａ３：Ａ３縦	Ｂ５　：Ｂ５横	ＬＴＲ　：レター横
Ｂ４：Ｂ４縦	Ａ５　：Ａ５横	ハガﾞキ：ハガキ縦
Ａ４：Ａ４横	ＬＧＬ：リーガル縦	フテイ　：不定形用紙

「ハガキ」「フテイ」「ＬＧＬ」は、給紙カセットのとき表示されません。
「Ａ５」は、給紙カセット１のときのみ表示されます。
「Ａ３」と「Ｂ４」は、給紙カセット４、５のとき表示されません。

2　「オンライン」スイッチを押して設定を確定する

「オンライン」スイッチを押すと、表示中の給紙口に設定されます。

お願い

プリンタ内に未印刷のデータがあるときは、給紙口を切り替えることはできません。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。

縮小印刷、用紙サイズ、印刷部数、両面印刷を一時的に変更する(メニュー印刷設定モード)

メニュー印刷設定モードでは、次の設定ができます。

- 縮小印刷 .... 縮小印刷の種類を、一時的に切り替える
- 給紙トレイサイズ .. 給紙トレイから印刷する用紙のサイズを、一時的に切り替える
- 不定形サイズ ...... 給紙トレイで不定形用紙を使うときの用紙サイズを、一時的に切り替える
- コピー枚数 .... 印刷部数を一時的に切り替える
- 両面印刷 .... 両面ユニット装着時に両面印刷を行うかどうかを一時的に切り替える
- 綴じしろ方向 ...... 両面印刷のときに、用紙の長辺側と短辺側のどちらを綴じしろにするかを一時的に切り替える
- 綴じしろモード .... 両面印刷のときの表面の綴じしろ位置を一時的に切り替える
- 綴じしろ量 .... 両面印刷のときの綴じしろ量を一時的に切り替える

メニュー印刷設定モードで設定した内容は、プリンタの電源を切ると元の設定に戻ります。

ガイド

次の場合、メニュー印刷設定モードは無効です。

- 未印刷データがある場合(データランプ点灯中)
- オンライン状態でHEXダンプ印刷設定中
- Printia XLドライバで印刷中(ドライバの設定が優先されます。)

メニュー印刷設定モードの操作方法

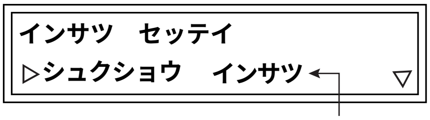
オンライン状態
↓「メニュー」スイッチ

```
インサツ　セッテイ
▷シュクショウ　インサツ　　▽
```

1　オンライン状態で「メニュー」スイッチを押す

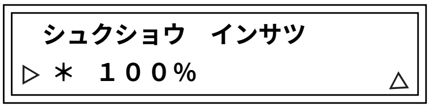
メニュー印刷設定モードに入り、液晶ディスプレイに「インサツ　セッテイ」と表示されます。

↓「▶」または「◀」スイッチ



設定項目が切り替わる

↓「▼」スイッチ



2 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定項目が表示されたら「▼」スイッチを押します。不定形サイズまたは綴じしろ量を設定するときにのみ、さらに「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の項目を選び、「▼」スイッチを押します。

↓「▶」または「◀」スイッチ



設定値が切り替わる

3 「▶」または「◀」スイッチを押し、目的の設定値を表示する

スイッチを押すたびに、液晶ディスプレイの表示が変わります。目的の設定値が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

↓「設定」スイッチ
↓「オンライン」スイッチ

4 「設定」スイッチを押して、値を確定する

目的の設定値を表示させて、「設定」スイッチを押すと、設定値の値の前に「＊」が表示され、その値が設定されます。

5 「オンライン」スイッチを押して、メニュー印刷設定モードを終了させる

メニュー印刷設定モードで設定できる項目と値の一覧を、次の表に示します。

設定項目	設定値	機　能
ｼｭｸｼｮｳ　ｲﾝｻﾂ	100%	縮小せずに印刷します。メニュー印刷設定モードを解除すると、液晶ディスプレイの表示は『□□』となります。
	75%	75%に縮小して印刷します。
	70%	70%に縮小して印刷します。
	ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　A4	ストックフォーム用印刷データを 75%に縮小し、A4 用紙に横方向で印刷します。
	ﾘｽﾄｲﾝｻﾂ　B4	ストックフォーム用印刷データを B4 用紙に横方向で印刷します。
ｷｭｳｼﾄﾚｲ　ｻｲｽﾞ	Ａ４	A4 サイズに設定します。
	Ｂ５	B5 サイズに設定します。
	Ａ５	A5 サイズに設定します。
	ﾘｰｶﾞﾙ	リーガルサイズに設定します。
	ﾚﾀｰ	レターサイズに設定します。
	ﾊｶﾞｷ	ハガキに設定します。
	ﾌﾃｲｹｲ	不定形用紙に指定します。 不定形用紙のサイズは『フテイケイ　サイズ』で設定します。
	Ａ３	A3 サイズに設定します。
	Ｂ４	B4 サイズに設定します。
ﾌﾃｲｹｲ　ｻｲｽﾞ　ﾌﾃｲｹｲ　ﾀﾃ	×××　mm	不定形用紙の縦と横の長さを指定します。１mmずつ「 ▶」スイッチで加算、「◀ 」スイッチで減算します。 スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに速くなります。） 「 ▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「 ▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 「◀ 」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀ 」スイッチを押すと最大値を表示します。 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は次ページの※を参照してください。
ﾌﾃｲｹｲ　ﾖｺ	×××　mm	

設定項目		設定値	機　能
ｺﾋﾟｰ ﾏｲｽｳ		××　ﾏｲ	印刷する部数を設定します。初期値は１枚です。１枚ずつ「▶」スイッチで加算、「◀ 」スイッチで減算します。スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに速くなります。） 「 ▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「 ▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 「◀ 」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀ 」スイッチを押すと最大値を表示します。 設定範囲は１枚から 99 枚です。
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ		ｶｲｼﾞｮ	両面印刷を行いません。
		ｾｯﾃｲ	両面印刷を行います。
ﾄｼﾞｼﾛ ﾎｳｺｳ		ﾁｮｳﾍﾝ ﾄｼﾞ	両面印刷のときに、長辺側を綴じしろにします。
		ﾀﾝﾍﾟﾝ ﾄｼﾞ	両面印刷のときに、短辺側を綴じしろにします。
ﾄｼﾞｼﾛ ﾓｰﾄﾞ		ﾋﾀﾞﾘ/ｳｴ ﾄｼﾞ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を左／上にします。
		ﾐｷﾞ/ｼﾀ ﾄｼﾞ	両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を右／下にします。
ﾄｼﾞｼﾛ ﾘｮｳ	ｵﾓﾃ	XX㎜	両面印刷のときの表と裏の綴じしろ量を設定します。1㎜ずつ「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
	ｳﾗ	XX㎜	スイッチを押している時間により、加算減算の速度を加減します。（はじめはゆっくり、しだいに早くなります。） 「 ▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「 ▶」スイッチを押すと最小値を表示します。 「◀ 」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀ 」スイッチを押すと最大値を表示します。 設定範囲は０～30㎜です。

※ 不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm～ 420 mm	100 mm～ 297 mm
初期値	420 mm（Ａ３相当）	297 mm（Ａ３相当）

ガイド

・メニュー印刷設定モードのときに「オンライン」スイッチを押すと、メニュー印刷設定モードを終了し、オンライン状態に戻ります。
・設定値は電源を切ると元に戻ります。
・プリンタ内に未印刷データがあると、設定を切り替えることができない場合があります。「排出」スイッチで未印刷データを強制印刷してから切り替えてください。
・縮小印刷の切り替えについて
  ・ESC/Pageモードでは、縮小印刷の「リストインサツ　A4」「リストインサツ　B4」は表示されません。
  ・縮小印刷の表示が「リストインサツ　A4」「リストインサツ　B4」のときは、コマンドでESC/Pageモードへ移行することはできません。
  ・縮小印刷を「リストインサツ　A4」「リストインサツ　B4」に設定し、プリンタに設定値を登録した場合、セットアップの「エミュレーション設定」をESC/Pageモードに切り替えると、縮小印刷は「□□」に切り替わります。
・コピー枚数(印刷部数)の設定では、COPYコマンドが優先するため、設定した枚数が印刷されない場合があります。
・両面印刷は、はがき、不定形用紙では無効となります。
・両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については、「両面印刷と綴じしろ位置」（99ページ）をご覧ください。

お願い

給紙トレイサイズで設定した用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

プリンタをリセットする

プリンタをリセット（初期化）します。
リセットすると未印刷データは消去されます。

ガイド プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタをリセットすると、未印刷データは消去されます。
リセット後、動作モード表示（78ページ）にEP、EG、PC、VFのいずれかが表示されていないとき、再度プリンタをリセットしてください。

オンライン状態
↓「オンライン」スイッチ

オフライン

1 「オンライン」スイッチを押してオフライン状態にする

↓「リセット」スイッチ

ショキカ　シマスカ？

2 「リセット」スイッチを押す

ガイド 初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

↓「リセット」スイッチ

ショキカチュウ

3 再度、「リセット」スイッチを押す

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、「オンライン」スイッチを押します。

印刷中
↓「オンライン」スイッチ

ハイシュツ　ショリチュウ

↓
オフライン状態

1 「オンライン」スイッチを押す

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

続いて初期化する場合は、前項の「プリンタをリセットする」の手順2と3の操作を行います。

未印刷データを強制的に印刷する

プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。

本プリンタは、パソコンから１ページ分のデータを受信したとき、または排出コマンドを受信したときに、初めて印刷を実行します。したがって、データを受信しても１ページに満たない状態や排出コマンドを受信していない状態では、データがプリンタ内に残っています。

強制印刷をする

次のようなときに強制印刷をします。
・データランプが点灯したままで印刷しないとき
・パソコンからのデータ受信を中断し、強制的に印刷させるとき

ガイド　データのないとき（データランプ消灯時）は、強制印刷できません。

強制印刷は、以下の手順で行います。

オンライン状態
↓「オンライン」スイッチ

オフライン

↓「排出」スイッチ

ハイシュツ　ショリチュウ

1 ***「オンライン」スイッチを押し、オフライン状態にする***

2 ***「排出」スイッチを押す***
印刷された用紙が排出され、データランプは点灯から消灯に変わります。

強制印刷を中断する

強制印刷を中断するには、用紙を排出中にもう一度「排出」スイッチを押します。強制印刷を中断し、印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になります。

強制印刷を取り消す

強制印刷を取り消すには、用紙を排出中に「リセット」スイッチを押します。現在印刷中の用紙を排出したあとオフライン状態になり、液晶ディスプレイに『ショキカシマスカ？』と表示されます。

初期化するときは、再度、「リセット」スイッチを押します。強制印刷は取り消され、初期化されます。

初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押します。再び強制印刷が実行されます。

第7章

設定値を変える

本プリンタの持つ機能は、セットアップで変更します。この章では、セットアップで設定できる内容と、設定の操作について説明します。

セットアップ項目について 95

メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する 95
テスト印刷 ～ テスト印刷をする 95
エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える ... 96
印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える 96
EP モード設定 ～ ESC/P モードの印刷条件を設定する 100
EG モード設定 ～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する 102
PC モード設定 ～ PC-PR201 モードの印刷条件を設定する 103
VF モード設定 ～ Virtual FM モードの印刷条件を設定する ... 106
環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える .. 109
補助機能設定 ～ 補助機能を設定する 112
登録 ～ 設定値を登録する 115
保守モード ～ 保守モードを設定する 115
印字濃度調整 ～ 印刷濃度を調整する 115
LAN 設定 115

次ページに続く

設定の変更手順(セットアップの操作方法) . . 118
基本的な操作 118
選んだ項目に設定する操作 118
数値を設定する操作 120
メニュー印刷やテスト印刷を行う操作 120
HEX ダンプ印刷を行う操作 121
セットアップ項目一覧 122

セットアップ項目について

プリンタの設定値は、セットアップモードで変更することができます。ここでは、セットアップモードで設定できる各項目について説明します。

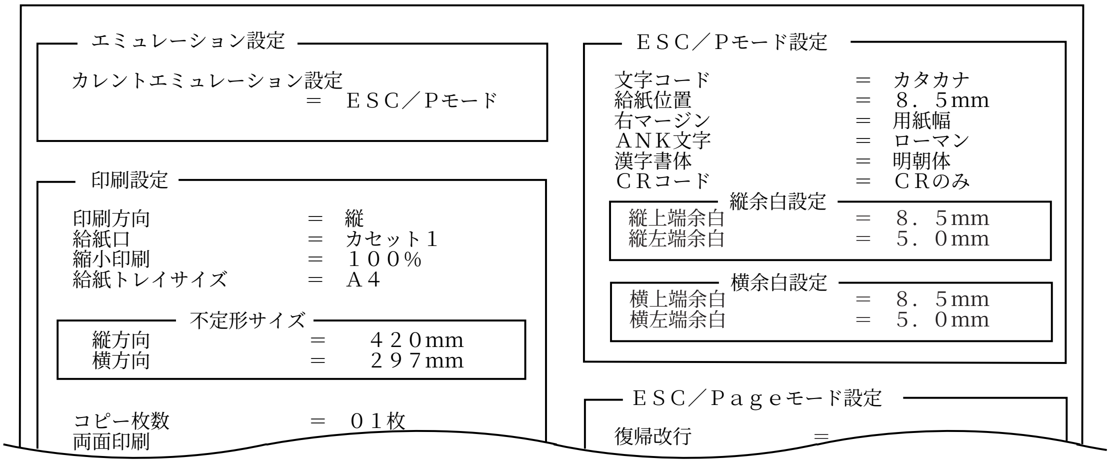
メニュー印刷 ～ 設定内容を印刷する

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。メニュー印刷には「設定の印刷」「LANの印刷」の２種類があります。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。（ただしA5まで）

LAN設定で「TCP/IP」および「NetWare」を「無効」にしたとき、「LANの印刷」は印刷しません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

ガイド　両面印刷の場合、「システム情報」の「総印刷枚数」は表・裏が１枚ずつ加算されます。



テスト印刷 ～ テスト印刷をする

ANK文字（英数字、記号）や、各種の漢字文字によるテスト印刷を行います。印刷は現在選択している給紙口の用紙に行います。

エミュレーション設定 ～ 動作モードを切り替える

プリンタの動作モード（エミュレーションモード）を切り替えます。

本プリンタには、次のエミュレーションモードがあります。
・ESC/P モード .... セイコーエプソン VP-1000 相当
・ESC/Page モード .... セイコーエプソン LP-8000S 相当
・PC-PR201 モード .... 日本電気 PC-PR201 系シリアルプリンタ相当
・Virtual FM モード .. 富士通FMLBP121相当（ネットワーク経由で利用可能な FM シーケンス（240dpi のみ））

お願い

ESC/P、ESC/Page、PC-PR201、Virtual FM の各エミュレーションモードから Printia XL ドライバへの切り替えは、印刷を実行する際に自動的に行われます。オペレータパネルで設定する必要はありません。

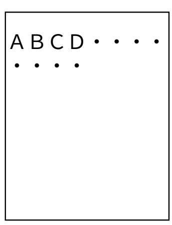
印刷設定 ～ 印刷のときの設定を変える

印刷の際に必要な設定値を変えます。

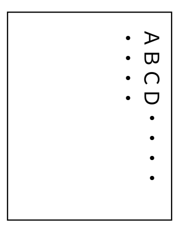
項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

印刷方向 ～ 印刷方向を変える

印刷する向きが縦か横か、また余白付きで印刷するかどうかを設定します。



印刷方向　縦



印刷方向　横

ガイド

・「ＬＡ（リスト印刷 A4)」、「ＬＢ（リスト印刷 B4)」または「ＨＸ（HEXダンプ印刷)」が設定されている場合は、印刷方向を切り替えることはできません。
・余白付きの設定は、ESC/P、PC-PR201、および Virtual FM モードのとき、有効になります。

給紙口 ～ 給紙口を変える

給紙カセット１～５（３～５はオプション)および給紙トレイのどの給紙口から給紙するかを設定します。

ガイド　自動的に用紙の選択をする方法は、「自動給紙」(129 ページ)で設定します。

縮小印刷 ～ 縮小印刷を指定する

縮小印刷の種類を設定します。100%、75%、70%、およびストックフォーム用印刷データの縮小印刷について設定できます。

ガイド
- ESC/Pageモードでは、ストックフォーム用印刷の設定(リスト印刷)は設定できません。
- ESC/Page モードのときに 75% または 70% に設定すると、用紙サイズ設定コマンドは無視され、現在の給紙口から印刷されます。

給紙トレイサイズ ～ 給紙トレイの用紙サイズを変える

給紙トレイから印刷するときの用紙のサイズを設定します。

お願い

セットした用紙よりも大きなサイズのデータを印刷すると、印字汚れなどの原因となりますので注意してください。

不定形サイズ ～ 不定形用紙のサイズを設定する

給紙トレイで不定形用紙を使うときに、その用紙のサイズを設定します。用紙の縦と横それぞれについて、mm 単位の３桁で設定します。

不定形用紙サイズとして設定できる値の範囲は、次のとおりです。

	縦	横
設定範囲	148 mm～ 420 mm	100 mm～ 297 mm
初期値	420 mm（A ３相当）	297 mm（A ３相当）

コピー枚数 ～ 印刷する部数を設定する

印刷する部数を、１枚～99枚までの範囲で設定します。

ガイド　本設定とCOPYコマンドによる設定では、後からの設定が有効となります。このため、設定した枚数が印刷されない場合があります。

両面印刷 ～ 両面印刷を設定する

両面ユニット装着時に、両面印刷を行うかどうかを設定します。

ガイド　はがき、不定形用紙は、両面印刷を設定しても無効です。

綴じしろ方向 ～ 両面印刷の綴じしろ方向を設定する

両面印刷のときに、用紙の長辺側と短辺側のどちらを綴じしろにするかを設定します。

ガイド　両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については、「両面印刷と綴じしろ位置」（99ページ）をご覧ください。

綴じしろモード ～ 両面印刷の表面の綴じしろ位置を設定する

両面印刷のときの、表面の綴じしろ位置を設定します。

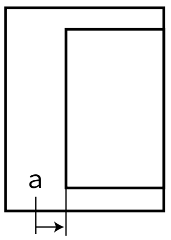
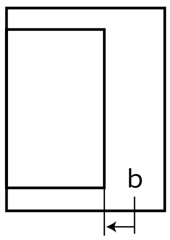
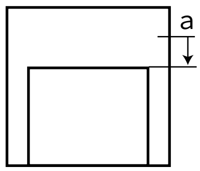
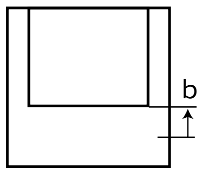
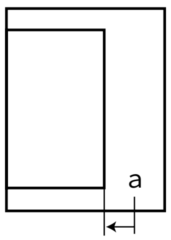
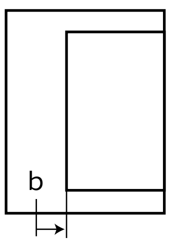
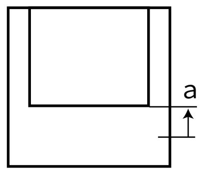
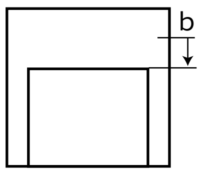
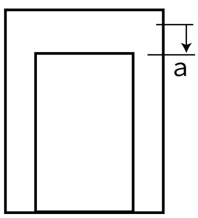
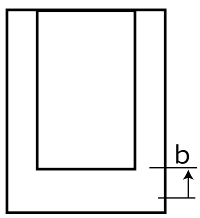
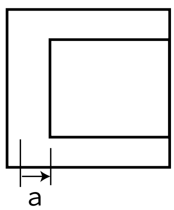
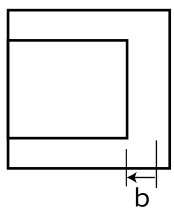
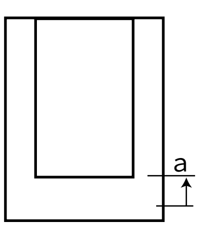
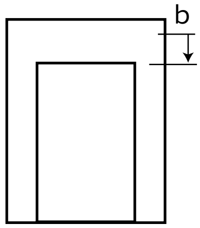
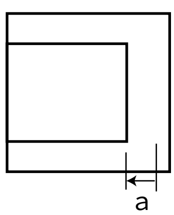
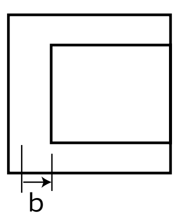
ガイド
- 本設定により、裏面の綴じしろ位置は、表面と反対側になります。
- 両面印刷のときの綴じしろ方向と綴じしろモードの関係については「両面印刷と綴じしろ位置」（99ページ）をご覧ください。

綴じしろ量 ～ 両面印刷の綴じしろ量を設定する

両面印刷のときの綴じしろ量を、１㎜単位で設定します。綴じしろ量は、0～30㎜の範囲で設定できます。

【両面印刷と綴じしろ位置】

（表綴じしろ量：a、裏綴じしろ量：b）

		綴じしろ位置			
画面印刷	綴じしろモード	印刷方向　縦		印刷方向　横	
		表	裏	表	裏
長辺綴じ	左／上綴じ				
	右／下綴じ				
短辺綴じ	左／上綴じ				
	右／下綴じ				

EP モード設定 ～ ESC/P モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/P モードで使うときの印刷条件を設定します。

文字コード ～ 文字コード表を指定する

英数カナ文字コード部分のコード表を指定します。

給紙位置 ～ 印刷開始位置を設定する

用紙の印刷開始位置を設定します。

右マージン位置 ～ 右マージンを設定する

用紙の右マージンを設定します。

ANK 文字～ ANK 文字の書体を設定する

使用する ANK 文字（英数字、記号）の書体を設定します。

漢字書体～ 漢字の書体を設定する

使用する漢字の書体を設定します。

CR コード～ CR(復帰コード)の動作を設定する

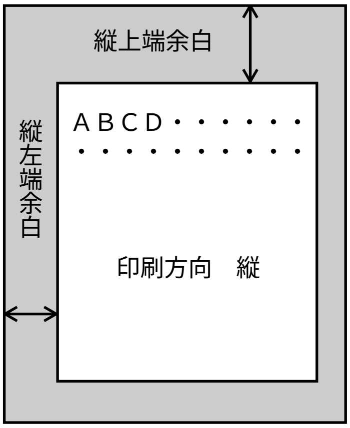
CR(復帰コード)の動作に、改行動作を加えるかどうかを設定します。

縦余白設定 ～ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。

「給紙位置」（124ページ）の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5㎜	8.5～50㎜	5～50㎜
22㎜	22～50㎜	5～50㎜

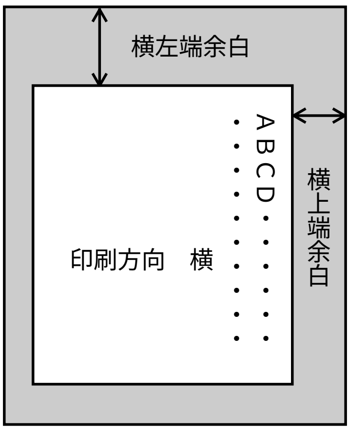


横余白設定 ～ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。

「給紙位置」（124ページ）の設定により、次の範囲で値を設定できます。

給紙位置の設定	上端余白	左端余白
8.5㎜	8.5～50㎜	5～50㎜
22㎜	22～50㎜	5～50㎜



EG モード設定
～ ESC/Page モードの印刷条件を設定する

プリンタを ESC/Page モードで使うときの印刷条件を設定します。

復帰改行 ～ 自動的に復帰改行する

自動復帰改行動作を行うかどうかを設定します。

自動復帰改行とは、印刷データが用紙の右端を超えたときに、自動的に改行し、印刷位置を次の行の先頭に移動することをいいます。

改ページ ～ 自動改ページの動作を設定する

印刷データが用紙の下端を超えたときに、自動的に改ページするかどうかを設定します。

CR コード ～ CR（復帰コード）の動作を設定する

CR（復帰コード）の動作に改行動作を加えるかどうかを設定します。

LF コード ～ LF（改行コード）の動作を設定する

LF（改行コード）の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

FF コード ～ FF（改ページコード）の動作を設定する

FF（改ページコード）の動作に復帰動作を加えるかどうかを設定します。

エラーコード ～ 未定義文字の処理を設定する

未定義文字を受信したときの動作を設定します。

イメージパターン ～ イメージパターンを設定する

イメージデータを補正するかどうかを設定します。イメージデータの印刷品質が悪い場合に補正すると、アプリケーションによっては品質が向上することがあります。

メモリオーバー解除
〜 メモリオーバーエラーの自動解除を設定する

メモリオーバーエラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除し、印刷処理を続行するかどうかを設定します。

メモリオーバーエラーとは、外字／マクロ／オーバレイなどを登録するためのメモリが容量不足になることをいいます。

給紙トレイ番号 〜 給紙トレイ番号を設定する

給紙装置選択コマンドにおいて、拡張設定を行います。

お願い

本設定は変更しないでください。

PC モード設定
〜 PC-PR201 モードの印刷条件を設定する

プリンタを PC-PR201 モードで使う場合の印刷条件を設定します。

１バイト系ゼロ
〜 １バイト系コードの０（ゼロ）の書体を設定する

１バイト系コード文字(ANK文字)の数字0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

２バイト系ゼロ
〜 ２バイト系コードの０（ゼロ）の書体を設定する

２バイト系コード文字(かな漢字文字)の数字0(ゼロ)に使用する書体を設定します。

ANK 文字 〜 ANK 文字を設定する

ANK 文字に使用する書体を設定します。

漢字書体 ～ 漢字書体を設定する

かな漢字文字の書体を設定します。

漢字文字サイズ ～ 漢字文字サイズを設定する

かな漢字文字のサイズを設定します。

各国文字 ～ 各国文字を設定する

国別文字コードを設定します。

136/LM 設定 ～ 136/LM 設定モードを指定する

印刷位置の設定方法を選択します。

LM 位置設定 ～ LM 位置を設定する

用紙の最左端印刷位置を基準として、印刷開始位置までの左マージン量（LM 位置）を設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「LM 初期設定」を選択したときに有効になります。

用紙位置設定 ～ 用紙位置を設定する

用紙位置を左合わせにするか、中央合わせにするかを設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

書出し桁位置設定 ～ 書出し桁位置を設定する

用紙位置の微調整が必要なときに、書出し桁位置を左右方向へ1/10インチ単位で設定します。

本設定は、「136/LM 設定」で「136 桁モード」を選択したときに有効になります。

自動CR & LF ～ 自動CR & LFの動作を設定する

印字データが右側の印刷可能範囲を超えたとき、自動的に復帰改行動作をするか、復帰のみの動作をするかを設定します。

印刷指令 ～ 印刷指令を設定する

印刷指令の制御コードをCRコードのみとするか、CRコード＋その他とするかを設定します。

CRコード ～ CR（復帰コード）の動作を設定する

CRコードを受けたときに改行動作を加えるかどうかを設定します。

グラフィックモード ～ グラフィックモードを設定する

グラフィックの横方向のドットピッチを設定します。

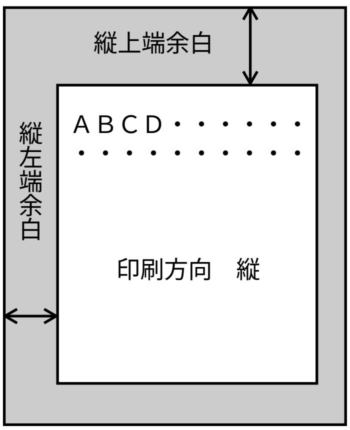
コード系 ～ コード系を設定する

使用するコード系を、８ビット系にするか、７ビット系にするかを設定します。

縦余白設定 ～ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。

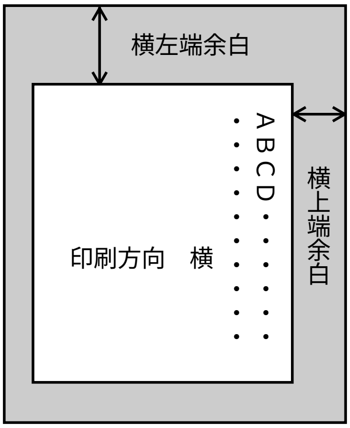
上端余白は5～50㎜、左端余白は7.9～50㎜の範囲で設定できます。



横余白設定 ～ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。

上端余白は7.9～50㎜、左端余白は5～50㎜の範囲で設定できます。



VF モード設定 ～ Virtual FM モードの印刷条件を設定する

プリンタをVirtual FMモードで使うときの印刷条件を設定します。

漢字書体 ～ 漢字の書体を設定する

使用する漢字の書体を設定します。

文字コード体系 ～ 文字コード体系を設定する

13～15区の文字を、富士通コード（半角漢字）で印刷するか、MS標準コード（全角漢字）で印刷するかを設定します。

漢字文字サイズ ～ 漢字文字サイズを設定する

かな漢字文字のサイズを設定します。

オーバーマーク印刷 ～ オーバーマーク印刷を設定する

オーバーマークを印刷するかどうか、オーバーマークに使用する記号は何にするかを設定します。

オーバーマークとは、印刷できないデータがあったとき、その行の右端に重ね印刷するマークです。

行ピッチ ～ 行間隔を設定する

１インチに印刷する行数を設定します。

ANK 文字ピッチ ～ ANK 文字の文字間隔を設定する

ANK 文字の文字ピッチ（１インチに印刷する文字数）を設定します。

スケーラブル文字 ～ スケーラブル文字の範囲を設定する

スケーラブル文字を、ドット文字とアウトライン文字のどちらの範囲で使用するか、設定します。

設定により使用できる文字サイズと強調の種類は次のようになります。

	無効	有効
文字サイズ	7／9／10.5／12 ポ	0.1～999.9 ポ
縮小／拡大	50、100、200%	1～999%
強調	アンダーライン、ボールド、イタリック、ストライクアウト	

スケーラブル文字の設定は、を、ドット文字とアウトライン文字のどちらの範囲で使用するか、設定します。

優先文字 ～ ドット文字とアウトライン文字の優先を設定する

ドット文字とアウトライン文字のどちらを優先させるかを設定します。

禁止文字 ～ 使用できない文字を設定する

次の文字それぞれについて、使用を禁止するか、しないかを設定します。

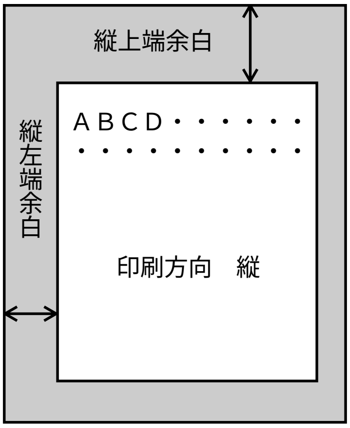
明朝７ポイント、明朝９ポイント、明朝 12 ポイント、アウトラインフォント

DPI エラー解除 ～ 解像度エラーを自動的に解除する

VF コマンド受信中に 400dpi 解像度指定コマンドを受信したとき、自動的にエラー状態を解除するかどうかを設定します。

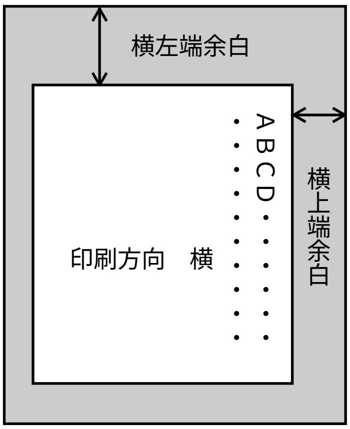
縦余白設定 ～ 縦印刷のときの余白を設定する

縦印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。
5～50㎜の範囲で値を設定できます。



横余白設定 ～ 横印刷のときの余白を設定する

横印刷のときの余白を、0.1㎜単位で設定します。
5～50㎜の範囲で値を設定できます。



VF 専用登録域 ～ VF モードの専用登録域を設定する

Virtual FM モードでの専用登録域を、128KB 単位で 0 ～ 4096KB の範囲で設定します。

ガイド　VF専用登録域を0KBにしても、オーバレイ印刷は可能です。ただし、エミュレーション切り替えやポート切り替えに対しては、専用登録域をプリンタに記憶させることはできません。プリンタに記憶させたい場合は、専用登録域の確保が必要です。

環境設定 ～ 日常の操作に必要な設定値を変える

日常操作する際に必要な設定を変更します。項目の中には、パソコンからのコマンドで設定できるものもあります。両方で設定したときは、後からの設定が有効になります。

スムージング ～ 印刷結果を滑らかにする

文字や図形のギザギザ（ジャギー）を滑らかにして印刷するかどうかを設定します。

トナーセーブ ～ トナーを節約する

印刷時のトナー量を少なくして、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

ガイド　トナーセーブを行う設定にしたときは、印刷品質は保証できませんのでご注意ください。

自動給紙 ～ 自動的に給紙する

選択されているカセットの用紙がなくなったときに、他のカセットまたは給紙トレイから給紙するかどうかを設定します。またコマンドで指定した用紙サイズ／給紙口／印刷方向に関して、給紙口の自動選択を行います。

ブザー ～ ブザー鳴動を設定する

紙づまりが発生したり、給紙カセット内の用紙がなくなったりなど、アラームが発生したとき、ブザーを鳴らすかどうか設定します。アラームが発生してもブザーが鳴らないように設定を変えることができます。

タッチ音 ～ タッチ音の設定をする

オペレータパネルのスイッチを押すとタッチ音が鳴るようにするか、しないかを設定します。

データ保証 ～ 紙づまりのデータを保証する

データ保証をするかどうかを設定します。

データ保証とは、紙づまりが発生したときに、そのデータをもう一度印刷し直す機能をいいます。

ガイド

データ保証を「解除」すると、紙づまりが発生したときに、そのページが抜けてしまいます。
両面印刷のデータ保証は、「設定」となります。

データなし印刷 ～ 印刷データのないページを印刷する

データのないページを印刷(白紙印刷)するかどうかを設定します。

データのないページとは、パソコンから受信したデータが改ページをともなったコマンドのみで、印刷するデータがないページのことをいいます。

タイマー監視 ～ タイマー監視印刷を指定する

タイマー監視印刷をするかどうかを設定します。

タイマー監視印刷とは、プリンタがパソコンから最後のデータを受信してから一定時間内に後続のデータが送られなかったとき、今まで受信したデータを自動的に印刷する機能をいいます。
ただし、Printia XL ドライバ印刷時には、本設定は無効となります。

お願い

タイマー監視印刷を指定すると、パソコンの状態や、アプリケーションの動作速度によっては、ページの途中で用紙が排出されてしまうことがあります。このような場合は、タイマー監視印刷を解除するか、設定時間を長くしてください。

給紙トレイ印刷 ～ 用紙サイズの優先を設定する

給紙トレイの用紙サイズについて、コマンドと設定のどちらを優先するかを指定します。

コマンド優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っていても強制的にパソコンで指定した用紙サイズで印刷する機能です。

また、設定優先とは、オペレータパネルで指定した用紙サイズと違っている場合には「用紙サイズ不一致」アラームを表示する機能です。

オフセット排紙 ～ オフセット排紙を設定する

オフセット排紙を行うかどうかを設定します。

オフセット排紙とは、印刷ジョブごとに、用紙を排出する位置を交互にずらす機能です。

ガイド

- はがきおよび不定形用紙のときは、オフセット排紙は行いません。
- オフセット排紙は、排紙トレイに排出するときに有効です。

メモリ不足解除　～　メモリ不足エラーを自動的に解除する

両面印刷時にメモリ不足が発生したときにエラー状態を自動的に解除するかどうかを設定します。

本プリンタは、両面印刷時メモリ不足が発生すると、メッセージを表示し、ブザーを鳴動します。この場合に、何かスイッチ操作が行われるまで処理を停止するか、３秒間メッセージを表示した後に処理を続行するかを設定します。
ただし、Printianavi を利用している場合、自動的に解除されます。

補助機能設定　～　補助機能を設定する

プリンタを使用する上での、補助的な機能について設定します。

パワーセーブ時間　～　消費電力を節約する

パワーセーブを行うかどうかを設定します。また、パワーセーブを行うまでの時間を設定します。

パワーセーブとは、一定時間印刷しなかった場合に、定着器の電源を自動的に切断し、消費電力を節約する機能です。

ガイド　プリンタがパワーセーブ状態になると、液晶ディスプレイに『セーフ゛』と表示されます。パワーセーブ機能によって切断された定着器の電源は、次に印刷するときに自動的に投入されます。定着器の電源が投入されてから実際に印刷が始まるまでは、約60秒かかります。この間、液晶ディスプレイには『ウォーム』と表示されます。

ポート切替時間　～　ポート切替時間を設定する

ポート切替を行うまでの時間を30～3600秒（10秒単位）の範囲で指定します。

ポート切替とは、一定時間印刷しなかった場合に他のポートからの印刷を可能にする機能のことをいいます。

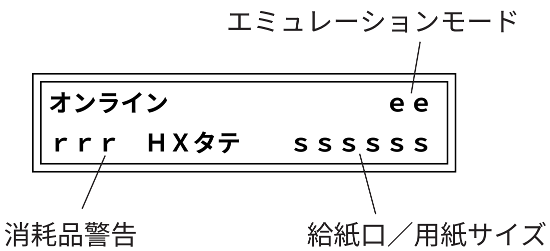
トナーセーブ補正 ～ 輪郭を補正する

トナーセーブを設定したときに、データの輪郭部分のドットを強調して印字するかどうかを設定します。

HEX ダンプ印刷 ～ ヘキサダンプ形式で印刷する

HEX ダンプ印刷とは、パソコンからプリンタに送られる印刷データを、アルファベットや漢字などの文字ではなく、16進数のデータで印刷する機能です。この機能は、パソコンからのデータがプリンタに正しく転送されているかどうかを確認する場合などに使用します。

HEX ダンプ印刷を行う状態にすると、液晶ディスプレイの表示は、次のようになります。



HEXダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを２回押します。

ポート１設定 ～ ポート１のインタフェースタイミングを設定する

プリンタケーブル経由でデータ受信する場合に接続するパラレルポートのインタフェースタイミングを設定します。

バイセントロモード、ACK タイミング、ビジーディレイ、および INIT 受信について設定します。

バイセントロモード

双方向インタフェースを有効にするかどうかを設定します。

ガイド バイセントロモードを「解除」する設定にすると、Printianavi の双方向機能、および Windows 95/98/Me のプラグアンドプレイ機能が使えなくなります。

ACK タイミング

ACK 信号のパルス幅を設定します。

ACK のパルス幅は、バイセントロモードとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング	バイセントロ モード 設定	解除
高速	1 μｓ	2.5 μｓ
標準	2.5 μｓ	5 μｓ

ビジーディレイ

ACK信号とBUSY信号の位置関係を設定します。接続するパソコンの仕様に合わせて設定します。

ビジーディレイは、バイセントロモードとACK タイミングとの組み合わせにより次のとおりになります。

ACK タイミング	バイセントロ モード 設定	解除
高速	Ａ－Ｂ固定	Ａ－Ｂ固定
標準	Ａ－Ｂ固定	設定値

INIT 受信

INIT信号を受信したときの初期化を有効にするかどうかを設定します。

登録 ～ 設定値を登録する

セットアップモードで設定した内容(「印字濃度調整」「LAN 設定」(131 ページ)を除く)をプリンタに記憶させたり、各設定値を工場出荷時の値に戻したり、または各設定値を読み出したりします。

ガイド　設定値を登録しないと、セットアップで変更した値は電源を切ると元の値に戻ります。

保守モード ～ 保守モードを設定する

保守に必要な表示、およびソフトスイッチの設定を行います。

お願い　**保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的には使用しないでください。**

印字濃度調整 ～ 印刷濃度を調整する

印刷時の濃度を 26 ～ 93 の 68 段階で調整します。
設定値を大きくすると印刷濃度は濃くなります。

ガイド　「印字濃度調整」の設定値を変更すると、セットアップモードを終了する際にプリンタをリセット（初期化）します。

LAN 設定

LAN 設定 ～ ネットワークを設定する

ネットワークのプロトコル、Ethernet タイプ、TCP/IPについて設定します。

ガイド　「LAN設定」内の設定値を変更すると、セットアップモードを終了する際にプリンタをリセット(初期化)します。

プロトコル

TCP/IP および NetWare を有効にするかどうかを設定します。

ガイド NetWareを無効にすると、パソコンからネットワーク設定ユーティリティは使用できません。

Ethernet タイプ

Ethernet のタイプを設定します。

ガイド Ethernet のタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。

TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびポート番号 1、2 を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IP の設定を行っても TCP/IP が正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「LAN の印刷」を行い、「TCP/IP 動作状態コード」を確認してください(次ページ参照)。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCPによるTCP/IP構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続 されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCPによるTCP/IP構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続 されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCPにより取得したIPアドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。

DHCP クライアントの予約について

DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照するか(49ページ)、またはメニュー印刷を行うと出力されます(95 ページ)。

ガイド　「プロトコル」の「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP 設定」は表示されません。

LAN 初期化

『LAN 設定』の内容を工場出荷時の初期値に戻します。

設定の変更手順(セットアップの操作方法)

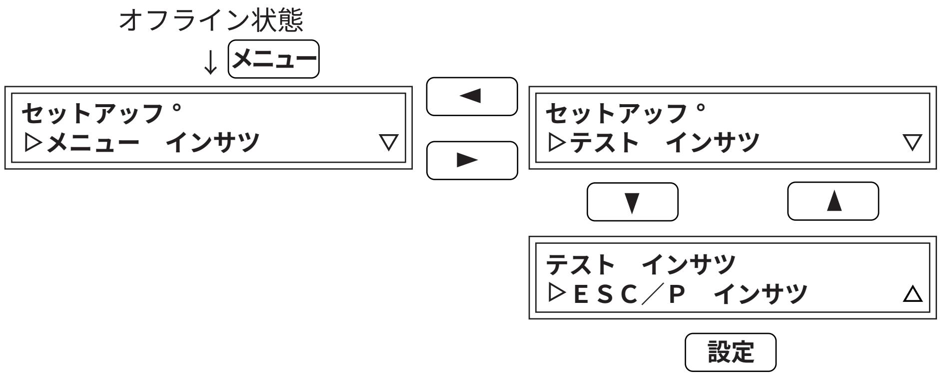
プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、セットアップモードで行います。

基本的な操作

セットアップモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

セットアップモードでは、次のスイッチを使用します。

「メニュー」スイッチ ...... セットアップモードに入ります。
「▲」または「▼」スイッチ . レベルを移動します。
「▶」または「◀」スイッチ . 同じレベル内で項目を切り替えます。
「設定」スイッチ .... 表示中の値に設定します。



選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。
表示例は、給紙口を給紙トレイからカセット１に切り替えるときのものです。

1 ***オフライン状態で「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする***

オンライン状態
　↓「オンライン」スイッチ
オフライン状態
　↓「メニュー」スイッチ

セットアップ°
▷メニュー　インサツ　▽

↓「▶」「◀」

```
セットアップ°
▷インサツ　セッテイ　　　　　▽
```

2 「▶」または「◀」スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える

目的の項目が表示されるまで、「▶」または「◀」スイッチを押します。

↓「▼」

```
　インサツ　セッテイ
▷インサツ　ホウコウ　　　　　△▽
```

3 「▼」または「▲」スイッチで、レベルを移動する

「▼」スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。「▲」スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する

↓「▶」「◀」

```
　インサツ　セッテイ
▷キュウシグ゛チ　　　　　　　△▽
```

↓「▼」

```
　キュウシグ゛チ
▷＊　キュウシトレイ　　　　　△
```

↓「▶」「◀」

```
　キュウシグ゛チ
▷　　カセット１　　　　　　　△
```

↓「設定」

```
　キュウシグ゛チ
▷＊　カセット１　　　　　　　△
```

5 「設定」スイッチを押して、値を確定する

「設定」スイッチを押すと、設定値の前に「＊」が表示され、その値が設定されます。

6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 「登録」の「設定登録」を実行し、設定内容を登録する

同様の手順で「登録」の中にある「設定登録」を実行します。これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。

8 「オンライン」スイッチを押して、セットアップモードを終了させる

終了後は、オフライン状態のため、もう一度「オンライン」スイッチを押してオンライン状態に戻します。

数値を設定する操作

不定形用紙のサイズや余白の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

設定画面を表示　↓「▶」「◀」「▲」「▼」

```
 フテイケイ  ヨコ
▷＊  ２９７  mm          △
```

設定画面を表示し、「▶」スイッチで加算、「◀」スイッチで減算します。
スイッチを押している時間により、加算、減算の速度を加減します。(はじめはゆっくり、しだいに速くなります。)
「▶」スイッチを押し続けると最大値で止まり、もう一度「▶」スイッチを押すと最小値を表示します。「◀」スイッチを押し続けると最小値で止まり、もう一度「◀」スイッチを押すと最大値を表示します。

値を増減　↓「▶」「◀」

```
 フテイケイ  ヨコ
▷    ２００  mm          △
```

メニュー印刷やテスト印刷を行う操作

「メニュー印刷」および「テスト印刷」では、項目を表示して「設定」スイッチを押すと、すぐに印刷が開始されます。

↓

```
 テスト  インサツ
▷アウトラインモジ゛  インサツ△
```

「選んだ項目に設定する操作」の手順１～3と同じ操作で目的の項目を表示して「設定」スイッチを押します。

↓「設定」

印刷開始

印刷が開始されます。

↓

印刷終了

↓

```
 テスト  インサツ
▷アウトラインモジ゛  インサツ△
```

印刷が終わると、「設定」スイッチを押す前の表示に戻ります。

ガイド H 連続印刷は、「リセット」スイッチを押して終了します。

HEX ダンプ印刷を行う操作

「HEX ダンプ印刷」を表示して「設定」スイッチを押すと、以降、16 進数のデータで印刷されます。

「選んだ項目に設定する操作」の手順 1 〜3と同じ操作で「HEXダンプ印刷」表示して「設定」スイッチを押します。

↓

```
 ホシ゛ョ キノウ セッテイ
▷HEX ダ゛ンフ゜インサツ  ⇕
```

↓「▼」

```
 HEX ダ゛ンフ゜インサツ
   セッテイ          △
```

↓「設定」

```
 オンライン           ee
▷rrr  HXタテ sssssss
```

↓オンライン状態

以後、パソコンからのデータは
16進数で印刷されます。

HEXダンプ印刷を解除するときは、オフライン状態にして「リセット」スイッチを 2 回押します。

セットアップ項目一覧

セットアップモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「＊」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

各項目の設定方法については、「設定の変更手順(セットアップの操作方法)」(118 ページ)参照

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
メニュー印刷	設定の印刷				現在のプリンタの設定内容を印刷する。
	LANの印刷				現在のLANポートの設定内容を印刷する。
テスト印刷	ESC/P印刷				ESC/Pモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ESC/Page印刷				ESC/Pageモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	PC-PR201印刷				PC-PR201モードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	VF印刷				Virtual FMモードで使用する文字を、エミュレーション解像度でテスト印刷する。
	ｱｳﾄﾗｲﾝ文字印刷				アウトライン文字（ANK/漢字）でテスト印刷する。
	その他の印刷			H連続印刷	「H」を連続して印刷する。
				黒ベタ印刷	印刷可能領域をすべて黒で塗りつぶして印刷する。
				白紙印刷	白紙のまま印刷する。
				格子印刷１	格子を600dpiで印刷する。
				格子印刷２	格子を300dpiで印刷する。
				格子印刷３	格子を240dpiで印刷する。
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ設定				＊ ESC/P	プリンタをESC/Pモードで動作させる。
				ESC/Page	プリンタをESC/Pageモードで動作させる。
				PC-PR201	プリンタをPC-PR201モードで動作させる。
				VF	プリンタをVirtual FMモードで動作させる。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
印刷設定	印刷方向			＊ 縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。上端/ 左端の余白は固定。
				縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷する。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
				横	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。上端/ 左端の余白は固定。
				横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷する。横余白設定で設定した余白を付けて印刷する。
	給紙口			＊ カセット1	1段目の給紙カセットから給紙する。
				カセット2	2段目の給紙カセットから給紙する。
				カセット3	3段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				カセット4	4段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				カセット5	5段目の給紙カセット(拡張給紙ユニット)から給紙する。
				給紙トレイ	給紙トレイから給紙する。
	縮小印刷			＊ 100%	縮小せずに印刷する。
				75%	75%に縮小して印刷する。
				70%	70%に縮小して印刷する。
				リスト印刷A4	ストックフォーム用の印刷データを75%に縮小してA4用紙に横方向で印刷する。
				リスト印刷B4	ストックフォーム用の印刷データをＢ４用紙に横方向で印刷する。
	給紙トレイサイズ			＊ A4	A4サイズに設定する。
				B5	B5サイズに設定する。
				A5	A5サイズに設定する。
				リーガル	リーガルサイズに設定する。
				レター	レターサイズに設定する。
				ハガキ	はがきサイズに設定する。
				不定形	不定形用紙に設定する。このときの用紙サイズは、『不定形サイズ』で設定する。
				A3	A3サイズに設定する。
				B4	B4サイズに設定する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
印刷設定	不定形サイズ		不定形縦	×××mm	不定形用紙の縦の長さを指定する。
			不定形横	×××mm	不定形用紙の横の長さを指定する。
	コピー枚数			××枚	印刷する部数を設定する。（1～99枚）
	両面印刷（＊1）			＊解除	両面印刷を行わない。（片面印刷）
				設定	両面印刷を行う。
	綴じしろ方向（＊1）			＊ 長辺綴じ	長辺側を綴じしろとする。
				短辺綴じ	短辺側を綴じしろとする。
	綴じしろモード（＊1）			＊ 左/上綴じ	左側、または上側を綴じる。
				右/下綴じ	右側、または下側を綴じる。
	綴じしろ量（＊1）		表	××mm	表面の綴じしろ量を設定する。
			裏	××mm	裏面の綴じしろ量を設定する。
EPモード設定	文字コード			＊ カタカナ	カタカナコード表(208ページ)を使用する。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表(208ページ)を使用する。
	給紙位置			＊ 8.5mm	印刷開始位置を用紙の上辺から8.5mmに設定する。
				22mm	印刷開始位置を用紙の上辺から22mmに設定する。
	右マージン位置			＊ 用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定する。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域の右端まで。
				136桁	用紙サイズに関係なく１３６桁（13.6インチ)に設定する。用紙幅が136桁に満たない場合、印刷領域を越えた部分は印刷されない。
	ANK文字			＊ ローマン	ANK文字の書体をローマンにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				サンセリフ	ANK文字の書体をサンセリフにする。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			＊ 明朝	漢字の書体を明朝体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にする。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥

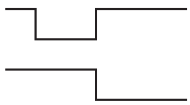
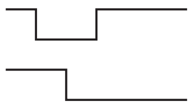
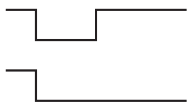
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
EPモード設定	CRコード			＊ CRのみ	CR動作（復帰のみ）を行う。
				CR&LF	ＣＲ動作（復帰）とＬＦ動作（改行）を行う。
	縦余白設定		縦上端余白	××.×㎜	縦印刷のときの上端余白を設定する。
			縦左端余白	××.×㎜	縦印刷のときの左側余白を設定する。
	横余白設定		横上端余白	××.×㎜	横印刷のときの上端余白を設定する。
			横左端余白	××.×㎜	横印刷のときの左側余白を設定する。
EGモード設定	復帰改行			＊ 設定	自動復帰改行動作を行う。
				解除	自動復帰改行動作を行わない。
	改ページ			＊ 設定	自動的に改ページする。
				解除	自動的に改ページしない。
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	LFコード			＊ CR&LF	LF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				LFのみ	LF動作（改行）のみを行う。
	FFコード			＊ CR&FF	FF動作(改ページ)とCR動作（復帰）を行う。
				FFのみ	FF動作(改ページ)のみを行う。
	エラーコード			＊ 無視	未定義文字を無視する。
				スペース	未定義文字をスペース(空白)に置き換える。
	イメージパターン			＊ 標準	イメージデータを補正しない。
				補正	イメージデータを補正する。
	メモリオーバー解除			＊ しない	何かスイッチが押されるまで待機する。
				する	何かスイッチが押されるか、メッセージを3秒間表示した後、印刷処理を続行する。
	給紙トレイ番号			＊ 3	LP8000互換仕様を設定する。
				4	LP8500互換仕様を設定する。
				5	拡張仕様1（5段カセットサポート機用）を設定する。
				6	拡張仕様2（6段カセットサポート機用）を設定する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
PCモード設定	1バイト系ゼロ			＊ 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	2バイト系ゼロ			＊ 0	0(ゼロ)の書体を「0」にする。
				Ø	0(ゼロ)の書体を「Ø」にする。
	ANK文字			＊ 標準	標準の書体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				イタリック	イタリックを使用する。 *abcdefghijklmnopqrstuvwxyz*
				クーリエ	クーリエを使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
	漢字書体			＊ 明朝	明朝体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
				ゴシック	ゴシック体を使用する。 亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥
	漢字文字サイズ			＊ 10.5ポ	10.5ポイントにする。
				7ポ	7ポイントにする。
				12ポ	12ポイントにする。
	各国文字			＊ 日本	日本の文字コードを使用する。
				アメリカ	アメリカの文字コードを使用する。
				イギリス	イギリスの文字コードを使用する。
				ドイツ	ドイツの文字コードを使用する。
				スウェーデン	スウェーデンの文字コードを使用する。
	136/LM設定			＊ LM初期設定	「LM位置設定」の設定内容を使用する。
				136桁モード	最大印字幅を136桁にする。「用紙位置」「書き出し桁位置」の設定内容を使用する。
	LM位置設定			＊ XX/10インチ	印刷開始位置までの左マージン(LM位置)を設定する。用紙の左端印刷位置を基準とする。
	用紙位置設定			＊ 左	用紙位置を左合わせにする。
				中央	用紙位置を中央揃えにする。
	書き出し桁位置			＊ XXX/10インチ	用紙位置を微調整するために、書き出し桁位置を設定する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
PCモード設定	自動CR&LF			＊ CR&LF	復帰動作と改行動作の両方を行う。
				CRのみ	復帰動作のみを行う。
	印刷指令			＊ CRのみ	CRコードのみとする。
				CR＋その他	CR、LF、VT、FF、US、ESC＋a、ESC＋bとする。
	CRコード			＊ CRのみ	CR動作(復帰)のみ行う。
				CR&LF	CR動作(復帰)とLF動作(改行)を行う。
	グラフィックモード			＊ ネイティブモード	標準横方向のドットピッチとする。
				コピーモード	横方向のドットピッチを1/80インチに変換する。8ビットのドット列イメージを印字するときに設定する。
	コード系			＊ 8ビット	8ビット系のコードを使用する。
				7ビット	7ビット系のコードを使用する。
	縦余白設定	縦上端余白		××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。
		縦左端余白		××.×mm	縦印刷のときの左端余白を設定する。
	横余白設定	横上端余白		××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。
		横左端余白		××.×mm	横印刷のときの左端余白を設定する。
VFモード設定	漢字書体			＊ 明朝	明朝体で印刷する。
				ゴシック	ゴシック体で印刷する。
	文字コード体系			＊ 富士通コード	13～15区の文字を富士通コード（半角漢字）で印刷する。
				MSコード	13～15区の文字をMS標準コードで印刷する。
	漢字文字サイズ			＊ 10.5ポ	10.5ポイントで印刷する。
				7ポ	7ポイントで印刷する。
				9ポ	9ポイントで印刷する。
				12ポ	12ポイントで印刷する。
	オーバーマーク印刷			＊ 解除	オーバーマーク印刷をしない。
				白四角	オーバーマークとして「□」を印刷する。
				黒四角	オーバーマークとしてを「■」を印刷する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
VFモード設定	行ピッチ			＊ 6LPI	1インチあたりに印刷する行数を6行に設定する。
				8LPI	1インチあたりに印刷する行数を8行に設定する。
	ANK文字ピッチ			＊ 10CPI	ANK文字の文字間隔を1インチあたり10文字に設定する。
				12CPI	ANK文字の文字間隔を1インチあたり12文字に設定する。
	スケーラブル文字			＊ 無効	ドットフォントの範囲内で使用する
				有効	アウトラインフォントの範囲内で使用する。
	優先文字			＊ ドット優先	ドットフォントを使用できる文字はドットフォントで、その50%縮小文字はサイズは、ドットフォントを50%縮小して印刷する。 その他の文字サイズは、アウトラインフォントで印刷する。
				アウトライン優先	すべてアウトラインフォントで印刷する。
	禁止文字		明朝7ポ	＊ 解除	明朝体7ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体7ポに対しドットフォントを使用を禁止する。
			明朝9ポ	＊ 解除	明朝体9ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体9ポに対しドットフォントを使用を禁止する。
			明朝12ポ	＊ 解除	明朝体12ポに対しドットフォントを使用する。
				設定	明朝体12ポに対しドットフォントを使用を禁止する。
			アウトライン	＊ 解除	指定したドットフォントがない場合、アウトラインフォントで代用する。
				設定	指定したドットフォントがない場合、アウトラインフォントで代用することを禁止する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
VFモード設定	DPIエラー解除			＊ しない	400dpi解像度指定コマンドを受信した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。
				する	400dpi解像度指定コマンドを受信した場合、スイッチ操作または3秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。
	縦余白設定		縦上端余白	××.×mm	縦印刷のときの上端余白を設定する。
			縦左端余白	××.×mm	縦印刷のときの左側余白を設定する。
	横余白設定		横上端余白	××.×mm	横印刷のときの上端余白を設定する。
			横左端余白	××.×mm	横印刷のときの左側余白を設定する。
	VF専用登録域			××××KB	オーバレイ領域を指定する
環境設定	スムージング			＊ 設定	滑らかにする。
				解除	滑らかにしない。
	トナーセーブ			＊ 解除	節約しない。
				設定	節約する。
	自動給紙			＊ 設定	自動給紙を行う。
				解除	自動給紙を行わない。
	ブザー			＊ 設定	ブザーを鳴らす。
				解除	ブザーを鳴らさない。
	タッチ音			＊ 設定	タッチ音を鳴らす。
				解除	タッチ音を鳴らさない。
	データ保証			＊ 設定	データをもう一度印刷する。
				解除	データは印刷し直さない。
	データなし印刷			＊ 解除	印刷しない。ただし、オーバレイ登録中はデータがないときでも印刷する。
				設定	印刷する。(白紙印刷)
	タイマー監視			＊ 解除	タイマー監視印刷を行わない。
				30秒	監視時間を30秒にする。
				10秒	監視時間を10秒にする。
	給紙トレイ印刷			＊ コマンド優先	コマンドで指定した用紙サイズで印刷する。
				設定優先	オペレータパネルで指定した用紙サイズで印刷する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
環境設定	オフセット排紙			＊ 設定	オフセット排紙を行う。
				解除	オフセット排紙を行わない。
	メモリ不足解除			＊しない	メモリ不足が発生した場合、メッセージを表示したままスイッチ操作を待つ。
				する	メモリ不足が発生した場合、スイッチ操作または３秒間のメッセージ表示後、処理を続行する。
補助機能設定	パワーセーブ時間			＊ 30分	30分
				45分	45分
				60分	60分
				15分	15分
	ポート切り替え時間			××××秒	他のポートに切り替えるまでの時間を設定する。(30～3600秒)
	トナーセーブ補正			＊ 設定	補正する。
				解除	補正しない。
	HEXダンプ印刷			設定	ヘキサダンプ形式で印刷する。
	ポート１設定	バイセントロモード		＊ 設定	双方向インタフェースを有効にする。
				解除	双方向インタフェースを無効にする。
		ACKタイミング		＊ 高速	パルス幅を短い値に設定する。
				標準	パルス幅を標準の値に設定する。
		ビジーディレイ		＊ A-B	ACK信号 BUSY信号 
				A-B-A	ACK信号 BUSY信号 
				B-A	ACK信号 BUSY信号 
		INIT受信		＊ 有効	INIT受信を有効にする。
				無効	INIT受信を無効にする。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
登録				設定呼び出し	プリンタの設定内容を読み出す。
				設定初期化	プリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻す。
				設定登録	セットアップによって設定した内容をプリンタに記憶させる。電源を切っても、設定内容は保持される。
保守モード	印刷枚数			XXXXXXXページ	
	メモリ容量			××MB	
	ROM版数			Ver×.××	
	エンジンステータス		STATUS**=XX		
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチX-X		* OFF	
				ON	
印字濃度調整			600dpi設定	* 60	Virtual FM、ESC/P、ESC/Pageモードの印刷濃度を設定する。（26～93）
			480dpi設定	* 70	Virtual FM、PC-PR201モードの印刷濃度を設定する。（26～93）
LAN設定	プロトコル	TCP/IP		* 有効	TCP/IPを有効にする。
				無効	TCP/IPを無効にする。
		NetWare		* 無効	NetWareを無効にする。
				有効	NetWareを有効にする。
	Ethernetタイプ (*2)			* 自動	自動検出して動作する。
				100MbpsFull	100Mbps(Full)で動作する。
				100MbpsHalf	100Mbps(Half)で動作する。
				10Mbps	10Mbpsで動作する。
	TCP/IP設定	DHCP自動取得		*設定	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得する。
				解除	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをDHCPにより自動取得しない。
		IPアドレス (*3)		IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。
		サブネットマスク (*3)		IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する。
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	設定値	機　能
LAN設定		ゲートウェイ(＊3)		IPアドレス-1	左端のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-2	左から2番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-3	左から3番目のブロックのIPアドレスを設定する
				IPアドレス-4	左から4番目のブロックのIPアドレスを設定する
		ポート番号1		＊ 9313	印刷を受け付けるときに使用するポート番号を設定する(1〜65535)
		ポート番号2		＊ 9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定する(1〜65535)
	LAN初期化			設定	LAN設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻す

＊１：オプションの両面ユニットを搭載しているときのみ表示されます。
＊２：Ethernet のタイプを設定した場合、いったん電源を切断し、再び投入してください。
＊３：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

第8章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

故障かなと思ったとき **134**

紙づまりになったとき **136**

紙づまりの取り除きかた 137

印刷品質が低下したとき **149**

エラーメッセージが表示されたとき **153**

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照：「安全上のご注意」（(2)ページ） 「電源コードの接続」(44 ページ) 「電源の投入と切断」(48 ページ)
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・プリンタケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照：「パソコンとの接続」(38 ページ) 「電源の投入と切断」(48 ページ) 「オンライン状態とオフライン状態を切り替える」(80 ページ)
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照：「オペレータパネルを操作する」(80 ページ)
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ） 「紙づまりになったとき」(136 ページ)
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・用紙の保管方法が適切でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」（(2)ページ） 「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう ・用紙の保管方法が適切でない	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・用紙の保管方法が適切でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」（(2) ページ） 「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ） 「紙づまりになったとき」（136 ページ）
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「電源の投入と切断」(48 ページ) 「紙づまりになったとき」（136 ページ）
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」（93 ページ） 「プリンタの清掃」（68 ページ）
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「エラーメッセージが表示されたとき」（153 ページ）

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ゛マリ　×××』『カミヲ　トリノソ゛イテクタ゛サイ』と表示されます。「×××」はエラーコードです。154 ページを参照し、エラーコードに応じてつまった用紙を取り除いてください。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

つまった用紙を取り除いてカバーを閉じると、メッセージが消えてオフライン状態になります。「オンライン」スイッチを押してオンライン状態にすると、印刷を再開します。

「環境設定」の中の「データ保証」を「設定」にしていると、紙づまりが発生したページから印刷します。

お願い

- **つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。**
- **紙づまりが発生したら、必ず一度、カバーを開いて装置内部を確認してください。**
- **用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。**
- **紙づまりを繰り返す場合は、用紙の種類および用紙の状態が適切か確認してください。**

⚠注意

け が	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
火 災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）にご連絡ください。

紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

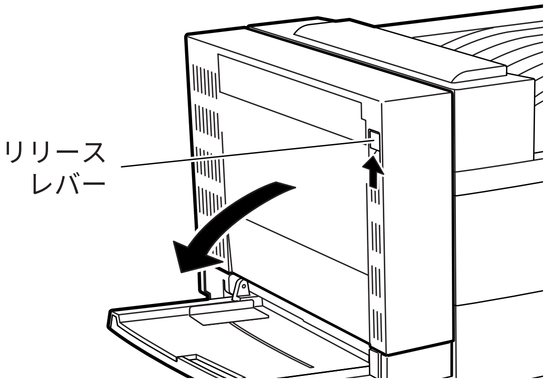
紙づまりの取り除きかた

用紙のつまった場所別ごとに、取り除きかたを説明します。
154ページを参照し、エラーコードに応じて確認箇所を点検してください。

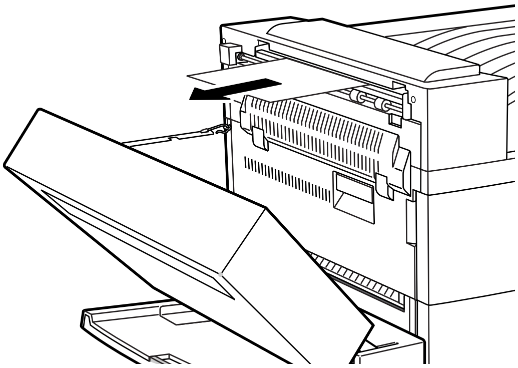
お願い

紙づまりの処置は､プリンタの電源を入れたままで行ってください。電源を切ると、プリンタ内に残っている印刷データや､プリンタのメモリ上に蓄えられた情報は消去されます。

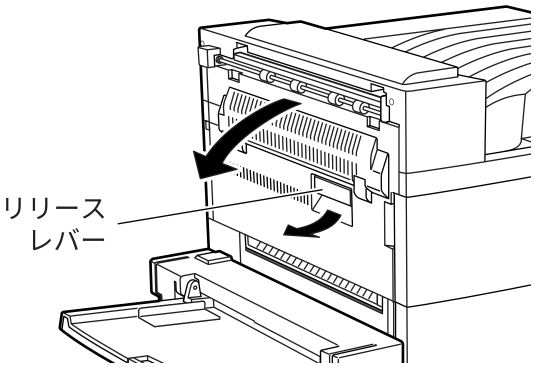
カバーA部の点検



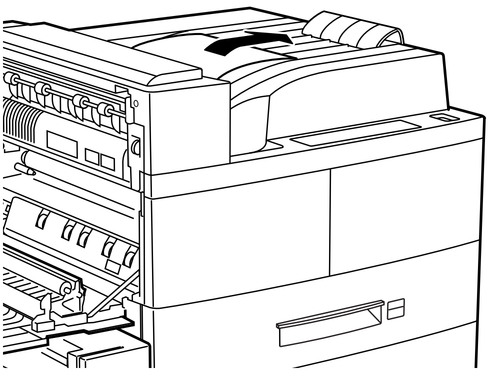
1　両面ユニットを装着している場合は､リリースレバーを押し上げながら、ゆっくりと両面ユニットを開く



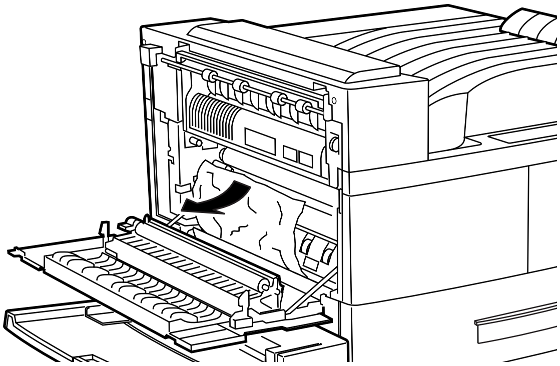
2 ***つまった用紙があったら、まっすぐ引いて取り除く***



3 ***リリースレバーを引きながら、カバーAをゆっくりと開く***

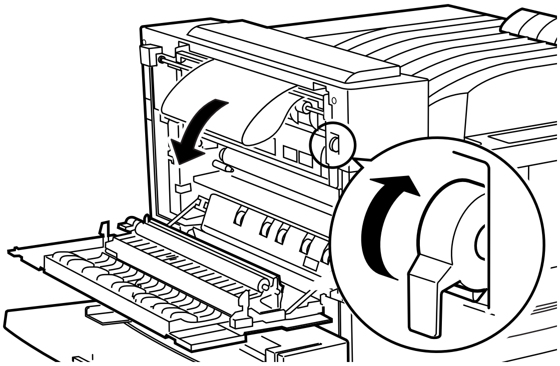


4 ***つまっている用紙の先端が、排紙トレイの方向に出ている場合は、排出方向にまっすぐに引いて取り除く***



5 つまっている用紙を取り除く

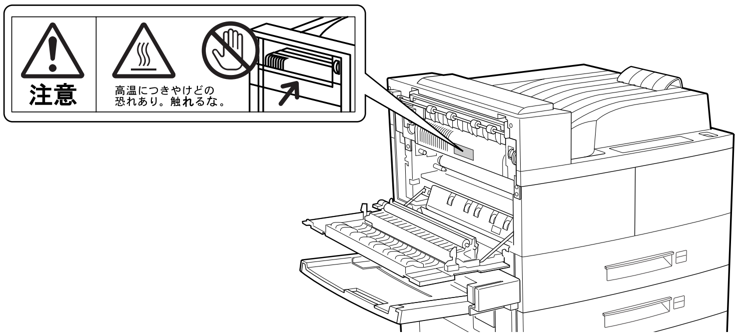
給紙カセット２から用紙を送っているときにカバーＡの付け根に用紙がつまることがあります。給紙カセット2を引き出し、給紙カセット２側からも確認してください。



6 定着部に用紙がつまっている場合、定着部に触れないように注意し、ノブを矢印の方向に押し込みながら回し、用紙を矢印の方向に引いて取り除く

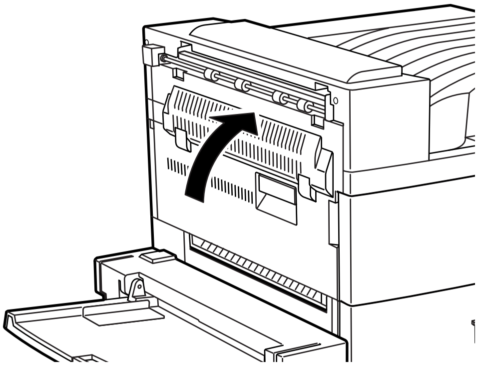
⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

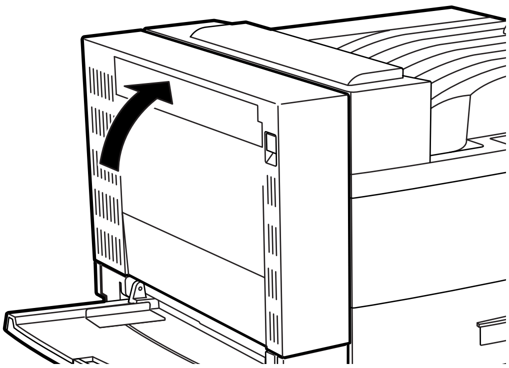


お願い

- **プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。**
- **定着器に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでください。この場合は、ただちに電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。**

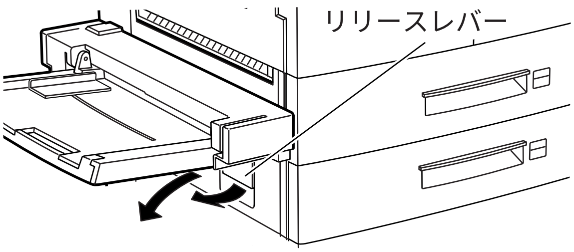


7 **リリースレバーは持たず、カバーAの上部中央を押して、「カチッ」と音がするまで確実に閉じる**

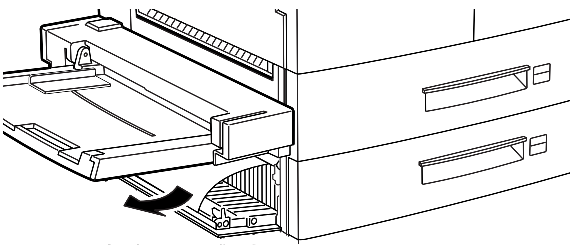


8 **両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットを閉じる**

カバーB部の点検

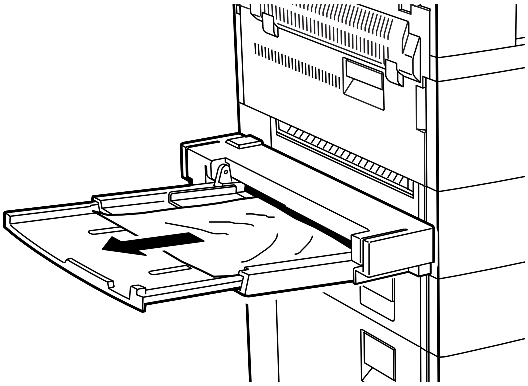


1 **リリースレバーを引きながら、カバーBをゆっくりと開く**



2 **つまっている用紙を取り除き、カバーBを閉じる**

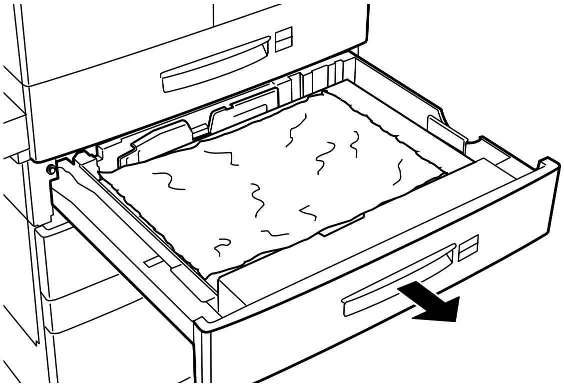
給紙トレイの点検



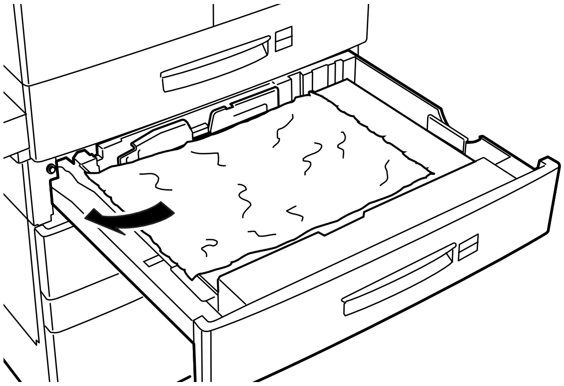
1　つまっている用紙を矢印の方向に引き、取り除く

ガイド　用紙のセットのしかたについては、「給紙トレイに用紙をセットする」（51 ページ）を参照してください。

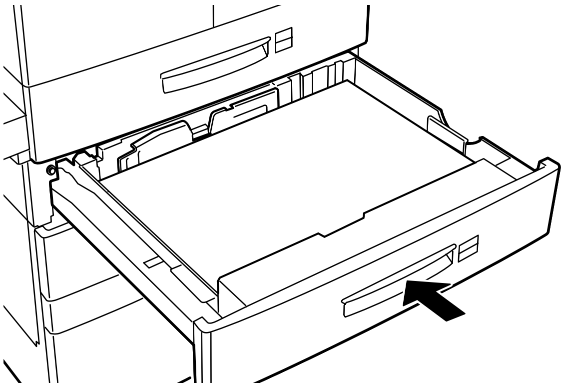
給紙カセット１～３の点検



1 ***用紙がつまっている給紙カセットを引き出す***

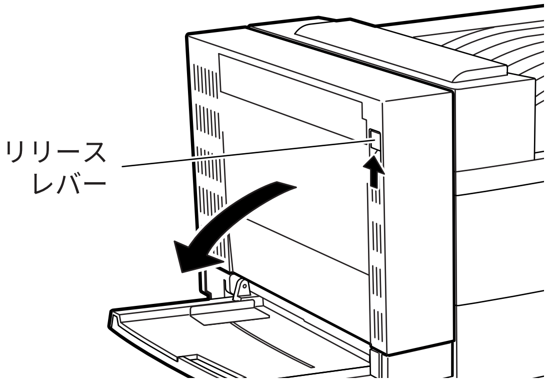


2 ***つまっている用紙を取り除く***

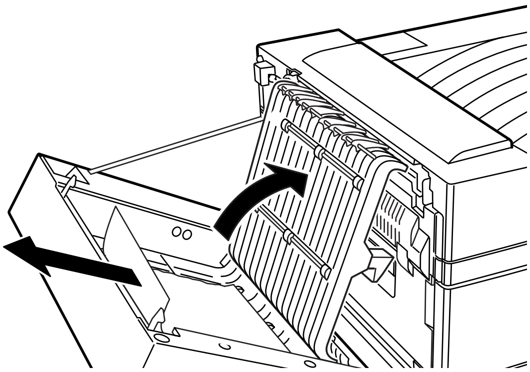


3 ***奥につきあたるところまで、給紙カセットをゆっくりと押し込む***

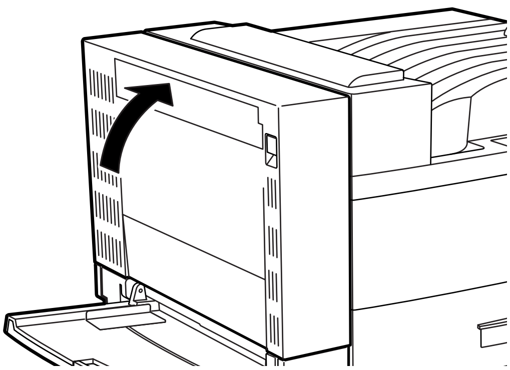
両面ユニットの点検



1 リリースレバーを押し上げながら、ゆっくりと両面ユニットを開く

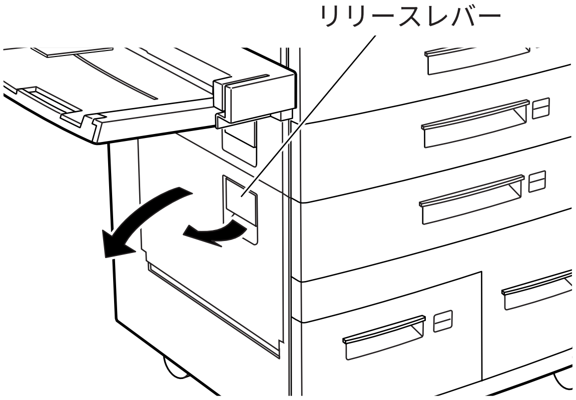


2 緑の取っ手を持って内側のカバーを開き、両面ユニットの内部につまっている用紙を取り除く

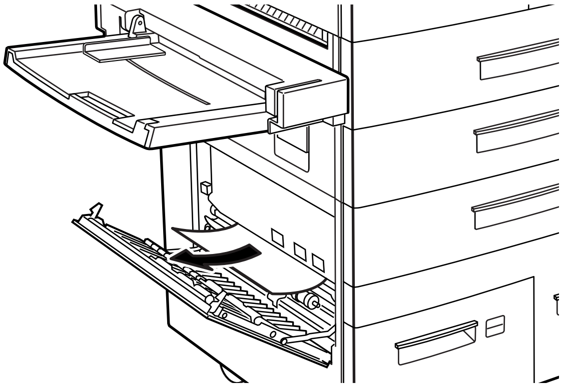


3 両面ユニットを閉じる

カバーC部（拡張給紙ユニット）の点検

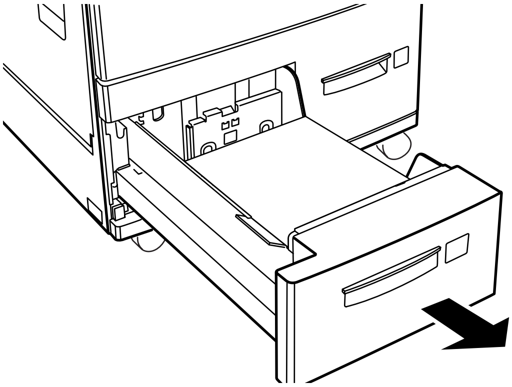


1 リリースレバーを引きながら、カバーCをゆっくりと開く

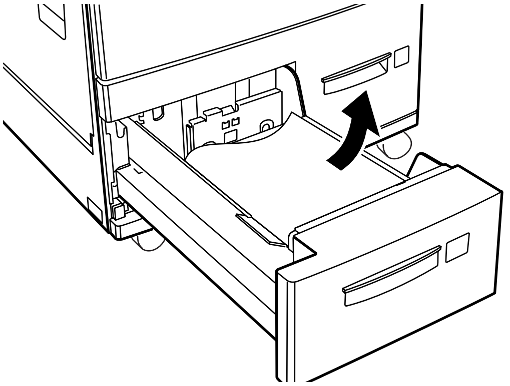


2 つまっている用紙を取り除き、カバーCを閉じる

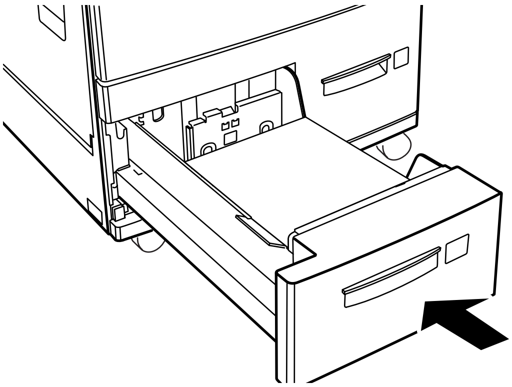
給紙カセット４（拡張給紙ユニット）の点検



1 ***給紙カセット４を引き出す***

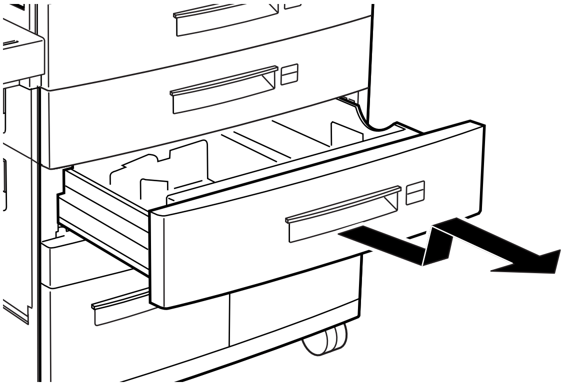


2 ***つまっている用紙を取り除く***



3 ***奥につきあたるところまで、給紙カセットをゆっくりと押し込む***

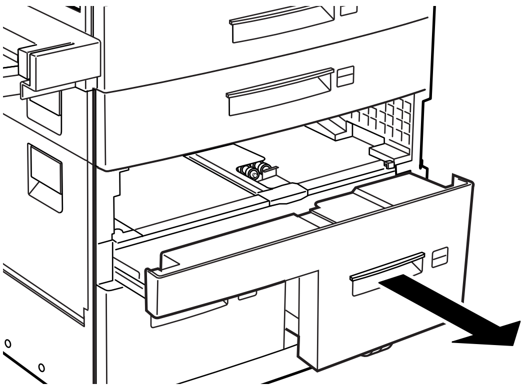
給紙カセット５（拡張給紙ユニット）の点検



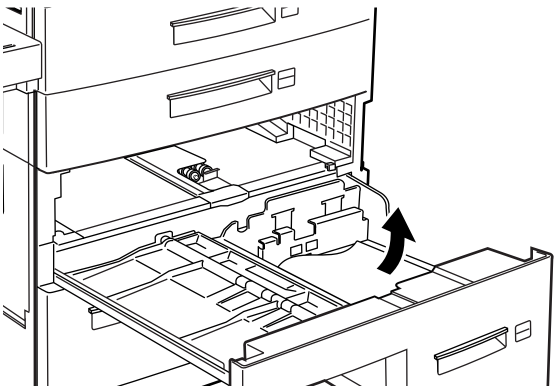
1 ***給紙カセット3を引き出し、取り外す***

お願い

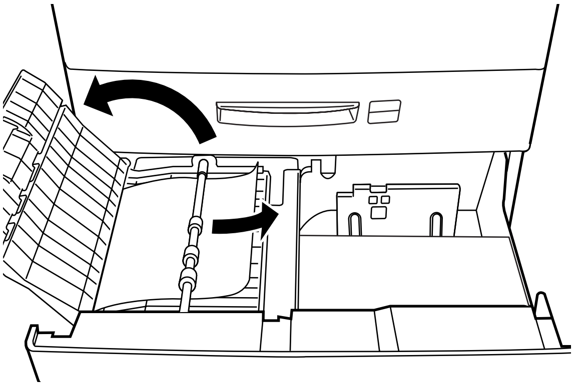
給紙カセット3を取り外さずに給紙カセット5での紙づまり処置を進めると、中に紙片が残ってしまうことがあります。必ず給紙カセット3を取り外してから、作業をしてください。



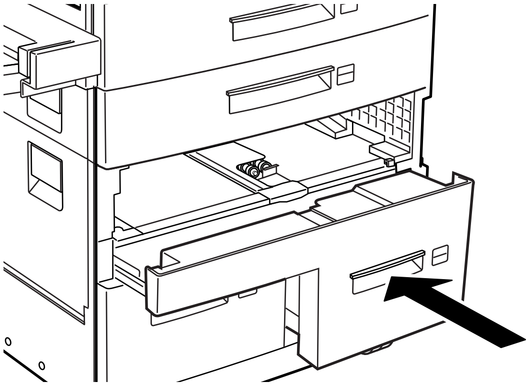
2 ***給紙カセット5を引き出す***



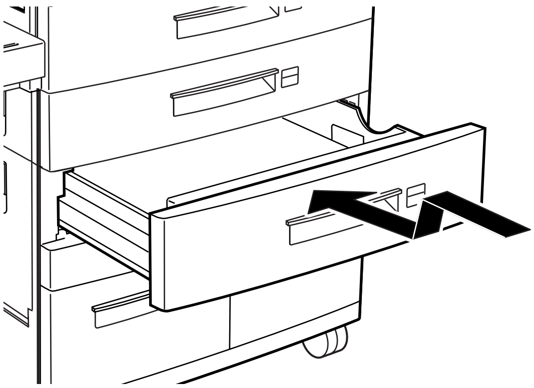
3 ***つまっている用紙を取り除く***



4 **左図の場所に用紙がつまっているときは、中のカバーを上げて、用紙を取り除く**

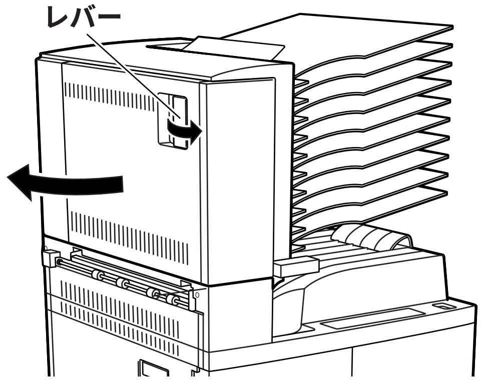


5 **中のカバーを戻し、ゆっくりと奥につきあたるところまで給紙カセット5を押し込む**

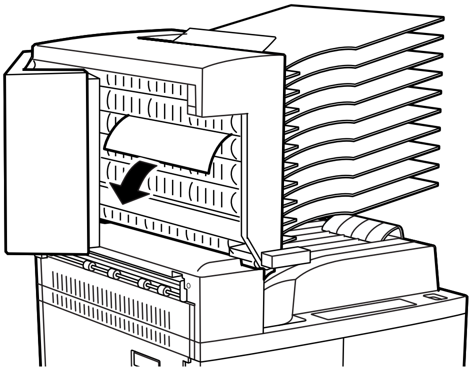


6 **奥につきあたるところまで、給紙カセット3 をゆっくりと押し込む**

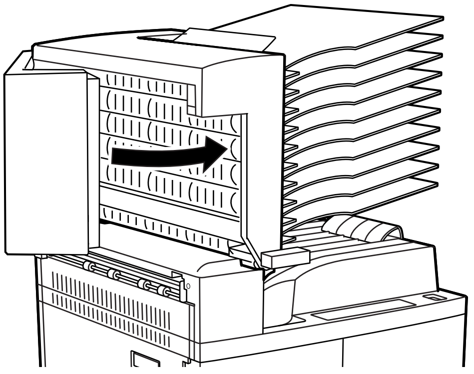
カバーＤ部（拡張スタッカユニット）の点検



1 レバーを引き、ゆっくりと拡張スタッカユニットのカバーＤを開く



2 つまっている用紙を矢印の方向に引き、取り除く



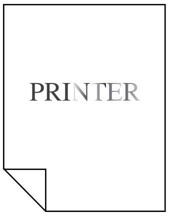
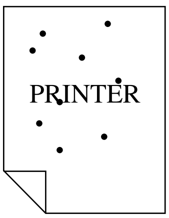
3 拡張スタッカユニットのカバーＤを閉じる

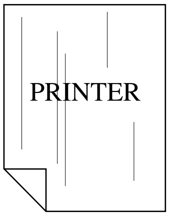
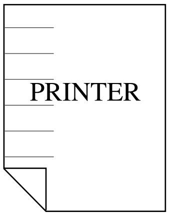
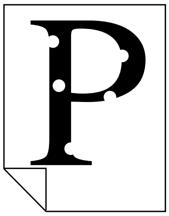
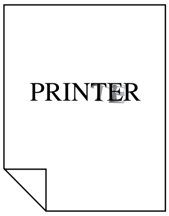
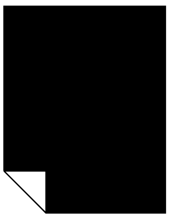
印刷品質が低下したとき

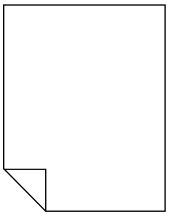
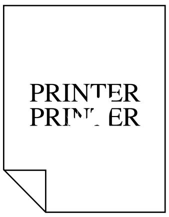
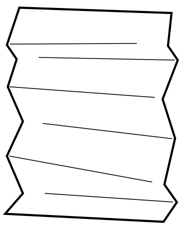
印刷品質が低下したときの処置について説明します。

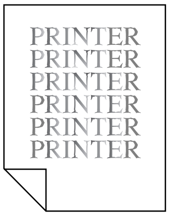
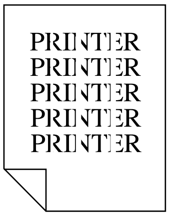
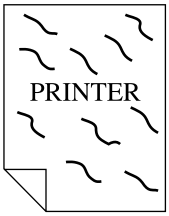
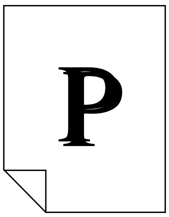
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（231ページ参照）にご連絡ください。

⚠注意　やけど　プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。プロセスカートリッジを取り扱うときは、定着器に手を触れないよう十分に注意してください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい(かすれる、不鮮明)  	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」（115 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジ内にトナーがありません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
黒点が印刷される  	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
等間隔に汚れる 	プリンタ内の用紙搬送路が汚れています。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」（93 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
指でこするとトナーがかすれる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
用紙全体が黒く印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。	ハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない 	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていません。	トナーシールを引き抜きます。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジにトナーが残っていません。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えらます。	ハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）にご連絡ください。
白抜けが起こる 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
用紙にシワがつく 	用紙のセットが適切ではありません。	用紙を正しくセットしてください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	用紙の保管方法が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」（50 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
縦長に白抜けする 	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっています。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
不要なトナーがつく 	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」（115 ページ）
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」（23 ページ） 「用紙のセット」（50 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）
太い文字に影が出る 	印刷濃度の設定が適正でありません。	印刷濃度を調整してください。 参照：「印字濃度調整」（111 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷しています。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照：「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）

エラーメッセージが表示されたとき

オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表にしたがって処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ﾖｳｼ　ﾅｼ ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットおよび給紙トレイに用紙がないと表示されます。給紙カセットまたは給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50 ページ）
ﾖｳｼ　ﾅｼ　　　　X ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。 給紙カセット×（1～5）に、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50 ページ）
ﾖｳｼ　ﾅｼ　　　　M ・・・・ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50 ページ）
ｶｾｯﾄ　ﾅｼ ｶｾｯﾄ　ｦ　ｲﾚﾃ　ｸﾀﾞｻｲ	セットされていない給紙カセットが あると表示されます。すべての給紙カセットをセットしてください。	「用紙のセット」（50 ページ）
ｶｾｯﾄ　ｺｼｮｳ　　H1X ｶｾｯﾄX　ｼﾖｳ　ﾌｶ	給紙カセット×（1～5）に、異常を検出すると表示されます。何かスイッチを押すと処理を続行します。ただし、エラーメッセージの給紙カセット×（1～5）は使用できなくなります。いったん電源を切断し、給紙カセットの装着状態を確認してから再び電源を投入してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）へご連絡ください。	「用紙のセット」（50 ページ）

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ｶｾｯﾄ ｺｼｮｳ H97 ｶｾｯﾄ3-5 ｼﾖｳ ﾌｶ	拡張給紙カセットの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、拡張給紙カセットの装着状態を確認してから再び電源を投入してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）へご連絡ください。	「用紙のセット」（50 ページ）
ｶﾐｿﾞﾏﾘ ××× ｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ	紙づまりが発生すると表示されます。つまった用紙を取り除いてください。プリンタ内部や、給紙カセットの中を確認してください。 給紙トレイ印刷時に紙づまりが発生した場合は、給紙トレイの用紙を抜き差ししてください。 ×××はエラーコードです。エラーコードに応じて次の場所を確認してください。	「紙づまりになったとき」（136 ページ）

エラーコード	確認箇所
C13	カバー A、給紙カセット 1
C22	カバー B、給紙カセット 2
C23	カバー A
C31	カバー B、給紙カセット 3
C32	カバー A/B
C33	カバー B
C40	カバー C、給紙カセット 4
C41/42	カバー B/C
C43	カバー B
C50	カバー C、給紙カセット 5
C51/52	カバー B/C
C53	カバー A/B/C
C54	カバー C、給紙カセット 5
C61	両面ユニット
C82	カバー A/B、給紙カセット 2
C83	カバー B
C84	カバー C
C85	カバー C、給紙カセット 4/5
C86	両面ユニット
C92	給紙トレイの用紙を再セット
C93	①カバー A を開閉 ②給紙トレイの用紙を再セット
E11/12/16 E31/36	カバー A
E82/86	両面ユニット
F21/22/23/26 F31/32/36	カバー D

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ｷｭｳｼﾄﾚｲ ｺｼｮｳ H99 ｷｭｳｼﾄﾚｲ ｼﾖｳ ﾌｶ	給紙トレイから印刷しているときに、異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、給紙カセットの装着状態を確認してから再び電源を投入してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231ページ参照）へご連絡ください。	「用紙のセット」（50ページ）
ﾘｮｳﾒﾝ ｺｼｮｳ H27 ﾘｮｳﾒﾝ ｼﾖｳ ﾌｶ	両面ユニット使用時に両面ユニットの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、両面ユニットの装着状態を確認してから再び電源を投入してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231ページ参照）へご連絡ください。	「用紙のセット」（50ページ）
ｽﾀｯｶ ｺｼｮｳ H57 ｽﾀｯｶ ｼﾖｳ ﾌｶ	拡張スタッカユニット使用時に拡張スタッカユニットの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、拡張スタッカユニットの装着状態を確認してから再び電源を投入してください。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231ページ参照）へご連絡ください。	「用紙のセット」（50ページ）
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰ X	本体カバー×（AまたはB）を開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰ C	拡張給紙ユニットのカバーCを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ ｶﾊﾞｰ D	拡張スタッカユニットのカバーDを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ ﾘｮｳﾒﾝ	両面ユニットのカバーを開けると表示されます。作業が終わったらカバーを閉じてください。	
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ ････ｦ ｲﾚﾃ ｸﾀﾞｻｲ	自動給紙で印刷を開始したときに、カセットおよび給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセットまたは給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50ページ）

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ　X ・・・・ｦ ｲﾚﾃ ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50 ページ）
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ﾌｲｯﾁ　M ・・・・ｦ ｲﾚﾃ ｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。正しい用紙をセットし、「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	「用紙のセット」（50 ページ）
ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｴﾗｰ　X ｶｾｯﾄ ｦ ｶｴﾃ ｸﾀﾞｻｲ	サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。給紙カセット×(1～3)に正しい用紙をセットしてください。	「用紙のセット」（50 ページ）
ﾄﾅｰ ｴﾝﾌﾟﾃｨ J×× EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｺｳｶﾝ	印刷中にトナーなし（××：12)、プロセスカートリッジの寿命（××：61）を検出すると表示されます。新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）「プロセスカートリッジの取扱いと保管」（67 ページ）
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ﾅｼ J31 EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶｸﾆﾝ	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、または、使用できないプロセスカートリッジがセットされています。プロセスカートリッジを確認し、セットし直してください。	「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）「プロセスカートリッジの取扱いと保管」（67 ページ）
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｲｼﾞｮｳJ8X EP ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｶｸﾆﾝ	印刷中にプロセスカートリッジの異常を検出すると表示されます。プロセスカートリッジを再セットしてください。それでも治らない場合は、新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジの交換」（59 ページ）「プロセスカートリッジの取扱いと保管」（67 ページ）
ﾊｲｼ ﾄﾚｲ ﾌﾙ ｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに排出用紙が排紙トレイにたまり過ぎていると表示されます。 排紙トレイの用紙を取り除き「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ｶｸﾁｮｳ ﾄﾚｲ ﾌﾙ XX ｶﾐｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	印刷を開始したときに排出用紙が拡張スタッカユニットのトレイXX（1～10）にたまり過ぎていると表示されます。トレイの用紙を取り除き「オンライン」スイッチを押すと、印刷を開始します。	
ﾄｳﾛｸ ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞｰ ｿﾞｯｺｳ ｶｸﾆﾝ OK?	ESC/Pageコマンド受信中に、外字、オーバレイ、マクロなどを登録するメモリが足りなくなると表示されます。 セットアップモードで、「ESC/Pageモード」の「メモリオーバー解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	―
ｶｲｿﾞｳﾄﾞ ｼﾃｲｴﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｦ ﾁｭｳﾀﾞﾝ	Virtual FMコマンド受信中に400dpi解像度コマンドを受信すると表示されます。 セットアップモードで、「VFモード」の「DPIエラー解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。	―
ﾒﾓﾘ ﾌｿｸ ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ	メモリ未増設時、部単位印刷を設定して印刷を行った場合に表示されます。 セットアップモードで、「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、3秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。 ただし、Printianavi を使用する場合「スル」の動作となります。 メモリ不足エラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバがWindows NT4.0でPrintianaviを使用した場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	―

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ﾒﾓﾘ ｵｰﾊﾞｰ ﾌﾞﾀﾝｲ ｲﾝｻﾂ	メモリ増設時、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 セットアップモードで、「環境設定」の「メモリ不足解除」が「スル」になっているときは、何かスイッチを押すか、３秒経過すると処理が続行されます。「シナイ」になっているときは、何かスイッチを押すまで処理が続行されません。 ただし、Printianavi を使用する場合「スル」の動作となります。 メモリオーバーエラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバがWindows NT4.0でPrintianaviを使用した場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	―

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
コントローラ イジョウ 2 RAM1 エラー コントローラ イジョウ 3 RAM2 エラー コントローラ イジョウ 4 CG-ROM1 エラー コントローラ イジョウ 5 CG-ROM2 エラー コントローラ イジョウ 6 CG-ROM12 エラー コントローラ イジョウ 11 LAN ユニットエラー コントローラ イジョウ 12 LANC アクセスエラー コントローラ イジョウ 13 MAC アドレスエラー コントローラ イジョウ 14 ROM チェックサムエラー コントローラ イジョウ 15 Flash-ROM エラー コントローラ イジョウ 16 トウロク ショキカ シマス Unexpect Trap XXXXXXXX XX	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。プリンタ RAM モジュールを取り付けた場合は、一度取り外し、再度取り付けてください。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）へご連絡ください。 『コントローラ　イジョウ　16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。	―
エンジン イジョウ U4X FUSER イジョウ エンジン イジョウ U3X ROS モータ コショウ エンジン イジョウ U11 メインモータ コショウ エンジン イジョウ U13 デンゲンファン コショウ エンジン イジョウ U6X メモリ イジョウ エンジン イジョウ パリティ エラー	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージが出る場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）へご連絡ください。	―

第9章

オプションの取り付け

本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュール、両面ユニット、拡張給紙ユニットおよび拡張スタッカユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

オプション取り付け上のご注意 162
プリンタRAMモジュールの取り付けかた 162
プリンタRAMモジュールを取り付ける 163
プリンタRAMモジュールを取り外す 165
両面ユニットの取り付けかた 166
両面ユニットを取り付ける 167
両面ユニットを取り外す 170
拡張給紙ユニットの取り付けかた 172
拡張給紙ユニットを取り付ける 173
拡張給紙ユニットを取り外す 178
拡張スタッカユニットの取り付けかた 182
拡張スタッカユニットを取り付ける 183
拡張スタッカユニットを取り外す 188

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠警告	感　電　オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、火災や感電または故障の原因となります。

⚠注意	け　が　オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または故障の原因となることがあります。

プリンタRAMモジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタRAMモジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠警告	感　電　プリンタRAMモジュールを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認してください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタRAMモジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

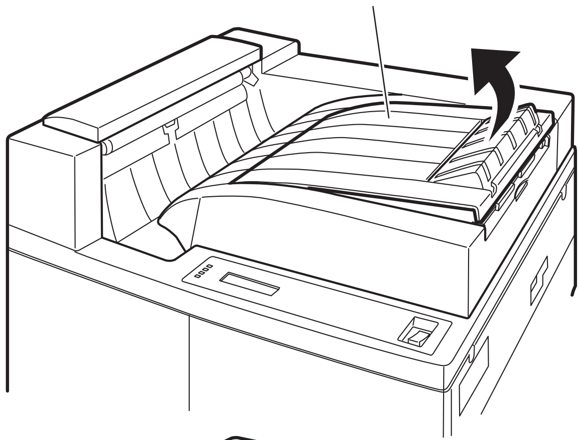
- **本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。**
- **モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。**
- **モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。**

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

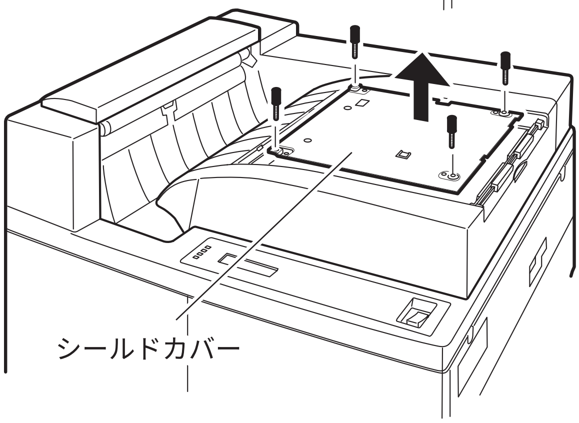
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 電源の切断を確認する

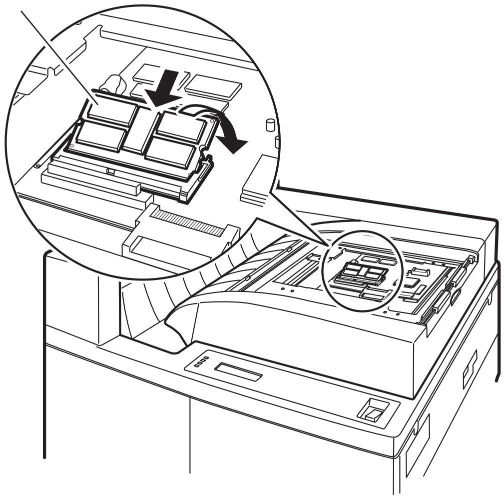
電源が切れていることを確認します。（電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。）



2 排紙トレイのカバーを取り外す



3 シールドカバーのネジ（4本）を外し、シールドカバーを取り外す

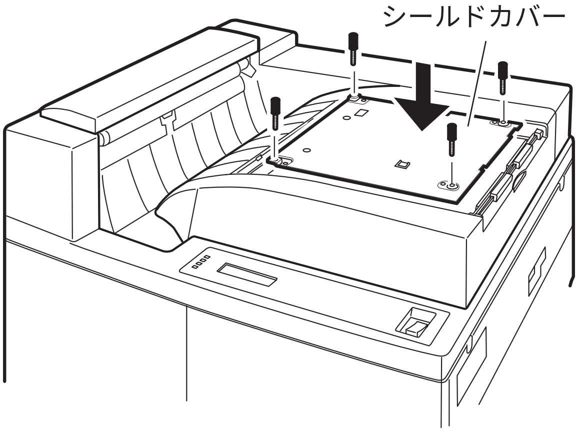


4 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールを斜めにして、コネクタの位置に合わせてゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで奥側に倒します。

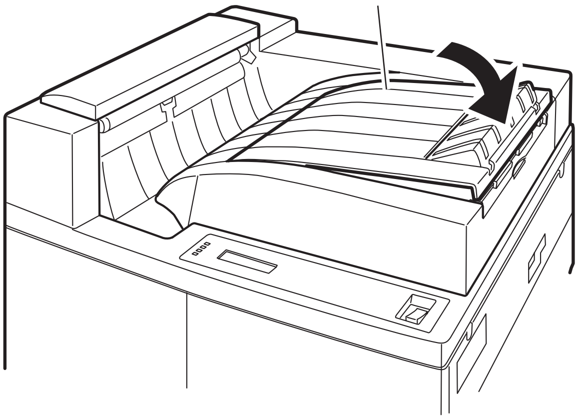
お願い

プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、手を触れないでください。



5 シールドカバーを取り付ける

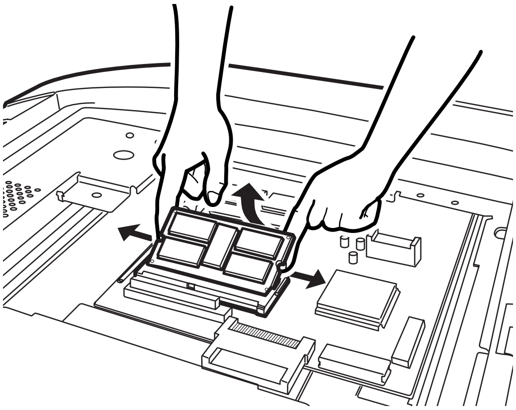
シールドカバーをネジ（4本）でしっかりとめます。



6 排紙トレイのカバーを取り付ける

プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールの両側をとめているバネを指で開くと、プリンタ RAM モジュールが起き上がります。基板に触れないように、取り外してください。



両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

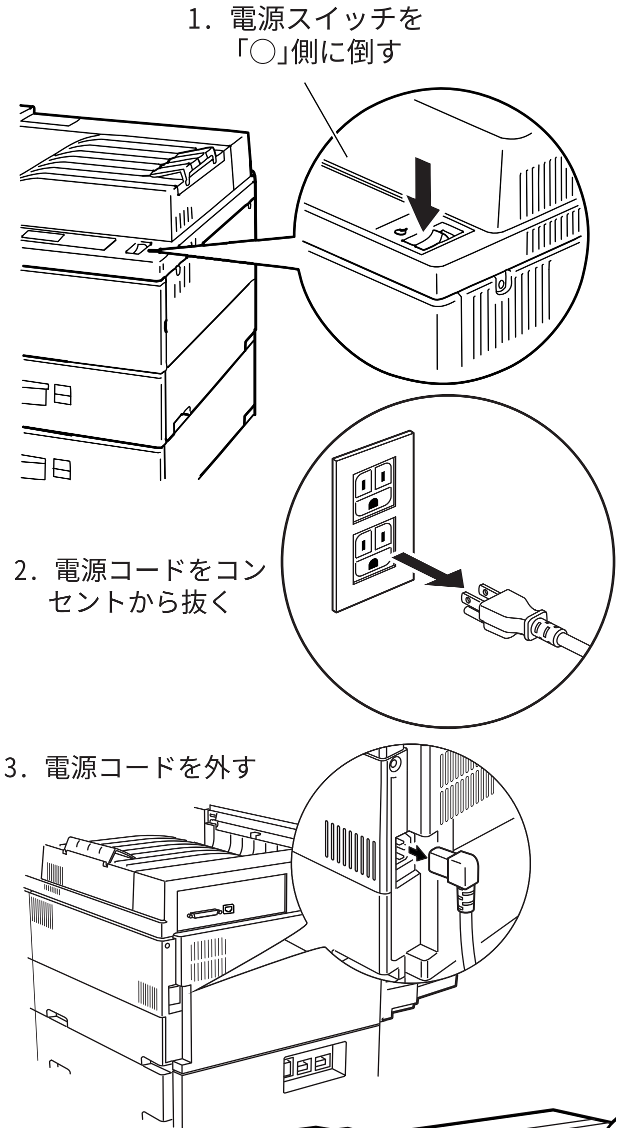
⚠警告	感 電　両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

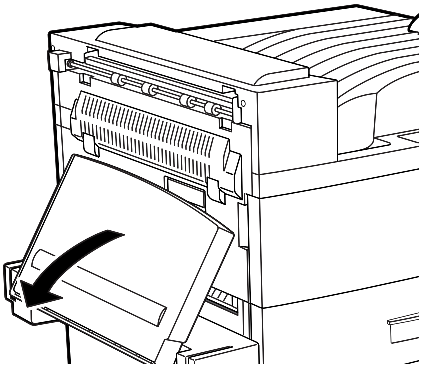
1　プリンタの電源を切る

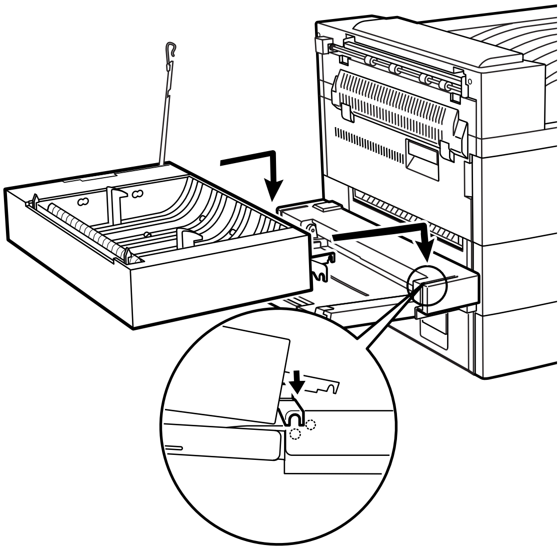
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。
プリンタケーブル、および LAN ケーブルを外します。



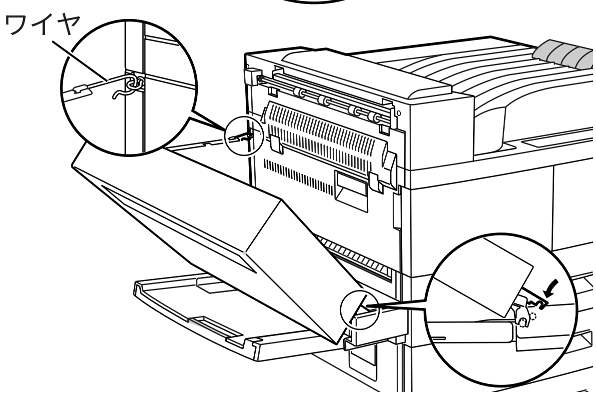
2　両面ユニットを梱包箱から取り出す

3　プリンタの給紙トレイを倒す





4 ***両面ユニットを両手で持ち、両面ユニットの下にある金属部を、図のようにプリンタ左側面の穴に掛ける***



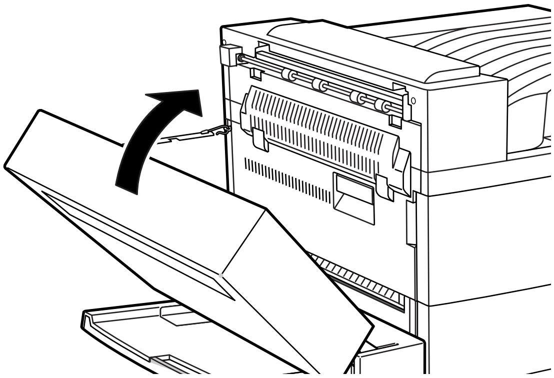
5 ***両面ユニットを支えたまま、ワイヤとフックをプリンタに掛ける***

両面ユニットをプリンタ側へ起こしながら、左側のワイヤをプリンタに掛け、右下部のもう一つのフックを引っかけます。

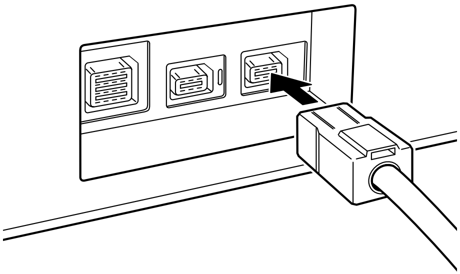
6 ***両面ユニット内の緑の取っ手を持って、内側のカバーを開き、白いシートを取り除く***

お願い

白いシートは必ず取り除いてください。紙づまりの原因となります。



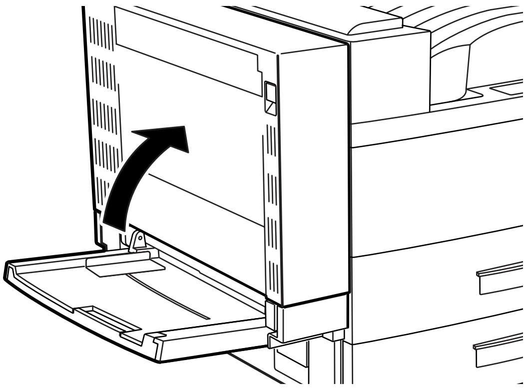
7 **両面ユニットをプリンタ側に起こし、カチッと音がするまで押す**



8 **両面ユニットのケーブルを、プリンタ背面のコネクタに接続する**

お願い

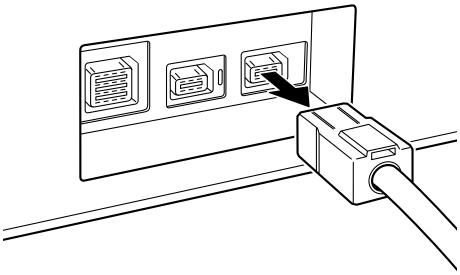
接続不良防止のため、ケーブルはコネクタの奥まで差し込んでください。



9 **必要に応じて、給紙トレイを元に戻す**

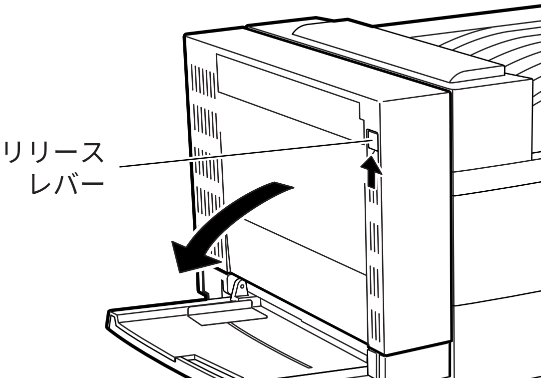
両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

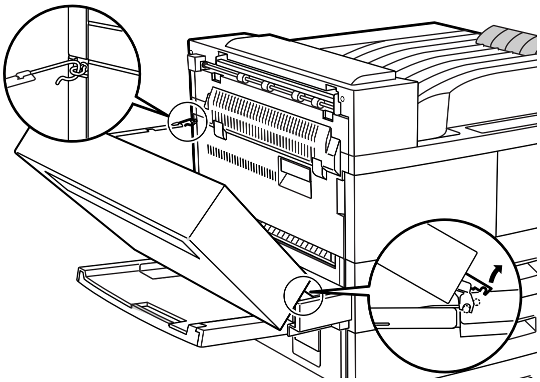


1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、プリンタケーブル、LANケーブル、および両面ユニットケーブルを外します。

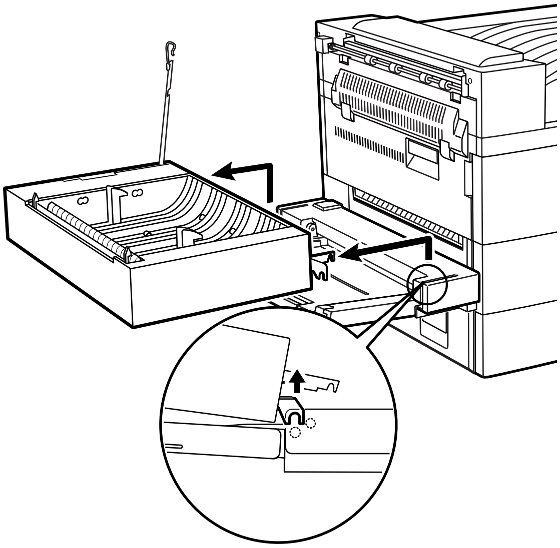


2 リリースレバーを押し上げながら、ゆっくりと両面ユニットを開く



3 両面ユニットを支えているワイヤとフックを外す

両面ユニットを少し起こし、左側のワイヤと右下部のフックを外します。



4 ***両面ユニットを両手で持ち上げて、プリンタから両側のフックを外す***

拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタには、必要に応じて拡張給紙ユニットを取り付けることができます。

⚠警告	感 電　拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

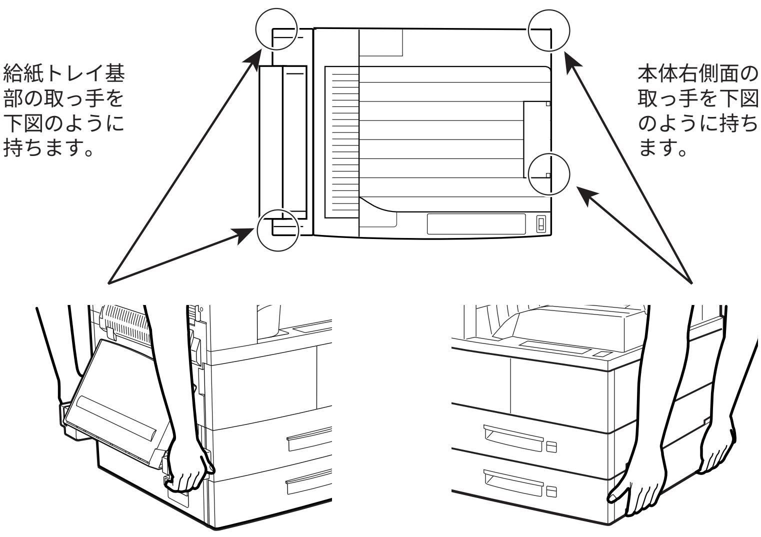
⚠注意

け が

・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。

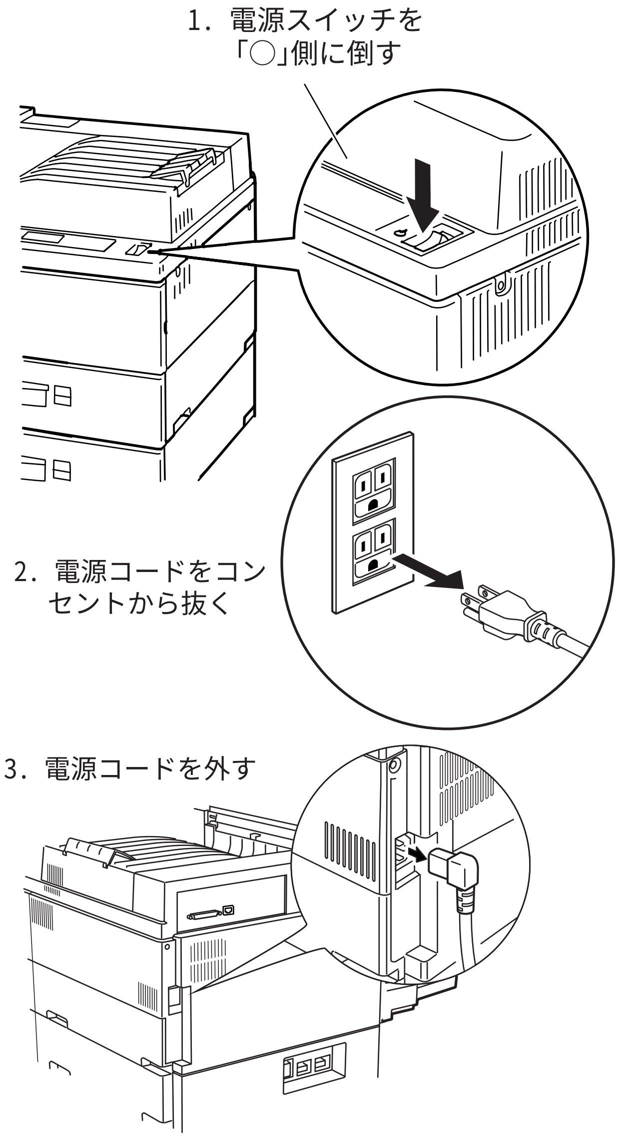
・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

・本プリンタは、オプションや消耗品、用紙がない状態で約42kgあります。プリンタを動かす場合は必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ左右の取っ手部分を両手でしっかりと持ってください。取っ手以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因となることがあります。



拡張給紙ユニットを取り付ける

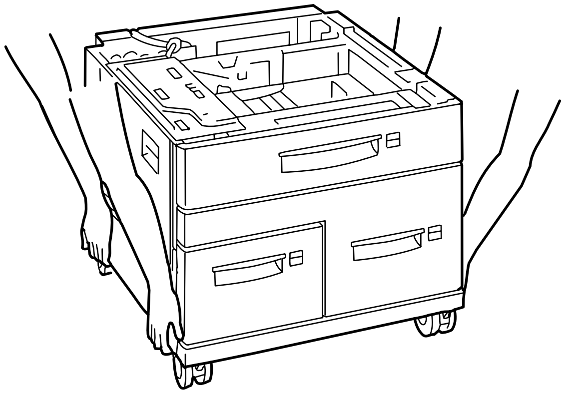
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。



1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「◯」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。

プリンタケーブル、およびLANケーブルを外します。



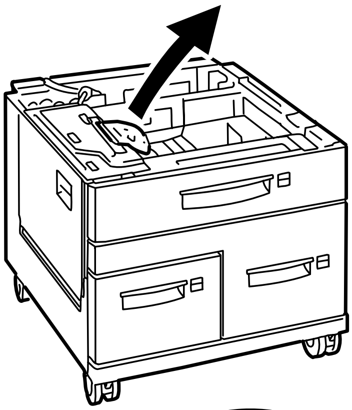
2 拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出す

⚠注意

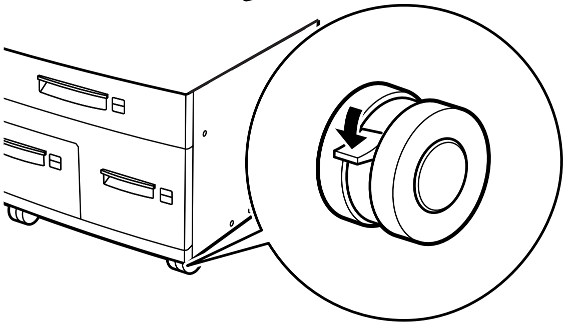
けが　・拡張給紙ユニットは、約35kg あります。拡張給紙ユニットを持ち上げるときは、必ず２人以上で持ち上げてください。その際、腰を痛めないように十分にひざを折り、拡張給紙ユニットの下部分を両手でしっかりと持ってください。

お願い

- **拡張給紙ユニットのケーブルをとめているテープは、プリンタを載せた後、取り除きます。**
- **給紙カセット４、５の中の梱包材は、すべて取り除いてください。**

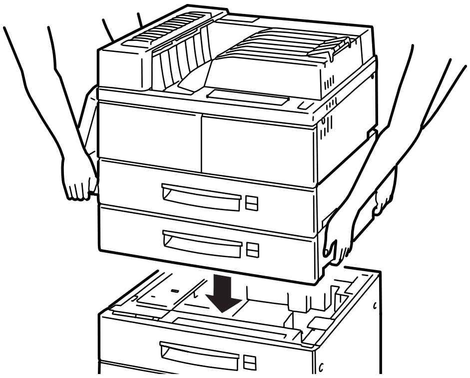


3 上面にテープで留めてある、付属品の入ったビニール袋を取る



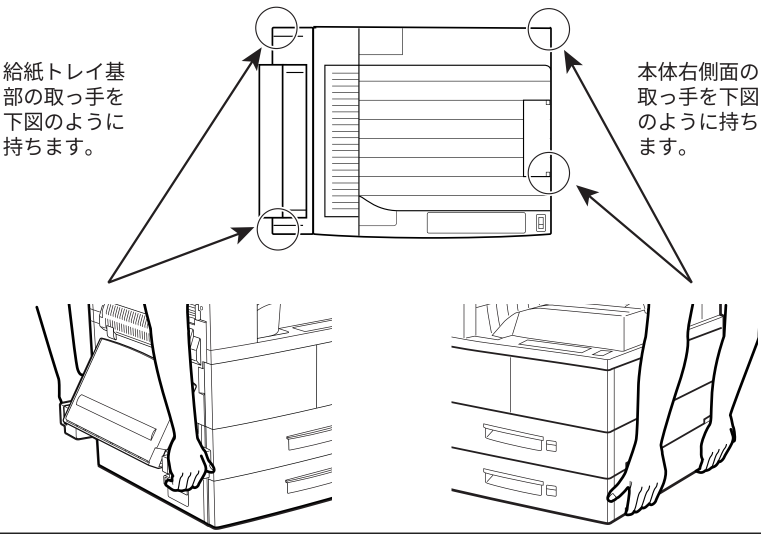
4 拡張給紙ユニットが動かないように、拡張給紙ユニット前面にある２か所のキャスターのストッパを下に押してロックする

⚠**注意**	けが　拡張給紙ユニットのキャスターについているストッパは必ずロックしてください。 ストッパをロックしないと、地震などが発生したときにプリンタが動いたり、ケガの原因となることがあります。



5　プリンタを持ち上げ、拡張給紙ユニット上に、プリンタの側面と拡張給紙ユニットの側面が合うように静かに載せる

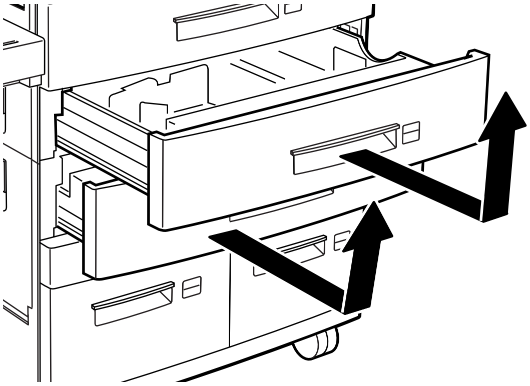
⚠注意	けが　プリンタは、約42kgあります。プリンタを持ち上げるときは、必ず２人以上で持ち上げてください。その際、腰を痛めないように十分にひざを折り、プリンタの左右の取っ手部を両手でしっかりと持ってください。



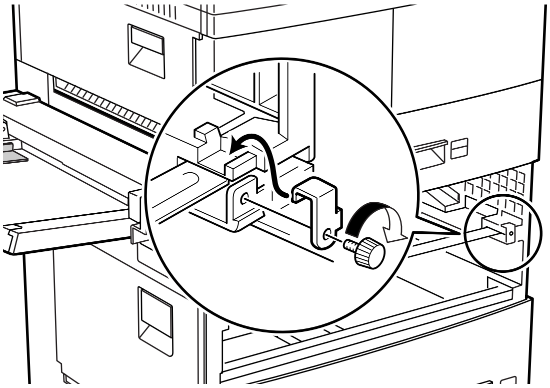
お願い

拡張給紙ユニットから出ているケーブルが、くぼみに入っていることを確認してください。

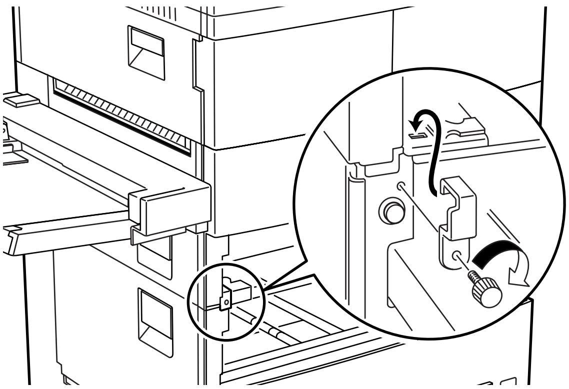
⚠注意	けが	・プリンタを拡張給紙ユニットなどの設置場所に置くとき、手を挟まないように注意してください。 ・プリンタ本体の給紙カセットは、取り出さずに作業をしてください。手を挟んだり、傷つけたりするおそれがあります。



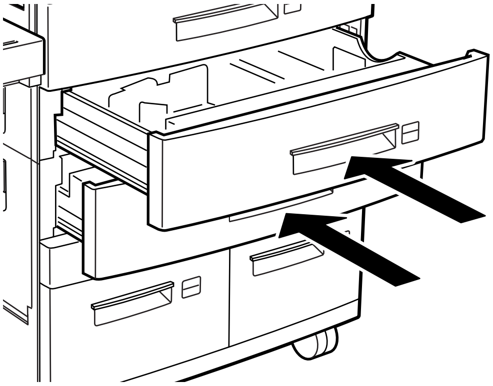
6 ***プリンタの給紙カセット2と、拡張給紙ユニットの最上段の給紙カセット3を取り外す***



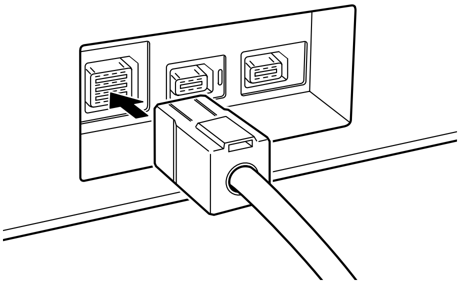
7 ***右側から接続金具（右用）を図のようにプリンタ側にかけて、ネジで固定する***



8 ***左側の接続金具（左用）を、図のようにプリンタ側にかけて、ネジで固定する***



9 **手順６で取り外した給紙カセットを、ゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む**



10 **拡張給紙ユニットのケーブルをプリンタ背面のコネクタに接続する**

お願い

接続不良防止のため､ケーブルはコネクタに奥まで差し込んでください。

ガイド

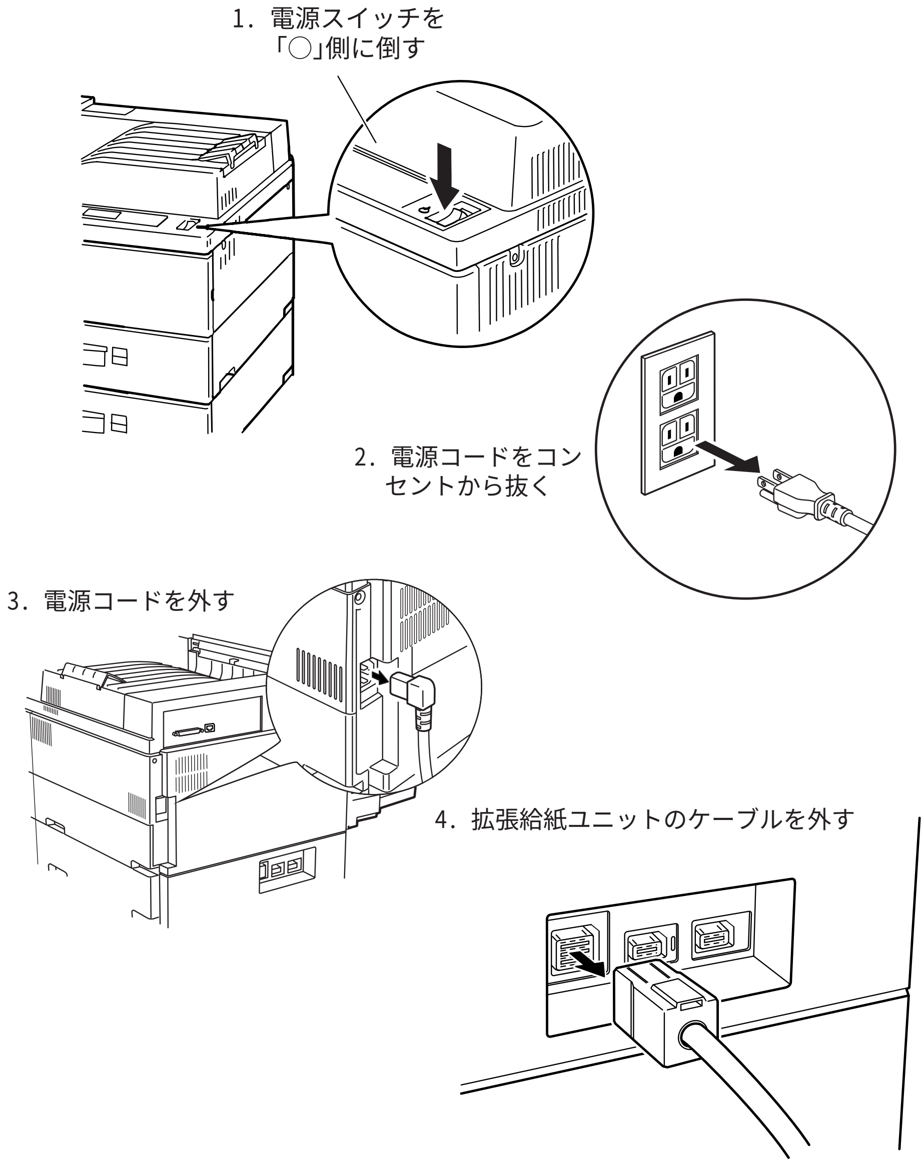
必要に応じ、拡張給紙ユニットに添付されている用紙サイズカードを折りたたんで給紙カセット３に差し込み、用紙サイズラベルを給紙カセット４、５に貼ります。

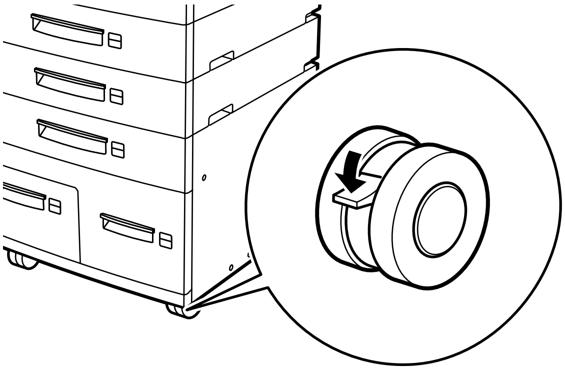
拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1　プリンタの電源を切る

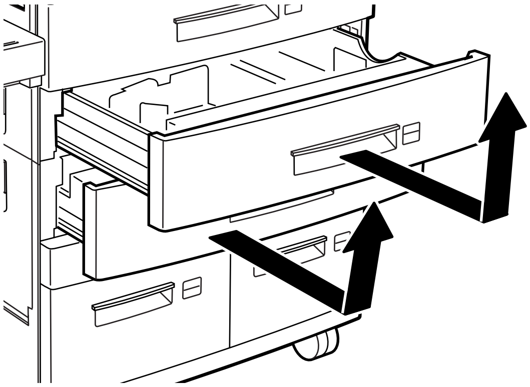
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。
ケーブル類をすべて外します。拡張給紙ユニットのケーブルも外してください。



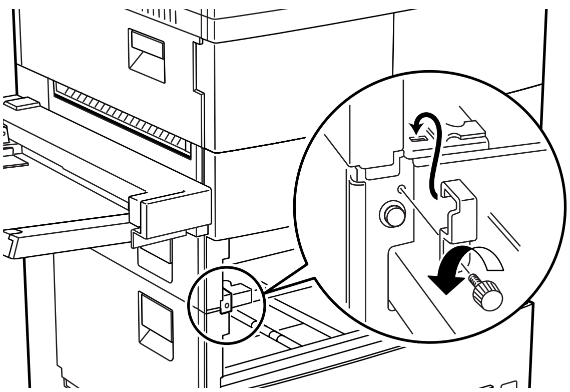


2 ***拡張給紙ユニットが動かないように、拡張給紙ユニット前面にある2か所のストッパを下に押してロックする***

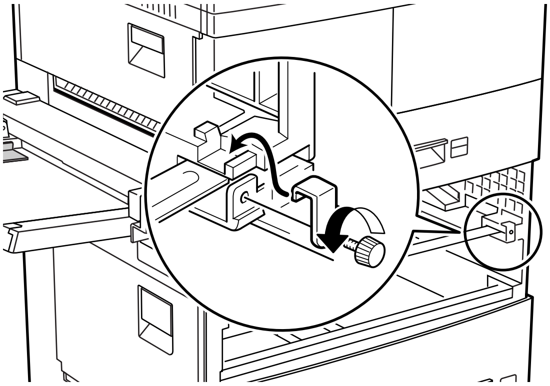
⚠注意	けが　拡張給紙ユニットのキャスターについているストッパは必ずロックしてください。 ストッパをロックしないと、作業の途中でプリンタが動き、ケガの原因となることがあります。



3 ***プリンタの給紙カセットと、拡張給紙ユニットの最上段の給紙カセットを取り外す***



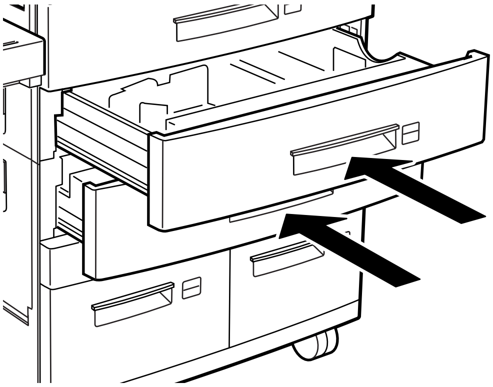
4 ***拡張給紙ユニットを固定している左側のネジを取り外し、金具を外す***



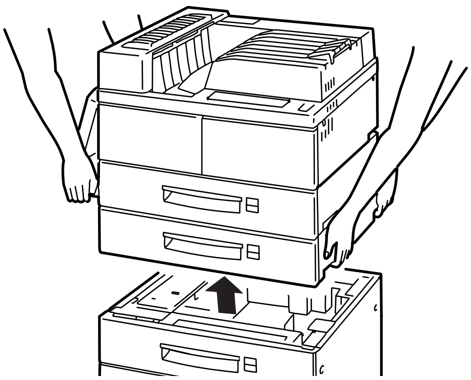
5 拡張給紙ユニットを固定している右側のネジを取り外し、金具を外す

お願い

手順 4、5 で取り外した金具は必ず保管しておいてください。



6 手順 3 で取り外した給紙カセットを、ゆっくりと奥に突き当たるまで押し込む

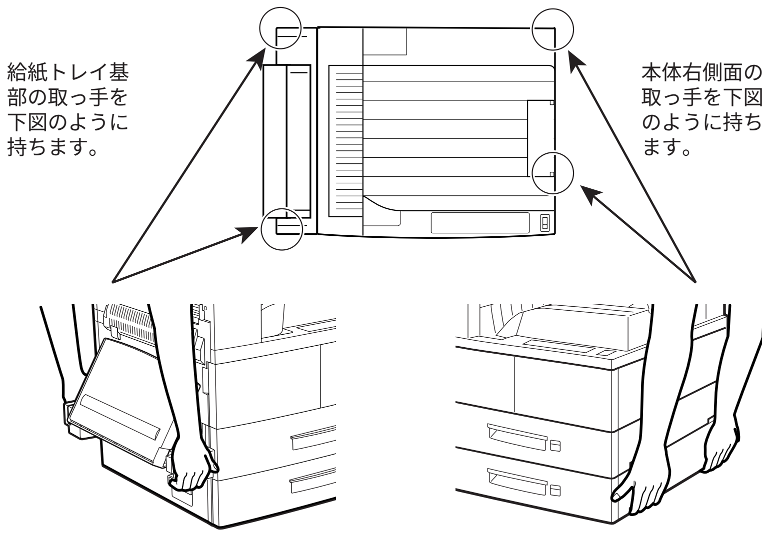


7 プリンタを持ち上げ、拡張給紙ユニットから取り外す

⚠注意

けが

- プリンタを拡張給紙ユニットなどの設置場所に置くとき、手を挟まないように注意してください。
- プリンタ本体の給紙カセットは、取り出さずに作業をしてください。手を挟んだり、傷つけたりするおそれがあります。
- プリンタは、約42kgあります。プリンタを持ち上げるときは、必ず２人以上で持ち上げてください。その際、腰を痛めないように十分にひざを折り、プリンタの左右の取っ手部を両手でしっかりと持ってください。



拡張スタッカユニットの取り付けかた

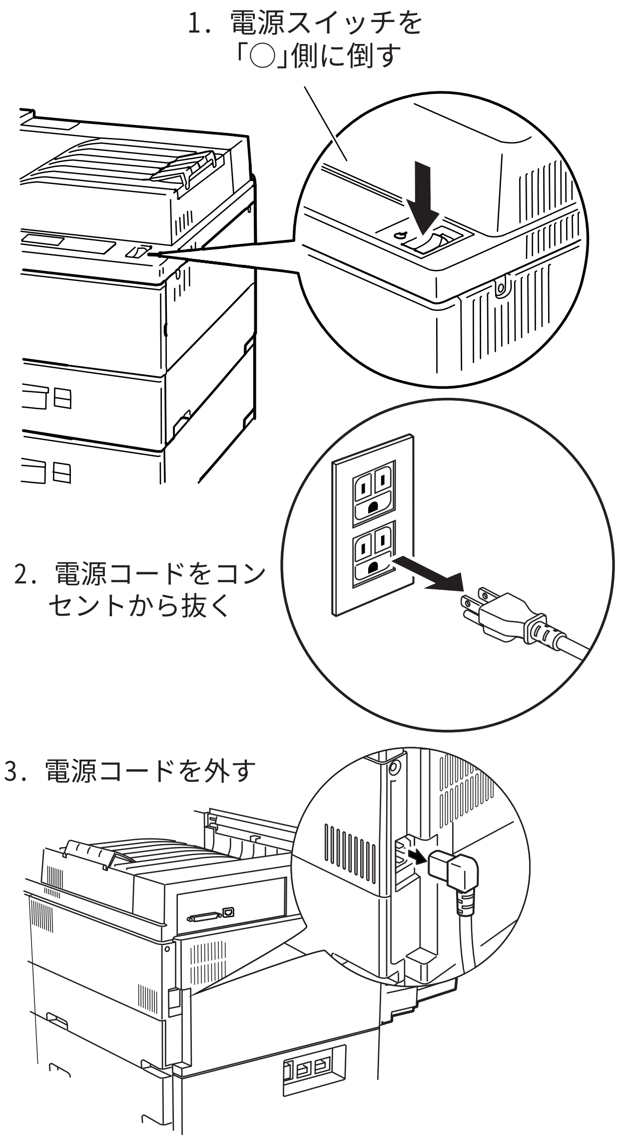
本プリンタには、必要に応じて拡張スタッカユニットを取り付けることができます。
拡張スタッカユニットを取り付けるには、別オプションの拡張給紙ユニットを取り付けておくことが必要です。

⚠警告	感　電	拡張スタッカユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意	け　が	・拡張スタッカユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。 ・プリンタと拡張スタッカユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・拡張スタッカユニットの取り付けおよび取り外しは、2人以上で行ってください。

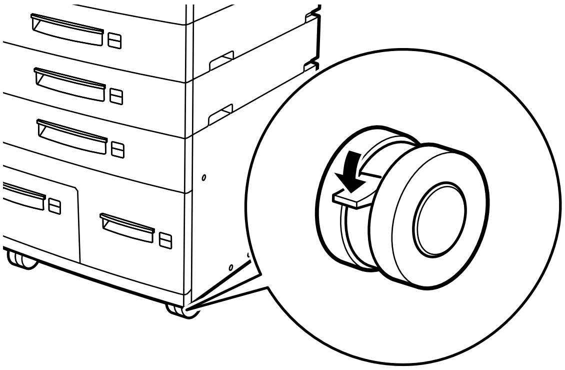
拡張スタッカユニットを取り付ける

拡張スタッカユニットは、拡張給紙ユニットを取り付けてから、次の手順で取り付けます。



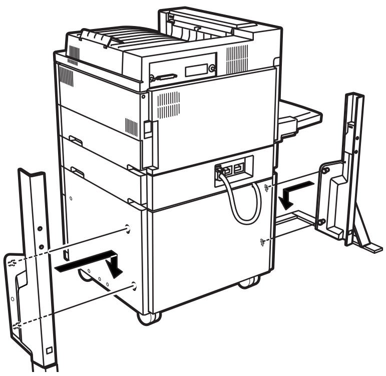
1　*プリンタの電源を切る*

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。
ケーブル類もすべて外します。



2　拡張給紙ユニットが動かないように、キャスターの前面にある２か所のストッパを下に押してロックする

⚠注意	けが　拡張給紙ユニットのキャスターについているストッパは必ずロックしてください。 ストッパをロックしないと、地震などが発生したときにプリンタが動いたり、ケガの原因となることがあります。

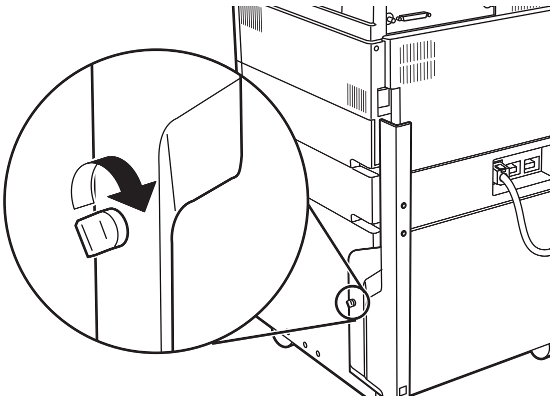


3　拡張スタッカユニット用のスタンド（下）をはめこむ

図を参照してスタンド（下）の左右を確認します。図の矢印の方向を参考にスタンド（下）の内側の金具を拡張給紙ユニットの後ろ側面の穴にはめ込みます。

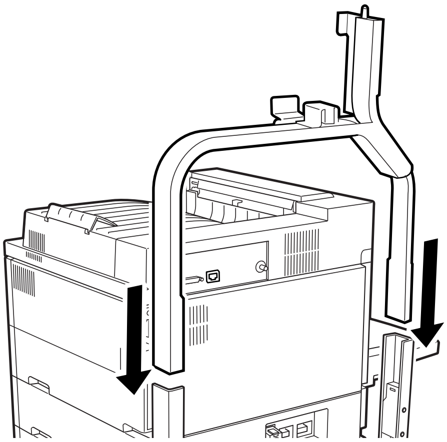
お願い

はめ込む際に、ケーブルを挟まないように注意してください。



4　ネジでスタンド（下）を左右とも固定する

スタンド（下）は、若干後ろに傾いた状態になります。

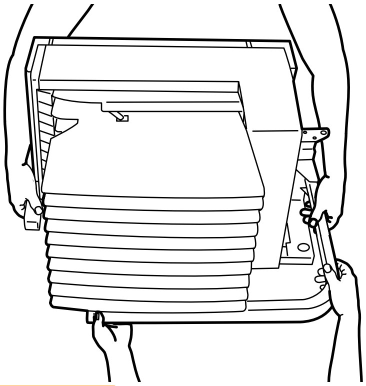


5 スタンド（上）の左右を確認し、スタンド（下）にカチッと音がするまで差し込む

スタンド（上）の上から両手で押し込みます。

お願い

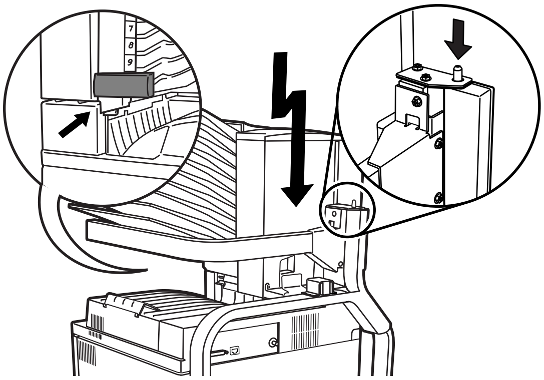
スタンド（上）とスタンド（下）の間に指を挟まないように注意してください。



6 拡張スタッカユニットのフレームと前面のハンドルを持ち、梱包箱から取り出す

お願い

拡張スタッカユニットは、2人以上で持つようにしてください。

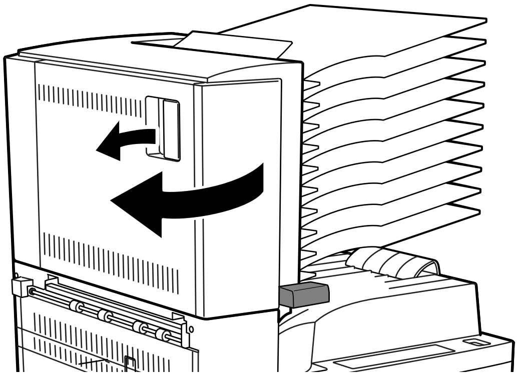


7 スタンド（上）の上部のガイドに合わせ、拡張スタッカユニットをはめ込む

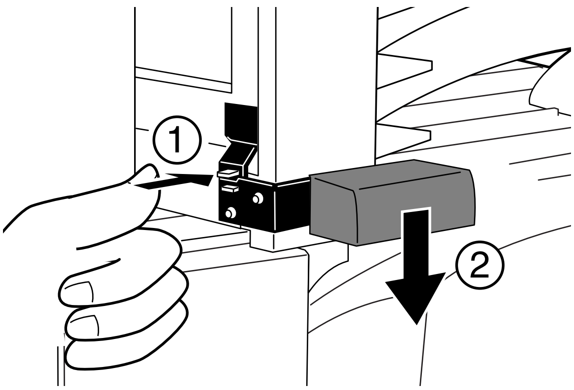
拡張スタッカユニット前面が正しくプリンタ本体にはまっているか確認してください。

お願い

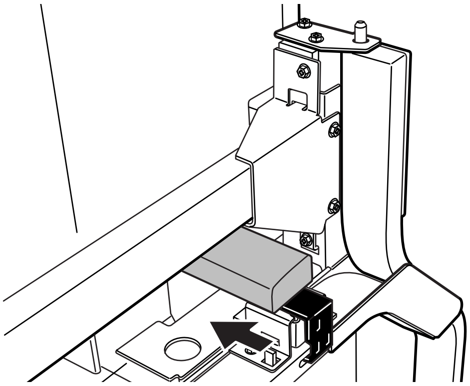
- ケーブルを挟まないように注意してください。
- 拡張スタッカユニット底面の部品が、本体の排紙部に引っかからないように注意してください。



8 拡張スタッカユニット側面のレバーを引き、カバーDを開く

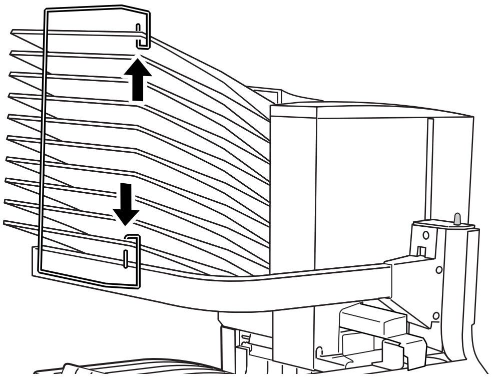


9 ボタンを押しながら、前面のハンドルを外し、カバーを閉める

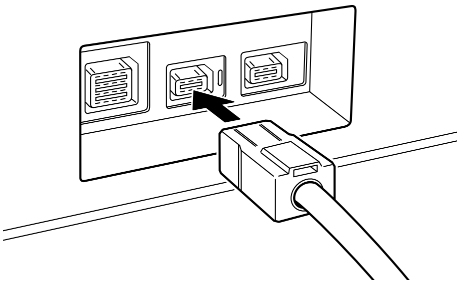


10 ハンドルを背面にセットする

ハンドルを、先端が拡張スタッカユニット背面のくぼみに入るようにセットすると、拡張スタッカユニットが固定されます。



11 拡張スタッカユニットのビンに紙止めをつける



12 拡張スタッカユニットのケーブルを、プリンタ背面のコネクタに接続する

お願い

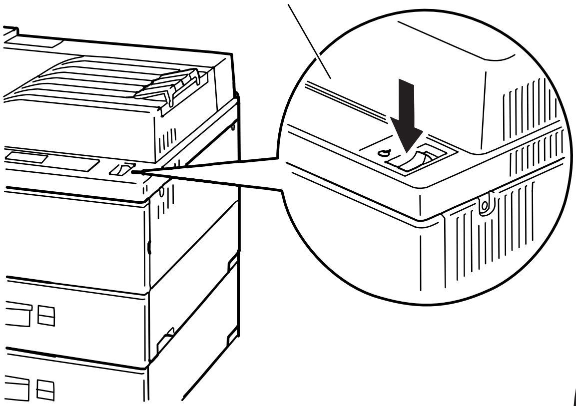
ケーブルは、接続不良防止のため、コネクタに奥まで差し込んでください。

拡張スタッカユニットを取り外す

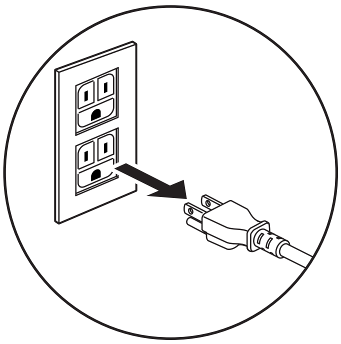
1　プリンタの電源を切る

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コード差し込み口から抜きます。
ケーブル類もすべて外します。

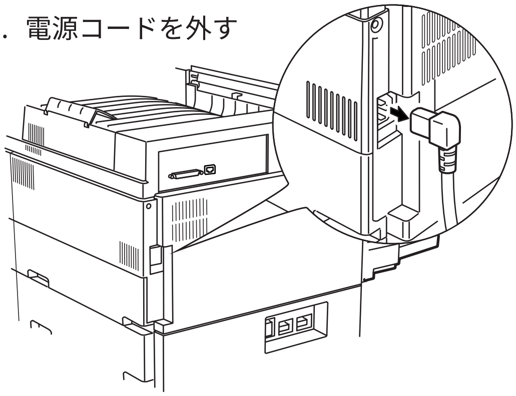
1．電源スイッチを
「○」側に倒す



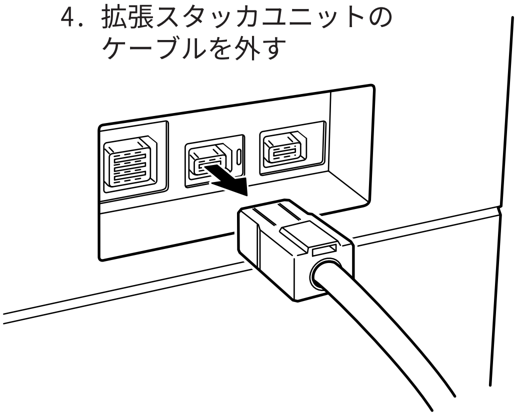
2．電源コードをコン
セントから抜く

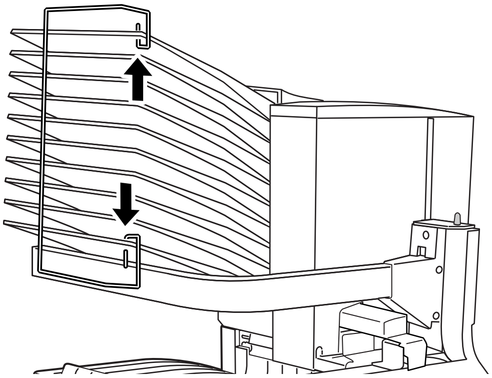


3．電源コードを外す

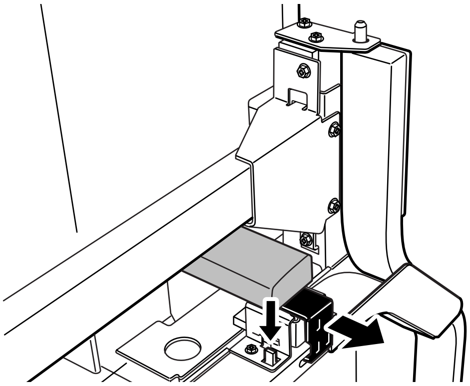


4．拡張スタッカユニットの
ケーブルを外す

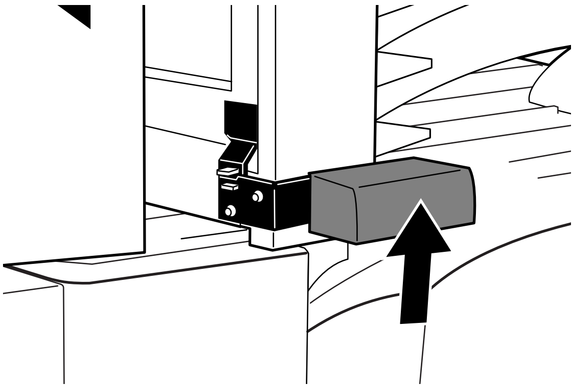




2 拡張スタッカユニットの紙止めを外す

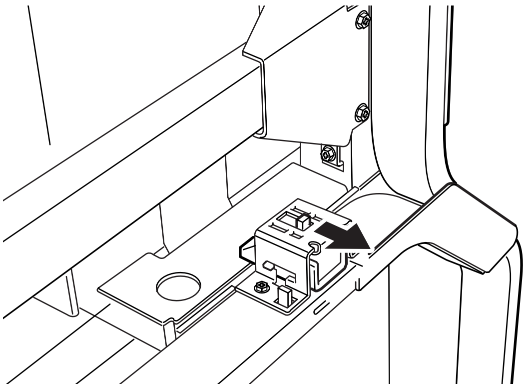


3 拡張スタッカユニット背面にあるハンドルを、横のボタンを押しながら外す

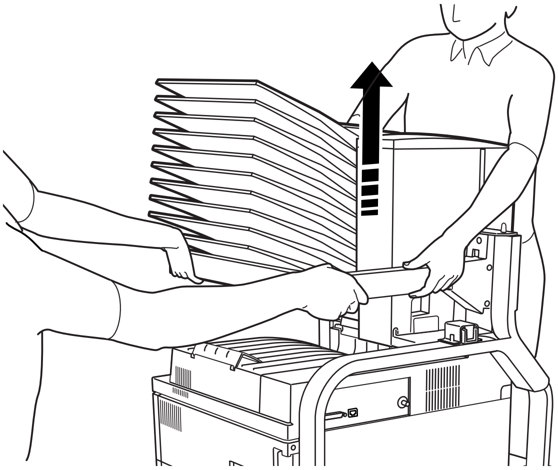


4 拡張スタッカユニット側面のレバーを引いてカバーDを開き、ハンドルをもとの位置にセットしてカバーを閉じる

ハンドルは、ピンに差し込んで上にスライドさせてセットします。



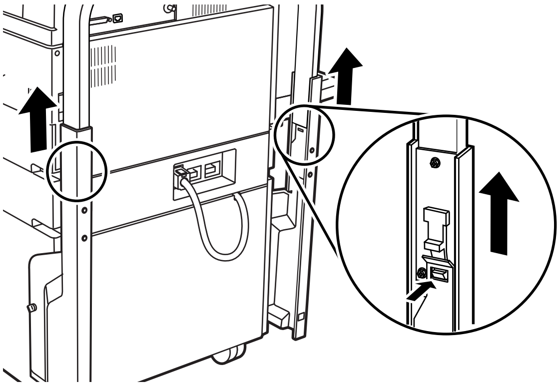
5 背面のロックを解除する



6 ***拡張スタッカユニットのフレームと前面のハンドルを持ち、拡張スタッカユニットをスタンドから持ち上げて外す***

お願い

拡張スタッカユニットは、2人以上で持つようにしてください。

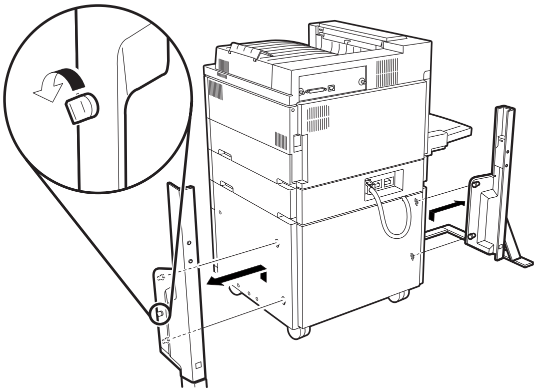


7 ***左右のスタンド（下）の内側のボタンを押しながら、スタンド（上）を左右同時に引き上げる***

⚠注意	けが　手を挟まないように注意してください。

お願い

2人以上で作業してください。



8 スタンド（下）のネジを外し、スタンド（下）をプリンタから外す

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様 194
基本仕様 194
インタフェース仕様 196
用紙関係 197
コマンド（機能コード）一覧 199
ESC/P モードコマンド一覧表 199
ESC/Page モードコマンド一覧表 201
PC-PR201 モードコマンド一覧表 204
Virtual FM モードコマンド一覧表 206
キャラクタコード一覧 208
ESC/P モードキャラクタコード一覧表 208
ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 209
PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表 213
Virtual FM モードキャラクタコード一覧表 ... 216
ＪＩＳ-90 第一水準漢字一覧表 217
ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表 220
ＪＩＳ漢字コードについてのご注意 223
アフターサービスについて 231

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー　最大40枚／分（A4サイズ横送り） 両面印刷時　最大32ページ／分（A4サイズ横送り）
エンジン解像度	600dpi/480dpi
スムージング処理	FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット1　：A3、B4、A4、B5、A5、レター ・給紙カセット2、3　：A3、B4、A4、B5、レター ・給紙カセット4、5　：A4、B5、レター ・給紙トレイ　：A3、B4、A4、B5、A5、レター、リーガル、ユーザ定義サイズ、官製はがき
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙(収容枚数1,000枚、拡張給紙ユニット使用時最大3,500枚) ・給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 50枚（はがき 18枚））
排紙方法 *1、*2	・排紙トレイ：フェイスダウンスタッカ（スタック枚数 500枚） ・拡張スタッカ（スタック枚数 約100枚×10段）
使用環境条件	温度10℃～32℃、湿度15%～85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ±10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　1,200 W以下、節電時　45 W
騒　音	待機時 20dB(A)、動作時 53dB(A)（フルオプション 56dB(A)）
外形寸法	幅642mm、奥行き523mm、高さ486mm
質　量	約42kg（消耗品、オプションを除く）
インタフェース	IEEE P1284双方向パラレルポート 100Base-TX/10Base-T LANポート
プリンタシーケンス *3	XLプリンタドライバ、ESC/P、ESC/Page、PC-PR201、Virtual FM
文字・書体	ESC/Page　：明朝体／ゴシック体　アウトライン文字 明朝体：32ドット、40ドット ESC/P　：明朝体：40ドット PC-PR201　：明朝体：7ポ、10.5ポ、12ポ Virtual FM：明朝体／ゴシック体　アウトライン文字 明朝体：7ポ、9ポ、10.5ポ、12ポ その他：OCR-Bフォント
耐用期間 *4	5年(8時間／日)または150万ページ印刷(A4サイズ横送り)

＊１：収容枚数は64g/m² にて換算
＊２：ご使用の用紙の紙質や湿度の影響による用紙の変形（カールなど）により、排出できる用紙枚数はトレイごとに異なります。
＊３：データ処理解像度
・XL プリンタドライバ　：600dpi（FEIT：1200dpi 相当）
・ESC/P：180dpi（FEIT：600dpi 相当）
・ESC/Page：300dpi（FEIT：600dpi 相当）
・PC-PR201：160dpi（FEIT：480dpi 相当）
・Virtual FM：240dpi
＊４：・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
・累積使用時間は、24 時間運用の場合も同一です。
・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 150 万ページより短くなります。
・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、ハードウェア修理相談センター（231 ページ参照）にご連絡ください。なお、交換は有償です。

部　品	交換目安
定着器	30 万ページ
転写ローラ	30 万ページ
紙送りローラ	30 万枚

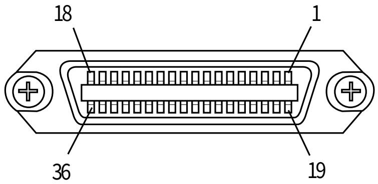
＊片面印刷時：1 枚＝1 ページ
＊両面印刷時：1 枚＝2 ページ

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、IEEE P1284の仕様に準拠した双方向パラレルインタフェースを採用しています。

インタフェース仕様とコネクタピン配列

・インタフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ(メス)　アンフェノール　57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ(オス)　アンフェノール　57-30360相当品
・ケーブル
最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
・信号レベル
LOW：0.0 V～＋0.4 V　　HIGH：＋2.4 V～＋5.0 V
・データ転送方式
８ビットパラレル
・コネクタピン配列



インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	PError	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5VSignal	プリンタ

ピン番号	信号名称	発信元
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—
22	-RET	—
23	-RET	—
24	-RET	—
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	＊Init	パソコン
32	＊Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	＊SelectIn	パソコン

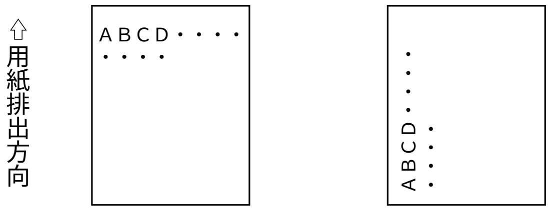
注)“＊”は、負論理信号であることを示します。
-RET信号は、すべてSGに接続されています。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

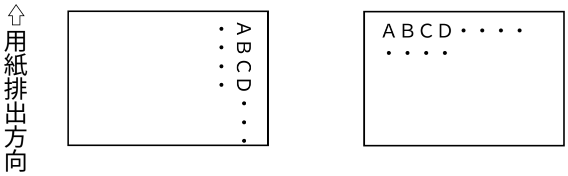
印刷方向

・A3、B4、リーガル、はがきサイズの用紙の場合



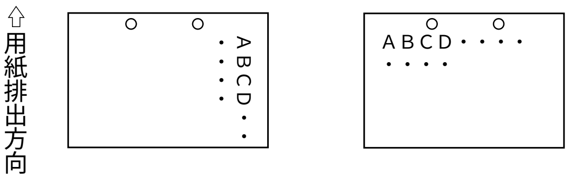
縦方向印刷　　横方向印刷

・A4、A5、B5、レターサイズの用紙の場合



縦方向印刷　　横方向印刷

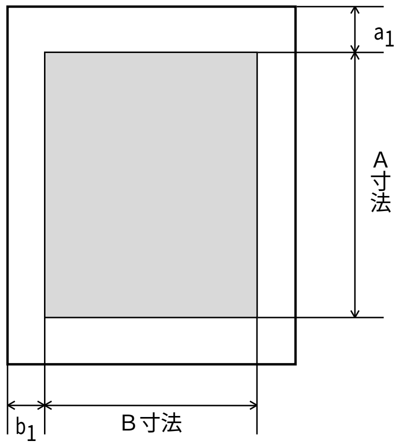
とじ穴のあるＡ４サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。



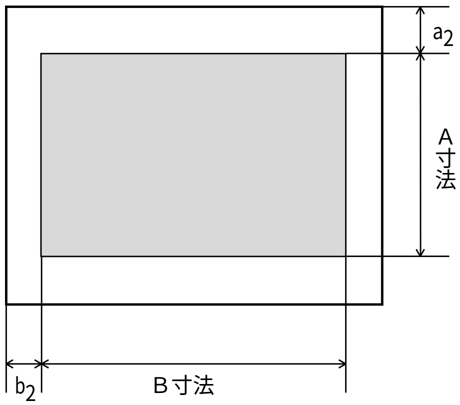
印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］



［印刷方向：横］



（単位：mm）

Printia XL ドライバ、ESC/Page モード、Virtual FM モード使用時

a_1=a_2=5mm、b_1=b_2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

ESC/P モード使用時

a_1=a_2=8.5mm または22mm(はがき:10mm)、b_1=b_2=5mm

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5mm時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5mm時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

PC-PR201 モード使用時

a_1=5mm、a_2=8mm、b_1=8mm、b_2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	レター	はがき
縦方向	A寸法	409	353	287	246	200	270	138
	B寸法	284	241	197	169	135	203	86
横方向	A寸法	284	241	197	169	135	203	86
	B寸法	409	345	287	246	200	270	137

コマンド（機能コード）一覧

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。
表中の Pa、P_1、P_2、…、Pn は、パラメータを表します。
表中の D_1、D_2、…、Dn は、データを表します。
表中の sP は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンド一覧表

ESC/P モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+ C +Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+ C +NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+ N +Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+ O
	右マージン設定	ESC+q+Pa
	左マージン設定	ESC+ L +Pa
改行量設定	1/8 インチ改行量指定	ESC+0
	1/6 インチ改行量指定	ESC+ 2
	n/180 インチ改行量指定	ESC+ 3 +Pa
	n/60 インチ改行量指定	ESC+ A +Pa
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+ B +P_1+P_2+…Pn+NUL
	水平タブ位置設定	ESC+ D +P_1+P_2+…Pn+NUL
	VFU チャネル選択	ESC+ ／ +Pa
	VFU タブ位置設定	ESC+ b +Pa+P_1+…Pn+NUL
印字・紙送り	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+ J +Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+ j +Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ項実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+＄+P_1+P_2
	相対位置指定	ESC+￥+P_1+P_2

テキスト処理～ ANK 文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI 指定	ESC+M
	10CPI 指定	ESC+P
	15CPI 指定	ESC+ g
	プロポーショナル指定／解除	ESC+P+Pa
	国際文字選択	ESC+ R +Pa
	スーパー / サブスクリプト指定	ESC+s+Pa
	スーパー / サブスクリプト解除	ESC+ T
	文字品位選択	ESC+ x +Pa
	書体選択	ESC+ k +Pa
	文字コード表選択	ESC+ t +Pa
文字定義	ダウンロード文字セット指定 / 解除	ESC+%+Pa
	ダウンロード文字定義	ESC+ & +NUL+P_1+P_2+Pa_1+Pb_1+Pc_1+D_1～Dn} ×n
	文字セットコピー	ESC+：+NUL+P_1+P_2
文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC+sP+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+ a +Pa
装飾	縮小指定	SI
	縮小指定	ESC+SI
	縮小解除	DC2
	アンダーライン指定／解除	ESC+―+Pa
	縦倍拡大指定／解除	ESC+ w +Pa

テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定／解除	ESC+ W +Pa
	強調指定	ESC+ E
	強調解除	ESC+ F
	二重印字指定	ESC+ G
	二重印字解除	ESC+ H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+!+Pa
	イタリック指定	ESC+ 4
	イタリック解除	ESC+ 5
	文字スタイル選択	ESC+q+Pa

テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+ J
	横書き指定	FS+ K
	半角縦書き２文字指定	FS+ D
	４倍角指定／解除	FS+ W +Pa
	漢字アンダーライン指定／解除	FS+—+Pa
	漢字一括指定	FS+!+Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+ &
	漢字モード解除	FS+.
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	1／4角文字指定	FS+ r +Pa
	漢字書体選択	FS+ k +Pa
文字定義	外字定義	FS+ 2 $+P_1+P_2+D_1$ ～D_{72}
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	Fs+S$+P_1+P_2$
	半角文字スペース量設定	FS+ T $+P_1+P_2$
	半角文字スペース量補正	FS+ U
	半角文字スペース量補正解除	FS+ V

イメージ処理

コマンド名	コード名
8ドット単密度ビットイメージ	ESC+ K $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット倍密度ビットイメージ	ESC+ L $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+ Y $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
8ドット4倍密度ビットイメージ	ESC+ Z $+P_1+P_2+D_1$ ～Dn
ビットイメージ選択	ESC+ ＊ +Pa$+P_1+$ P_2+D_1 ～Dn
ビットイメージ変換	ESC+ ? $+P_1+P_2$

補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+ @
データ入力制御	データ抹消	CAN
ＣｓＦ制御	カットシートフィーダ制御	ESC+EM+Pa

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+NUL+NUL
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@ +DEL+ESC+ DEL+NUL+ NUL+SOH+Pa

ESC/Page モードコマンド一覧表

ESC/Page モードコマンドは、下表のとおりです。

環境設定

コマンド名	コード名
最小単位設定	GS+P_1+;+P_2+m+u+E
ドットパターン解像度選択	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+d+r+E
スクリーンモード指定／解除	GS+Pa+s+t+E
スクリーンパターン選択	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+s+P+E
スクリーンパターン登録	GS+P_1+;+…+;+P_4+s+P+ {+E
スクリーンパターン登録数設定	GS+Pa+i+s+E
上書きモード指定／解除	GS+Pa+o+w+E
ハードリセット	GS+r+h+E
パラメータリセット	GS+r+P+E
用紙方向選択	GS+Pa+P+o+E
論理原点設定	GS+P_1+;+P_2+l+o+E
用紙サイズ設定	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+P+s+E
給紙装置選択	GS+P_1+;+P_2+i+u+E
クリップ領域設定	GS+P_1+;+…+;+P_4+c+a+E
クリップモード指定／解除	GS+Pa+c+m+E
トップマージン設定	GS+Pa+t+m+E
トップマージン設定（行単位）	GS+Pa+t+m+l+E
ボトムマージン設定	GS+Pa+b+m+E
ボトムマージン設定（行単位）	GS+Pa+b+m+l+E
レフトマージン設定	GS+Pa+l+m+E
レフトマージン設定(桁単位)	GS+Pa+l+m+c+E
ライトマージン設定	GS+Pa+r+m+E
ライトマージン設定（桁単位）	GS+Pa+r+m+c+E

印字位置設定

コマンド名	コード名
復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
後退	BS
水平方向現在位置絶対指定	GS+Pa+X
水平方向現在位置絶対指定（桁単位）	GS+Pa+x+P
垂直方向現在位置絶対指定	GS+Pa+Y
垂直方向現在位置絶対指定（行単位）	GS+Pa+y+P
水平方向現在位置相対指定	GS+Pa+H
水平方向現在位置相対指定（桁単位）	GS+Pa+h+P
垂直方向現在位置相対指定	GS+Pa+V
垂直方向現在位置相対指定（行単位）	GS+Pa+v+P
ﾌﾟｯｼｭ・ﾎﾟｯﾌﾟｽﾀｯｸ数指定	GS+Pa+s+s+P
現在位置プッシュ・ポップ	GS+Pa+P+P+P
現在位置記憶数指定	GS+Pa+i+P+P
現在位置記憶	GS+Pa+m+P
現在位置呼び出し	GS+P_1+;+P_2+c+P
現在位置記憶（番号自動変更）	GS+Pa+a+m+P
現在位置呼び出し（番号自動変更）	GS+P_1+;+P_2+a+c+P
改行量設定	GS+P_1+;+P_2+l+P+P
自動復帰改行選択	GS+Pa+a+l+f+P
自動改ページ選択	GS+Pa+a+f+f+P
CR/LF/FF 動作選択	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+c+l+f+P
現在位置移動モード選択	GS+Pa+P+m+P
印字ピッチ設定	GS+P1+;+P2+P+P
文字オフセット量設定	GS+P_1+;+P_2+c+o+P
ﾋﾞｯﾄｲﾒｰｼﾞｵﾌｾｯﾄ量設定	GS+Pa+b+o+P
ビットイメージ描画後現在位置選択	GS+Pa+a+b+P

フォント

コマンド名	コード名
シンボルセット選択	GS+P_1+;+P_2+s+s+F
文字スペーシング選択	GS+P_1+;+P_2+s+P+F
文字幅設定（CPI）	GS+Pa+w+c+F
文字幅設定（最小単位）	GS+Pa+w+m+F
文字高さ設定（ポイント）	GS+Pa+h+P+F
文字高さ設定（最小単位）	GS+Pa+h+m+F
書体選択	GS+Pa+t+f+F
文字スタイル選択	GS+Pa+s+t+F
文字線幅選択	GS+Pa+w+e+F
文字回転設定	GS+Pa+r+o+F
文字傾き設定	GS+Pa+s+l+F
フォント属性記憶／呼び出し	GS+P_1+;+P_2+m+c+F
ダウンロードフォント選択	GS+Pa+d+c+F
ダウンロードフォント削除	GS+Pa+d+d+c+F
シンボルセット登録	GS+P_1+;+P_2+d+s+s+ {+F
シンボルセット削除	GS+Pa+d+s+s+F
フォントコピー	GS+P_1+;+P_2+f+c+ {+F
ヘッダー登録	GS+P_1+;+P_2+d+h+ {+F
１文字登録	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+s+c+ {+F
文字幅テーブル登録	GS+P_1+;+P_2+c+w+ {+F
フォント属性記憶数設定	GS+Pa+i+a+F
フォント登録数設定	GS+Pa+l+i+a+F
シンボルセット登録数設定	GS+Pa+i+s+s+F

文字印字

コマンド名	コード名
アンダーライン指定／解除	GS+Pa+u+l+C
アンダーライン水平方向 オフセット量設定	GS+P_1+;+P_2+u+h+C
アンダーライン垂直方向 オフセット量設定	GS+P_1+;+P_2+u+v+C
バックグラウンド指定／解除	GS+Pa+b+g+C
バックグラウンド水平方向 オフセット量設定	GS+P_1+;+P_2+b+h+C
バックグラウンド垂直方向 オフセット量設定	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+b+v+C
コントロールコード キャラクタ印字	GS+Pa+c+P+ {+C
縦書きモード指定／解除	GS+Pa+v+P+C
組文字指定	GS+Pa+c+c+C

イメージ描画

コマンド名	コード名
網掛け描画	GS+P_1+;+P_2+b+g+I
罫線描画	GS+P_1+;+P_2+r+u+I
罫線／アンダーライン パターン選択	GS+P_1+;+P_2+r+P+I
罫線／アンダーライン パターン登録	GS+P_1+;+…+;+P_4+r+P+ {+I
罫線／アンダーライン パターン登録数設定	GS+Pa+i+r+I
ビットイメージ描画	GS+P_1+;+…+;+P_4+b+i+ {+I
ビットイメージ登録	GS+P_1+;+…+;+P_5+b+d+ {+I
登録ビットイメージ描画	GS+Pa+d+b+I
ビットイメージ登録数設画	GS+Pa+i+b+I
ビットイメージデータ 圧縮形式選択	GS+Pa+b+c+I
ラスターイメージ描画開始	GS+P_1+;+…+;+P_4+b+r+I
ラスターイメージ描画終了	GS+e+r+I
ラスターイメージ描画	GS+Pa+r+ {+I
圧縮なし ラスターイメージ描画	GS+Pa+u+ {+I
エンプティ ラスターイメージ描画	GS+Pa+e+I

図形描画

コマンド名	コード名
線描画	GS+P_1+;+…+;+Pn+l+G
多角形描画	GS+P_1+;+…+;+Pn+P+G
スプライン曲線描画	GS+P_1+;+…+;+Pn+s+G
Bezier 曲線描画	GS+P_1+;+…+;+Pn+b+G
Ｂスプライン曲線描画	GS+P_1+;+…+;+Pn+b+s+G
矩形描画	GS+P_1+;+…+;+P_5+r+G
円描画	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+c+G
円弧描画	GS+P_1+;+…+;+P_5+a+G
扇形描画	GS+P_1+;+…+;+P_6+f+G
楕円描画	GS+P_1+;+…+;+P_5+e+G
楕円弧描画	GS+P_1+;+…+;+P_7+e+a+G
楕円扇形描画	GS+P_1+;+…+;+P_8+e+f+G
ベクタ指定円弧描画	GS+P_1+;+…+;+P_7+a+v+G
ベクタ指定扇形描画	GS+P_1+;+…+;+P_8+f+v+G
ベクタ指定楕円弧描画	GS+P_1+;+…+;+P_9+e+a+v+G
ベクタ指定楕円扇形描画	GS+P1+;+…+;+P_{10}+e+f+v+G
線種選択	GS+P_1+;+P_2+l+P+G
線種登録	GS+P_1+;+…+;+Pn+d+l+G
線種登録数設定	GS+Pa+i+l+G
線幅設定	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+l+w+G
図形描画モード選択	GS+Pa+d+m+G
図形座標モード選択	GS+Pa+s+a+r+G

マクロ

コマンド名	コード名
マクロ登録開始	GS+Pa+b+m+M
マクロ登録終了	GS+e+m+M
マクロ実行	GS+P_1+;+P_2+s+m+M
フォームオーバーレイ指定／解除	GS+P_1+;+P_2+;+P_3+a+m+M
マクロ登録数設定	GS+Pa+i+m+M

その他

コマンド名	コード名
コピー枚数設定	GS+Pa+c+o+O

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	GS+Pa+P+m+E
エミュレーション切替え	ESC+/+ｲ+@+DEL+ESC+ DEL+NUL+NUL+SOH+Pa

PC-PR201 モードコマンド一覧表

PC-PR201 モードコマンドは、下表のとおりです。

書式設定・実行

コマンド名	コード名
右マージン設定	ESC+／+Pa
左マージン設定	ESC+L+Pa
1/6インチ改行ピッチ指定	ESC+A
1/8インチ改行ピッチ指定	ESC+B
n/120インチ改行ピッチ指定	ESC+T+Pa
VFUセットの開始指定	GS
VFUセットの終了指定	RS
簡易VFU指定	ESC+v+P_1+,+P_2+,+…+Pn+.
水平タブ位置設定	ESC+(+P_1+,+…Pn+.
水平タブ部分クリア指定	ESC+)+P_1+,+…Pn+.
水平タブ全クリア指定	ESC+2
印字復帰	CR
改行	LF
改ページ	FF
順方向改行指定	ESC+f
逆方向改行指定	ESC+r
水平タブ実行	HT
垂直タブ実行	VT
チャネル制御、改行量制御	US+Pa
ドットスペース指定	ESC+Pa
ドットアドレッシング指定	ESC+F+Pa
キャラクタリピート指定	ESC+R+P_1+P_2
コピーモード指定	ESC+D
ネイティブモード指定	ESC+M

テキスト処理

コマンド名	コード名
CGグラフィックモード指定	ESC+＃
カタカナモード指定	ESC+＄
ひらがなモード指定	ESC+＆
エリートモード指定	ESC+E
パイカモード指定	ESC+H
プロポーショナルモード指定	ESC+P
コンデンスモード指定	ESC+Q
ドラフトモード指定	ESC+d+Pa
HSパイカモードの切り替え指定	ESC+n+Pa
スクリプト文字モード指定	ESC+s+Pa
1バイト文字フォント選択指定	FS+0+6+F+P_1+P_2+P_3+P_4+P_5

コマンド名	コード名
1バイト文字のダウンロード	ESC+l+P_1+P_2+P_3+P_4+Dn
登録文字印字指定	ESC+ l ++
プリンタ内蔵文字印字指定	ESC+ l +－
登録文字クリア指定	ESC+ l + 0
横拡大解除 印字モード切替え	SI（8ビットコード） SI（7ビットコード）
横拡大指定 カタカナモード指定	SO(8ビットコード) SO(7ビットコード)
横拡大指定	DC2
横拡大解除指定	DC4
強調文字印刷開始指定	ESC+!
強調文字印刷解除指定	ESC+ ”
縦横拡大率指定	ESC+e+P_1+P_2
縮小文字組文字印刷指定	FS+P
文字修飾指定	FS+c+P_1+,+P_2+,+P_3+…Pn+.
文字の拡大率、縮小率指定	FS+m+P_1+／+P_2+,+P_3+／+P_4+,+P_5+.
固定ドットスペース指定	FS+w+P_1+,+P_2+.
漢字横印刷指定	ESC+K
ゴシック体漢字ROMカートリッジ指定	ESC+0+Pa
半角縦印刷指定	ESC+h+Pa
半角組文字縦印刷指定	ESC+q
漢字縦印刷指定	ESC+t
外字のロード終了	EOT
外字(16×16ドット)のロード	ESC+＊+P_1+P_2+D_1+…+D_{32}+EOT
外字(24×24ドット)のロード	ESC+++P_1+P_2+D_1+…+D_{72}+EOT
文字サイズ指定	FS+0+4+S+P_1+P_2+P_3
漢字文字幅、ポイント指定	FS+A FS+B
漢字文字幅、ポイント指定	FS+C FS+D
漢字文字幅、ポイント指定	FS+F FS+G
文字幅指定	FS+P+P_1+,+P_2+／+P_3+.

イメージ処理

コマンド名	コード名
16ビットグラフィックイメージ	ESC+I+Pa+Dn
24ビットグラフィックイメージ	ESC+J+Pa+Dn
8ビットグラフィックイメージ	ESC+S+Pa+Dn
24ビットドット列リピート	ESC+U+Pa+Dn
8ビットドット列リピート	ESC+V+Pa+Dn
16ビットドット列リピート	ESC+W+Pa+Dn

ライン処理

コマンド名	コード名
ライン付加指定	ESC+X
ライン付加モード解除指定	ESC+Y
ラインモード指定	ESC+_+Pa
付加ライン線種指定	FS+0+4+L+P_1+P_2+P_3

補助機能

コマンド名	コード名
初期化	ESC+c+1
片方向印字指定	ESC+＞
両方向印字指定	ESC+]
データ抹消	CAN
全吸入全排出指定	ESC+a
全排出指定	ESC+b
カラー指定	ESC+C+n
ホッパ選択	FS+f+P_1+P_2+P_3+.
用紙サイズ指定	FS+f+P_1+P_2+P_3+.

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC+/+ｲ+@+DEL+ESC+ DEL+NUL+NUL+SOH+Pa

Virtual FM モードコマンド一覧表

Virtual FM モードコマンドは、下表のとおりです。

装置制御

機能名称	コマンド名	コード名
リセット	リセット	ESC+c
	リセット	CEX+]
印刷モード設定	縮小印刷指定	PU1+Pa+!+ I
	特殊印刷指定	PU1+Pa+!+ J
動作モード設定	解像度変更指定	PU1+Pa+!+ A
装置制御	抹消	<18>$_{16}$
	削除	<7F>$_{16}$

ページ制御

機能名称	コマンド名	コード名
用紙制御	ｶｯﾄｼｰﾄﾌｨｰﾀﾞ制御	PU1+Pa+sP+ [
	改ページ	<0C>$_{16}$
	コピー枚数指定	PU1+Pa+!+ D
サイズ	用紙指定	PU1+P_1+；+…+P_4+!+@
	用紙指定２	PU1+P_1+；+…+P_3+!+F
印字領域	自動改ページ指定	PU1+Pa+sP+ K
	左端指定	PU1+P_1+；+P_2+sP+q
	原点移動指定	PU1+P_1+；+P_2+!+ B
	印刷領域指定	PU1+P_{1x}+；+P_{1y}+；+P_{2x}+；+P_{2y}+!+H
ページ長設定	ページ長指定１	PU1+Pa+sP+ A
	ページ長指定２	PU1+Pa+sP+ B

印刷位置制御

機能名称	コマンド名	コード名
基本制御	復帰	<0D>$_{16}$
	後退	<08>$_{16}$
	改行	<0A>$_{16}$
	復改	ESC+ E
ピッチ制御	漢字文字ピッチ指定	CEX+＄+Pa
	改行ピッチ指定	CEX+%+Pa
	改行ピッチ指定２	PU1+P_1+；+P_2+sP+ G
	改行ピッチ指定３	PU1+Pa+sP+ H
	改行ピッチ／ANK文字ピッチ指定	CSI+P_1+；+P_2+sP+ G

機能名称	コマンド名	コード名
タブストップ設定	水平タブセット	ESC+ H
	水平タブセット	CEX+ F
	水平タブ位置指定	CEX+＃+P_1+…+Pn
	水平タブ位置指定	CSI+P_1+；+…+Pn+sP+ N
	垂直タブセット	ESC+ J
	垂直タブセット	CEX+ H
	垂直タブ位置指定	PU1+P_1+；+…+Pn+sP+@
タブ解除	水平タブリセット	CEX+ G
	垂直タブリセット	CEX+ I
	タブクリア	CSI+Pa+ g
タブ異動	水平タブ	<09>$_{16}$
	絶対水平タブ	CSI+Pa+ `
	絶対水平タブ２	PU1+Pa+sP+P
	相対水平タブ	CSI+Pa+ a
	指定間隔	CEX+!+Pa
	水平逆タブ	CEX+ D
	相対水平逆タブ	CSI+Pa+ j
	垂直タブ	<0B>$_{16}$
	絶対垂直タブ	CSI+Pa+ d
	相対垂直タブ	CSI+Pa+ e
	垂直逆タブ	CEX+ E
	相対垂直逆タブ	CSI+Pa+ k
印字位置	動作位置指定	CEX+”+P_1+P_2
	動作位置指定	CSI+P_1+；+P_2+ f
	漢字モードｾｯﾄ	CEX+ ─ +Pa
	漢字モードﾘｾｯﾄ	CEX+.+Pa
	漢字基準線指定	PU1+Pa+sP+ d
	行組み指定	CEX+)+P_1+P_2+P_3+P_4
	漢字復改１	CEX+ A
	漢字復改２	CEX+B CEX+C
	段落	ESC+$+@

文字印字制御

機能名称	コマンド名	コード名
漢字／ANK	漢字指定	ESC+$+B
	ANK 指定	ESC+（+H
	漢字文字サイズ指定	CEX+&+P1+P2
	漢字文字サイズ指定２	PU1+P_1+；+P_2+；+ R
	書体指定	CEX+（+P_1+P_2
	半角指定	PU1+Pa+sP+1
プロポーショナル	欧文ピッチ処理開始	CEX+T
	欧文ピッチ処理終了	CEX+U
上つき／下つき文字	上つき文字開始	CEX+N
	上つき文字終了	CEX+O
	下つき文字開始	CEX+P
	下つき文字終了	CEX+Q
拡大／縮小	漢字拡大印刷指定	CEX+ ´ +P_1+P_2
	ANK 倍幅拡大印刷指定	CSI+P_1+；+P_2+sP+ B
スケーラブル文字制御	スケーラブル文字制御	PU1+P_1+；+P_2+；+…+P_5+!+Q
強調	強調	CEX+ ＊ +Pa
	強調	CSI+Pa+ m
縦書き／横書き	漢字縦書き指定	CEX+ J
	漢字縦書き指定２	PU1+Pa+sP+q
	漢字横書き指定	CEX+ K
	半角文字縦書き指定	PU1+Pa+sP+P
その他	罫線接続指定	PU1+Pa+sP+ t
	漢字未定義コード指定	PU1+Pa+sP+ x
	スペース幅指定	CSI+Pa+sP+ E

イメージ処理

コマンド名	コード名
イメージ転送	PU1+Pa+sP+ W +D1+…+Dn
単密度倍幅イメージ転送	PU1+Pa+sP+ V +D_1+…+Dn
倍幅イメージ転送	PU1+Pa+sP+ X +D_1+…+Dn
矩形イメージ転送	PU1+P_1+；+P_2+；+P_3+!+a+D1+…+Dn

外字登録

コマンド名	コード名
外字登録	CEX+ 2 + 0 +P_1+P_2+D_1+…+Dn
外字登録２	CEX+ 2 + 1 +P_1+P_2+D_1+…+Dn
文字パターン構成モード選択	CEX+ O +P_1+P_2+P_3+P_4

オーバレイ機能

機能名称	コマンド名	コード名
オーバレイ登録	オーバレイ登録／ページ指定	PU1+P_1+；+P_2+!+j
	オーバレイクリア指定	PU1+Pa+!+k
オーバレイ参照	オーバレイ参照指定	PU1+P1+；+P2+…+；+Pn+!+l
	コピーオーバレイ参照指定１	PU1+P_1+；+P_2+…+；+Pn+；+Pn+1+!+ m
	コピーオーバレイ参照指定２	PU1+P_1+；+P_2+…+；+Pn+；+Pn+1+!+n
網かけ	網かけパターン登録指定	PU1+Pa+!+P+D1+…+Dn
	網かけパターン選択指定	PU1+Pa+!+q
形状	線幅指定	PU1+P1+；+P2+!+s
	ベクトル罫線２間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+!+u
	ベクトル罫線４間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+；+Pc+；+Pd+!+ v
	マーク２間隔指定	PU1+Pa+；+Pb+!+w
ベクトル	ベクトル罫線指定１複数点接続	PU1+P_1+；+P_{AX}+；+P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+；+…+P_{NX}+；+P_{NY}+!+ x
	ベクトル罫線指定２リピートライン	PU1+P_1+；+P_2+；+P_3+；+P_4+；+P_{AX}+；+P_{AY}+；+Pb+!+ y
	BOX 指定	PU1+P_1+；+P_2+；+P_{AX}+；+P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+!+z
	円／円弧指定	PU1+P_1+；+P_2+；+Px+；+Py+；+Pr+；+P_{TS}+；+P_{TE}+!+ {
	扇型指定	PU1+P1+；+P2+；+Px+；+Py+；+Pr+；+PTS+；+PTE+!+ ｜
	三角形指定	PU1+P_1+；+P_2+；+PAX+；+P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+；+P_{CX}+；+P_{CY}+!+}
MH データ	MH 展開指定	PU1+P_{AX}+；+P_{AY}+；+P_{BX}+；+P_{BY}+!+ ‾
	MH モード指定	PU1+Pa+；+Pb+!+DEL+MH 符号コード

エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
エミュレーション切替え	ESC+/+ｲ+@+<7F>$_{16}$+ESC+<7F>$_{16}$+<00>$_{16}$+<00>$_{16}$+<01>$_{16}$+Pa

キャラクタコード一覧

各エミュレーションモードでのキャラクタコード（ANKコード）の一覧を以下にまとめます。なお、キャラクタコードはすべて16進形式です。

ESC/P モードキャラクタコード一覧表

ESC/P モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x		┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▏	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▎	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▍	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▌	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▋	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	‾	▊	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	[illegible]
F	SI		/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR		-	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@		\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

ESC/Page モードキャラクタコード一覧表

ESC/Page モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	‘	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		™	″	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	‰	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7		©	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B			+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C		°	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D				=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	ϕ	²
E		═	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F		†	/	?	O	_	o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

国際文字コード

コード16進＼国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

キャラクタセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		"		0	@	P	‘	p	Ç	É	á	°	ij		α	
1		'	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	¤	œ		ß	
2		™	″	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	ß	´		Γ	
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	Ø	²		π	
4			$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	ϕ	⅓		Σ	
5		§	‰	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	¨			σ	
6		¶	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	¶			µ	
7		©	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	§			τ	
8		®	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	µ			Φ	
9			)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	¾			θ	
A		¢	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	³			Ω	
B			–	;	K	[	k	{	ï	¢	½	‾			δ	
C		°	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	Fr			∞	
D			–	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	‰			ϕ	
E		_	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	⅔			⊂	
F		†	/	?	O	_	o		Å	ƒ	»		§		∩	

国際文字コード

コード16進＼国	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク I	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン I	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク II	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン II	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

Nordic(コードページ865)

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤		╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l		î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	₧	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	¤	┐	╧	▀	∩	

Portuguese(コードページ860)

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	À	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	È	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ã	õ	ñ	┤		╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	Á	Ú	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	Ì	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	Ê	Õ	Ò	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	Í	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l		Ô	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ù	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ã	₧	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Â	Ó	»	┐	╧	▀	∩	

Multilingual (コードページ850)

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á		└	ð	Ó	-
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í		┴	Ð	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	Ê	Ô	‗
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	Ë	Ò	¾
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	È	õ	¶
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	Á	┼	ı	Õ	§
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	Â	ã	Í	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	À	Ã	Î	Þ	¸
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	©	╚	Ï	þ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	®	╣	╔	┘	Ú	¨
A	◙	›	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Û	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	ø	½	╗	╦	█	Ù	¹
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	ý	³
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	ì	Ø	¡	¢	═		Ý	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	×	«	¥	╬	Ì	¯	■
F	☼	▼	/	?	O		o	⌂	Å	ƒ	»	┐	¤	▀	´	

Canadian-French (コードページ863)

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	¦		└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	È	´		┴	╤	ß	±
2	☻	↕	"	2	B	R	b	r	é	Ê	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	Â	Ë	¨	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	‰	5	E	U	e	u	à	Ï	¸	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	¶	û	³	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	¯	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	¤	Î	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ô	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	<	¦	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	-	=	M	]	m	}	‗	Ù	¾	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	À	Û	«	╛	╬	▐	ε	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	§	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

ECMA 94-1

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				°	À	Ð	à	ð
1			!	1	A	Q	a	q			¡	±	Á	Ñ	á	ñ
2			″	2	B	R	b	r			¢	²	Â	Ò	â	ò
3			#	3	C	S	c	s			£	³	Ã	Ó	ã	ó
4			$	4	D	T	d	t			¤	´	Ä	Ô	ä	ô
5			%	5	E	U	e	u			¥	µ	Å	Õ	å	õ
6			&	6	F	V	f	v			¦	¶	Æ	Ö	æ	ö
7			’	7	G	W	g	w			§	·	Ç	×	ç	÷
8			(	8	H	X	h	x			¨	¸	È	Ø	è	ø
9			)	9	I	Y	i	y			©	¹	É	Ù	é	ù
A			*	:	J	Z	j	z			ª	º	Ê	Ú	ê	ú
B			+	;	K	[	k	{			«	»	Ë	Û	ë	û
C			,	<	L	\	l				¬	¼	Ì	Ü	ì	ü
D			−	=	M	]	m	}			−	½	Í	Ý	í	ý
E			.	>	N	^	n	~			®	¾	Î	Þ	î	þ
F			/	?	O	_	o				¯	¿	Ï	ß	ï	ÿ

US English(コードページ437)

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0		►		0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1	☺	◄	!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2	☻	↕	″	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3	♥	‼	#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4	♦	¶	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5	♣	§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6	♠	▬	&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7	●	↨	'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	◘	↑	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	○	↓	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	Θ	∙
A	◙	→	*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	♂	←	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	♀	∟	,	<	L	\	l		î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	♪	↔	−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	♫	▲	.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	☼	▼	/	?	O	_	o	⌂	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

カタカナ　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D			−	−	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

ひらがな　グラフィックセット

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	た	み	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	〒
9			)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	市
A			*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	区
B			+	;	K	[	k	{	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	町
C			,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	村
D			−	=	M	]	m	}	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	人
E			.	>	N	^	n	~	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o		┼	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

カタカナセット

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ー	タ	ミ		
1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2			"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4			$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			'	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B			+	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ		
C			,	<	L	¥	l	¦			ャ	シ	フ	ワ		
D			−	=	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン		
E			.	>	N	^	n	~			ョ	セ	ホ	゛		
F			／	?	O	_	o				ッ	ソ	マ	゜		

ひらがなセット

上位／下位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ー	た	み		
1			!	1	A	Q	a	q			。	あ	ち	む		
2			"	2	B	R	b	r			「	い	つ	め		
3			#	3	C	S	c	s			」	う	て	も		
4			$	4	D	T	d	t			、	え	と	や		
5			%	5	E	U	e	u			・	お	な	ゆ		
6			&	6	F	V	f	v			を	か	に	よ		
7			'	7	G	W	g	w			ぁ	き	ぬ	ら		
8			(	8	H	X	h	x			ぃ	く	ね	り		
9			)	9	I	Y	i	y			ぅ	け	の	る		
A			*	:	J	Z	j	z			ぇ	こ	は	れ		
B			+	;	K	[	k	{			ぉ	さ	ひ	ろ		
C			,	<	L	¥	l	¦			ゃ	し	ふ	わ		
D			−	=	M	]	m	}			ゅ	す	へ	ん		
E			.	>	N	^	n	~			ょ	せ	ほ	゛		
F			／	?	O	_	o				っ	そ	ま	゜		

PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表

PC-PR201 モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

８ビット　カタカナモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	'	p	▁	─		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	─	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	-	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	-	」	ウ	テ	モ	╡	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆		・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇		ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	│	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	-	ィ	ク	ネ	リ	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	-	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	·	ェ	コ	ハ	レ	♦	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	-	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	
F	SI	US	/	?	O	_	o		┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

８ビット　ひらがなモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	'	p	▁	┴		ー	た	み	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	あ	ち	む	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	い	つ	め	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	う	て	も	╡	月
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	え	と	や	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	お	な	ゆ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	を	か	に	よ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ぁ	き	ぬ	ら	◤	秒
8		CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ぃ	く	ね	り	♠	
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ぅ	け	の	る	♥	
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ぇ	こ	は	れ	♦	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ぉ	さ	ひ	ろ	♣	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		▋	╭	ゃ	し	ふ	わ	●	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	▊	╮	ゅ	す	へ	ん	○	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	▉	╰	ょ	せ	ほ	゛	╱	
F	SI	US	/	?	O	_	o		│	╯	っ	そ	ま	゜	╲	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

ガイド　<30>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ Ø ”になります。

7ビット　英数モード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	0	@	P	'	p
1			!	1	A	Q	a	q
2		DC2	"	2	B	R	b	r
3			#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5			%	5	E	U	e	u
6			&	6	F	V	f	v
7			'	7	G	W	g	w
8		CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT		)	9	I	Y	i	y
A	LF		*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦
D	CR	GS	−	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

7ビット　カタカナモード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	タ	ミ	'	p
1			。	ア	チ	ム	a	q
2		DC2	「	イ	ツ	メ	b	r
3			」	ウ	テ	モ	c	s
4	EOT	DC4	、	エ	ト	ヤ	d	t
5			・	オ	ナ	ユ	e	u
6			ヲ	カ	ニ	ヨ	f	v
7			ァ	キ	ヌ	ラ	g	w
8		CAN	ィ	ク	ネ	リ	h	x
9	HT		ゥ	ケ	ノ	ル	i	y
A	LF		ェ	コ	ハ	レ	j	z
B	VT	ESC	ォ	サ	ヒ	ロ	k	{
C	FF	FS	ャ	シ	フ	ワ	l	¦
D	CR	GS	ュ	ス	ヘ	ン	m	}
E	SO	RS	ョ	セ	ホ	゛	n	~
F	SI	US	ッ	ソ	マ	゜	o	

国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

ガイド　７ビット英数モードの<30>$_{16}$のコードは、ゼロ文字設定により“ ０ ”または“ Ø ”になります。

7ビット　ひらがなモード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			SP	ー	た	み	`	p
1			。	あ	ち	む	a	q
2		DC2	「	い	つ	め	b	r
3			」	う	て	も	c	s
4	EOT	DC4	、	え	と	や	d	t
5			・	お	な	ゆ	e	u
6			を	か	に	よ	f	v
7			ぁ	き	ぬ	ら	g	w
8		CAN	ぃ	く	ね	り	h	x
9	HT		ぅ	け	の	る	i	y
A	LF		ぇ	こ	は	れ	j	z
B	VT	ESC	ぉ	さ	ひ	ろ	k	{
C	FF	FS	ゃ	し	ふ	わ	l	¦
D	CR	GS	ゅ	す	へ	ん	m	}
E	SO	RS	ょ	せ	ほ	゛	n	~
F	SI	US	っ	そ	ま	゜	o	

7ビット　グラフィックモード

上位 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0			▁	┴	═	×	`	p
1			▂	┬	╞	円	a	q
2		DC2	▃	┤	╪	年	b	r
3			▄	├	╡	月	c	s
4	EOT	DC4	▅		◢	日	d	t
5			▆	─	◣	時	e	u
6			▇	│	◥	分	f	v
7			█	│	◤	秒	g	w
8		CAN	▏	┌	♠		h	x
9	HT		▎	┐	♥		i	y
A	LF		▍	└	♦		j	z
B	VT	ESC	▌	┘	♣		k	{
C	FF	FS	▋	╭	●		l	¦
D	CR	GS	▊	╮	○		m	}
E	SO	RS	▉	╰	╱		n	~
F	SI	US	┼	╯	╲		o	

国際文字コード

国 ＼ コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

国際文字コード

国 ＼ コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
ｽｳｪｰﾃﾞﾝ	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~

Virtual FM モードキャラクタコード一覧表

Virtual FM モードのキャラクタコードは以下のとおりです。

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	╳
1		DC1	!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2			"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3		DC3	#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4			$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7	BEL		'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT		)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	CEX	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E			.	>	N	^	n	￣	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F			/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

JIS-90 第一水準漢字一覧表

区 $	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点 $	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		蚫	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

区 $	区	40 / 32	41 / 33	42 / 34	43 / 35	44 / 36	45 / 37	46 / 38	47 / 39	48 / 40	49 / 41	4A / 42	4B / 43	4C / 44	4D / 45	4E / 46	4F / 47	50 / 48	51 / 49	52 / 50	53 / 51	54 / 52	55 / 53	56 / 54	57 / 55	58 / 56	59 / 57	5A / 58	5B / 59	5C / 60	5D / 61	5E / 62	5F / 63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	╂																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区 $	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
点 $		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

ＪＩＳ-90 第二水準漢字一覧表

区 $ \ 点 $		20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咒	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髫	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

点 $		40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
区 $		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
50	48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	52	埒	埀	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	59	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	60	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	76	貎	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区$ \ 点$	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
50 48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51 49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52 50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53 51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54 52	壗	壙	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55 53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56 54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57 55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58 56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59 57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A 58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B 59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C 60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D 61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E 62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F 63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60 64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61 65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62 66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63 67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64 68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65 69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66 70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67 71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68 72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69 73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A 74	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B 75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C 76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D 77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E 78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F 79	閨	閠	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70 80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71 81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72 82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73 83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74 84																															
75 85																															
76 86																															
77 87																															
78 88																															
79 89																															
7A 90																															
7B 91																															
7C 92																															
7D 93																															
7E 94																															

ＪＩＳ漢字コードについてのご注意

PC-PR201 モードでの違い

PC-PR201 モードでは、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区$＼点$	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20 (0)																																
21 (1)		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 (2)		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓																	
23 (3)																	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
24 (4)		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 (5)		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 (6)		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 (7)		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28 (8)																																
29 (9)	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2A (10)	※	｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2B (11)	※	SP	[illegible]	[illegible]	─	━	│	┃	┄	┅	┆	┇	┈	┉	┊	┋	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2C (12)					─	━	│	┃	┄	┅	┈	┉	┆	┇	┊	┋	┌	┍	┎	┏	┐	┑	┒	┓	└	┕	┖	┗	┘	┙	┚	┛
2D (13)		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E (14)																																
2F (15)																																

注 1）<2920>$_{16}$ ～ <2B3F>$_{16}$ は半角漢字です。
注 2）「※」の部分は、半角の空白印字になります。
注 3）<2930>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ Ø ”になります。

区$＼点$	40 (32)	41 (33)	42 (34)	43 (35)	44 (36)	45 (37)	46 (38)	47 (39)	48 (40)	49 (41)	4A (42)	4B (43)	4C (44)	4D (45)	4E (46)	4F (47)	50 (48)	51 (49)	52 (50)	53 (51)	54 (52)	55 (53)	56 (54)	57 (55)	58 (56)	59 (57)	5A (58)	5B (59)	5C (60)	5D (61)	5E (62)	5F (63)
20 (0)																																
21 (1)	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 (2)																																
23 (3)		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24 (4)	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 (5)	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 (6)		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 (7)	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28 (8)																																
29 (9)	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2A (10)	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2B (11)	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫	┬	┭	┮	┯	┰	┱	┲	┳	┴	┵	┶	┷	┸	┹	┺	┻
2C (12)	├	┝	┞	┟	┠	┡	┢	┣	┤	┥	┦	┧	┨	┩	┪	┫																
2D (13)	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E (14)																																
2F (15)																																

注）<2940>$_{16}$ ～ <2B5F>$_{16}$ は半角漢字です。

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F
点$ / 点		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
20	0																
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
22	2																
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
26	6																
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
28	8																
29	9	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
2A	10	ヰ	ヱ	ヮ	ヵ	ヶ	ヴ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
2B	11	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼
2C	12	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼	┼
2D	13	゛	゛	No.	KK.	TEL	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
2E	14																
2F	15																

区$	区	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
点$ / 点		80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	
20	0																
21	1	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
22	2																
23	3	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
24	4	ゐ	ゑ	を	ん												
25	5	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
26	6																
27	7	ю	я														
28	8																
29	9	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}		※
2A	10	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド	バ	パ	ビ	ピ	ブ	プ	ベ	ペ	ボ	ポ	※
2B	11	´	¨	‘	“	〔	〕	〈	〉	《	》	『	』	【	】	￣	※
2C	12																
2D	13	≒	≡	∫	∮	Σ	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪			
2E	14																
2F	15																

注１）<2960>$_{16}$ ～ <2B7F>$_{16}$ は半角漢字です。

注２）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

ＪＩＳ第二水準漢字

区$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F
点$ / 点		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
71	81		顱	顳	顴	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
72	82		鬐	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
74	84																
75	85																
76	86																
77	87																
78	88																
79	89																
7A	90																
7B	91																
7C	92																
7D	93																
7E	94																

区$	区	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点$ / 点		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
70	80	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84																
75	85																
76	86																
77	87																
78	88																
79	89																
7A	90																
7B	91																
7C	92																
7D	93																
7E	94																

外字登録領域

区$	区＼点$	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
$		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
70	80	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	81	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74	84																																
75	85																																
76	86																																
77	87	外字登録領域																															
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区$	区＼点$	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
$		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87	外字登録領域																														
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

半角漢字

区$ \ 点$	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
002X	SP	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
003X	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
004X	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
005X	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]		_
006X		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
007X	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					※
008X	SP	。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
009X	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00AX	※	。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00BX	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00CX	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00DX	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00EX	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00FX	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

注１）「※」の部分は、半角の空白印字になります。

注２）<0030>$_{16}$ のコードは、ゼロ文字設定により“ 0 ”または“ ∅ ”になります。

JIS の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR	コード（区点）	JIS	PCPR
3724	靴	靴	4042	逝	逝	3D6D	渚	渚	622B	皓	皓
3937	昴	昴	444E	塚	塚	3F69	翠	翠	514B	冕	冕
3E3F	梢	梢	4951	頻	頻	4072	栓	栓	5B4A	楞	楞
432A	棚	棚	4D5A	遥	遙	4275	濯	濯	5C53	梗	梗
463E	鴇	鴇	4E4B	遼	遼	4276	琢	琢	6646	翔	翔
4B22	泡	泡	327D	拐	拐	4661	那	那	5B74	棔	棔
3646	尭	堯	3365	喝	喝	4862	扉	扉	6076	瑶	瑤
3745	慧	慧	336C	褐	褐	4B6A	槙	槇	6C62	赳	赳
3755	荊	荆	3764	隙	隙	4B7A	繭	繭	6D6C	迪	迪
3942	溝	溝	3779	嫌	嫌	4C7E	癒	癒			
3C57	遮	遮	3A63	冴	冴	5B2E	蒔	蒔			

Virtual FM モード（JIS-78）での違い

Virtual FM モード（JIS-78）では、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区＼点	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20 (0)																																
21 (1)		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 (2)		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23 (3)																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24 (4)		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 (5)		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 (6)		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 (7)		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28 (8)	外字登録領域																															
29 (9)																																
2A (10)																																
2B (11)	未定義領域																															
2C (12)																																
2D (13)		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E (14)		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2F (15)	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	◠		◡	

注）<2D20>$_{16}$ ～ <2F3F>$_{16}$ は半角領域です。

区＼点	40 (32)	41 (33)	42 (34)	43 (35)	44 (36)	45 (37)	46 (38)	47 (39)	48 (40)	49 (41)	4A (42)	4B (43)	4C (44)	4D (45)	4E (46)	4F (47)	50 (48)	51 (49)	52 (50)	53 (51)	54 (52)	55 (53)	56 (54)	57 (55)	58 (56)	59 (57)	5A (58)	5B (59)	5C (60)	5D (61)	5E (62)	5F (63)
20 (0)																																
21 (1)	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22 (2)	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23 (3)		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24 (4)	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25 (5)	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26 (6)		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27 (7)	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28 (8)	外字登録領域																															
29 (9)																																
2A (10)																																
2B (11)	未定義領域																															
2C (12)																																
2D (13)	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
2E (14)	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
2F (15)																																

注）<2D40>$_{16}$ ～ <2F5F>$_{16}$ は半角領域です。

区$ \ 点$	60 (64)	61 (65)	62 (66)	63 (67)	64 (68)	65 (69)	66 (70)	67 (71)	68 (72)	69 (73)	6A (74)	6B (75)	6C (76)	6D (77)	6E (78)	6F (79)	70 (80)	71 (81)	72 (82)	73 (83)	74 (84)	75 (85)	76 (86)	77 (87)	78 (88)	79 (89)	7A (90)	7B (91)	7C (92)	7D (93)	7E (94)
20 (0)																															
21 (1)	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22 (2)	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23 (3)		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ				
24 (4)	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25 (5)	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26 (6)																															
27 (7)	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28 (8)	外字登録領域																														
29 (9)																															
2A (10)	未定義領域																														
2B (11)																															
2C (12)																															
2D (13)	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾
2E (14)	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	／	＼	×	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▩
2F (15)																															

注）<2D60>$_{16}$ ～ <2F7E>$_{16}$ は半角領域です。

Virtual FM モード（JIS-83）での違い

Virtual FM モード（JIS-83）では、以下のコードが異なります。

ＪＩＳ第一水準漢字

区$ \ 点$	20 (0)	21 (1)	22 (2)	23 (3)	24 (4)	25 (5)	26 (6)	27 (7)	28 (8)	29 (9)	2A (10)	2B (11)	2C (12)	2D (13)	2E (14)	2F (15)	30 (16)	31 (17)	32 (18)	33 (19)	34 (20)	35 (21)	36 (22)	37 (23)	38 (24)	39 (25)	3A (26)	3B (27)	3C (28)	3D (29)	3E (30)	3F (31)
20 (0)																																
21 (1)		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22 (2)		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23 (3)																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24 (4)		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25 (5)		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26 (6)		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27 (7)		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28 (8)		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29 (9)	外字登録領域																															
2A (10)	未定義領域																															
2B (11)																																
2C (12)																																
2D (13)		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
2E (14)		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
2F (15)	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯

注）<2D20>$_{16}$ ～ <2F3F>$_{16}$ は半角領域です。

区$	区	40 32	41 33	42 34	43 35	44 36	45 37	46 38	47 39	48 40	49 41	4A 42	4B 43	4C 44	4D 45	4E 46	4F 47	50 48	51 49	52 50	53 51	54 52	55 53	56 54	57 55	58 56	59 57	5A 58	5B 59	5C 60	5D 61	5E 62	5F 63
20	0																																
21	1	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	┼																															
29	9	外字登録領域																															
2A	10																																
2B	11	未定義領域																															
2C	12																																
2D	13	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	〔	¥	〕	^	_
2E	14	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
2F	15																																

注）<2D40>$_{16}$ ～ <2F5F>$_{16}$ は半角領域です。

区$	区	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9	外字登録領域																														
2A	10																															
2B	11	未定義領域																														
2C	12																															
2D	13	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾
2E	14	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	╳	円	年	月	日	時	分	秒	〒	市	区	町	村	人	▒
2F	15																															

注）<2D60>$_{16}$ ～ <2F7E>$_{16}$ は半角領域です。

JIS C6234-1983の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983（情報交換用漢字符号系：旧JIS C6226-1983）に準拠していますが、JIS X9052-1983（ドットプリンタ用24ドット字形：旧JIS C6234-1983）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS	JISコード（区点）	プリンタ	JIS
3022（1602）	啞	唖	3979（2589）	甑	甑	4578（3788）	禱	祷
303B（1627）	飴	飴	3A67（2671）	榊	榊	4642（3834）	瀆	涜
306E（1678）	溢	溢	3A74（2684）	柵	柵	4654（3852）	瀞	瀞
3135（1721）	欝	欝	3B2A（2710）	鯖	鯖	466A（3874）	栂	栂
3139（1725）	廐	厩	3B2C（2712）	錆	錆	4729（3909）	禰	禰
313D（1729）	噂	噂	3B39（2725）	珊	珊	4739（3925）	囊	嚢
3142（1734）	餌	餌	3C48（2840）	廈	厦	482E（4014）	潑	溌
316B（1775）	焰	焔	3D2B（2911）	繡	繍	4830（4016）	醱	醗
322A（1810）	鷗	鴎	3D36（2922）	酋	酋	4B4B（4343）	頰	頬
327A（1890）	恢	恢	3E55（3053）	蔣	蒋	4B70（4380）	鱒	鱒
336B（1975）	葛	葛	3E5F（3063）	醬	醤	4C4D（4445）	麵	麺
337A（1990）	嚙	噛	3F2A（3110）	蝕	蝕	4C5F（4463）	餠	餅
3442（2034）	澗	澗	4066（3270）	蟬	蝉	4D32（4518）	猷	猷
3540（2132）	祇	祇	4139（3325）	噌	噌	4D69（4573）	萊	莱
3622（2202）	俠	侠	4169（3373）	瘦	痩	4E7B（4691）	煉	煉
362A（2210）	卿	卿	424D（3445）	驒	騨	4F31（4717）	榔	榔
366D（2277）	軀	躯	4263（3467）	黛	黛	4F39（4725）	蠟	蝋
367B（2291）	櫛	櫛	432E（3514）	樽	樽	5622（5402）	屛	屏
3737（2323）	祁	祁	433D（3529）	簞	箪	5960（5764）	捩	捩
3771（2381）	倦	倦	444F（3647）	摑	掴	5A39（5825）	攢	攅
377E（2394）	捲	捲	4522（3702）	鄭	鄭	6546（6938）	綟	綟
3834（2420）	鹼	鹸	4536（3722）	塡	填			
396D（2577）	麴	麹	453F（3731）	顚	顛			

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。

・保証書は日本国内のみで有効です。

・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。

・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。

・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。

・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

・故障の際は下記にご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル　：0120-422-297
受付時間　　　　：平日 9:00 ～ 17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。

『富士通パーソナル製品に関するお問い合せ窓口』
フリーダイヤル　：0120-950-222
受付時間　　　　：平日 9:00 ～ 17:00
（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

ソフトウェア編

第1章

インストールの概要

この章では、プリンタに添付されているソフトウェアをインストールする前に必要となる基本的なことがらについて説明します。

はじめに 4
添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介 5
オンラインマニュアルの見かた 6
オンラインヘルプの見かた 8
インストールの手順と設定の概要 11

はじめに

本書では、次のプリンタについて説明します。
XL-6700
本書で使用する画面表示例では、プリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。
このときは、お使いのプリンタ名と読み替えてください。
また、機種によっては表示内容が一部異なることがあります。

添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介

添付CD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」には、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。

これらのソフトウェアは、次のダイアログ(Printianaviインストーラ)からインストールできます。Printianaviインストーラは、添付CD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットすると自動的に表示されます。



ガイド　Printianaviインストーラが自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

PDFファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付のCD-ROMからインストールしてください。

Adobe Readerのインストール

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンにAdobe Reader（6.0またはそれ以降）があらかじめインストールされていることが必要です。

添付のCD-ROMから次の手順でAdobe Reader 6.0をインストールすることができます。



1　添付のCD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔Adobe Reader〕をクリックする

Adobe Reader 6.0インストーラが起動します。

画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

- ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの「Adreader」フォルダにある「Adrdr60j.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
- Adobe Reader 6.0 がインストールできない場合は、CD-ROMの「Adreader」フォルダにある「Ar51jpn.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
- Adobe ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader 6.0は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版のAdobe Readerの入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。

  アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp

オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

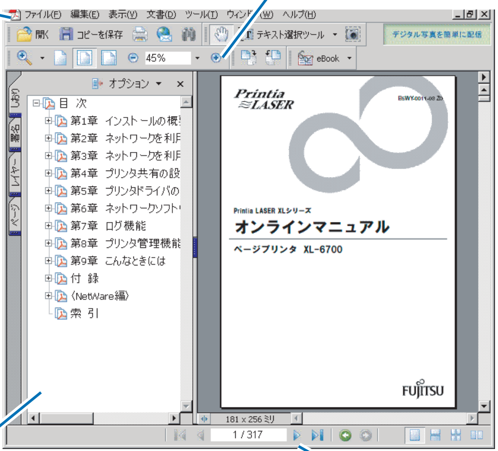
ガイド Printianaviインストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の直下の xlsetup.exe（CD-ROM ドライブが D:のときは「D:\xlsetup.exe」）を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから開いてください。

2 〔オンラインマニュアル〕をクリックする

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAdobe Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
をクリックすると表示を拡大します。
また、検索などの操作を行うことができます。



しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

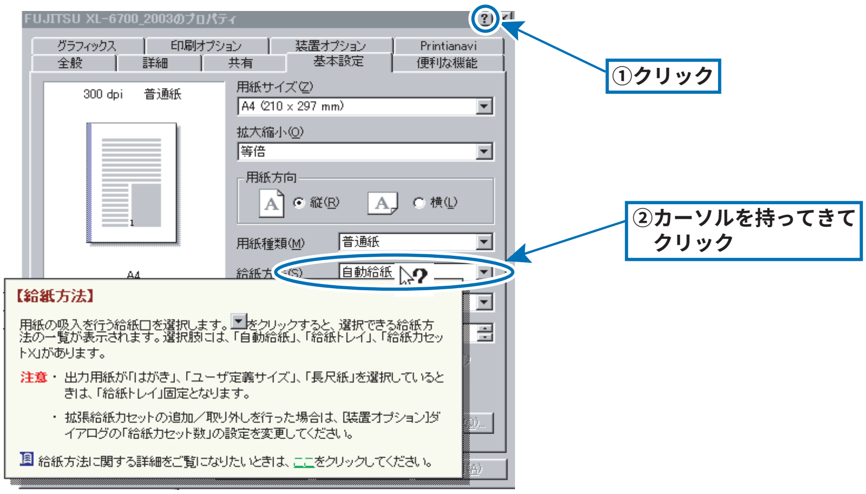
ステータスバー
をクリックすると次のページを表示します。

オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

〔?〕をクリックする

ダイアログの右上にある?をクリックするとカーソルの形が?に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。
（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合

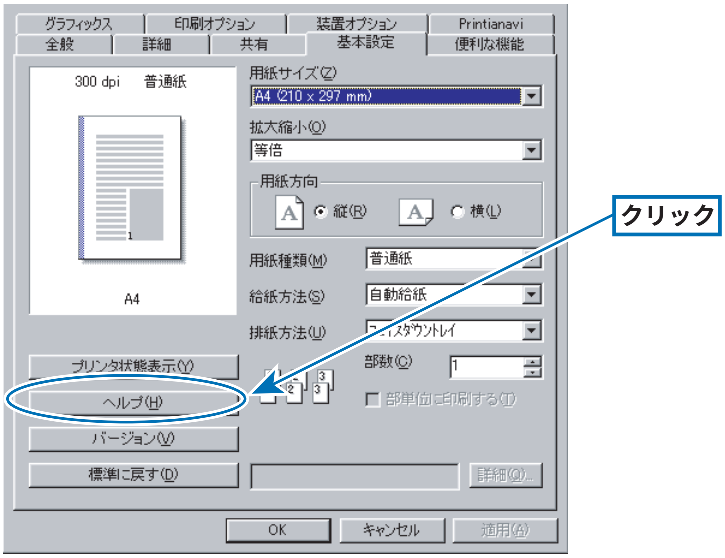


各ダイアログにある〔ヘルプ〕ボタンをクリックする

〔ヘルプ〕ボタンは以下のダイアログにあります。

・〔基本設定〕ダイアログ
・〔便利な機能〕ダイアログ
・〔グラフィックス〕ダイアログ
・〔印刷オプション〕ダイアログ
・〔装置オプション〕ダイアログ
・〔Printianavi〕ダイアログ

（例）〔基本設定〕ダイアログのヘルプを見る場合



利用方法については、ヘルプの〔目次〕の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

Printianavi インストーラの各メニューからは、次の操作が行えます。

項 目	操作内容
はじめにお読みください	CD-ROMのソフトウェアについて留意事項を表示します。
プリンタの IP アドレス設定	Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ 2 を起動します。 「IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定」（30 ページ）参照
ネットワークでプリンタを使う	Printianavi ネットワークポートモニタ、Printianavi ネットワークマネージャ、Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ 2 をインストールします。 「付録 Printianavi の機能概要」（198 ページ）参照 「第 6 章 ネットワークソフウェアのインストールとネットワークポートの追加」（141 ページ）参照
HyperPrint お試し版	HyperPrint お試し版をインストールします。 「付録 HyperPrint の概要」（202 ページ）参照
RepoAgent お試し版	RepoAgent お試し版をインストールします。 「付録 RepoAgent の概要」（203 ページ）参照
かんたんバーコード Lite	かんたんバーコードLiteをインストールします。 「付録 かんたんバーコード Lite の概要」（204 ページ）参照
Adobe Reader	オンラインマニュアルなどの PDF 形式のファイルを表示するためのAdobe Readerをインストールします。 「オンラインマニュアルの見かた」（6 ページ）参照
オンラインマニュアル	オンラインマニュアル（PDF 形式）を表示します。 「オンラインマニュアルの見かた」（6 ページ）参照
プリンタドライバ	Printia XL プリンタドライバをインストールします。 「第 2 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（13 ページ）参照 「第 3 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（25 ページ）参照

インストールの手順と設定の概要

プリンタを設置した後、印刷するために必要な設定について説明します。
プリンタの接続、運用形態によって手順が異なります。

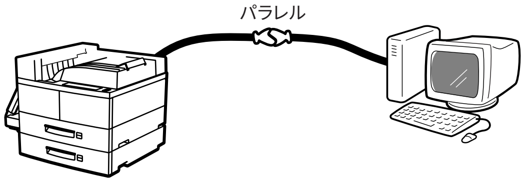
ガイド

- Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で設定を行うときは、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。
- お使いの環境がNetWareであっても、ネットワークでTCP/IPプロトコルが使用できるときは、NetWareサーバを介さずにクライアントから直接本プリンタに印刷することができます。設定方法については、「第3章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」（25ページ）参照
  また、NetWare5のNDPSを使用したTCP/IP環境での印刷については、「NetWare5のときの準備」（60ページ）を参照してください。

NetWare 環境でのインストール手順の詳細
『オンラインマニュアル』「NetWare編」「第1章 インストールの概要」参照

ネットワークを利用せずにプリンタを接続する

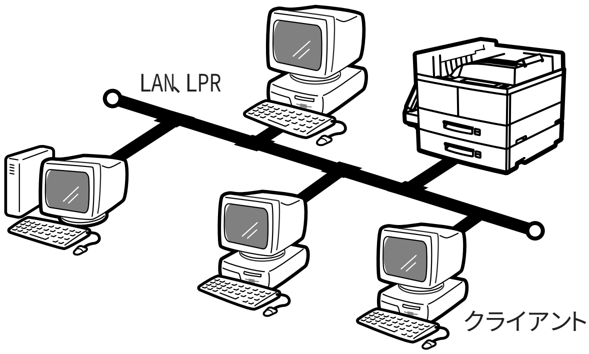
プリンタケーブルでパソコンと接続して印刷し、他のパソコンとはプリンタを共有しません。



「第２章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（13 ページ）参照

ネットワークを利用してプリンタを接続する

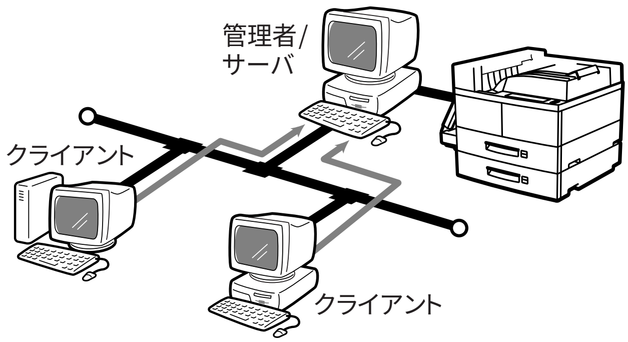
LAN に直接接続し、サーバを経由しないで各パソコンから直接印刷します。



「第３章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（25 ページ）参照

プリンタを共有する

プリンタを複数台のパソコンで使用する場合に設定します。



「第４章　プリンタ共有の設定」（63 ページ）参照

第2章

ネットワークを利用せずにプリンタを接続する

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順について説明します。

パソコンとの接続 14

パラレルインタフェースによる接続 14

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき 16

インストール 16

Windows XP/Windows Server 2003 のとき 20

インストール 20

パソコンとの接続

・パソコン
双方向パラレルインタフェースをサポートするPC/AT互換機

・OS
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003日本語版

・セットアップ方法
インストーラによるセットアップ(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)
プラグアンドプレイによるセットアップ(Windows XP/Windows Server 2003)

パラレルインタフェースによる接続

本プリンタは、セントロニクス準拠のパラレルインタフェースを標準装備しています。パラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

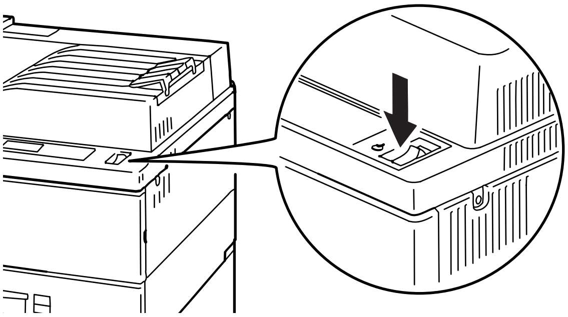
⚠警告	感電　プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

⚠注意	故障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

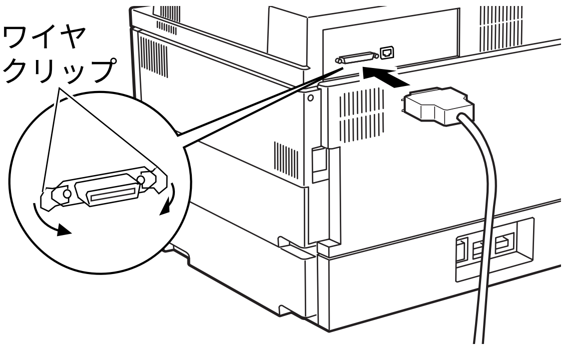
・プリンタケーブルについては、次の制約があります。
・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
・ケーブルの長さは、1.5 メートル以下のものをお使いください。
・本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。(『プリンタ編』「プリンタケーブルについて」(20 ページ)参照)

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する

電源スイッチが「○」側に倒れている状態です。



2 プリンタケーブルを接続する

プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき

ここでは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95/98/Me/NT4.0/2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。

インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のCD-ROMを準備してください。

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などによりCD-ROMの「FJXLC10」フォルダにある「WINXX.TXT」をお読みください。（XXはご使用のOSに読み替えてください。）**
- **他のWindowsで本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 95/98/Me/NT4.0/2000にアップグレードしている場合は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の〔プリンタ〕フォルダに残っている本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。**

詳細は「プリンタドライバの削除」（138ページ）参照

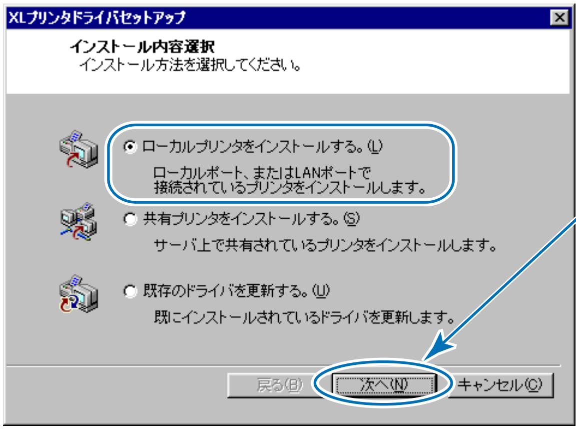
ガイド

Windows起動後、プラグアンドプレイにより「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されることがあります。このときは〔キャンセル〕をクリックしてください。



1 ***添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、左記のダイアログが表示されたら〔プリンタドライバ〕をクリックする***

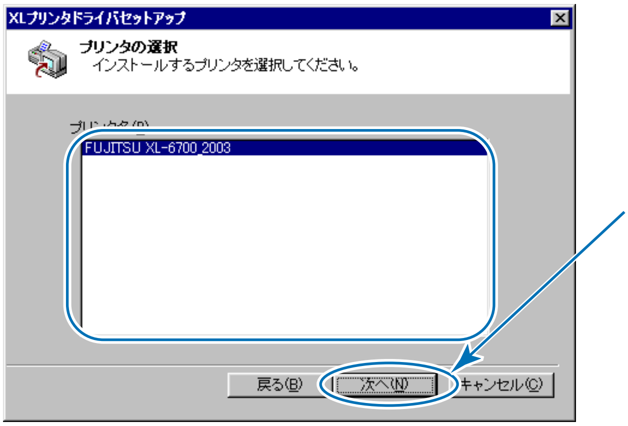
ガイド 上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。



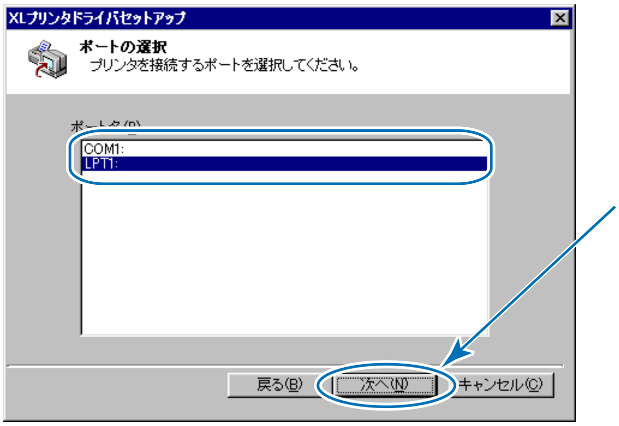
2 ***「ローカルプリンタをインストールする」を選択し、〔次へ〕をクリックする***

ガイド

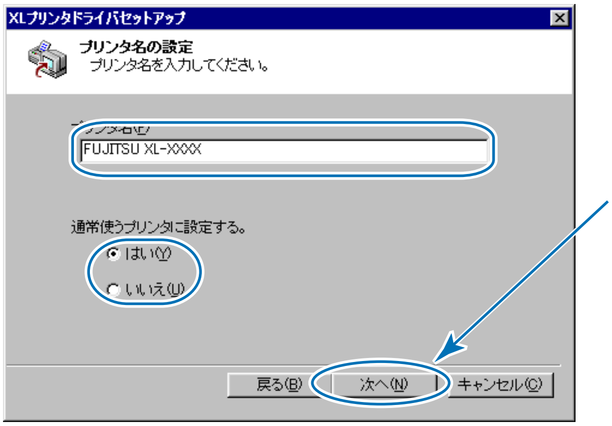
- 「共有プリンタのインストール」は、サーバ経由で印刷する場合に選択します。サーバとして共有する場合、ここでは「ローカルプリンタのインストール」を選択してプリンタドライバをインストールした後、プリンタを共有する設定をしてください。
  「第 4 章　プリンタ共有の設定」（63 ページ）参照
- 「既存のドライバを更新する」は、すでにインストールされているプリンタドライバを更新する場合に選択します。更新可能なプリンタドライバがインストールされていない場合はグレイアウトされます。
  「プリンタドライバの更新」（136 ページ）参照



3　プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

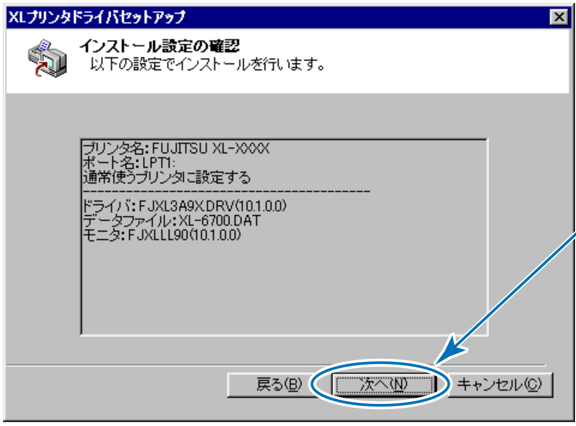


4　「LPT1：」を選択し、〔次へ〕をクリックする



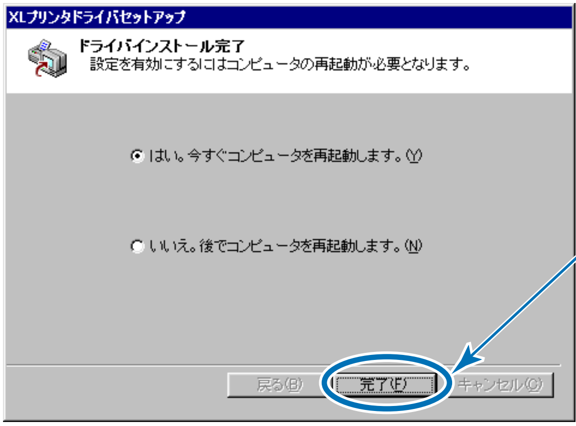
5　プリンタ名を設定し、通常使用するプリンタとするかどうか選択して〔次へ〕をクリックする

すでにインストールされているプリンタがない場合は、「いいえ」を選択しても通常使用するプリンタに設定されます。



6　設定内容に問題がなければ、〔次へ〕をクリックする

設定内容を変更する場合は、〔戻る〕をクリックします。



7　〔完了〕をクリックする

以降は必要に応じて各章を参照してください。

インストールがうまくいかなかったときは、
「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166 ページ）参照

Windows XP/Windows Server 2003のとき

ここでは、Windows XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンをご使用の場合のプラグアンドプレイによるプリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

ガイド

- ご使用のパソコンにインストールされている Windows XP/Windows Server 2003 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。
  なお、画面の例ではプリンタ名を「FUJITSU XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、インストールまたは設定を行うプリンタ名と読み替えてください。
- 管理者権限でログオンしてください。

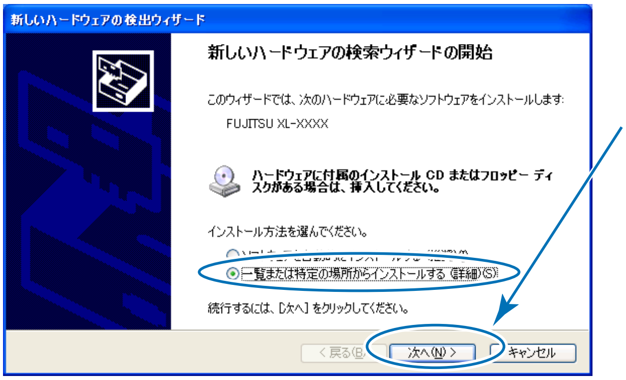
インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付の CD-ROM を準備してください。

お願い

- **インストールの前に、メモ帳などにより CD-ROM の「FJXLC10」フォルダにある「WINXP.TXT」をお読みください。**
- **他の Windows で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せず Windows XP/Windows Server 2003 にアップグレードしている場合は、Windows XP/Windows Server 2003 の〔プリンタ〕フォルダに残っている本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。**

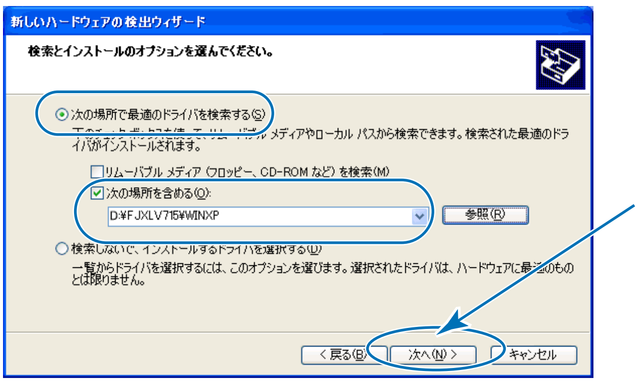
詳細は「プリンタドライバの削除」（138 ページ）参照



1　**「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

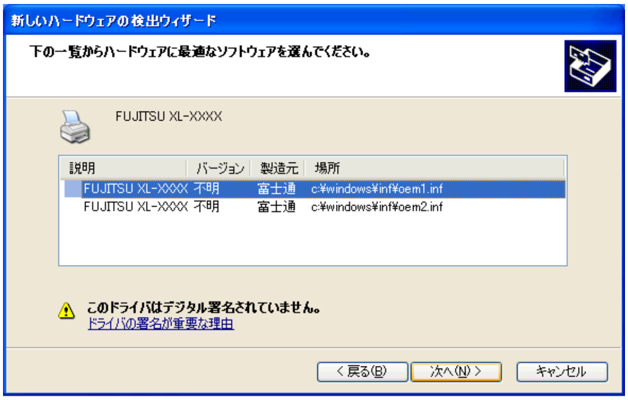
2　**添付の CD-ROM をセットする**

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

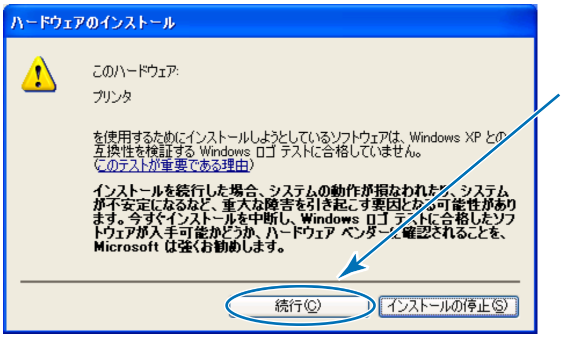


3　**「次の場所を含める」をチェックし、「D:\FJXLC10\2KXP2003」(CD-ROM ドライブが D: の場合）を入力し、〔次へ〕をクリックする**

ガイド 環境によっては次のダイアログが表示される場合があります。「説明」を参照して該当する「場所」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。



・次のダイアログが表示されたときは、〔続行〕をクリックしてください。





4　必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、「FUJITSU XL-XXXX」アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューの〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

5　〔スタート〕-〔シャットダウン〕を選択し、Windows を再起動する

以降は必要に応じて各章を参照してください。

インストールがうまくいかなかったときは、
「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166 ページ）参照

第 3 章

ネットワークを利用してプリンタを接続する

この章ではネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順について説明します。

ネットワークプリンタの準備 26
LAN による接続とインストール 26
LAN ケーブルの接続 27
LAN 設定の一覧を印刷する 28
IP アドレスの設定 29
設定方法の種類 29
IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定 .. 30
オペレータパネルによる設定 40
DHCP によるアドレス自動取得 44
ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール 46
準　備 47
インストール 47
LPR 印刷の設定 53
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の準備 . 53
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のときの設定手順 54
Windows NT4.0 のときの準備 57
Windows NT4.0 のときの設定手順 58

ネットワークプリンタの準備

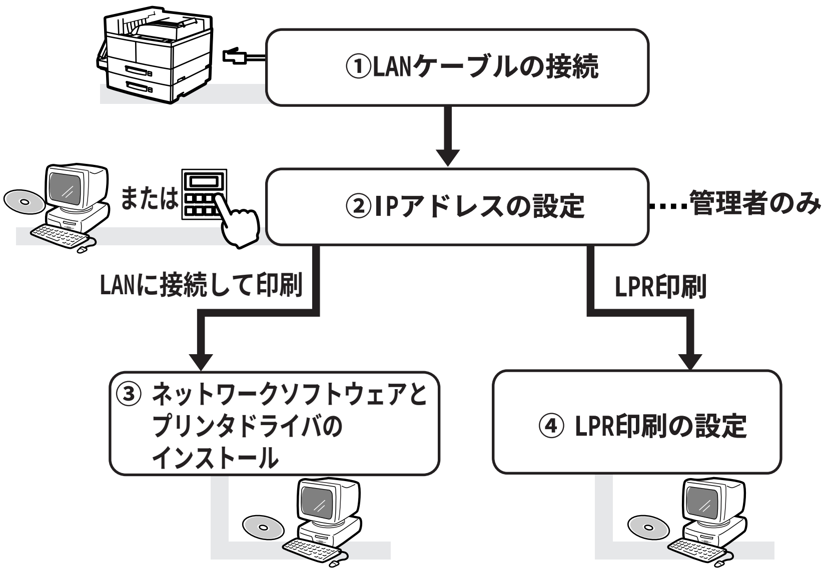
ここでは、本プリンタをネットワークプリンタとして設定する前に必要な準備について説明します。

LAN による接続とインストール

プリンタにLANケーブルを接続して印刷する場合には、以下の方法があります。

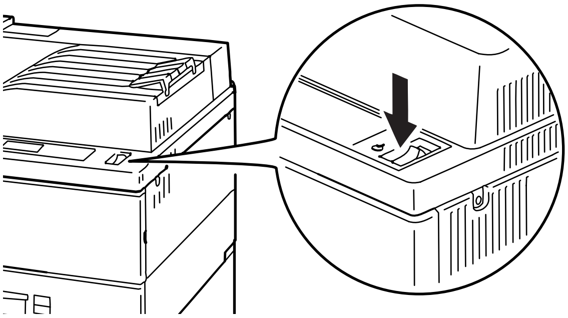
・LAN に接続して印刷
・LPR 印刷

プリンタにLANケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順は、以下のとおりです。

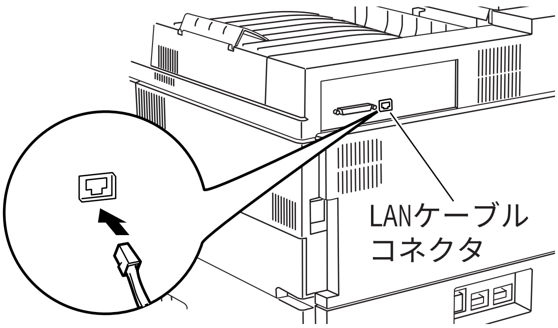


LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX対応のハブユニットに接続して100Mbpsでご使用になる場合には、必ずカテゴリー５のツイストペアケーブルをご使用ください。



1 プリンタの電源の切断（電源スイッチが「○」側）を確認する



2 プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる

LAN 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

オンライン状態
↓「オンライン」

オフライン

↓「メニュー」

セットアップ°
▶メニュー　インサツ　▼

↓「▼」

メニュー インサツ
▶セッテイ ノ インサツ　▲

↓「◀」または「▶」

メニュー　インサツ
▶L A N　ノ　インサツ　▲

↓「設定」

L A N　ノ　インサツ
インサツチュウ

↓印刷終了

メニュー　インサツ
▶L A N　ノ　インサツ　▲

↓「オンライン」

オフライン

↓「オンライン」
オンライン状態

1 ***プリンタをオフライン状態にする***

「オンライン」スイッチを押して、プリンタをオフライン状態にします。

2 ***「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにする***

3 ***「▼」スイッチを1回押す***

4 ***「◀」または「▶」スイッチを押して「L A N　ノ　インサツ」を表示する***

5 ***「設定」スイッチを押す***

LAN設定の一覧が印刷されます。

6 ***「オンライン」スイッチを2回押して、オンライン状態に戻す***

引き続き、「IP アドレスの設定」（29 ページ）に進んでください。

IP アドレスの設定

ここでは、本プリンタに IP アドレスを設定する方法について説明します。

設定方法の種類

本プリンタに IP アドレスを設定する方法には、次の 3 つがあります。
ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定（30 ページ）

添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、IP アドレスを設定します。

オペレータパネルによる設定（40 ページ）

プリンタのオペレータパネルから直接操作を行います。
プリンタ単体で設定することができます。

DHCP によるアドレス自動取得（44 ページ）

プリンタの電源投入時に DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP サーバのある環境では、最も簡単な方法です。

IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定

ここでは、添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを利用してプリンタに IP アドレスを設定します。
IP アドレス設定ユーティリティ 2 を利用すると、次のことができます。

・ネットワーク接続プリンタの一覧表示
ネットワークに接続されているXLプリンタを自動検索し、一覧で表示します。

・IP アドレスの割り当て
一覧画面より選択したプリンタに対し、IPアドレスの割り当てを行います。

準　備

IP アドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタをネットワーク上に接続してください。

IP アドレスの設定手順（1 台のプリンタを接続する場合）

設定手順

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。



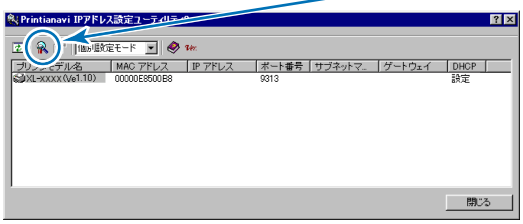
1　添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔プリンタの IP アドレス設定〕をクリックする

ガイド　上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

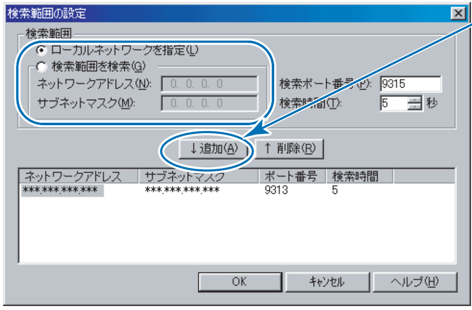
2　必要に応じて検索範囲を設定する

手順 1 の操作でネットワークに接続されている XL プリンタを自動検索し、一覧表示します。（下記のダイアログ）

次の手順で、ネットワークに接続されているプリンタの検索範囲を設定することができます。検索範囲を設定しない場合は、3 に進んでください。



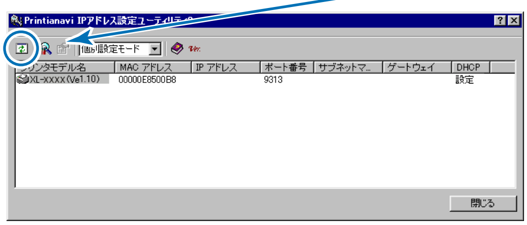
1　一覧画面の〔検索範囲の設定〕ボタンをクリックする



2 検索範囲を入力し〔追加〕をクリックする

ローカルネットワークを指定	ローカルネットワークの設定を行う場合に選択を指定します。
検索範囲を指定	検索範囲の設定を行う場合に選択します。
ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
検索ポート番号	プリンタの検索範囲に追加するポート番号を指定します。 設定範囲：1～65535　初期設定：9313
検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5～30秒　初期設定：5秒
〔追加〕ボタン	検索範囲で指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているアドレスを指定した場合は、無効です。
〔削除〕ボタン	アドレスリストで選択した項目を削除し、検索範囲に反映します。

3 〔OK〕をクリックした後、〔最新の情報〕ボタンをクリックする

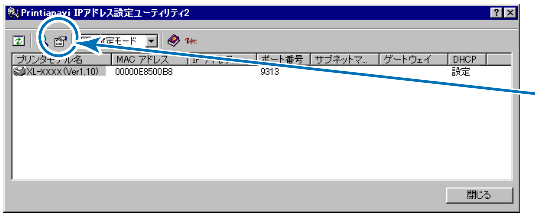


ガイド
・ローカルネットワークを追加する場合、「検索ポート番号」と「検索時間」のみ入力することができます。
・ローカルネットワーク（＊＊＊．＊＊＊．＊＊＊．＊＊＊）の最後の１つを削除することはできません。

3 「個別設定モード」が選択されていることを確認する

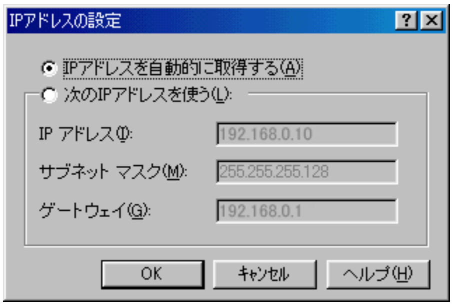


4 プリンタの一覧からIPアドレスを設定するプリンタを選び、〔IPアドレスの設定〕ボタンをクリックする

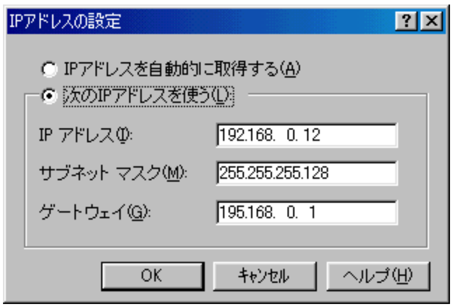


5 IPアドレスを設定し、〔OK〕をクリックする

・自動取得の場合



・手動設定の場合

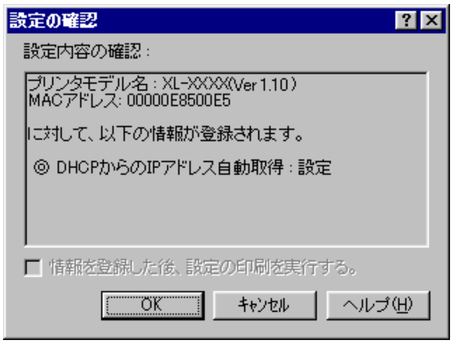


手動設定を選択したときは、各アドレスを指定します。ゲートウェイは省略できます。「IPアドレス」と「サブネットマスク」の入力には、次の制限があります。

IPアドレス	「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。

6 左記のダイアログが表示されたら内容を確認し、〔OK〕をクリックする

・自動取得の場合



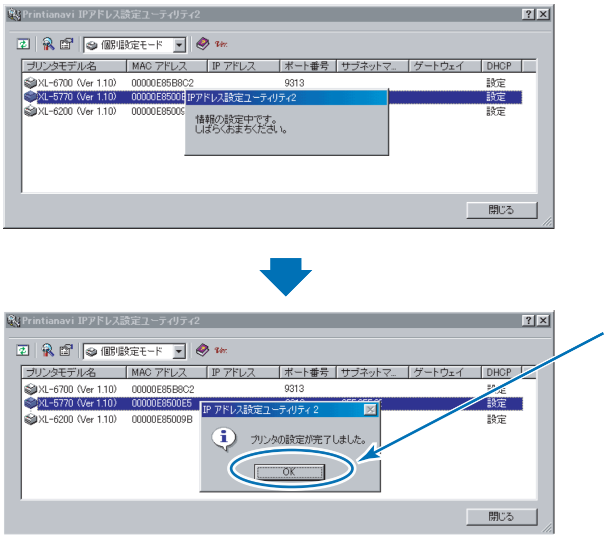
・手動設定の場合



ガイド

プリンタにパスワードを設定していると、次のダイアログが表示されます。パスワードを入力し、〔OK〕をクリックしてください。





7　設定中ダイアログに続いて〔変更完了〕ダイアログが表示されたら、〔OK〕をクリックする

ガイド

・手順6までの操作の後、「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定し直してください。
・通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタのLAN設定を初期化し、再度設定し直してください。
LAN設定の初期化は、次の操作で行います。
1 オフライン状態で「メニュー」スイッチを押してプリンタをセットアップモードにします。
2「▶」スイッチを押して「LAN　セッテイ」画面を表示します。
3「▼」スイッチを1回、「▶」スイッチを3回押し、「LANショキカ」と表示します。
4「▼」スイッチを押して、「LANショキカ」と表示します。
5「▼」スイッチを押して「セッテイ」と表示させ、「設定」スイッチを押します。

「ショキカ　シマス」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

以上でIPアドレスの設定は完了です。

LANによる印刷を行いたいとき
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46ページ）参照

LPR印刷を行いたいとき(Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5)
「LPR印刷の設定」（53ページ）参照

IP アドレスの設定手順（複数台のプリンタを接続する場合）

複数台のプリンタの IP アドレスをまとめて設定するときは、IP アドレス設定ユーティリティ 2 を一括設定モードにします。一括設定モードでは、ローカルネットワーク内のプリンタのIPアドレスを設定することができます。
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。



1 ***添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔プリンタの IP アドレス設定〕をクリックする***

ガイド 上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。



2 ***「一括設定モード」を選択する***

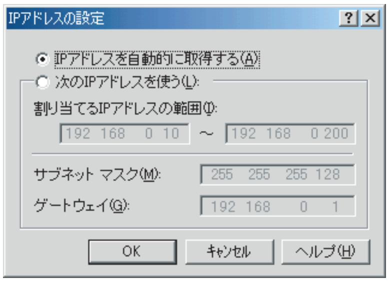
3 ***〔Shift〕または〔Ctrl〕を押しながら、設定するプリンタをクリックする***



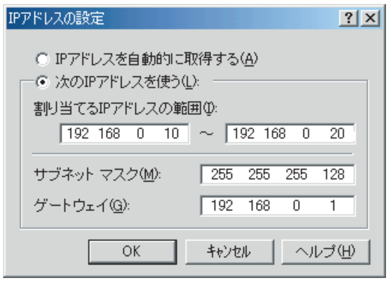
4　プリンタを選択した状態で〔IP アドレスの設定〕ボタンをクリックする

5　IP アドレスを設定し、〔OK〕をクリックする

・自動取得の場合



・手動設定の場合

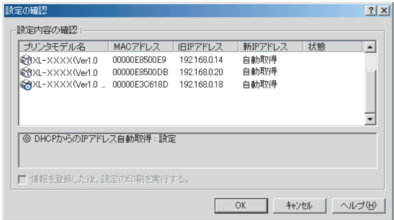


手動設定を選択したときは、割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。ゲートウェイは省略できます。

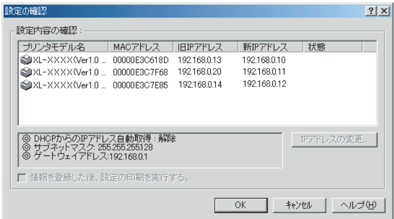
割り当てる IP アドレスの範囲	・「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含む IP アドレスは指定できません。 ・終了アドレスは、開始アドレスより大きな値を指定してください。 ・終了アドレスが開始アドレスのセグメント外となるときは、設定できません。 ・IPアドレスの範囲よりプリンタ数が多いときは、設定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含む IP アドレスは指定できません。

6 左記のダイアログが表示されたら内容を確認し、〔OK〕をクリックする

・自動取得の場合



・手動設定の場合

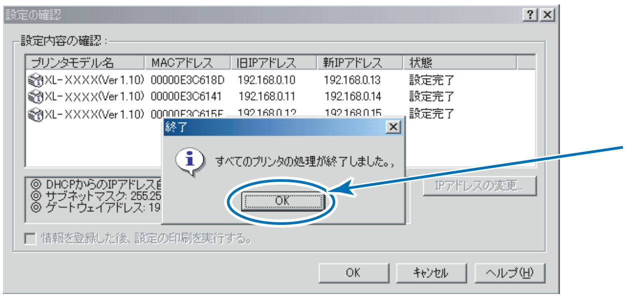


ガイド

・設定内容の確認リストに表示されている「新 IP アドレス」を変更する場合は、変更するプリンタを選択して〔IP アドレスの変更〕をクリックします。
・プリンタにパスワードを設定していると、次のダイアログが表示されます。
パスワードを入力し、〔OK〕をクリックします。



7 〔変更完了〕ダイアログが表示されたら、〔OK〕をクリックする



ガイド

・手順6までの操作の後、「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定し直してください。
・通信できない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタのLAN設定を初期化し、再度設定し直してください。
LAN設定の初期化は、次の操作で行います。
1 オフライン状態でオペレータパネルの「メニュー」スイッチを押してプリンタをセットアップモードにします。
2「▶」スイッチを押して「LAN　セッテイ」画面を表示します。
3「▼」スイッチを1回、「▶」スイッチを3回押し、「LANショキカ」と表示します。
4「▼」スイッチを押して、「LANショキカ」と表示します。
5「▼」スイッチを押して「セッテイ」と表示させ、「設定」スイッチを押します。

以上でIPアドレスの設定は完了です。

LANによる印刷を行いたいとき
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46ページ）参照

LPR印刷を行いたいとき(Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5)
「LPR印刷の設定」（53ページ）参照

オペレータパネルによる設定

ここでは、プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定する方法について説明します。

準　備

プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定をする前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタ

設定方法

1　*プリンタの電源を入れる*

電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

2　*プリンタをセットアップモードにし、「LAN 設定」を選択する*

オペレータパネルで次の操作を行います。

オンライン状態

↓「オンライン」

```
オフライン
```

1「オンライン」スイッチを押してプリンタをオフライン状態にします。

↓「メニュー」

```
セットアップ
▶メニュー　インサツ　▼
```

2「メニュー」スイッチを押し、セットアップモードにします。

↓「◀」または「▶」

```
セットアップ゜
▶ＬＡＮ　セッテイ　　　　◆
```

3 「◀」または「▶」スイッチを押して「LAN　セッテイ」を表示します。

↓「▼」

```
　ＬＡＮ　セッテイ
▶フ゜ロトコル　　　　　　◆
```

4 「▼」スイッチを押し、LANに関する設定ができる状態にします。

3　TCP/IP設定を有効にする

↓「◀」または「▶」

```
　ＬＡＮ　セッテイ
▶フ゜ロトコル　　　　　　◆
```

↓「▼」

1 「◀」または「▶」スイッチを押して「プロトコル」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
　フ゜ロトコル
▶ＴＣＰ／ＩＰ　　　　　　◆
```

↓「▼」

2 「◀」または「▶」スイッチを押して「TCP/IP」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
　ＴＣＰ／ＩＰ
▶＊　ユウコウ　　　　　　▲
```

3 「◀」または「▶」スイッチを押して「ユウコウ」と表示します。
「＊」は現在の設定値です。
初期値は「＊ユウコウ」です。
「＊ユウコウ」になっていないときは、「設定」スイッチを押してください。

↓「▲」

```
　ＬＡＮ　セッテイ
▶フ゜ロトコル　　　　　　◆
```

4 「▲」スイッチを2回押して1の表示に戻します。

4　DHCP自動取得を設定／解除する

↓「◀」または「▶」

```
　ＬＡＮ　セッテイ
▶ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ　◆
```

↓「▼」

1 「◀」または「▶」スイッチを押して「TCP/IP　セッテイ」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
 ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ
▶ＤＨＣＰジ゛ド゛ウシュトク   ▲▼
```

↓「▼」

2「◀」または「▶」スイッチを押して「DHCP ジドウシュトク」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
 ＤＨＣＰジ゛ド゛ウシュトク
▶＊　カイジ゛ョ              ▲
```

↓「設定」

3「◀」または「▶」スイッチを押して設定したい値を表示し、「設定」スイッチを押します。
「＊」は現在の設定値です。初期値は「＊セッテイ」です。

IP アドレスの設定方法によって次のよう設定してください。

設定値	IP アドレスの設定方法
カイジョ	・オペレータパネルから設定するとき 「＊カイジョ」にしないとオペレータパネルに IP アドレス設定する画面は表示されません。
セッテイ	・DHCP による自動取得のとき ・IP アドレス設定ユーティリティ 2 を使うとき

↓「▲」

```
 ＬＡＮ　セッテイ
▶ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ      ▲▼
```

4「▲」スイッチを 2 回押して 2 の表示に戻します。

5　*IP アドレスを設定する*

↓「▼」

1「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
 ＴＣＰ／ＩＰ　セッテイ
▶ＩＰアド゛レス              ▲▼
```

↓「▼」

2「◀」または「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「▼」

```
 ＩＰアド゛レス
ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ ▲▼
```

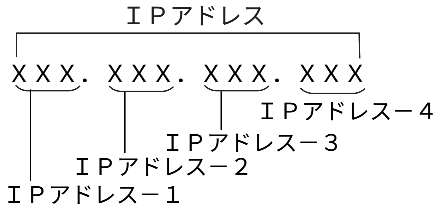
3 現在の設定を確認して「▼」スイッチを押します。

↓「◀」または「▶」

```
 ＩＰｱﾄﾞﾚｽ
▶ＩＰｱﾄﾞﾚｽ－Ｘ          ▲▼
```

↓「▼」

4 「◀」または「▶」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック(IPアドレス-1〜4)を選択して「▼」スイッチを押します。



↓「◀」または「▶」

```
 ＩＰｱﾄﾞﾚｽ－Ｘ
▶＊  ＸＸＸ              ▲
```

「設定」

5 「◀」または「▶」スイッチを押して値を設定したら、「設定」スイッチを押します。

↓「▲」

```
 ＩＰｱﾄﾞﾚｽ
▶ＩＰｱﾄﾞﾚｽ－Ｘ          ▲▼
```

6 「▲」スイッチを押して4の表示に戻します。

7 ブロックごとに4〜6の操作を繰り返します。

↓「▲」

```
 ＩＰｱﾄﾞﾚｽ
ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ．ＸＸＸ  ▲▼
```

8 「▲」スイッチを押して3の表示に戻し、設定値を確認します。

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して2の表示に戻した後、「◀」「▶」スイッチを押して〔サブネットマスク〕〔ゲートウェイ〕とそれぞれ表示された状態で2〜8の操作を行ってください。

6 設定を終了する

設定が終わったら、「オンライン」スイッチを押します。
プリンタの初期化が行われ、設定値が反映されます。
以降の操作は、接続・運用形態にあわせて進んでください。

- LAN による印刷を行いたいとき
  「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46 ページ）参照
- LPR 印刷を行いたいとき（Winodws NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）
  「LPR 印刷の設定」（53 ページ）参照

DHCP によるアドレス自動取得

ここでは、DHCP によって IP アドレスを自動的に取得する方法について説明します。

準　備

IP アドレスを取得する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	DHCP サーバとプリンタを、ネットワーク上に接続してください。

設定方法

1　設定の一覧を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項　目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP 設定 = 有効
TCP/IP 設定	DHCP 自動取得 = 設定

ガイド　工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は、「オペレータパネルによる設定」（40 ページ）を参照してください。

2 DHCP サーバの設定を行う

DHCP マネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定してください。

・開始アドレス
・終了アドレス
・サブネットマスク
・リース期間(無期限を推奨)

設定が終わったら、〔スコープ〕をアクティブにします。

割り当てる IP アドレスを固定したいときは､続けて〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し､次の項目を設定します。

・IP アドレス ...... 設定したい IP アドレス
・一意の ID .... MACアドレス(設定の一覧のネットワーク基本情報に印刷されています。半角英数字12文字で入力してください。)
・クライアント名 ... 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

3 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し､電源を入れなおしてください。

以上で、DHCP によるアドレスの自動取得は終了です。

以降の操作は、接続運用形態にあわせて進んでください。

LAN による印刷を行いたいとき
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46 ページ）参照

LPR 印刷を行いたいとき
（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）
「LPR 印刷の設定」（53 ページ）参照

ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール

ここでは、添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、サーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
本ソフトウェアは以下のときに使用します。

・プリンタのネットワーク設定を管理する場合
・LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合

ネットワークソフトウェアのインストール方法には、次の3つのタイプがあります。
ここでは「プリンタ管理者向け」「一般ユーザ向け」によるセットアップを行います。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向け	クライアント側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・プリンタドライバ（*2）
プリンタ管理者向け	サーバ側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ2（*4） ・プリンタドライバ（*2）
カスタム	個別の機能（管理者機能・ポート作成）の設定（すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ2（*4） ・プリンタドライバ（*2）

*1：LAN（TCP/IP）で接続したXLプリンタに対し、印刷先のポートを作成するときに必要なソフトウェアです。
*2：ダイアログの中でプリンタの追加を選択したときのみインストールされます。
*3：ネットワーク上にあるXLシリーズのプリンタを一括して管理するソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。
*4：プリンタのIPアドレスを新規に設定、または変更するためのソフトウェアです。新規の設定は、XL-6700/6200/5770/5750/5370/5350/5250以降のプリンタでのみ行えます。
（XL-6700は、プリンタファームウェアのバージョンが1.20以降の場合のみ。）

準　備

あらかじめプリンタの IP アドレスを設定しておいてください。

IP アドレスの設定方法は、「IP アドレスの設定」（29 ページ）参照

インストール

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

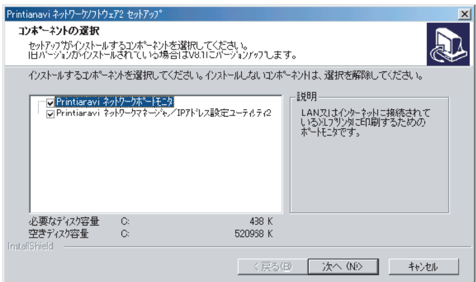


1　添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［ネットワークでプリンタを使う］をクリックする

ガイド

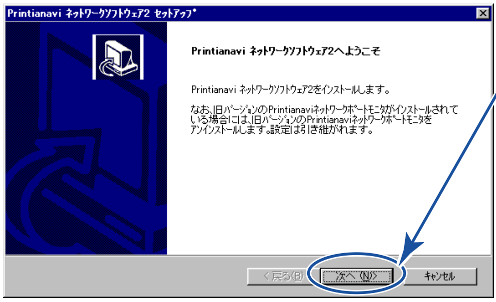
・上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

・Printianavi ネットワークソフトウェア 2 がすでにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。

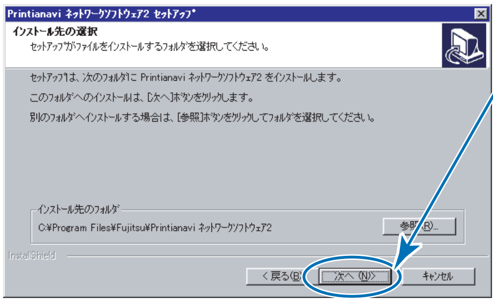


以降の操作は、「第 6 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」の「●カスタム」（149 ページ）参照

・OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

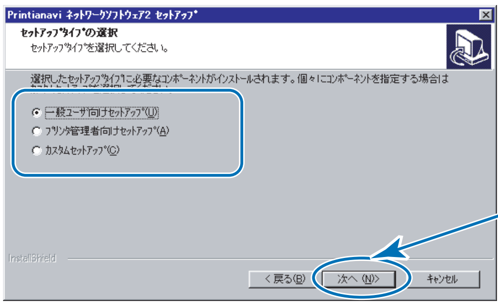


2　***〔次へ〕をクリックする***



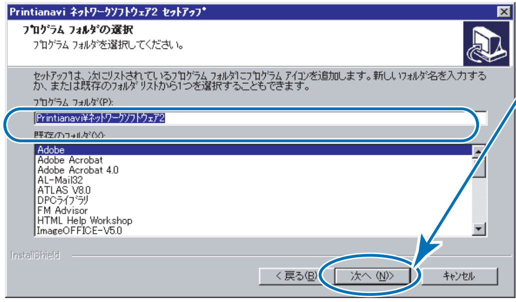
3　***〔次へ〕をクリックする***

ガイド　インストール先のフォルダを変えるときは、〔参照〕をクリックして Printianavi ネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、〔次へ〕をクリックします。



4　***管理者は〔プリンタ管理者向けセットアップ〕を、管理者以外の人は「一般ユーザ向けセットアップ」を選択し、〔次へ〕をクリックする***

各セットアップタイプの詳細については、「第６章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（141ページ）参照

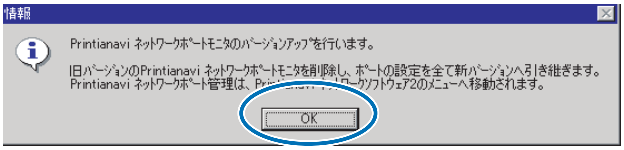


5 プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

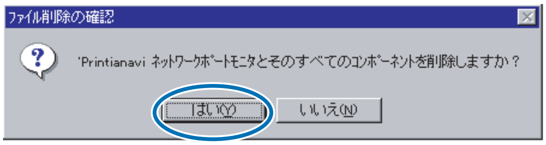
ここで指定した名前が〔スタート〕に追加されます。
初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア2」です。

ガイド

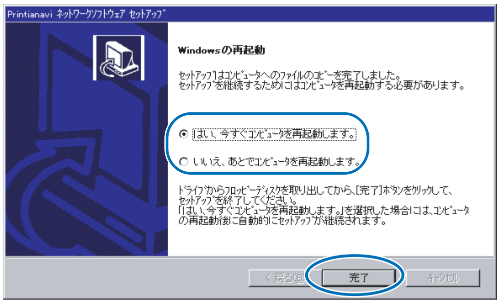
・Printianaviネットワークポートモニタ V5.1をすでにインストールしている場合、次のダイアログが表示されるので〔OK〕をクリックします。



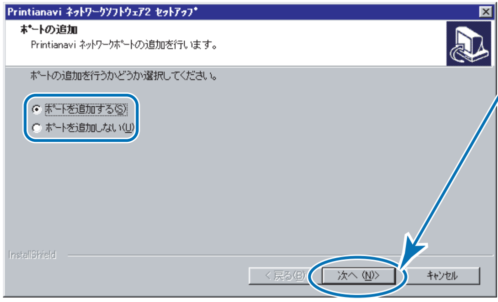
・Printianaviネットワークポートモニタ V3.1以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、〔はい〕をクリックします。



・V7.1より前のPrintianaviネットワークポートモニタがインストールされていた場合は、次のダイアログが表示されます。
すぐに再起動するかどうかを選択し、〔完了〕をクリックします。



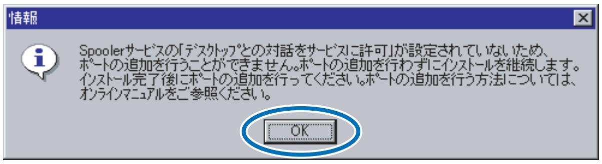
「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windowsを再起動後、 手順6の処理から自動的に再開されます。
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用すると正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。



6 「ポートを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする

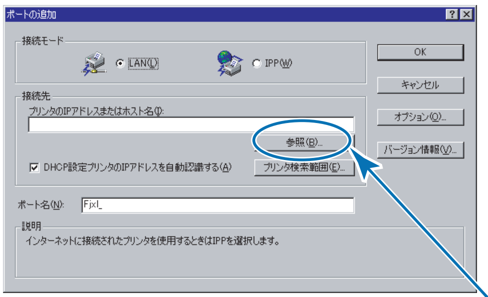
ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックが外れている場合、以下のメッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックします。



引き続き画面に従い、ドライバのインストールを行った後、Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付け、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

Spooler サービスの設定方法は「ポートが追加できない」の〈対処〉（185 ページ）参照

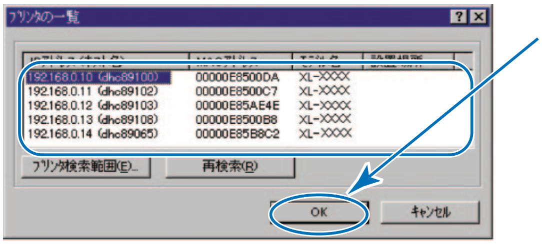


7 ポートの追加処理を行う

ポートの追加処理の詳細については、以下を参照してください。

LAN による印刷を行うときは、「ポートの追加」（156 ページ）参照

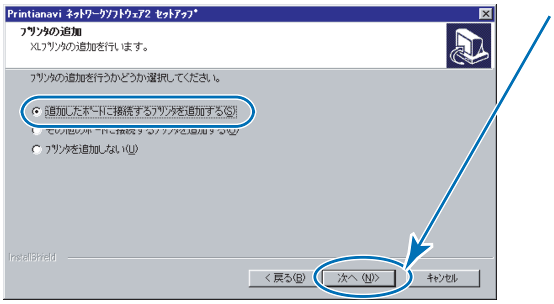
1 〔参照〕をクリックします。
ネットワークに接続されているXLプリンタが「プリンター覧」に表示されます。



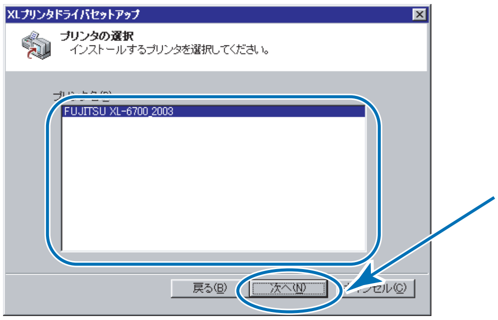
2　設定したい IP アドレスを選択して〔OK〕をクリックします。
選択したIPアドレスが「接続先」に反映されます。

ガイド

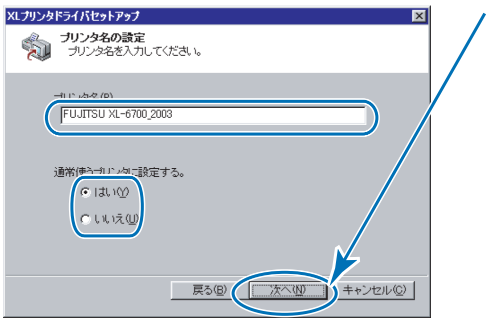
ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。



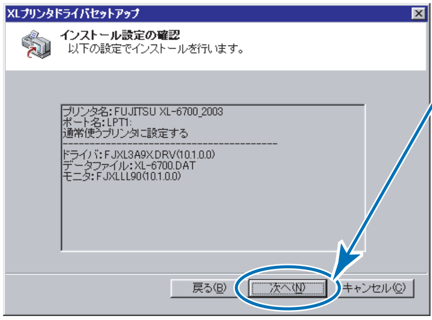
8 「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする



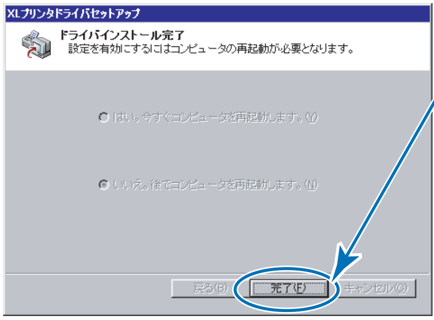
9 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする



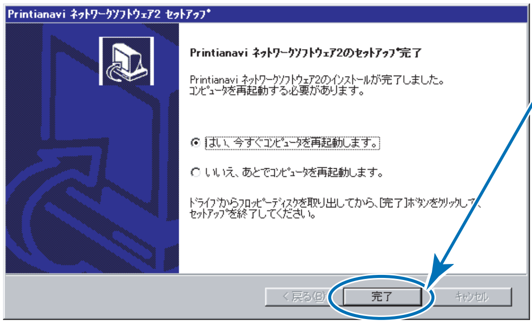
10 プリンタ名の設定、および通常のプリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする



11 設定内容に問題がなければ、〔次へ〕をクリックする



12 〔完了〕をクリックする



13 〔完了〕をクリックし、Windows を再起動する

Windows が起動したら、ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストールは完了です。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

プリンタの共有の設定をしたいときは、
「第４章　プリンタ共有の設定」（63 ページ）参照

インストールがうまくいかなかったときは、
「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166 ページ）参照

印刷するときの詳細は、
「第５章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

LPR 印刷の設定

ここでは、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 や NetWare 環境からの LPR 印刷の設定について説明します。

ガイド　Printianavi機能はご使用になれませんので、あらかじめご了承ください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の準備

プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

設定方法については、「IP アドレスの設定」（29 ページ）参照

サービスの組み込み

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1　〔オプションネットワークコンポーネント〕ウィザードを表示する

- Windows 2000 のとき
  〔スタート〕から〔設定〕〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕の順に選択し、〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕ダイアログの〔詳細設定〕〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する
- Windows XP のとき
  〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔ネットワーク接続〕の順に選択し、〔詳細設定〕〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する
- Windows Server 2003 のとき
  〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔ネットワーク接続〕の順に選択し、右クリックして〔開く〕をクリックする
  〔詳細設定〕〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する

2 「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX用印刷サービス」が組み込まれているか（チェックが付いているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックを付けて〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3 「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか（チェックが付いているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックを付けて〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。
以降は、〔次へ〕をクリックしてダイアログの指示に従って、操作をしてください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のときの設定手順

1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003を起動し、管理者権限でログオンする



2 添付のCD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔プリンタドライバ〕をクリックする

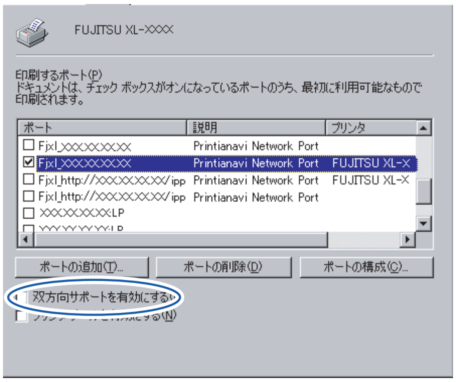
インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。
以降はダイアログの指示に従ってインストールします。

3　プリンタのポートの設定を変更する

1 プリンタを選択する

- Windows 2000 のとき
  〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する
- Windows XP/Windows Server 2003 のとき
  〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

2 〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示する



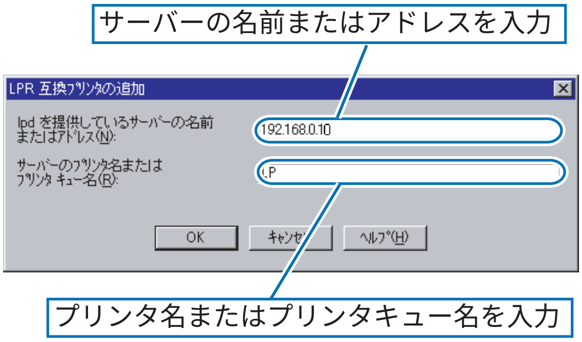
3 〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外す



4 〔ポートの追加〕をクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログから、「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。



5 次の内容を入力し、〔OK〕をクリックする

プリンタのIPアドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力します。プリンタLANアダプタFM-LNA100/110の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4　*印刷データのスプール方法を変更する*

プリンタのプロパティから〔詳細設定〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166ページ）参照

NetWare環境でのインストール手順の詳細は、『オンラインマニュアル』「NetWare編」「第1章　インストールの概要」参照

Windows NT4.0のときの準備

プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。設定したIPアドレスは固定にしてください。

設定方法については、「IPアドレスの設定」（29ページ）参照

サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 〔ネットワーク〕ダイアログを表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する

〔サービス〕タブをクリックし、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が表示されるか確認します。

組み込まれていないときは、〔追加〕をクリックし、〔ネットワークサービスの選択〕ダイアログのネットワークサービス一覧から「Microsoft TCP/IP印刷」を選択します。

続けて、同じ手順で「簡易TCP/IPサービス」を選択します。

Windows NT4.0 のときの設定手順

1　Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする



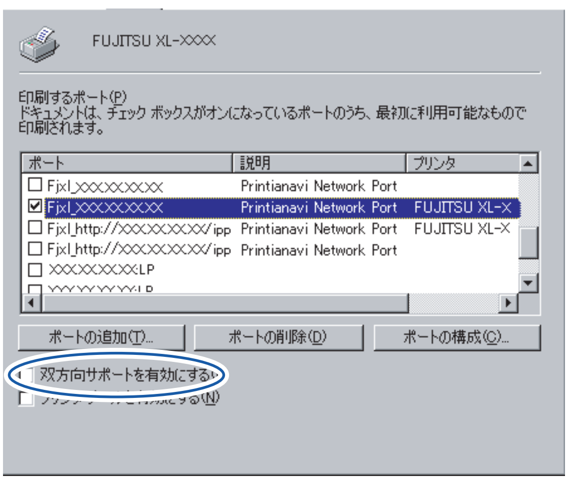
2　添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔プリンタドライバ〕をクリックする

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。
以降はダイアログの指示に従ってインストールします。

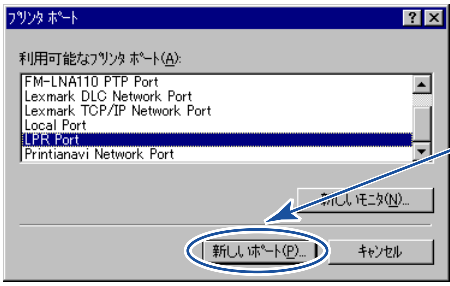
3　プリンタのポートの設定を変更する

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

2 〔ファイル〕から〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示する



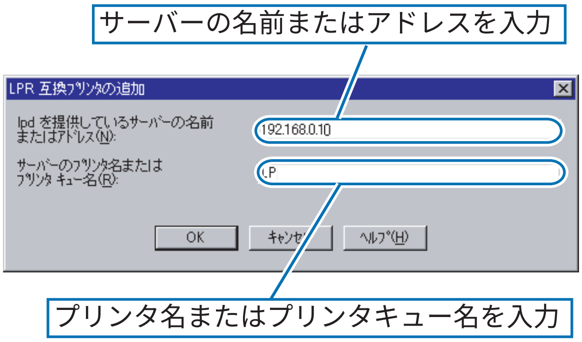
3 〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外す



4 〔ポートの追加〕ボタンをクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスから、「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕ボタンをクリックする

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。



5 次の内容を入力し、〔OK〕をクリックする

プリンタの IP アドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力します。プリンタ LAN アダプタ FM-LNA100/110 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

プリンタのプロパティから〔スケジュール〕ダイアログをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

NetWare 環境でのインストール手順の詳細は、
『オンラインマニュアル』「NetWare 編」「第１章　インストールの概要」参照

NetWare5 のときの準備

本プリンタは、Novell NetWare5 の NDPS を使用して TCP/IP 環境での LPR 印刷が可能です。

ここでは、本プリンタを Novell NetWare5 の NDPS で使用する場合の NDPS プリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPS に関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianavi の機能はご使用になれませんのでご了承ください。

プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

設定方法は、「IP アドレスの設定」（29 ページ）参照

NDPS のセットアップ

あらかじめ、NDPS をサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。

NetWare5 のときの設定手順

NDPS マネージャの作成を行ってから、NDPS プリンタの作成を行います。

NDPS マネージャの作成

1　*NetWare アドミニストレータを起動する*

\SYS\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE を実行してください。

2　*NDPS マネージャを置くコンテキストに移動する*

3　*〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする*

4　*〔NDPS Manager〕をクリックし〔OK〕をクリックする*

5　*NDPS マネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する*

NDPS マネージャ名 .... 作成するNDPSマネージャの名前を入力します。

常駐先サーバ .... 右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャを常駐させるサーバを選択します。

データベースボリューム .... 右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャが利用するデータベースを置くボリュームを選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

NDPS プリンタの作成

1　*NDPS プリンタを置くコンテキストに移動する*

2　*〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする*

3　*〔NDPS Printer〕をクリックし、〔OK〕をクリックする*

4　*NDPSプリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する*

NDPS プリンタ名 .... 作成する NDPS プリンタの名前を入力します。
プリンタエージェントのソース 「新規プリンタエージェントを作成する」を選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

5　NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

NDPS マネージャ名 .... 右の〔参照〕をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。
ゲートウェイタイプ ..... 「Novell プリンタゲートウェイ」をクリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

6　NDPS マネージャをロードする

「NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？」という意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックし NDPS マネージャをロードしてください。

7　プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

8　接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ .... 「リモート（IP 上で LPR）」を選択します。
ホストアドレス .... 本プリンタの IP アドレスを入力します。
プリンタ名 .... 「LP」と入力します。

設定が終わったら、〔完了〕をクリックしてください。

9　〔プリンタドライバの選択〕画面で、接続したプリンタを選択する

一覧にない場合は「なし」を選択してください。（ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。）
プリンタの選択が終わったら、〔続行〕をクリックし、〔OK〕をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

プリンタドライバの設定方法や機能を知りたいとき
「第 5 章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

第4章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 95/98/Me のとき 64
サーバ側の設定 64
クライアント側の設定 66
Windows NT4.0 のとき 67
サーバ側の設定 67
クライアント側の設定 70
Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき 71
サーバ側の設定 71
クライアント側の設定 74

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 95/98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

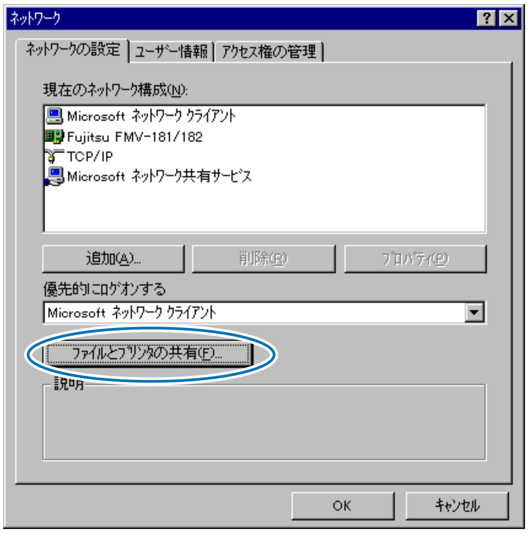
準　備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

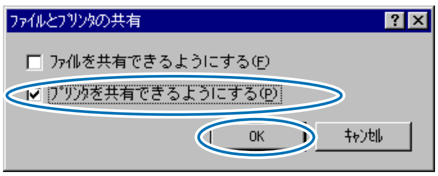
1　〔ネットワーク〕プロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2　〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする



3　「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする



4 **〔ネットワーク〕プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、OSを再起動する**

設　定

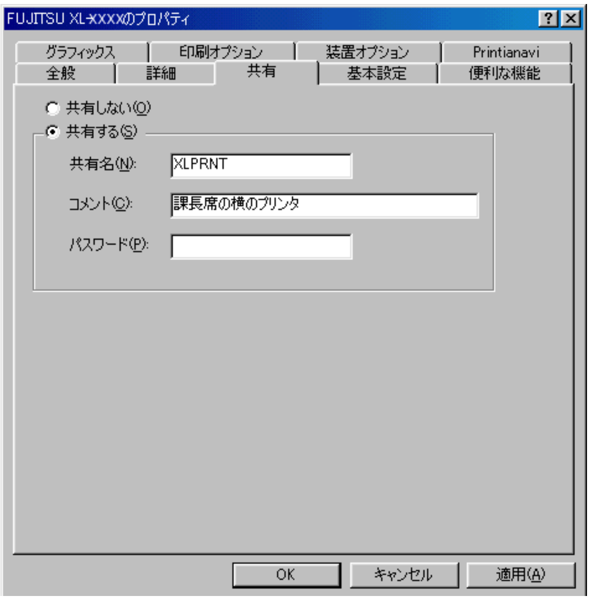
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 **〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする。**

2 **〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する**

3 **「共有する」を選択し、共有名を入力する**

必要ならコメント、パスワードを入力してください。



共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。
コメント	プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。
パスワード	他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。 パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

クライアント側の設定

Windows 95/98/Meをクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows 95/98/MeのクライアントからWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

代替インストールは、「サーバ側の設定」(Windows NT4.0は67ページ、Windows 2000/XP/Windows Server 2003は71ページ)参照

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 95/98/Meが動作するパソコンです。

設　定

1　エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕(Windows Meは〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕)の順に選択します。

2　サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク　コンピュータ〕(Windows Meは〔マイネットワーク〕)をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows NT4.0のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

設　定

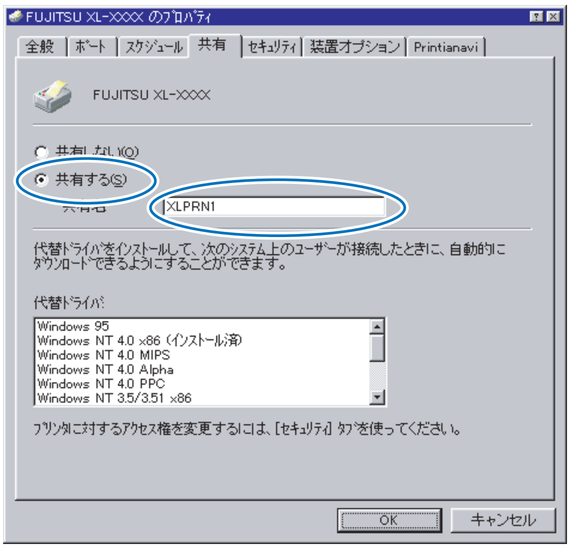
共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1　Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする

2　〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

3　〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する

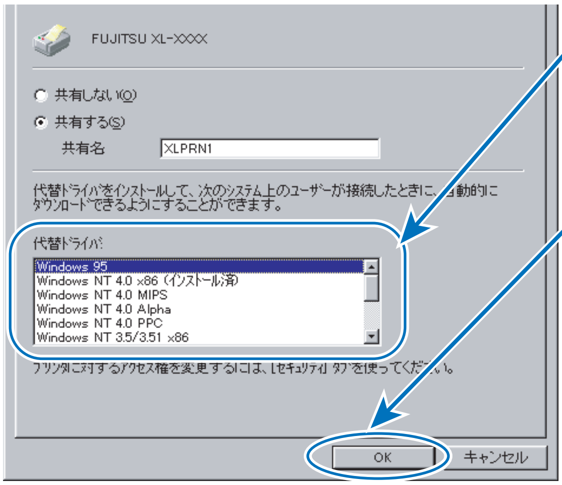
4　「共有する」を選択し、共有名を入力する



共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。 ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 95/98/Me の場合は、引き続き手順 5 以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

ガイド 代替ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

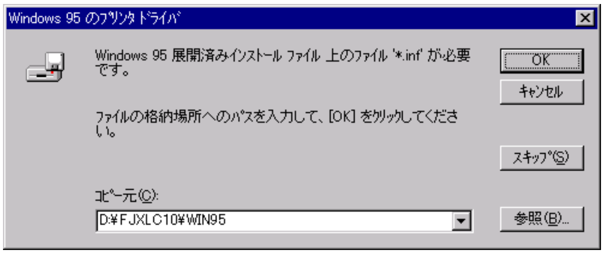


5 「代替ドライバ」リストからクライアントの OS を選択し、〔OK〕をクリックする

ガイド Windows 98/Me の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

ガイド CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7 「コピー元」に「D：\FJXLC10\WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D：\FJXLC10\WIN95」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

クライアント側の設定

Windows NT4.0をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

Windows NT4.0のクライアントからWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド　サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本プリンタに添付のCD-ROMが必要です。（サーバがWindows 95/98/Meのとき）

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows NT4.0が動作するパソコンです。

設　定

1　***〔スタート〕から〔プログラム〕〔Windows NTエクスプローラ〕の順に選択する***

2　***〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックする***

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　***設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする***

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

1 ***Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする***

2 ***Windows 2000 の場合：***

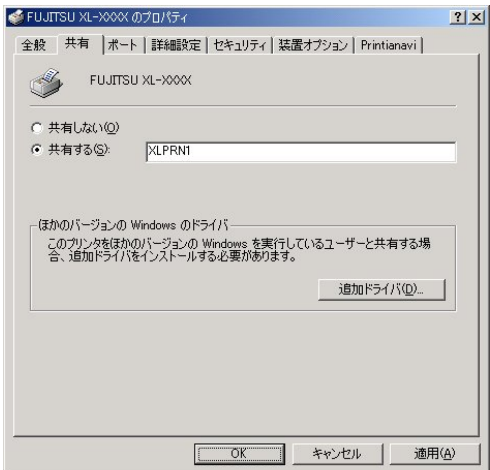
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合：

〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

3 ***〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する***

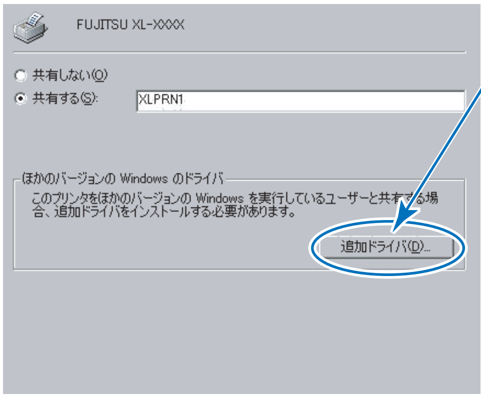
4 ***「共有する」（Windows XP/Windows Server 2003の場合は「このプリンタを共有する」）を選択し、共有名を入力する***



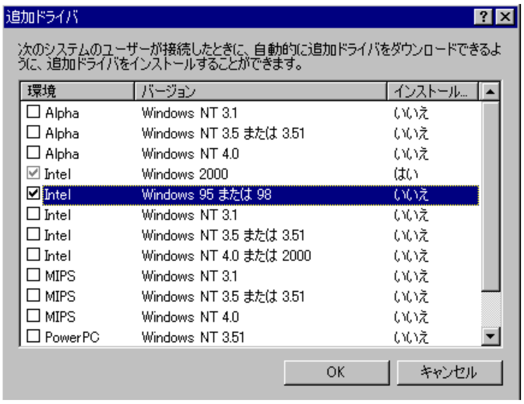
共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。 ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き手順5以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。
（画面はWindows 95/98/Meの追加ドライバをインストールする場合）

ガイド
- 追加ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。



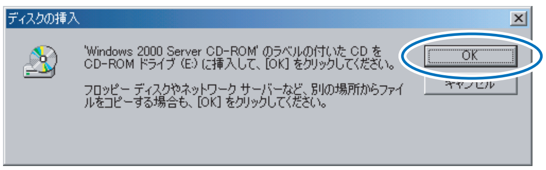
5 〔追加ドライバ〕をクリックする



6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックし、〔OK〕をクリックする

（画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき）

ガイド
添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、〔OK〕をクリックしてください。



CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。



7 ***「コピー元」にクライアントの OS 用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする***

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

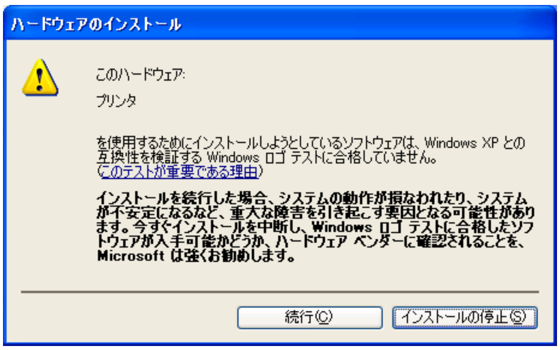
クライアントの OS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	D:\FJXLC10\WIN95
Windows NT4.0	D:\FJXLC10\WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

- **Windows 2000 の場合**
〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログが表示されたときは、〔はい〕を選択してください。



- **Windows XP/Windows Server 2003 の場合**
〔ハードウェアのインストール〕ダイアログが表示されたときは、〔続行〕を選択してください。



クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ネットワークインストール

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからWindows 2000/XP/Windows Server 2003サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ドライバインストーラによる方法」（76ページ）でインストールしてください。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。 あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。

設　定

1　***Windows 2000の場合：***

〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択します。

Windows XP/Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕から〔すべてのプログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択します。

2　***〔マイネットワーク〕の〔ネットワーク全体〕を表示し、〔コンピュータの検索〕（Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔検索〕）をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する***

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3　***設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする***

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ドライバインストーラによる方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからサーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003以外の共有プリンタを使用する場合は、CD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ってください。このとき、インストール内容は「共有プリンタをインストールする」を選択します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

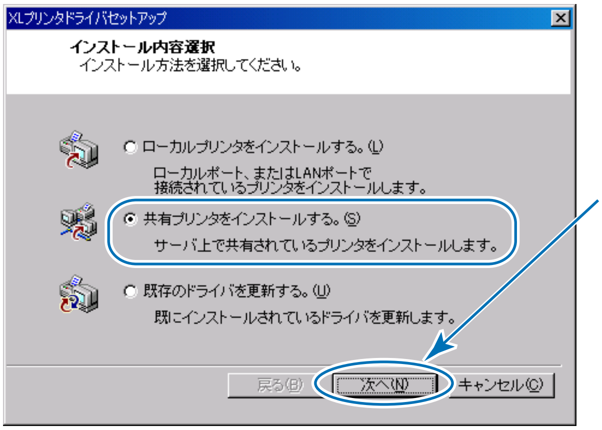
サーバ	Windows 95/98/Me/NT4.0が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。

設　定

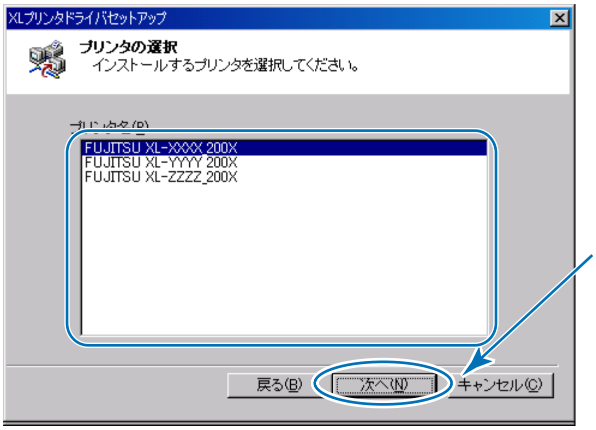


1　添付のCD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットし、左記のダイアログが表示されたら〔プリンタドライバ〕をクリックする

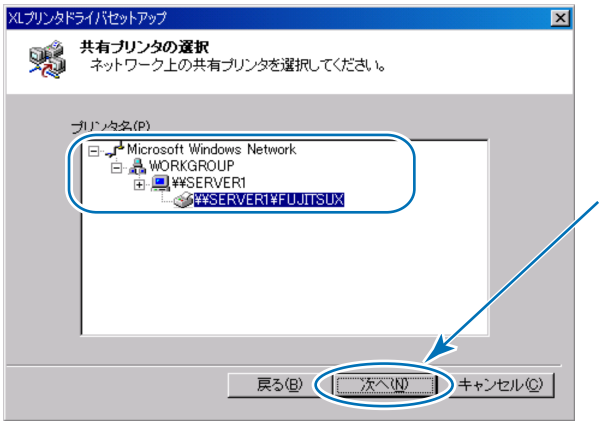
ガイド　上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。



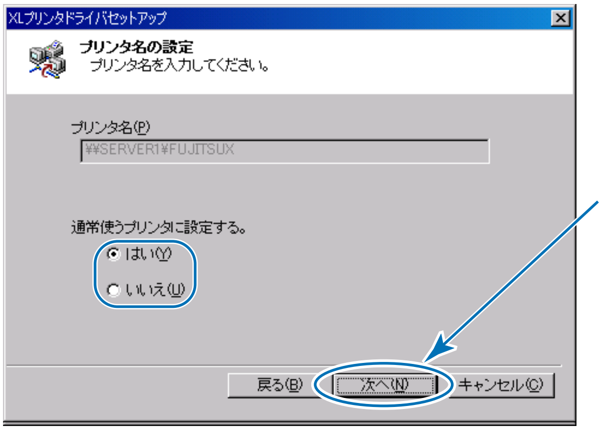
2　**「共有プリンタをインストールする」を選択し、〔次へ〕をクリックする**



3　**プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする**

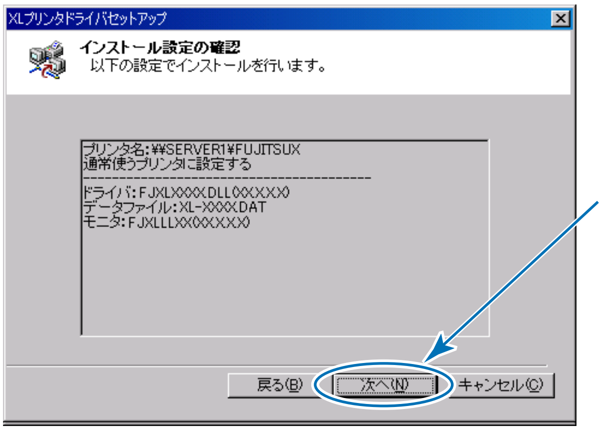


4　**サーバの共有プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする**



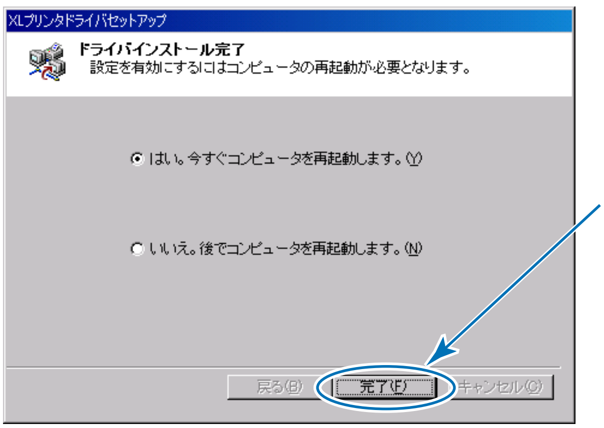
5　通常使用するプリンタとするかどうか選択して〔次へ〕をクリックする

すでにインストールされているプリンタがない場合は、「いいえ」を選択しても通常使用するプリンタに設定されます。



6　設定内容に問題がなければ、〔次へ〕をクリックする

設定内容を変更する場合は、〔戻る〕をクリックします。



7　〔完了〕をクリックする

第5章

プリンタドライバの設定

この章では、プリンタドライバ（Printia XL ドライバ）の設定項目および設定方法について説明します。

印刷手順 80
プリンタの状態を見る（ポップアップ）...... 82
印刷を中止する 83
パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）... 83
オペレータパネルから中止する 84
プロパティの開きかた 86
アプリケーションソフトから開く 86
〔プリンタ〕フォルダから開く 86
プリンタドライバで設定できる内容 88
〔基本設定〕ダイアログ 89
〔便利な機能〕ダイアログ 99
〔グラフィックス〕ダイアログ 109
〔印刷オプション〕ダイアログ 111
〔装置オプション〕ダイアログ 114
〔Printianavi〕ダイアログ 122
プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）... 132
Windows 95/98/Me のとき 132
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき 134
プリンタドライバの更新 136
プリンタドライバの削除 138

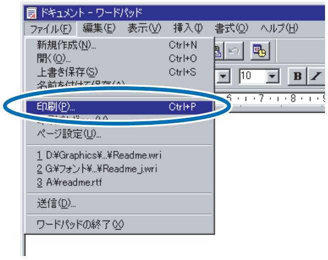
印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。

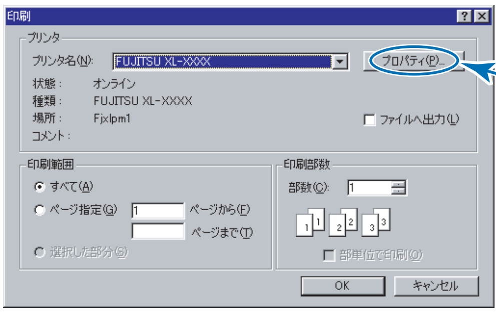
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1　ワードパッドでデータを作成する

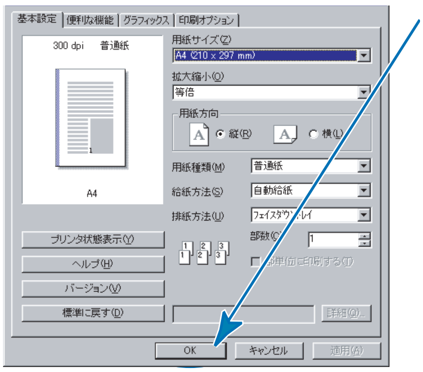
2　〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する



3　プリンタが正しく選択されていることを確認し、〔プロパティ〕をクリックする

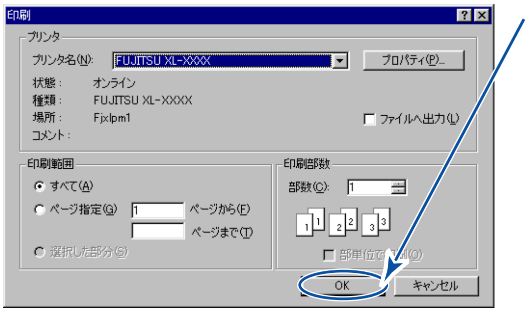


4　各項目を設定し、〔OK〕をクリックする



各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または「プリンタドライバで設定できる内容」（88 ページ）参照

用紙をセットする方法については、
『プリンタ編』「第 5 章　日常のメンテナンス」（47 ページ）参照



5　〔OK〕をクリックする

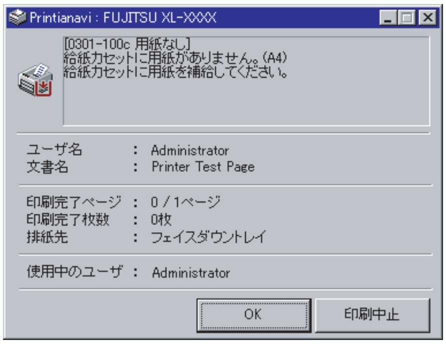
印刷が開始されます。

うまく印刷できないときは、「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166 ページ）参照

プリンタの状態を見る（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることできます。

Printianavi は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。



Printianaviによるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「〔Printianavi〕ダイアログ」（122 ページ）参照

印刷を中止する

印刷開始後（データランプ点滅または点灯）、印刷を中止する2つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、〔Printianavi〕ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

●ポップアップ表示のとき

〔印刷中止〕をクリックする

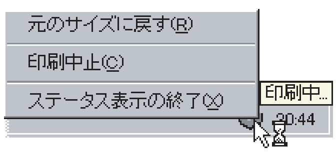


●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、〔印刷中止〕をクリックする



ガイド タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。



オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

ガイド　プリンタ内に未印刷データがあるときは、「データ」ランプが点灯しています。このときプリンタをリセットすると、未印刷データは消去されます。
リセット後、動作モード表示に EP、EG、PC、VF のいずれかが表示されていないとき、再度プリンタをリセットしてください。

印刷中
↓「オンライン」スイッチ

ハイシュツ　ショリチュウ

↓

オフライン

1　印刷中に「オンライン」スイッチを押す

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

↓「リセット」スイッチ

ショキカ　シマスカ？

2　「リセット」スイッチを押す

ガイド　初期化しないときは、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

↓「リセット」スイッチ

ショキカチュウ

3　再度、「リセット」スイッチを押す

プリンタを初期化します。

受信データがあると、データランプが点滅します。初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

ガイド

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianavi を使用しているときは、パソコン上の Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

オペレータパネルの詳細は『プリンタ編』「第 6 章　オペレータパネルの操作」（219　ページ）参照

プロパティの開きかた

印刷に関する設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。
プロパティの開きかたには、次の２種類があります。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時はこの方法を使います。
操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な開きかたは、次のとおりです。

1　〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する

2　〔印刷〕ダイアログを表示させ、〔プロパティ〕をクリックする

〔プリンタ〕フォルダから開く

〔プリンタ〕フォルダから開いて設定を行うと、その設定値はアプリケーションからプリンタのプロパティを開いたときの初期設定となります。

● Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

1　〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

2　使用するプリンタのアイコンを選択し、〔ファイル〕－〔プロパティ〕の順に選択する

3　プリンタのプロパティを表示する

・Windows 95/98/Me のとき
〔プロパティ〕をクリックする
・Windows NT4.0 のとき
〔ドキュメントの既定値〕をクリックする
・Windows 2000 のとき
〔印刷設定〕をクリックする

●Windows XP/Windows Server 2003の場合

1 ***〔スタート〕-〔プリンタとFAX〕を選択する***

2 ***〔プリンタとFAX〕フォルダから、使用するプリンタアイコンを選択し、〔ファイル〕ー〔プロパティ〕の順に選択し、〔印刷設定〕をクリックする***

ガイド

OSがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で〔装置オプション〕〔Printianavi〕ダイアログを開くときは、次の操作をします。

・Windows NT4.0/2000のとき

1〔スタート〕ー〔設定〕ー〔プリンタ〕の順に選択する

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕をクリックする

・Windows XP/Windows Server 2003のとき

1〔スタート〕ー〔プリンタとFAX〕を選択する

2 使用するプリンタのアイコンを右クリックし、〔プロパティ〕をクリックする

プリンタドライバで設定できる内容

プリンタドライバで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を以下に示します。

●基本設定

用紙サイズや種類、印刷の向き等の用紙に関する設定や、給紙、部単位印刷に関する設定を行います。

「〔基本設定〕ダイアログ」（89 ページ）参照
「任意のサイズを設定する」（93 ページ）参照
「拡大／縮小印刷」（95 ページ）参照
「複数部数／部単位印刷」（97 ページ）参照

●便利な機能設定

N-up や両面印刷に関する設定を行います。

「〔便利な機能〕ダイアログ」（99 ページ）参照
「N-up 印刷」（101 ページ）参照
「両面印刷」（102 ページ）参照

●グラフィックス設定

解像度やディザパターン、トナーセーブに関する設定を行います。

「〔グラフィックス〕ダイアログ」（109 ページ）参照

●印刷オプション設定

スプールに関する設定、プロテクトモード印刷など、印刷に関する設定を行います。

「〔印刷オプション〕ダイアログ」（111 ページ）参照

●装置オプション設定

オプションの取り付け状態に関する設定を行います。

「〔装置オプション〕ダイアログ」（114 ページ）参照

● Printianavi に関する設定

Printianavi に関するダイアログの表示方法の設定を行います。

「〔Printianavi〕ダイアログ」（122 ページ）参照

〔基本設定〕ダイアログ

印刷についての基本的な設定を行います。



① 用紙サイズ (初期設定：A4)	アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。 [▼] をクリックし、表示されるリストから選択します。 ・ユーザ定義サイズ 定型用紙以外のサイズに印刷するときは、〔ユーザ定義サイズ〕を選びます。 ➡ ユーザ定義サイズの設定方法については、「任意のサイズを設定する」(93 ページ) 参照
② 拡大縮小 (初期設定：等倍)	アプリケーションで作成したデータを、出力する用紙サイズに拡大／縮小して印刷する場合に設定します。 ➡ 拡大／縮小印刷については、「拡大／縮小印刷」(95 ページ) 参照
③ 用紙方向 (初期設定：縦)	印刷する用紙の方向を縦／横で選択します。
④ 用紙種類 (初期設定：普通紙)	印刷する用紙の種類を選択します。 ・〔用紙サイズ〕ではがきを選択した場合、本設定は「厚紙」固定になります。 ・本設定で厚紙、OHP フィルムを選択した場合、以下の設定が固定となります。 - 〔給紙方法〕は「手差し」固定となります。 - 〔排紙方法〕は「フェイスダウントレイ」固定となります。

⑤ 給紙方法 (初期設定：自動給紙)	印刷するときの給紙口を選択します。「自動給紙」を選択すると、〔用紙サイズ〕で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。 次の場合、本設定は手差し固定となります。 ・〔用紙サイズ〕で「はがき」、「ユーザ定義サイズ」を選択した場合 ・〔用紙種類〕で「厚紙」、「OHP フィルム」を選択した場合
⑥ 排紙方法 (初期設定：フェイスダウントレイ)	用紙を排出するトレイを選択します。 ▼をクリックし、表示されるリストから選択します。 「ユーザ定義トレイ」では、拡張スタッカに排出するトレイを選択して指定します。 以下の場合、拡張トレイに排出できません。 ・〔用紙サイズ〕で「はがき」、「ユーザ定義サイズ」を選択した場合 ・〔用紙種類〕で「厚紙」、「OHP」を選択した場合 「拡張スタッカを使った印刷」（116 ページ）参照
⑦ 部数(初期設定：1)	印刷する部数を 1 ～ 999 で設定します。
⑧ 部単位に印刷する (初期設定：□)	2 部以上印刷する場合に、1 部ごとにまとめて印刷したいときに☑にします。 複数部数・部単位印刷については、「複数部数／部単位印刷」（97 ページ）参照
⑨〔詳細〕ボタン	プリンタドライバの設定に関する情報や警告がある場合、ボタンの横にメッセージが表示されます。ボタンをクリックすると、メッセージの詳細が表示されます。
⑩〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianaviを使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 表示内容については、「プリンタの状態表示」（91 ページ）参照
⑪〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑫〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑬〔標準に戻す〕ボタン	〔基本設定〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

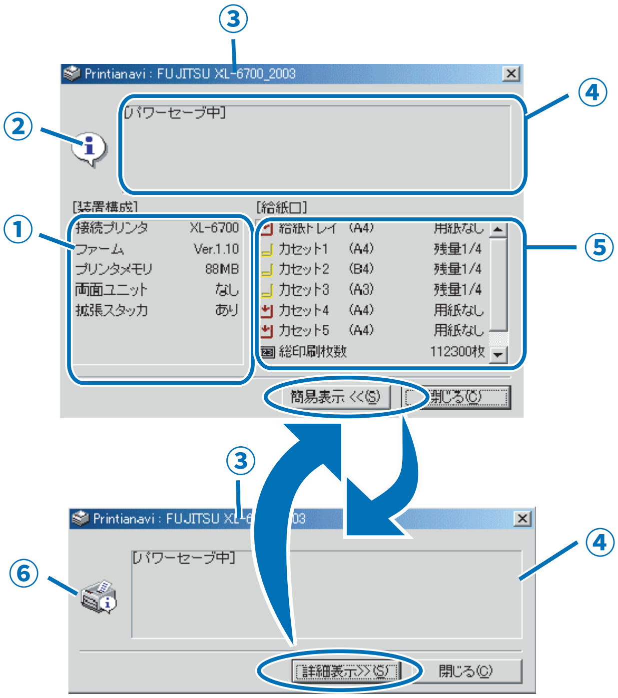
プリンタの状態表示

〔基本設定〕ダイアログで〔プリンタ状態表示〕をクリックすると、プリンタの状態を確認することができます。

●画面の説明

〔簡易表示〕、〔詳細表示〕をクリックすると画面が切り替わります。

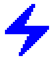
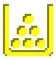
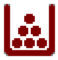
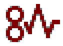
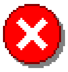
・〔簡易表示〕と〔詳細表示〕の切り替え



① 装置構成情報リスト	プリンタモデル名、ファームウェアのバージョン、プリンタメモリ、オプションを表示します。
② ステータスアイコン（詳細）	現在のプリンタの状態をアイコンで表示します。 アイコンの表示内容については、「●詳細表示アイコンの種類と意味」（92 ページ）参照
③ プリンタ名	プリンタ名を表示します。
④ プリンタ状態メッセージ	現在のプリンタの状態をメッセージで通知します。
⑤ 給紙口情報リスト	給紙口の情報、印刷枚数を表示します。
⑥ ステータスアイコン（簡易）	現在のプリンタの状態をアイコンで表示します。 アイコン表示内容については、「●簡易表示アイコンの種類と意味」（93 ページ）参照

●詳細表示アイコンの種類と意味

【ステータスアイコン】

 情報あり	 (青)通信中	 オンライン	 印刷中
 警告	 (黄色) トナー少	 (暗い赤色) カートリッジエラー	 紙詰まり
 ハードエラー	 カセットエラー	 (暗い赤色) 用紙なし	 (暗い赤色) 通信エラー
 カバーオープン その他のエラー			

【給紙情報】

 (黒) 用紙残量4/4～1/4	 (黄色) 用紙残量1/4以下	 (暗い赤色) 用紙なし	 (暗い赤色) カセットエラー
 (グレー) 情報未取得			

●簡易表示アイコンの種類と意味

【ステータスアイコン】



任意のサイズを設定する

定形用紙でない（〔用紙サイズ〕にない）用紙サイズを、〔ユーザ定義サイズ〕として設定することができます。

設定できる範囲は次のとおりです。（0.1㎜単位）

幅　：1000 ～ 2970（100 ～ 297㎜）
長さ：1480 ～ 4200（148 ～ 420㎜）

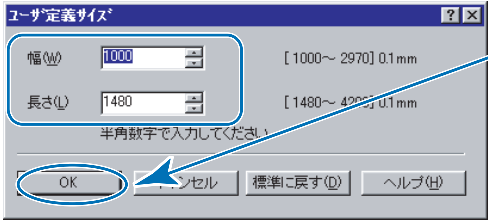
ガイド

- ユーザ定義サイズに印刷する場合、給紙トレイに用紙をセットしてください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。

設定する操作は次のとおりです。

1　〔基本設定〕ダイアログの〔用紙サイズ〕リストから、〔ユーザ定義サイズ〕を選択する

2　用紙の幅と長さを入力し、〔OK〕をクリックする

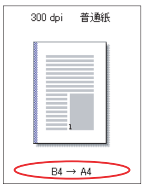


ガイド　定形用紙と同一のサイズを設定した場合は、自動的に定形サイズに切り替わります。
例：幅　2970(297mm)、長さ　4200(420mm)→用紙サイズ　A3

拡大／縮小印刷

アプリケーションで作成したデータ（文書）を拡大または縮小して印刷します。画面は、Windows 98 の場合です。



① 用紙サイズ	拡大／縮小する前の用紙サイズを指定します。アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。
② 拡大縮小	拡大／縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。 ・等倍 拡大／縮小印刷は行いません。 ・○○に拡大縮小 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大／縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを○○に固定します。拡大縮小の設定を行うと、〔基本設定〕ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。例えば、「B4 → A4」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。  プリンタの給紙口に出力用紙として指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。

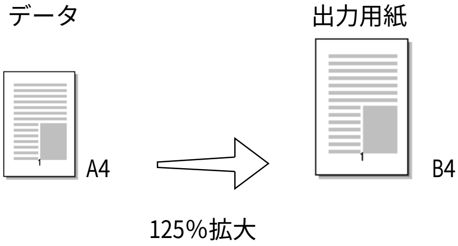
ガイド

実際に出力する用紙サイズを変更せずに、印刷イメージだけを 50%～ 150%の範囲で拡大／縮小することもできます。

「イメージサイズの調整」（99 ページ）参照

● **拡大／縮小印刷の設定例**
－データを決まった用紙サイズに印刷する－

例１：拡大印刷の時　－ A4 サイズのデータを B4 サイズに拡大して印刷－

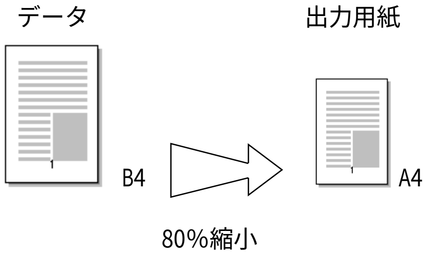


このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ .... Windows 95/98/Me の場合
「A4（210 × 297mm）」を選択します。
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合
「A4」を選択します。

拡大縮小 ......「B4 に拡大縮小」を選択します。

例２：縮小印刷の時　－ B4 サイズのデータを A4 サイズに縮小して印刷－



このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ .... Windows 95/98/Me の場合
「B4（257 × 364mm）」を選択します。
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合
「B4（JIS）」を選択します。

拡大縮小 ......「A4 に拡大縮小」を選択します。

複数部数／部単位印刷

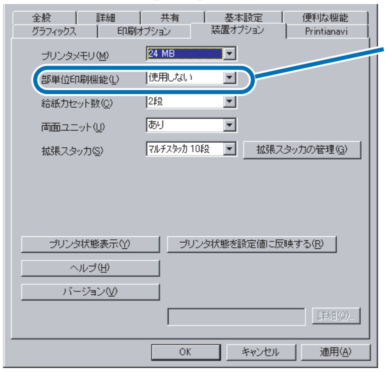
１回の印刷で同じ文書を２部以上印刷したいときは複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるときは部単位印刷を行います。

部単位印刷を行うときは、〔装置オプション〕ダイアログの「部単位印刷機能」で「使用する」を選択し、〔基本設定〕ダイアログで「部数」と「部単位に印刷する」を指定します。

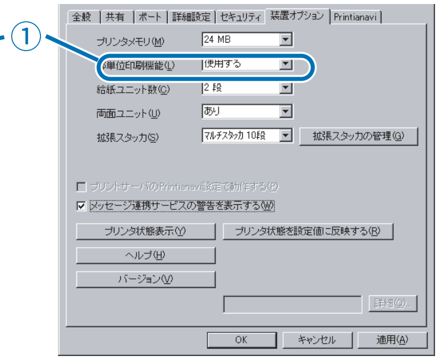
部単位印刷に関する詳細
「●部単位印刷時の注意事項」（98 ページ）参照

●〔装置オプション〕ダイアログ

Windows 95/98/Meのとき

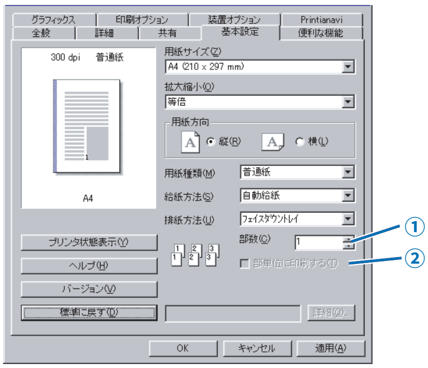


Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき



①	部単位印刷機能	部単位印刷を行う場合は、「使用する」に設定します。

●〔基本設定〕ダイアログ



①	部数	印刷する部数を、1～999 部の範囲で指定します。
②	部単位に印刷する	部単位で印刷する場合にチェックを付けます。

部単位印刷時の注意事項

部単位印刷をサポートしているアプリケーションからの印刷

使用するアプリケーションによっては、アプリケーション自身が部単位の印刷を行うため、ドライバの部単位印刷が働かず、期待どおりの印刷結果が得られないことがあります。このような場合には、アプリケーションの印刷設定で部単位印刷が無効になっていることを確認してから、プリンタのプロパティで、ドライバの部単位印刷を有効にしてください。部数指定はアプリケーションの印刷設定画面で再確認してください。

メモリ不足時の動作

XL-6700 では、プリンタ RAM モジュールの増設によってプリンタ側で部単位印刷用のメモリを確保します。
また、増設するメモリ量が多いほど部単位印刷用のメモリも多く確保できるようになります。
部単位印刷用のメモリがプリンタに十分確保できない状態で部単位印刷を行うと、お使いの環境によっては、部単位印刷が行えなかったり、印刷に時間がかかったりする場合がありますのでご注意ください。

1) OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で、Printianavi が有効（※）のとき

部単位印刷は行えますが、パソコン側で印刷データを指定部数分送信するため、印刷に時間がかかることがあります。
※ プリンタのプロパティで〔詳細設定〕ダイアログ（Windows NT4.0 のときは〔スケジュール〕ダイアログ）の「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」が選択されていることが必要です。

2) Printianavi が有効の Windows 95/98/Me のクライアントから、Printianavi が有効（※）の Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ経由で印刷を行うとき

1) と同様に部単位印刷は行えますが、パソコン側で印刷データを指定部数分送信するため、印刷に時間がかかることがあります。

3) 1)、2) 以外のとき

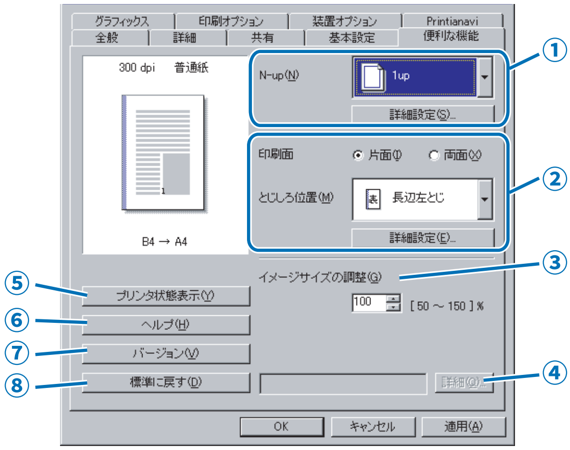
プリンタの液晶画面に次のメッセージが表示され、印刷を一時中断します。（Printianavi が有効の場合は、パソコンの画面にも同様のメッセージを表示します）

プリンタ RAM モジュールの増設なしの場合	「メモリ　フソク　ブタンイ　インサツ」と表示されます。
部単位印刷を行う文書の印刷データ量が部単位印刷用のメモリより多い場合	「メモリ　オーバー　ブタンイ　インサツ」と表示されます。

どちらの場合も、プリンタのオペレータパネルにあるいずれかのスイッチを押すと１部のみ印刷します。
また、プリンタのセットアップモードの環境設定で、「メモリ不足解除」を「スル」に設定している場合は、３秒経過すると自動的に１部のみ印刷します。

〔便利な機能〕ダイアログ

印刷するページのN-upおよび片面／両面印刷に関する設定を行います。



①　N-up （初期設定：1up）	1枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。1、2、4、8、16upの５種類の設定ができます。 ・〔詳細設定〕ボタン 割り付けたページ数に対してページ配置の設定を行います。 ※「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズ」を選択した場合、本設定は「1up」固定となります。 N-up印刷については、「N-up印刷」（101ページ）参照
②　印刷面 （初期設定：片面）	両面印刷やとじしろ位置を設定します。 ・〔詳細設定〕ボタン 選択した印刷に対し、とじしろ量や白紙印刷等の設定を行います。 「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズ」「はがき」を選択した場合、本設定は「片面」固定となります。 〔基本設定〕ダイアログの「用紙種類」で「厚紙」、「OHPフィルム」を選択した場合、本設定は「片面」固定となります。 両面印刷については、「両面印刷」（102ページ）参照
③　イメージサイズの調整(初期設定：100)	用紙サイズを変更せずに、イメージを拡大縮小する場合の倍率を設定します。とじしろの設定などでイメージがうまく収まらなくなったときの調整に使うことができます。

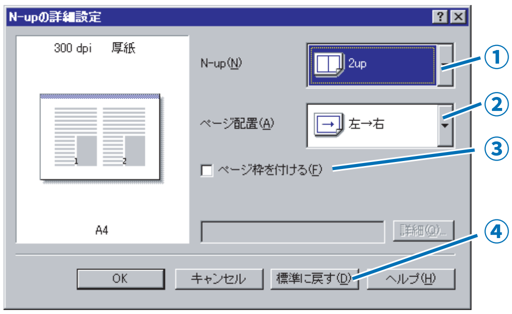
④〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。
⑤〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」（91 ページ）参照
⑥〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑦〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑧〔標準に戻す〕ボタン	〔便利な機能〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

N-up 印刷

〔便利な機能〕ダイアログの「N-up」で1枚に割り付けるページ数を設定します。

1 〔便利な機能〕ダイアログの「N-up」で1枚に割り付けるページ数を設定する

2 「N-up」の〔詳細設定〕をクリックし、ページ配置等を設定する



①	N-up（初期設定：1up）	〔便利な機能〕ダイアログのN-up で選択した内容が表示されます。この画面での変更もできます。
②	ページ配置 （初期設定：グレイアウト）	割り付けたページをどのような順序で配置するか選択します。〔印刷方法〕（縦・横）と〔N-up〕によって、選択できるページ配置が変わります。
③	ページ枠を付ける （初期設定：チェックなし）	割り付けたページの周囲に枠線を印刷する場合にチェックします。
④	〔標準に戻す〕ボタン	〔N-upの詳細設定〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。このとき、〔便利な機能〕ダイアログの「N-up」で設定した値も初期設定に戻ります。

3 〔OK〕をクリックする

4 〔OK〕をクリックして〔便利な機能〕ダイアログを閉じる

5 印刷を実行する

両面印刷

両面印刷を行うときの条件、設定手順について説明します。

●両面印刷のときの条件

・次の用紙には、両面印刷できません。
　はがき、不定形用紙（「ユーザ定義サイズ」）、厚紙、OHPフィルム

・両面印刷を行うには、両面ユニット(オプション)の取り付けが必要です。

両面ユニットの取り付け手順については、
『プリンタ編』「両面ユニットの取り付けかた」（166 ページ）参照

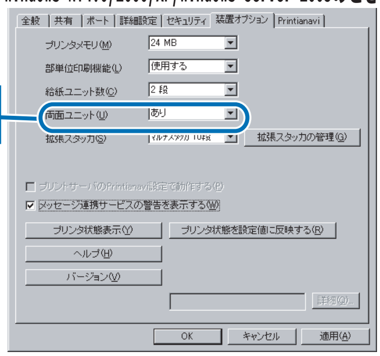
●設定手順

1 ***〔装置オプション〕ダイアログで〔両面ユニット〕を〔あり〕に設定する***

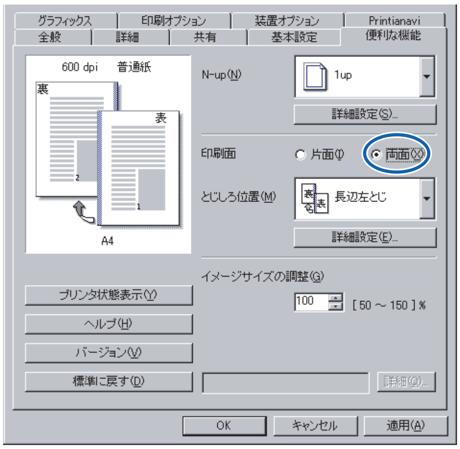
Windows 95/98/Meのとき



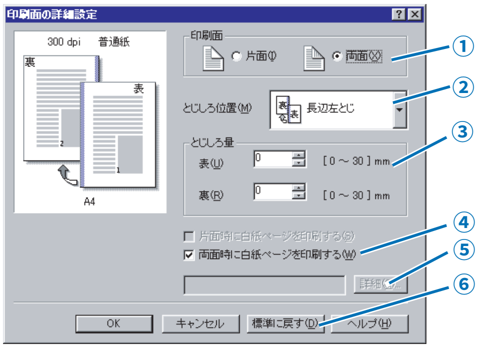
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき



2 ***〔便利な機能〕ダイアログで「印刷面」の〔両面〕を選択する***



3 ***「とじしろ位置」の〔詳細設定〕をクリックし、とじしろ量、白紙ページを設定する***



① 印刷面 （初期設定：片面）	〔便利な機能〕ダイアログの印刷面で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
② とじしろ位置 （初期設定：長辺左とじ）	〔便利な機能〕ダイアログのとじしろ位置で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
③ とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量を、用紙の表と裏それぞれについて設定します。 設定できる範囲は、0～30㎜です。
④ 両面時に白紙ページを印刷する （初期設定：チェックあり）	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合にチェックを付けます。 チェックしていない場合は、ページ順序がずれることがあります。印刷面が「片面」のときは、本機能は設定できません。
⑤〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。
⑥〔標準に戻す〕ボタン	〔印刷面の詳細設定〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。このとき、〔便利な機能〕ダイアログの「印刷面」で設定した値も初期設定に戻ります。

4 ***〔OK〕をクリックする***

5 ***〔OK〕をクリックして〔便利な機能〕ダイアログを閉じる***

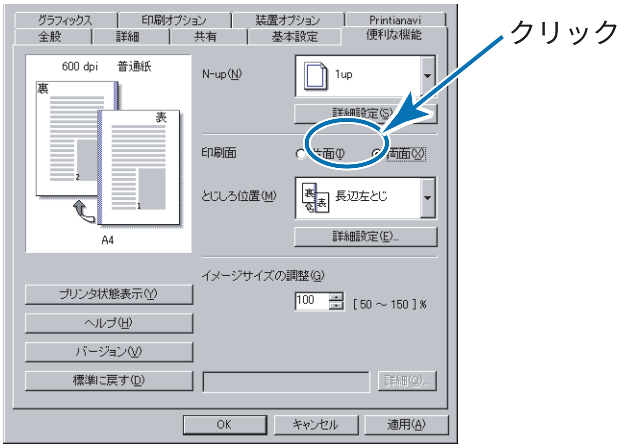
6 ***印刷を実行する***

片面印刷時の詳細設定

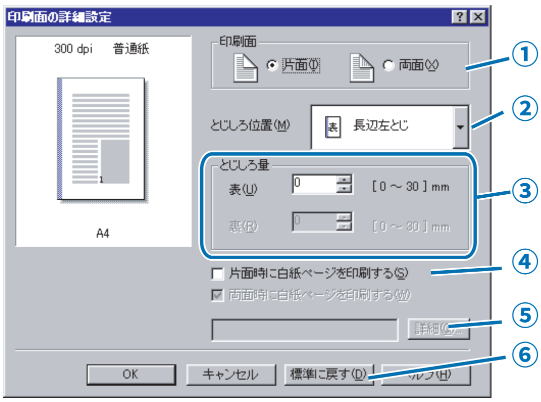
片面印刷時のとじしろ位置、とじしろ量などを設定します。

●設定手順

1 〔便利な機能〕ダイアログで〔印刷面〕の〔片面〕を選択する



2 「とじしろ位置」の〔詳細設定〕をクリックし、とじしろ量、白紙ページを設定する



①	印刷面 （初期設定：片面）	〔便利な機能〕ダイアログの印刷面で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
②	とじしろ位置 （初期設定：長辺左とじ）	〔便利な機能〕ダイアログのとじしろ位置で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。

③ とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量の「表」について設定します。設定できる範囲は0～30㎜です。印刷面で「片面」を選択している場合、「裏」はグレイアウトされ、設定できません。
④ 片面時に白紙ページを印刷する (初期設定：チェックなし)	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合、チェックを付けます。 チェックを付けていない場合は、ページ順序がずれることがあります。〔N-up〕の〔詳細設定〕の中で「ページ枠を付ける」をチェックしている場合、本設定は「チェックあり」固定となります。
⑤〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。
⑥〔標準に戻す〕ボタン	〔印刷面の詳細設定〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。 このとき、〔便利な機能〕ダイアログの「印刷面」で設定した値も初期設定に戻ります。

3　**〔OK〕をクリックする**

4　**〔OK〕をクリックして〔便利な機能〕ダイアログを閉じる**

5　**印刷を実行する**

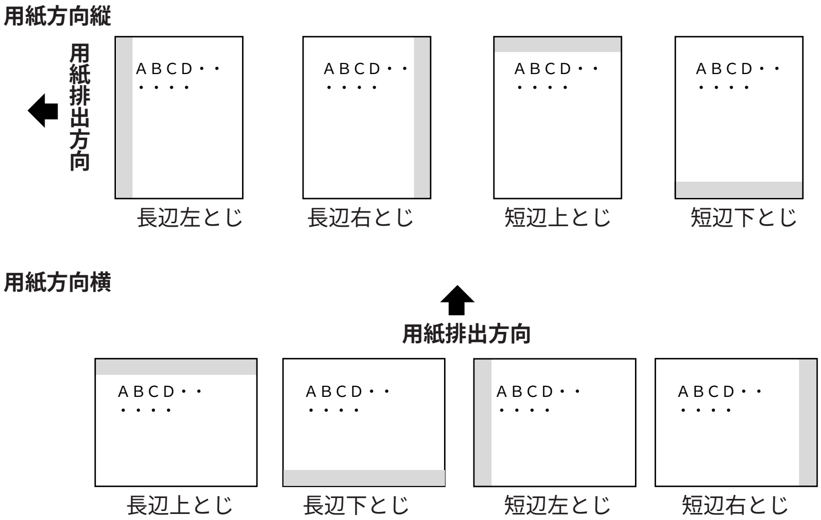
片面／両面印刷時の用紙出力方向について

用紙に対し、縦向きに印刷するか、横向きに印刷するかの設定は、プリンタドライバのプロパティで〔基本設定〕画面を表示し、「用紙方向」で設定します。

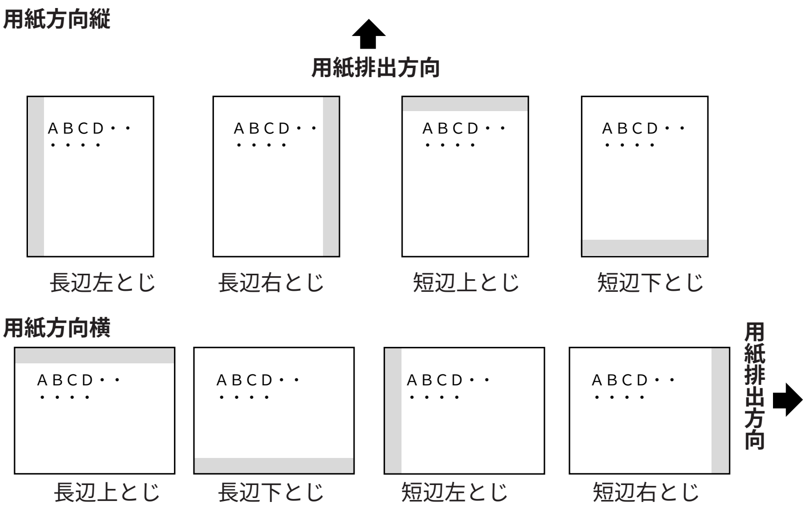
以下に、片面／両面印刷設定時の印字、および出力方向を示します。

●片面印刷時の用紙方向ととじしろの関係および出力方向

【A4/A5/B5/ レター / はがき】



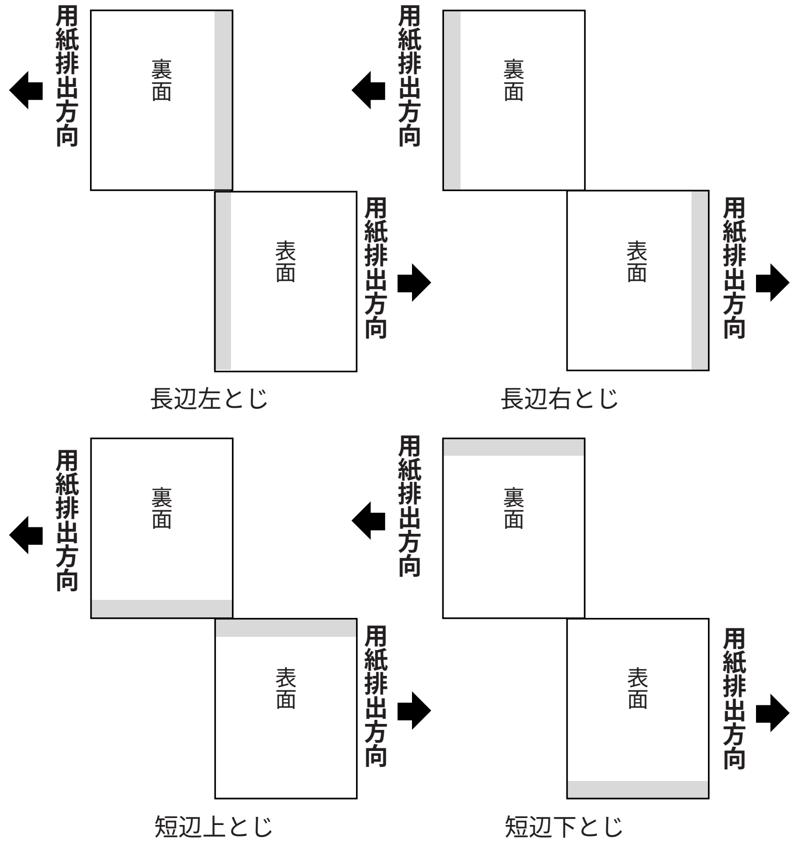
【A3/B4/ リーガル / ユーザ定義】



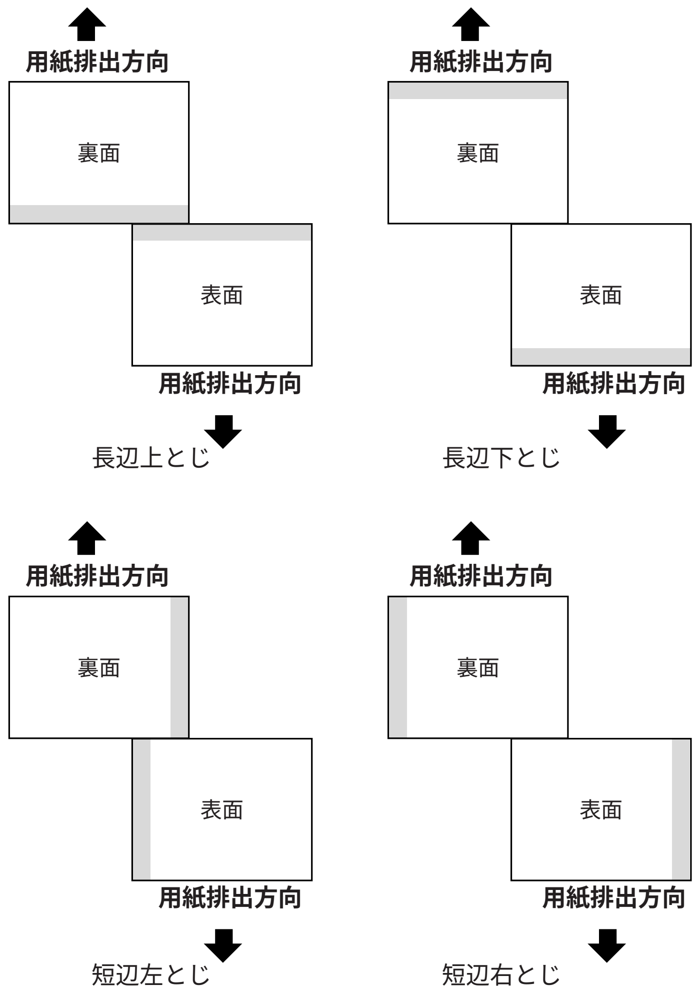
● 両面印刷時の用紙方向ととじしろの関係および出力方向

【A3/B4/ リーガル /A4/B5/ レター】

用紙方向縦



用紙方向横



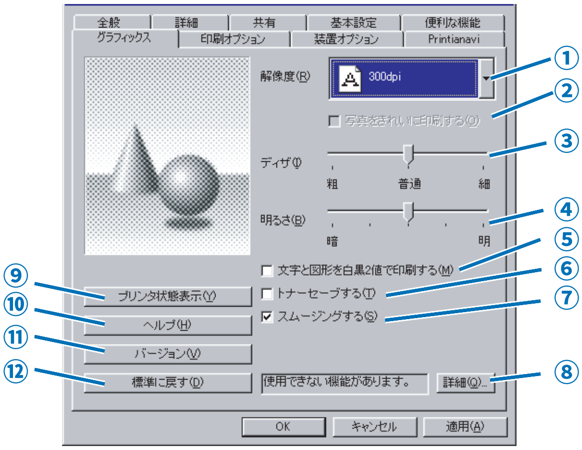
とじしろ量の調整を行いたい場合は、
「両面印刷」（102 ページ）参照
「片面印刷時の詳細設定」（104 ページ）参照

ガイド

〔印刷オプション〕ダイアログで「印刷イメージを 180 ° 回転して印刷する」にチェックを付けると、印刷結果はすべて 180 ° 回転して印刷されます。

〔グラフィックス〕ダイアログ

解像度やディザを変更して印刷結果の調整を行う場合に設定します。



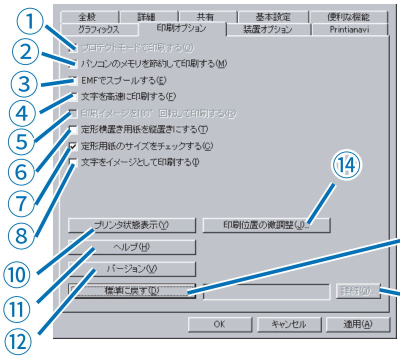
①　解像度 (初期設定：300dpi)	印刷時の解像度です。解像度が高いほどきれいに印刷できます。300/600dpi のいずれかを設定できます。
②　写真をきれいに印刷する (初期設定：チェックなし)	解像度「600dpi」を選択したときのみ設定できます。
③　ディザ(初期設定：普通)	ディザパターンを選択します。「粗」「普通」「細」の３段階で調整を行います。 「細」に設定すると、図形やイメージを精細に印刷できます。
④　明るさ（初期設定：中央)	全体の明るさを、５段階で調整します。 「パソコンのメモリを節約して印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。
⑤　文字と図形を 白黒２値で印刷する (初期設定：チェックなし)	カラーの文字や図形が、グレーで表示されて見えにくいときに、白以外の色をすべて黒で印刷します。 ②の「写真をきれいに印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。
⑥　トナーセーブする (初期設定：チェックなし)	トナーを節約した印刷を行います。チェックを付けると、印刷品質は落ちますがトナーの寿命を長くすることができます。 ②の「写真をきれいに印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。

⑦ スムージングする （初期設定：チェックあり）	文字やギザギザを滑らかにしたい場合にチェックします。 ②の「写真をきれいに印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。
⑧〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。
⑨〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianaviを使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」（91 ページ）参照
⑩〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑪〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑫〔標準に戻す〕ボタン	〔グラフィックス〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

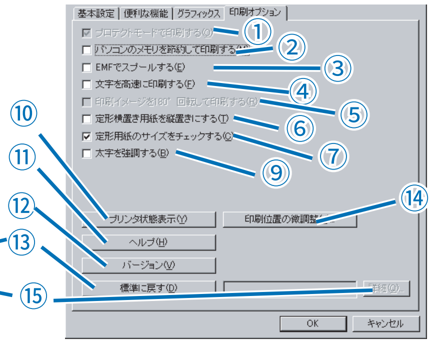
〔印刷オプション〕ダイアログ

データのスプール形式や印刷に関する設定を行います。

Windows 95/98/Meのとき

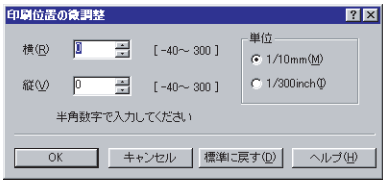


Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき



① プロテクトモードで印刷する （初期設定：チェックなし）	解像度、用紙サイズ、印刷方法（片面／両面）の組み合わせで印刷保証できる必要メモリがプリンタ側で確保できない場合、印刷を行わないようにするときにチェックします。 本設定をチェックせずに、メモリを確保できないデータを印刷すると、印刷は開始されますが途中でメモリ不足エラーとなる場合があります。 ※ 本プリンタは、常にプロテクトモードで動作するため、チェックありの状態でグレイアウトされます。
② パソコンのメモリを節約して印刷する （初期設定：チェックなし）	印刷処理を行う場合に、パソコン上のメモリを節約して印刷するときにチェックします。 Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合に、〔グラフィックス〕ダイアログで「解像度」を「600dpi」、「写真をきれいに印刷する」にチェックを付けると、本設定は「チェックあり」固定となります。
③ EMFでスプールする （初期設定：チェックなし）	印刷データをEMF形式※でスプールする場合にチェックします。 ※ EMF形式：Enhanced Meta File の略で、プリンタに依存しない中間データ形式です。この形式は印刷データよりサイズが小さいため、印刷を実行してから処理がアプリケーションに戻るまでの時間を短縮できます。 「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックしている場合、本設定は「チェックあり」固定となります。

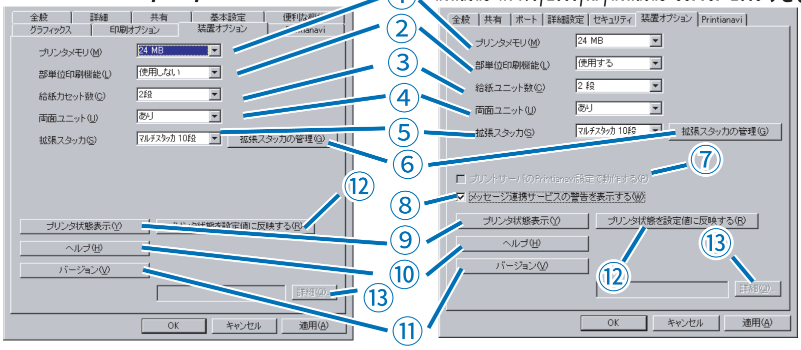
④ 文字を高速に印刷する (初期設定：チェックなし)	文字データをプリンタ上のメモリに蓄えて印刷するときにチェックします。高速に印刷することができます。 「パソコンのメモリを節約して印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。
⑤ 印刷イメージを 180°回転して印刷する (初期設定：チェックなし)	印刷イメージを 180°回転させて印刷する場合チェックを付けます。 用紙の出力方向はすべて逆になります。 印刷時の出力方向については、「片面／両面印刷時の用紙出力方向について」（106 ページ）参照 ※ 本プリンタでは未対応のため、グレイアウトされます。
⑥ 定形横置き用紙を縦置きにする (初期設定：チェックなし)	通常、給紙トレイに横置きにする用紙(Ａ４/B5/A5/ レター / はがき)を縦置きにして印刷する場合にチェックを付けます。また、給紙方法で「手差し」を選択してください。 ※ 給紙トレイから縦置きで印刷する場合は、給紙トレイのサイズ設定スイッチを「パネルで設定」に設定してください。なお、印刷時、液晶ディスプレイの用紙サイズ表示は「フテイ」になります。
⑦ 定形用紙のサイズをチェックする (初期設定：チェックあり)	給紙トレイから定形用紙を印刷する際に、指定したサイズと実際の用紙が違う場合にエラーを通知するときはチェックを付けます。
⑧ 文字をイメージとして印刷する (初期設定：チェックなし)	Windows 95/98/Me のみの機能です。 文字データをイメージとして処理したい場合にチェックします。文字がイメージ処理されるとグレーの階調で印刷されます。 〔グラフィックス〕ダイアログで「文字と図形を白黒２値で印刷する」にチェックを付けた場合、本設定は選択できません。
⑨ 太字を強調する (初期設定：チェックなし)	Windows NT4.0/2000 のみの機能です。 太字の部分を、通常より強調して印刷します。

⑩〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」(91 ページ）参照
⑪〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑫〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑬〔標準に戻す〕ボタン	〔印刷オプション〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。
⑭〔印刷位置の微調整〕ボタン	設定されている印刷位置を調整する場合に設定します。本ボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。  値をマイナスにすると、用紙に対して左／上方向に印字が移動します。値をプラスにすると、用紙に対して右／下方向に印字が移動します。また、印刷位置を調整する単位を指定できます。 ・1/10mm 　調整量を 1/10mm 単位で設定します。 ・1/300inch 　調整量を 1/300inch 単位で設定します。 「便利な機能」の詳細設定でとじしろ量を設定している場合、両方の設定を合わせた値が微調整量となります。
⑮〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。

〔装置オプション〕ダイアログ

プリンタのオプション状態に関する設定を行います。

Windows 95/98/Meのとき　　**Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき**



①	プリンタメモリ	プリンタに搭載されているメモリサイズを設定します。
②	部単位印刷機能 （初期設定：使用しない）	部単位印刷機能を使う場合に設定します。 →「複数部数 / 部単位印刷」（97 ページ）参照
③	給紙カセット数	プリンタに取り付けられている給紙カセットの段数を設定します。
④	両面ユニット	プリンタに両面ユニットが取り付けてあるか設定します。 →「両面印刷」（102 ページ）参照
⑤	拡張スタッカ	プリンタに拡張スタッカが取り付けてあるか設定します。 →「拡張スタッカを使った印刷」（116 ページ）参照
⑥	拡張スタッカの管理	拡張スタッカを使用する場合は、出力先の拡張トレイを設定します。一覧から選択します。 →「拡張スタッカを使った印刷」（116 ページ）参照
⑦	プリントサーバの Printianavi 設定で動作する	Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 をプリントサーバとして運用する場合の機能です。プリントサーバで本設定にチェックを付けると、クライアントはプリントサーバで設定した内容で Printianavi が動作します。 チェックを外すと、各クライアントで設定した内容で Printianavi が動作します。

⑧ メッセージ連携サービスの警告を表示する	Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 に関する機能です。以下の場合、管理者権限を持たないユーザはメッセージ連携サービスを登録できません。 ・クライアントの OS が Windows NT4.0 のとき ・サーバの OS が Windows NT4.0 で、Windows NT4.0/ 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントからネットワークプリンタのインストールを行うとき 本設定のチェックを外すと、メッセージ連携サービスによる警告ダイアログは表示されなくなります。
⑨〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 「プリンタの状態表示」(91 ページ）参照
⑩〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑪〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑫〔プリンタ状態を設定値に反映する〕ボタン	プリンタに取り付けられているオプション装置の状態を〔装置オプション〕ダイアログ内の設定に反映します。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。
⑬〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。

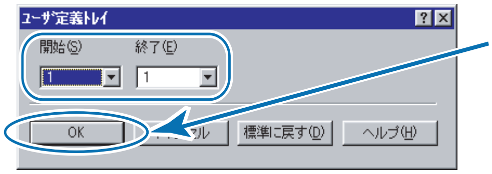
拡張スタッカを使った印刷

ここでは、拡張スタッカを使った印刷と設定方法について説明します。

ガイド

- 次の用紙は、拡張スタッカに出力できません。（フェイスダウントレイに出力されます。）
  はがき、不定形用紙（「ユーザ定義サイズ」）、厚紙、OHP フィルム
- 拡張スタッカの装着が必要です。

排紙方法を選択する



1 〔基本設定ダイアログ〕で排紙方法を選択する

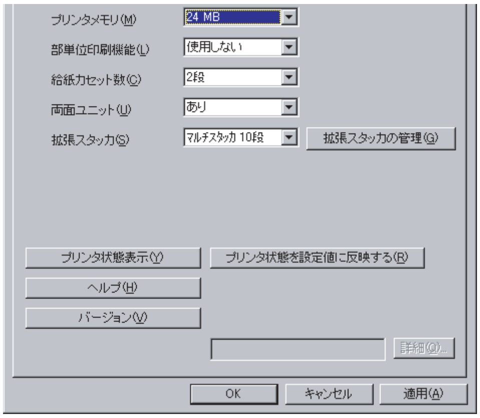
リストにない排紙方法を指定したい場合は、「ユーザ定義トレイ」で１つだけ設定することができます。
〔ユーザ定義トレイ〕ダイアログで、拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、〔OK〕をクリックしてください。

ガイド

- 排紙方法を登録したい場合や、排紙方法をリストから削除したい場合は、「拡張スタッカの排紙方法を追加・削除する」（117 ページ）の操作を行ってください。
- 〔装置オプション〕ダイアログで拡張スタッカが「なし」になっていると、拡張スタッカの排紙方法はリストに表示されません。
- 〔装置オプション〕ダイアログの「拡張スタッカの管理」で登録済みの範囲を「ユーザ定義トレイ」で設定すると、排紙方法は「拡張スタッカの管理」で登録した名称が表示されます。

拡張スタッカの排紙方法を追加・削除する

拡張スタッカに出力するには、出力先の拡張トレイをどこ（またはどこからどこまで）にするかの設定が必要です。
拡張トレイの設定は、次の手順で行います。



1 〔装置オプション〕ダイアログで「拡張スタッカ」を設定する

「マルチスタッカ 10段」を選択します。
〔拡張スタッカの管理〕が有効になります。
※ 画面の例はWindows 95/98/Meのものです。

2 〔装置オプション〕ダイアログで〔拡張スタッカの管理〕をクリックする

〔拡張スタッカ管理〕ダイアログが表示されます。



3 〔拡張スタッカ管理〕ダイアログで拡張トレイの開始番号と終了番号を指定し、〔追加〕をクリックする

リストに設定内容が追加されます。設定内容は、〔基本設定〕ダイアログの〔排紙方法〕リストボックスに追加されます。設定は20種類まで登録できます。
設定が終わったら、〔OK〕をクリックします。



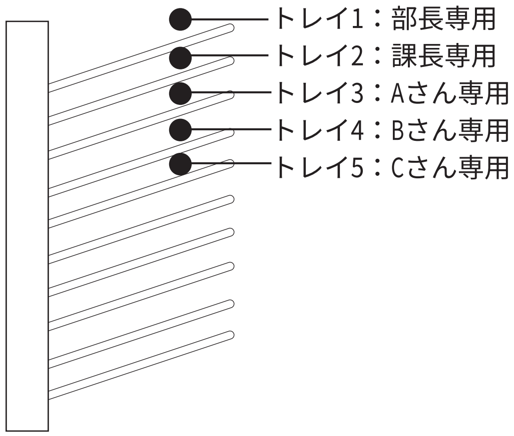
4 〔基本設定〕ダイアログで「排紙方法」を選択する

手順３で登録した設定を選択してください。

拡張スタッカのさまざまな使いかた

拡張スタッカの使い方は、大きく分けてメールボックス、大容量排紙スタッカ、マルチソータの３通りがあります。
これらの使い方を組み合わせることも可能ですので、用途に合わせて自由に設定してください。

メールボックスとして使う



拡張スタッカ

ユーザやグループごと（最大10）に別々の拡張トレイを割り当てると、メールボックスとして使うことができます。
これにより、他の人やグループの文書を誤って持っていったり、自分が出力した文書を探すことがなくなります。

設定方法：

別々に割り当てられた拡張トレイ番号を、排紙方法として設定します。

例：

上の図のように割り当てる場合は、各自の設定を次のようにします。

	拡張トレイ番号(開始〜終了)	排紙方法(注)
部長	1〜1	拡張トレイ１
課長	2〜2	拡張トレイ２
Ａさん	3〜3	拡張トレイ３
Ｂさん	4〜4	拡張トレイ４
Ｃさん	5〜5	拡張トレイ５

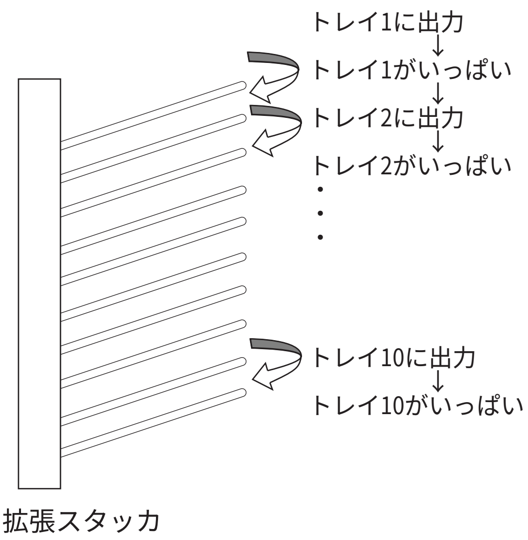
お願い

拡張トレイの開始番号と終了番号の割り当ては、他の人やグループと重複しない（文書が混ざらない）よう、あらかじめプリンタ管理者と相談して行ってください。

ガイド

排出先のトレイに用紙がいっぱいになったときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。他に空いている拡張トレイがあっても出力しません。用紙を取り除くと、印刷を再開します。

大容量排紙スタッカとして使う



指定した範囲（最大１～10）の拡張トレイを１つの排出先として設定すると、大容量排紙スタッカとして使うことができます。
フェイスダウントレイの連続出力可能枚数約500枚に対し、各拡張トレイ約100枚ずつ、合計最大約1000枚の連続出力が可能となります。
※ ご使用の用紙の質や、湿度の影響によるカールにより、排紙できる枚数はばらつきます。

設定方法：

大容量排紙スタッカとして使う拡張トレイ番号を、連続した範囲で排紙方法として設定します。

例：

1～10（拡張トレイ 1-10）の場合 . . . . 拡張トレイ１～10に連続で約1000枚まで出力します。
2～8（拡張トレイ 2-8）の場合 . . . . . . 拡張トレイ2～8に連続で約700枚まで出力します。

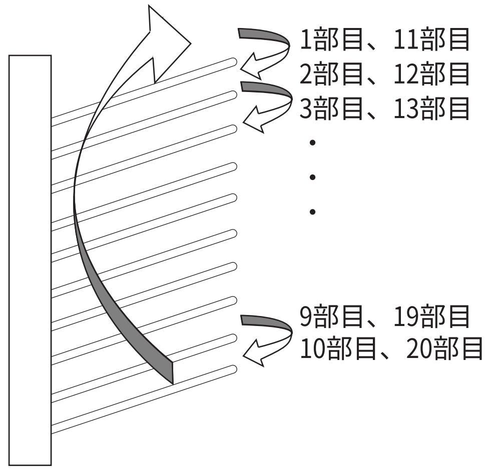
お願い

印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

ガイド

印刷中に排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、指定範囲内の次のトレイに排出先を切り替えます。
切り替え先のトレイがすでにいっぱいのときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。用紙を取り除くと、印刷を再開します。
印刷開始時に開始トレイがいっぱいのときは、範囲内で空いているトレイから排紙します。

マルチソータとして使う



拡張スタッカ

指定した範囲（最大１～10）の拡張トレイを、１つの排出先として設定した状態で部単位印刷を行うと、マルチソータとして使うことができます。
このとき、指定した範囲の拡張トレイには１部ずつソート出力します。拡張トレイ数より部数の方が多い場合は、開始トレイからのソート出力を繰り返し行います。

設定方法：

マルチソータとして使う拡張トレイ番号を、連続した範囲で排紙方法として設定した後、部単位印刷を行います。

部単位印刷の設定方法は、「複数部数／部単位印刷」（97 ページ）参照

例：

排紙方法が１～８（拡張トレイ１－８）で、８部の部単位印刷を行った場合 ...	拡張トレイ１～８に１部ずつ出力します。
排紙方法が２～８（拡張トレイ２－８）で、９部の部単位印刷を行った場合 ...	拡張トレイ２～８に１部ずつ出力後、拡張トレイ２～３にさらに１部ずつ出力します。

お願い

印刷を行う前に、指定範囲の拡張トレイに残されている用紙は取り除いてください。用紙が残ったまま印刷を行うと、その上に別の排紙を行うため文書が混ざってしまいます。

ガイド

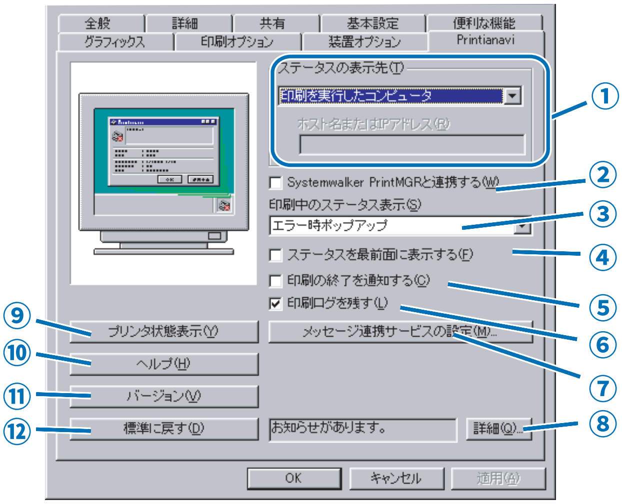
印刷開始時の開始トレイがいっぱいだったときや、印刷中の排出先のトレイが用紙でいっぱいになったときは、トレイフルのエラーを表示して用紙が取り除かれるまで印刷を一時中断します。用紙を取り除くと、印刷を再開します。

〔Printianavi〕ダイアログ

Printianavi に関する表示方法の設定を行います。

ガイド　プリンタのプロパティで双方向通信機能が無効になっている場合、Printianavi機能は無効となり、ダイアログはグレイアウトされます。

双方向通信機能を有効にする方法は、「Printianavi のメッセージが表示されない」（180 ページ）参照



①	ステータスの表示先 (初期設定： 印刷を実行した コンピュータ)	印刷時のステータス表示および印刷終了の通知先を設定します。 ・印刷を実行したコンピュータ 印刷を実行したパソコンにメッセージを通知します。 ・プリントサーバ プリントサーバにメッセージを通知します。 ・コンピュータを指定 「ホスト名または IP アドレス」で設定したパソコンにメッセージを通知します。
②	Systemwalker PrintMGR と連携する (初期設定：チェックなし)	Systemwalker PrintMGR と連携して印刷を行う場合にチェックを付けます。

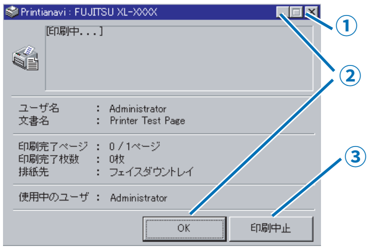
③	印刷中のステータス表示（初期設定：エラー時ポップアップ）	印刷中のステータス情報の表示方法を選択します。 ・エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、タスクトレイにアイコン表示します。エラーが発生すると、ポップアップ表示します。 ・ポップアップ 印刷中のステータスをポップアップ表示します。 ・最小化 印刷中のステータスをアイコン表示します。 ・表示しない 印刷中のステータスを表示しません。 表示方法については、「印刷中のステータス表示の種類」（124 ページ）参照
④	ステータスを最前面に表示する（初期設定：チェックなし）	ステータスを常に最前面に表示させるときにチェックを付けます。 他のアプリケーションが起動していて隠れて見えにくい場合にこの機能が役立ちます。 「印刷中のステータス表示」で「表示しない」が選択されている場合、本設定は「チェックなし」固定となります。
⑤	印刷の終了を通知する（初期設定：チェックなし）	印刷終了時に通知ダイアログを表示する場合にチェックを付けます。
⑥	印刷ログを残す（初期設定：チェックあり）	印刷時に発生したエラーや印刷の記録をログに残したい場合にチェックを付けます。 サーバ経由で印刷する場合、サーバ側には、クライアントの設定に関わらず、印刷ログが残ります。
⑦	メッセージ連携サービスの設定	サーバ経由で印刷する場合に、メッセージ（ステータス）を受信するためのサービスの開始／停止を設定します。 「メッセージ連携サービスの設定」（130 ページ）参照
⑧	〔詳細〕ボタン	設定が変更されると、ボタン横にメッセージが表示されます。 ボタンをクリックすると、プリンタドライバで設定できる内容について、ヒントが表示されます。
⑨	〔プリンタ状態表示〕ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。 状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」（91 ページ）参照
⑩	〔ヘルプ〕ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑪	〔バージョン〕ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。
⑫	〔標準に戻す〕ボタン	〔Printianavi〕ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

印刷中のステータス表示の種類

印刷中のステータス表示には、ポップアップ表示と最小化表示の２つがあります。どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

●ポップアップ表示

画面上にダイアログで表示します。



①〔×〕（閉じる）	ボタン印刷中のステータス表示を終了するときにクリックします。
②〔_〕（最小化）ボタン 〔OK〕ボタン	最小化表示に切り替えるときにクリックします。
③〔印刷中止〕ボタン	印刷を中止するときにクリックします。

ガイド

・印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

・エラー発生時の再開ページ指定

サーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で紙づまりのエラーが発生したときのみ、〔再開ページ指定〕が有効になります。再開指定機能を使用できない場合は、〔再開ページ指定〕はグレイアウトされます。

サーバがWindows 95/98/Meの場合は、〔再開ページ指定〕は表示されません。

〔再開ページ指定〕をクリックする前にプリンタのエラーを解除すると、印刷が自動的に再開されます。

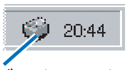
再開ページを指定するときは、エラーを解除する前に〔再開ページ指定〕をクリックしてください。



印刷再開ページの設定を行うことにより、印刷再開時のページを変更することができます。

●最小化表示

タスクトレイにアイコンで表示します。

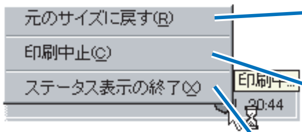


・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・マウスカーソルを合わせると、
簡単なステータスを表示します。

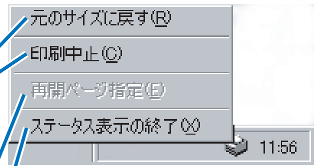


・右クリックすると、次のメニューが表示されます。



[Windows 95/98/Meの画面]

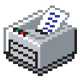
〔元のサイズに戻す〕
ポップアップ表示に切り替わります。
〔印刷中止〕
印刷を中止します。
〔再開ページを指定〕
再開ページを指定します。
〔ステータス表示の終了〕
表示を終了します。



[Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合、または Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003サーバに連携したときの画面]

ガイド　再開ページが指定可能なエラーの場合、右クリックメニューで再開ページ指定を選択できます。(プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合)
なお、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合でも、再開ページ指定機能が使用できないときは、グレイアウトされます。

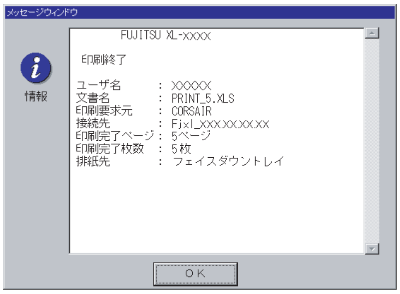
各アイコンが示す内容を次の表に示します。

アイコン	説 明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 予熱、ウォームアップ／クールダウン中、印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、警告の状態を示します。
	プリンタとの通信に異常が起きた状態です。

印刷の終了を通知する

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックを付けます。

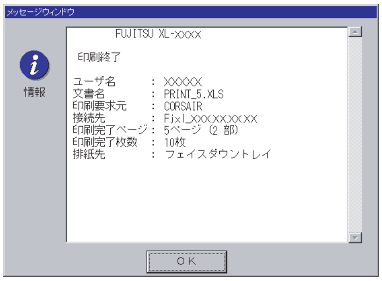
●印刷終了のメッセージ例



ガイド

・印刷終了通知は、印刷が正常に終了した場合のみ通知されます。エラー等によって印刷が打ち切られた場合は通知されません。
・部単位印刷を行った場合は、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに指定した印刷部数を表示します。

●部単位印刷を行った場合の印刷終了のメッセージ例



共有プリンタのPrintianavi動作について

〔装置オプション〕ダイアログの「プリントサーバのPrintianavi設定で動作する」機能を使うと、プリンタを共有しているクライアントパソコンにプリントサーバの設定を一括して反映することができます。印刷中のステータス表示や印刷の終了通知の表示方法など、Printianaviに関する設定を反映することができます。

本機能は、次の環境で動作します。

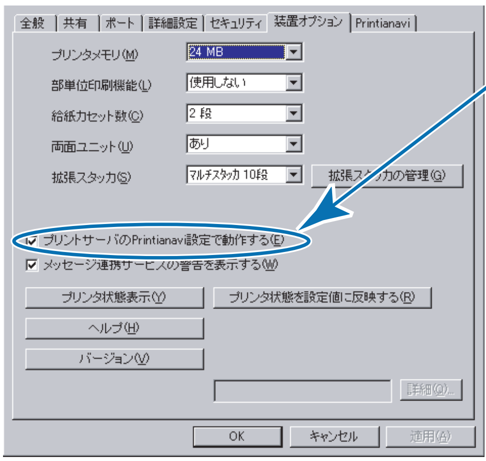
		クライアントのOS		
		Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP/Windows Server 2003
プリントサーバのOS	Windows 95/98/Me	×	×	×
	Windows NT4.0	△	○	△
	Windows 2000/XP/Windows Server 2003	△	○	○

○：サーバ側の設定で動作します。クライアントの〔Printianavi〕ダイアログにプリントサーバの設定が反映されます。
△：サーバ側の設定で動作しますが、クライアントの〔Printianavi〕ダイアログにはプリントサーバの設定が反映されません。
×：本機能の設定は行えません。

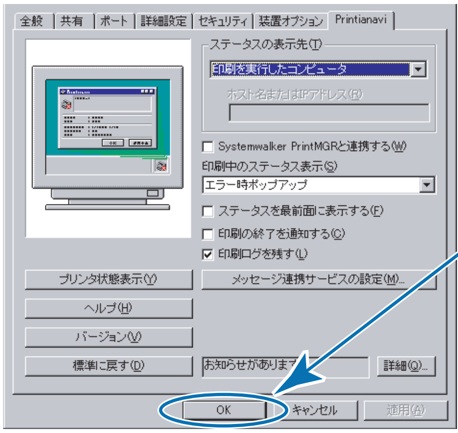
設定方法

1　共有プリンタの設定を行う

プリントサーバ、クライアントでそれぞれで設定を行ってください。
「第４章　プリンタ共有の設定」（63ページ）参照



2　プリントサーバで〔装置オプション〕ダイアログの「プリントサーバのPrintianavi設定で動作する」にチェックを付ける



3　プリントサーバの〔Printianavi〕ダイアログの設定を行い、〔OK〕をクリックする

クライアントに反映させたい設定を行います。（以下の設定例参照）

ガイド

印刷中のステータス表示、印刷の終了通知、印刷ログの保存先は「ステータスの表示先」で指定された場所に表示されます。ただし、印刷ログはステータスの表示先の設定で指定した場所の他に、必ずプリントサーバに保存されます。

設定例

・印刷を行った各クライアントに、印刷中にエラーが発生した場合にポップアップ表示で通知したいとき

ステータスの表示先 ……. 「印刷を実行したコンピュータ」を選択します。
印刷中のステータス表示 … 「エラー時ポップアップ」を選択します。

・印刷を行った各クライアントに、印刷が終了したことだけを通知したいとき

ステータスの表示先 ……. 「印刷を実行したコンピュータ」を選択します。
印刷中のステータス表示 … 「表示しない」を選択します。
印刷の終了を通知する ….. チェックを付けます。

・クライアントからの印刷中にプリンタで発生したエラーを管理者にポップアップ表示で通知したいとき

ステータスの表示先 ……. プリントサーバに表示するときは「プリントサーバ」を選択します。プリントサーバ以外の管理者のパソコンに表示する場合は、「コンピュータを指定」を選択し、「ホスト名または IP アドレス」に管理者のパソコンのホスト名またはIPアドレスを入力します。
印刷中のステータス表示 …「エラー時ポップアップ」を選択します。
印刷の終了を通知する ….. チェックを外します。(ステータスの表示先で「プリントサーバ」を選択した場合はチェックなし固定となります。(Systemwalker PrintMGRと連携時を除く))

・印刷中のステータス表示や印刷の終了通知をどこにも表示したくないとき

Systemwalker PrintMGRと連携する ... チェックを外します。
印刷中のステータス表示 .... 「表示しない」を選択します。
印刷の終了を通知する .... チェックを外します。

ガイド　メッセージ連携サービスの設定は、プリントサーバの設定をクライアントに反映させることはできません。「ステータスの表示先」で「印刷を実行したコンピュータ」または「コンピュータを指定」を選択した場合は、プリントサーバ／クライアントですべて開始状態にする必要があります。次項の「メッセージ連携サービスの設定」を参照してください。

メッセージ連携サービスの設定

サーバ経由で印刷する場合に、メッセージ（ステータス）を受信するためのサービスの開始／停止を設定します。開始または停止を設定したときの動作は、次のとおりです。

ガイド　クライアントの設定に関わらず、サーバ側には印刷ログが残ります。

「開始」状態	印刷中のステータスや印刷終了のメッセージを、印刷を行ったパソコン上に表示することができます。
「停止」状態	印刷中のステータスは、サーバ上に表示されます。印刷終了のメッセージは表示されません。

選択方法には、次の２種類の操作方法があります。なお、現在の設定内容はグレイアウトされます。

・〔操作〕メニューから選択する

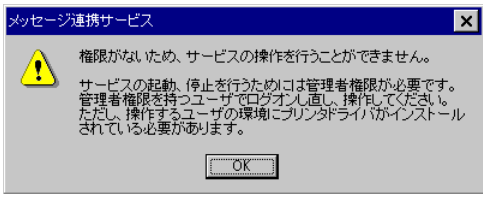


・マウスで右クリックして選択する

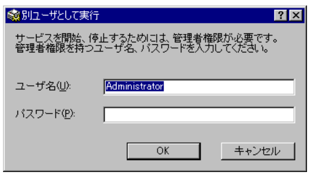


ガイド

・クライアント・サーバ間でメッセージ連携を行う場合は、クライアントとサーバの両方でメッセージ連携サービスを「開始」状態にする必要があります。
・双方向通信を利用しない環境や、TCP/IPのネットワークプロトコルを使用しない環境では、「停止」状態にしてください。
・OSがWindows NT4.0の場合、管理者権限以外でログオンしているときに設定すると、次のダイアログが表示されます。管理者権限でログオンし直して、設定してください。



・OSがWindows 2000/XP/Windows Server 2003の場合、管理者権限以外でログオンすると次のダイアログが表示されます。管理者権限のユーザ名／パスワードを入力すると、ネットワーク連携サービスの設定を行うことができます。



プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）

プリンタの接続方法を変更するときは、印刷先ポートの設定を変更する必要があります。また、プリンタがLAN（TCP/IP）に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

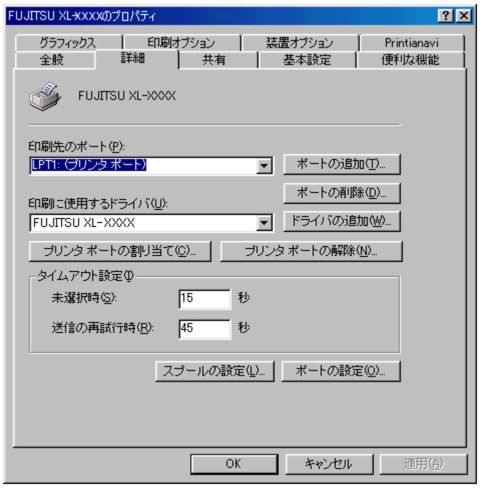
Windows 95/98/Meのとき

パソコンのOSがWindows 95/98/Meのときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

設定方法

1　***〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする***

2　***〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する***



3　***〔詳細〕タブをクリックし、「印刷先のポート」の▼をクリックして表示される一覧から変更するポートを選択する***

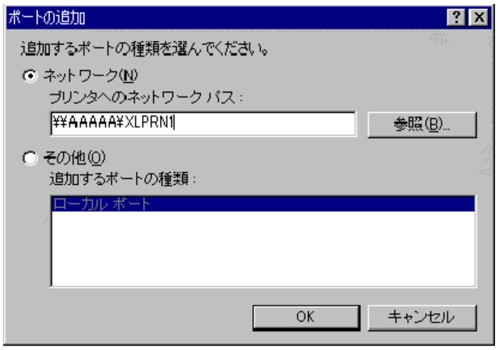
一覧から選択したら〔OK〕をクリックしてください。
一覧に変更するポートがない場合や新しく追加する場合は、手順4に進んでください。

4 〔ポートの追加〕をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。

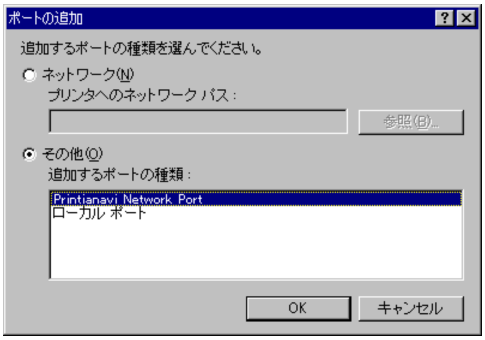


「ネットワーク」を選択後、〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックします。

入力形式は「\\サーバのネットワークコンピュータ名\プリンタの共有名」です。

LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN(TCP/IP)に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする

ガイド 「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタをインストールしてください。

「ネットワークソフトウェアのインストール」（142ページ）参照

2 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら〔OK〕をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

「ポートの追加」（156 ページ）参照

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき

パソコンの OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

設定方法

管理者権限でログオンし、次の操作をします。
※画面は Windows 2000 の場合です。

1 ***Windows NT4.0/2000 のとき：***

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 のとき：

〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックします。

2 ***〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する***



3 ***〔ポート〕タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧で新しい印刷ポートにチェックを付ける***

チェックを付けたら〔OK〕をクリックしてください。
一覧にポートがない場合や新しく追加する場合は、手順 4 に進んでください。

4 〔ポートの追加〕をクリックする

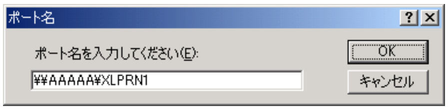
以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

サーバ経由で印刷するとき

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は「利用可能なプリンタポート」）から「Local Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする



2 ネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする

入力形式は「\\ サーバのネットワークコンピュータ名 \ プリンタの共有名」です。

LAN 接続プリンタに印刷するとき

ポートモニタを使用してLAN(TCP/IP)に接続されたプリンタに直接印刷する場合の設定です。



1 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は〔利用可能なプリンタポート〕）から「Printianavi Network Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタをインストールしてください。

「ネットワークソフトウェアのインストール」（142ページ）参照

2 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、〔OK〕をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

「ポートの追加」（156 ページ）参照

プリンタドライバの更新

プリンタドライバをバージョンアップする場合は、ドライバセットアップの「既存のドライバを更新する」機能を使用してください。

ガイド

設定は以下のように引き継がれます。

・共有設定などの Windows 標準の各設定は、元の設定が引き継がれます。

・〔装置オプション〕ダイアログ、〔Printianavi〕ダイアログの各設定は、元の設定が引き継がれます。

・上記以外の設定は、プリンタドライバの標準値に変更されます。

設定方法の詳細については、CD-ROM の「FJXLC10」フォルダにある「UPDATE.TXT」ファイルをお読みください。

お願い

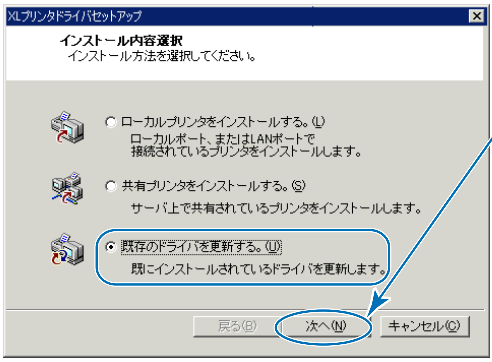
ドライバセットアップを使用しないでプリンタドライバをバージョンアップする場合は古いプリンタドライバを削除してから、新しいプリンタドライバをインストールしてください。



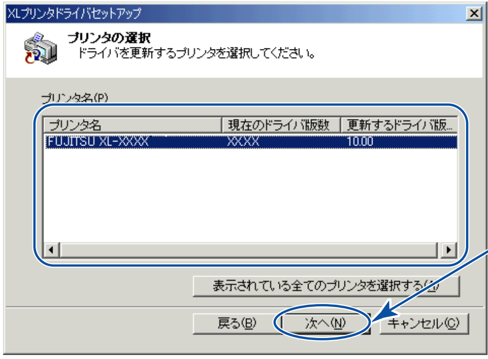
1 ***添付の CD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、左記のダイアログが表示されたら〔プリンタドライバ〕をクリックする***

ガイド

上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラ上で CD-ROM の内容を表示し一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。



2 ***「既存のドライバを更新する」を選択し、〔次へ〕をクリックする***

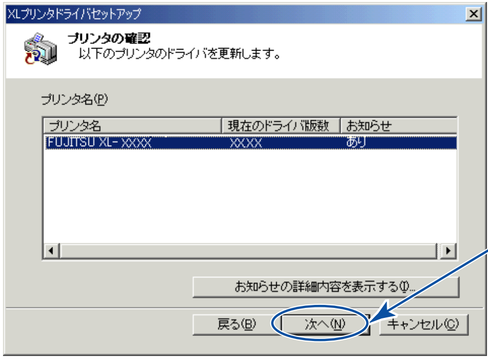


3 ドライバを更新するプリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

ガイド

以下の方法で複数のプリンタを選択し、プリンタドライバを一括して更新することができます。

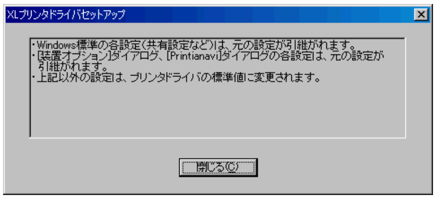
・〔Shift〕または〔Ctrl〕を押しながらプリンタをクリックする
・選択したいプリンタをドラッグする
・「表示されている全てのプリンタを選択する」をクリックする

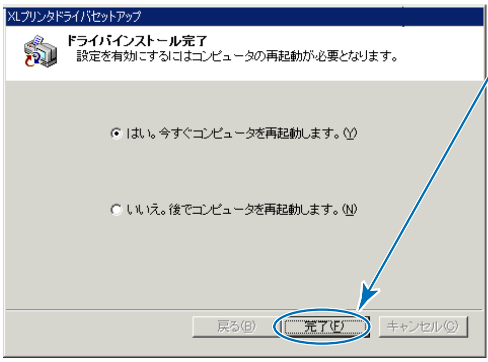


4 「プリンタ名」を確認し、〔次へ〕をクリックする

ガイド

「お知らせ」に「あり」または「未選択」と表示されているプリンタを選択して、「お知らせの詳細内容を表示する」をクリックすると、下記のような詳細情報が表示されます。





5 〔完了〕をクリックする

プリンタドライバの削除

他のWindowsで本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、プリンタを使用しなくなったときは、次の手順でプリンタドライバを削除します。

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合は、管理者権限でログオンしてください。

※画面はWindows 2000の場合です。

ガイド　Printianavi印刷ログビューア/消耗品ログビューアの表示対象となるプリンタドライバをすべて削除すると、Printianavi印刷ログビューア/消耗品ログビューアも同時に削除されます。

1 ***Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合：***

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、削除するプリンタをクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003の場合：

〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、削除するプリンタをクリックします。

2 ***〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する***



3 ***〔はい〕をクリックする***

ガイド　通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。

- 「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」（XXXXはプリンタ名）
- 「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合：Windows を再起動します。Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合：手順５～手順 11 を行います。

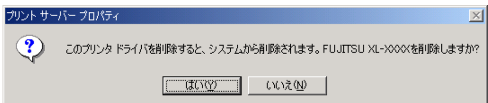
Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合は、Windows を再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。新しいドライバをインストールしてください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、引き続き手順５～11 の操作を行います。

5 〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔ドライバ〕タブをクリックする



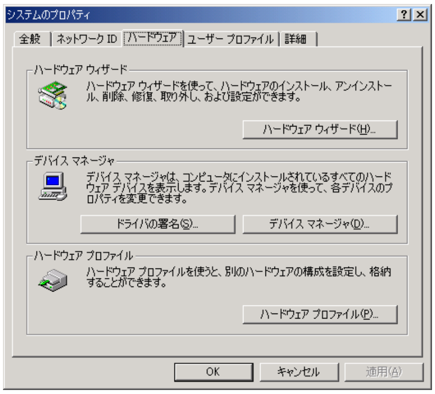
6 「インストールされたプリンタドライバ」リストから、手順２で削除したプリンタ名を選択し、〔削除〕をクリックする



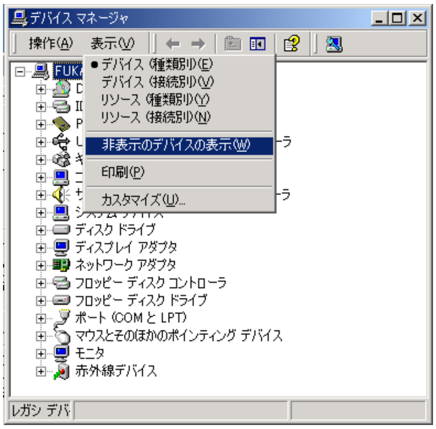
7 〔はい〕をクリックする

ドライバの削除が終わったら〔閉じる〕をクリックして、〔プリントサーバープロパティ〕ダイアログを終了します。

8 〔マイコンピュータ〕を右クリックし、〔プロパティ〕を選択する



9 〔ハードウェア〕タブをクリックし、〔デバイスマネージャ〕をクリックする



10 〔表示〕メニューの〔非表示のデバイスの表示〕を選択し、〔プリンタ〕に削除したＸＬプリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで〔削除〕を選択します。

処理が終わったら〔デバイスマネージャ〕および〔システムのプロパティ〕ダイアログを終了します。

ガイド　プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

11 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を再起動します。

お願い

プリンタをプリンタケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって XL ドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

第6章

ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加

この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法とネットワークポートの追加および設定変更について説明します。

※ 本章の中では、ネットワークソフトウェアを本ソフトウェアと表記します。

ネットワークソフトウェアのインストール . . 142

新規インストール 143

ソフトウェアの起動 151

コンポーネントの追加、削除 152

ポートの追加 156

ネットワークソフトウェアのインストール

本ソフトウェアは、LAN を経由した印刷、および管理機能に必要なモジュールから構成されます。インストール時はプリンタドライバを一括してインストールします。
本ソフトウェアは以下のときに使用します。

・LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合
・ネットワーク上にある複数のプリンタを一括して管理する場合

ネットワークソフトウェアのインストール方法には、次の3つのタイプがあります。運用形態、環境に合わせて選択してください。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向けセットアップ	クライアント側の設定（プリンタ管理者以外）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・プリンタドライバ（*2）
プリンタ管理者向けセットアップ	サーバ側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）
カスタムセットアップ	個別の機能（管理者機能・ポート作成）の設定（すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）

*1：LAN（TCP/IP）で接続した XL プリンタに対し、印刷先のポートを作成するときに必要なソフトウェアです。
*2：「プリンタの追加」を選択したときのみインストールされます。
*3：ネットワーク上の XL シリーズのプリンタを一括して管理できるソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。
*4：プリンタの IP アドレスを新規に設定、または変更するためのソフトウェアです。新規の設定は、XL-6700/6200/5770/5750/5370/5350/5250 のプリンタでのみ行えます。（XL-6700 はプリンタファームウェアのバージョンが 1.20 以降のとき）

新規インストール

ここでは、管理機能について必要なモジュールとプリンタドライバを一括してインストールする方法を説明します。

準　備

あらかじめプリンタのIPアドレスを設定しておいてください。

IPアドレスの設定方法は、「IPアドレスの設定」(29ページ)参照

インストール

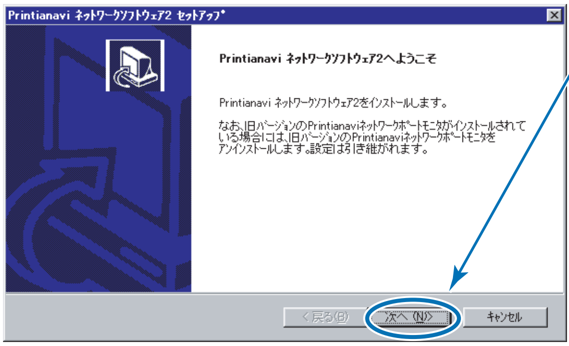
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。



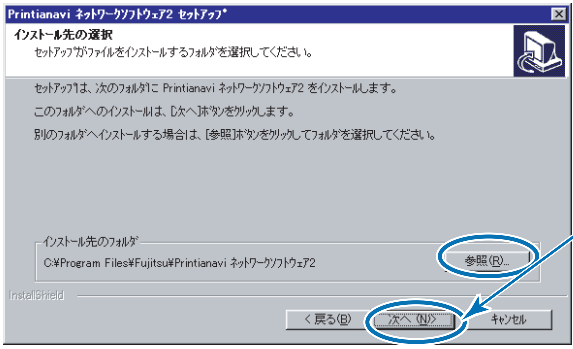
1　添付のCD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔ネットワークでプリンタを使う〕をクリックする

ガイド

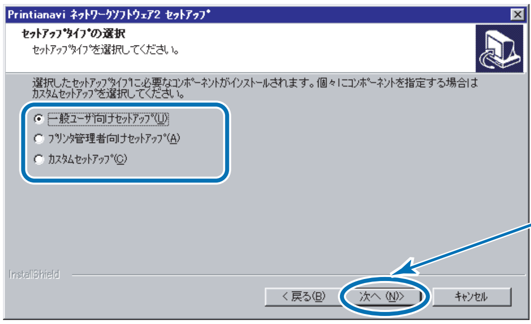
- 上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
- OSがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合は、管理者権限でログオンしてください。



2　〔次へ〕をクリックする



3　〔参照〕をクリックしてPrintianavi ネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、〔次へ〕をクリックする



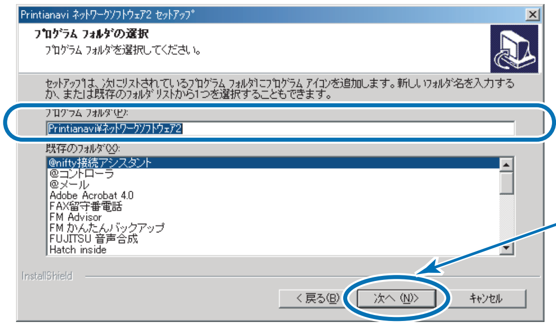
4　セットアップタイプを選択し、〔次へ〕をクリックする

それぞれの説明の項目へ進んでください。

一般ユーザ向け／プリンタ管理者向け（145 ページ）参照

カスタム（149 ページ）参照

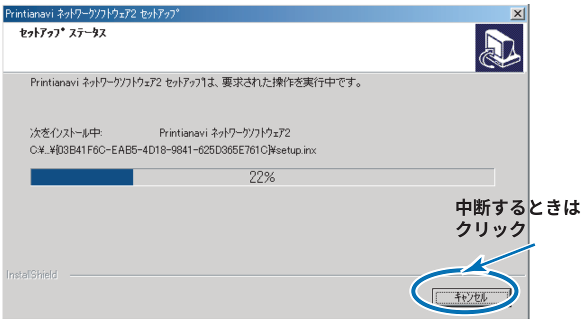
一般ユーザ向け / プリンタ管理者向け



1 プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

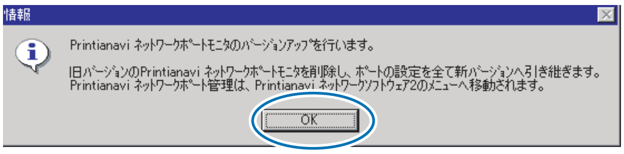
ここで指定した名前が「スタート」メニューに追加されます。初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア2」です。

ファイルのコピーが開始されます。

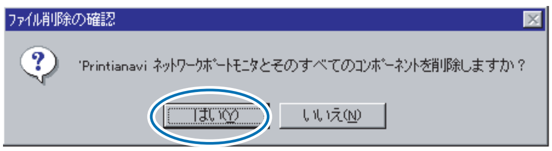


ガイド

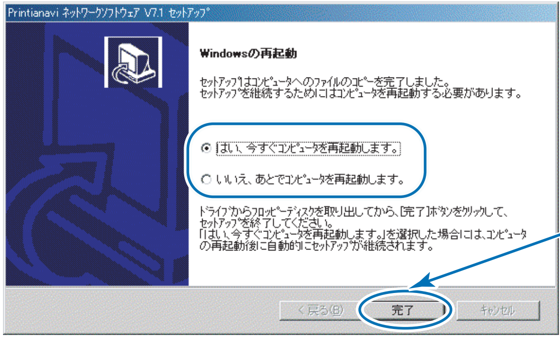
- V5.1より前のPrintianaviネットワークポートモニタがインストールされている場合は、次のダイアログが表示されるので、〔OK〕をクリックします。



- V5.1で設定されたポートの情報は引き継がれます。
- Printianaviネットワークポートモニタ V3.1以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、〔はい〕をクリックします。



- 〔Printianaviネットワークポート管理〕は、手順1で設定したフォルダに移動されます。

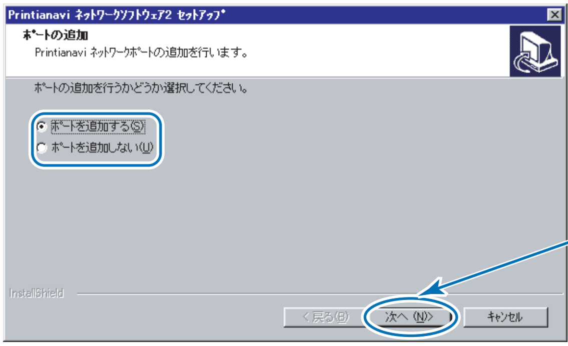


2　V7.1以前のPrintianaviネットワークポートモニタを削除した場合は、Windowsを再起動する

すぐに再起動するかどうかを選択し、〔完了〕をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windowsを再起動後、 手順3の処理から自動的に再開されます。(*1)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用しても正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。

*1：Windows再起動後、ポートの追加ダイアログが他のダイアログの後ろに隠れている場合があります。この場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア2」をクリックしてください。



3　「ポートを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする

「ポートの追加を行わない」を選択した場合は、手順5に進みます。

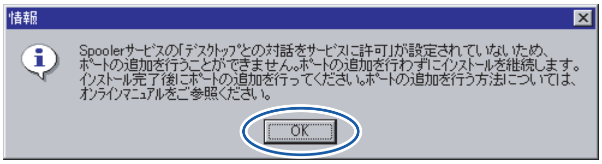
4　ポートの追加処理を行う

ポートの追加処理については、以下を参照してください。

「ポートの追加」の手順4（157ページ）参照

ガイド

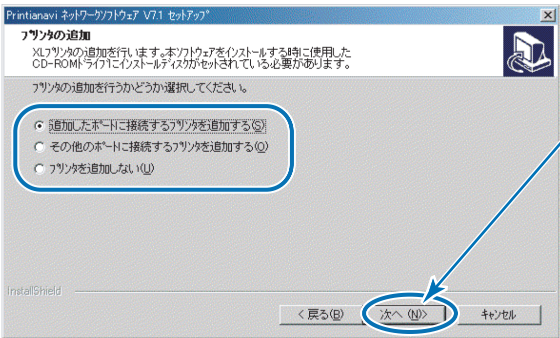
Windows NT4.0でSpoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを外している場合、以下のメッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックします。



引き続き画面に従い、インストールを行った後、Spoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを付け、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

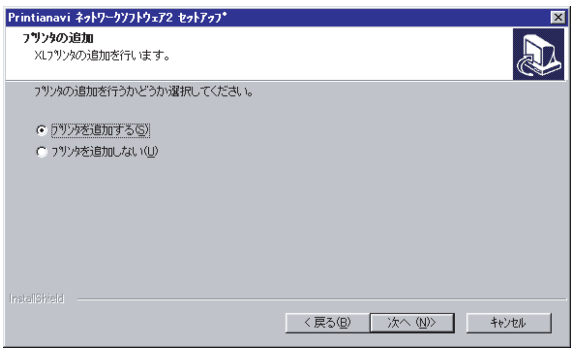
Spoolerサービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉（185ページ）参照

5 ***「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする***



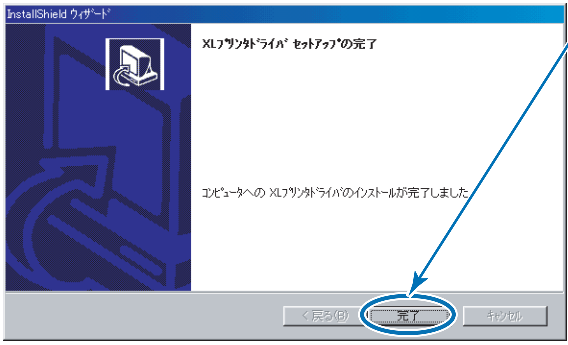
ガイド

手順3で「ポートを追加しない」を選択した場合は、次のダイアログが表示されます。「プリンタの追加を行わない」を選択して〔次へ〕をクリックし、手順7に進みます。



6 プリンタの追加（プリンタドライバのインストール）を行う

「第 2 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（13 ページ）参照
「第 3 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（25 ページ）参照

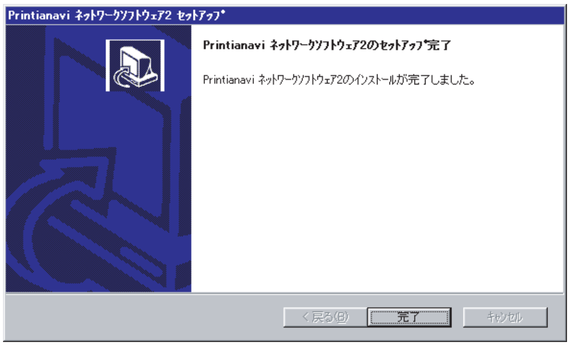


7 〔完了〕をクリックする

Windows を再起動するダイアログが表示されます。
Windows が起動したらインストールの完了です。

ガイド

手順 5 でプリンタの追加を行わなかった場合、以下のダイアログが表示されます。〔完了〕をクリックします。

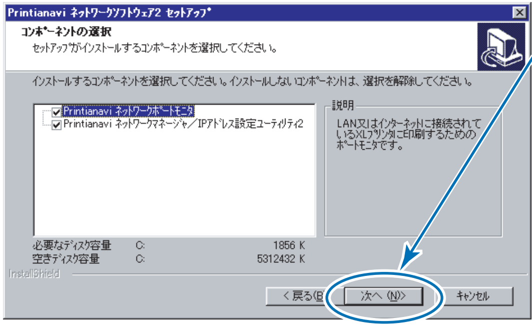


以降は必要に応じて各章を参照してください。

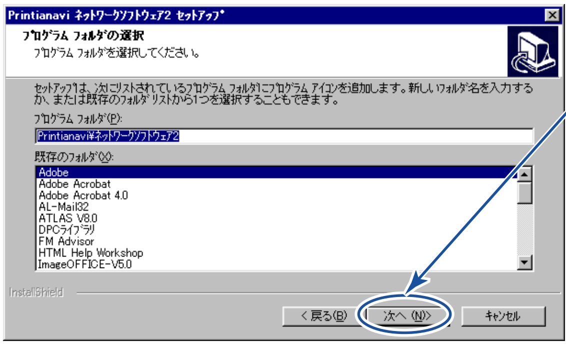
プリンタの共有の設定をしたいときは、
「第 4 章　プリンタ共有の設定」（63 ページ）参照
インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、
「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（166 ページ）参照
印刷するときの詳細は、
「第 5 章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

カスタム

ユーザがインストールするコンポーネントを選べるモードです。



1　インストールしたいコンポーネントにチェックを付け、〔次へ〕をクリックする

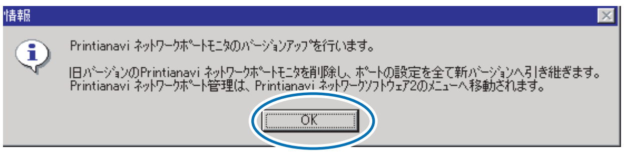


2　プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

ここで指定した名前が「スタート」メニューに追加されます。初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア2」です。

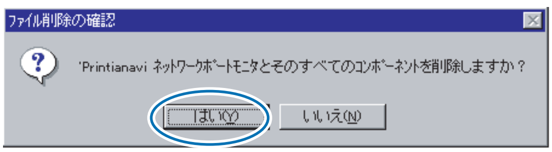
ガイド

・V5.1以前のPrintianaviポートモニタと置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、〔OK〕をクリックします。

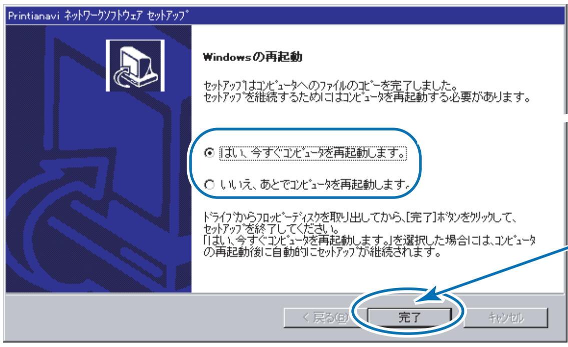


・V5.1で設定されたポートの情報は引き継がれます。

・Printianaviネットワークポートモニタ V3.1以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、〔はい〕をクリックします。



・〔Printianaviネットワークポート管理〕は、手順1で設定したフォルダに移動されます。



3　*V7.1以前のPrintianaviポートモニタを削除した場合は、Windowsを再起動する*

すぐに再起動するかどうかを選択し、〔完了〕をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windowsを再起動後、続きの処理が自動的に再開されます。(*1)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用しても正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。

*1：Windows再起動後ポートの追加ダイアログが他のダイアログの後ろに隠れている場合があります。この場合は、タスクバーに表示されている「Printianaviネットワークソフトウェア2」をクリックしてください。

手順1の「インストールしたいコンポーネントの選択」によってこの先の処理は変わります。選択に合わせた手順へ進んでください。

「Printianavi ネットワークマネージャ」を選択している場合は、「一般ユーザ向け / プリンタ管理者向け」の手順3（146ページ）へ

「Printianavi ネットワークポートモニタ」を選択していない場合「一般ユーザ向け / プリンタ管理者向け」の手順5へ（147ページ）

ガイド　Printianaviネットワークポートモニタを選択すると、ポートの追加およびプリンタの追加処理ダイアログが表示されます。選択していない場合は、プリンタドライバのインストールに進みます。

ソフトウェアの起動

本ソフトウェアは、次の操作で起動します。



1 ***添付のCD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンのCD-ROMドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら〔ネットワークでプリンタを使う〕をクリックする***

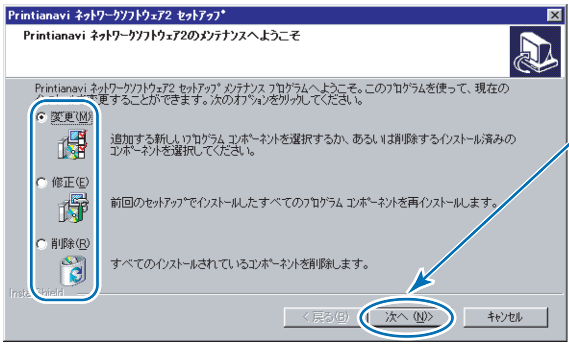
コンポーネントの追加、削除

一度インストールしたネットワークソフトウェアのコンポーネントのインストール内容を変更したり、再セットアップをする場合、本ソフトウェアを起動すると変更、修正、削除選択ダイアログが表示されます。

ガイド

この機能はプリンタドライバの削除は行いません。

プリンタドライバの削除については、
「プリンタドライバの削除」（138 ページ）参照

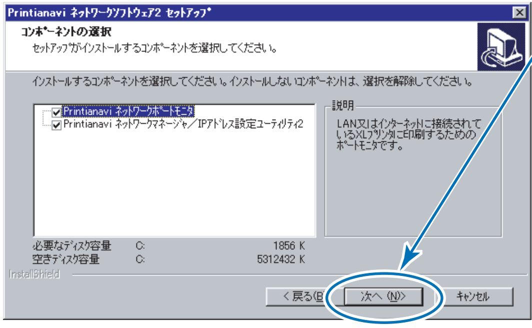


1　目的に合わせて選択し〔次へ〕をクリックする

変更	コンポーネントの追加、インストール済みのコンポーネントの削除をしたい場合
修正	現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールしたい場合
削除	インストールしたすべてのコンポーネントを削除したい場合

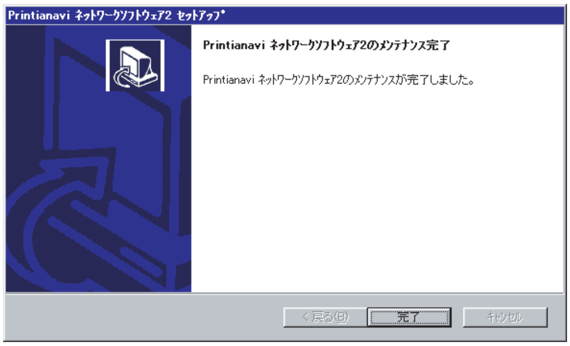
変更を選択した場合

コンポーネントを追加する、またはインストールされているコンポーネントを削除します。



1　必要なコンポーネントを選択、または削除したいコンポーネントのチェックを外し、〔次へ〕をクリックする

「新規インストール」の「カスタム」（149ページ）参照

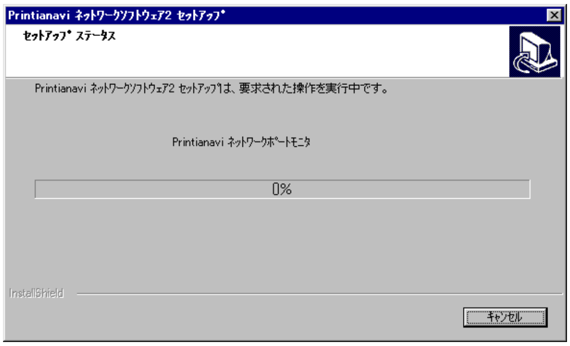


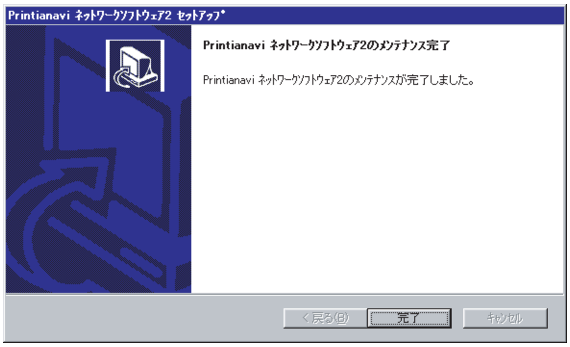
ダイアログの指示に従って進めてください。

ガイド　プリンタと関連付けられているPrintianavi ネットワークポートモニタがあるとコンポーネントを削除できません。プリンタの接続先ポートを変更し、処理を継続してください。

修正を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールします。
ダイアログの指示に従って進めてください。

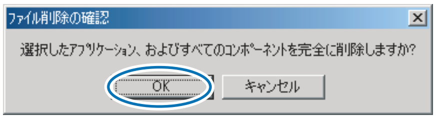


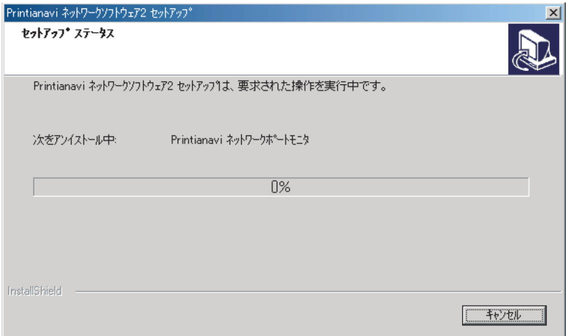


削除を選択した場合

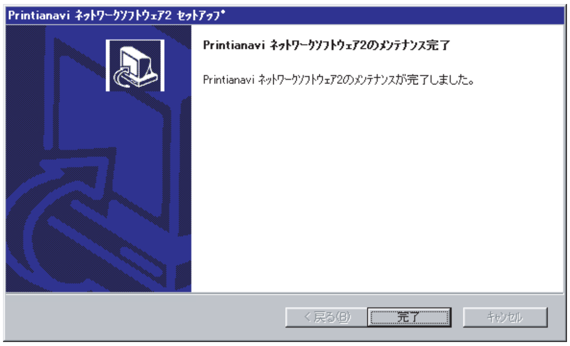
現在インストールされているすべてのコンポーネントを削除します。

1 〔OK〕をクリックする





すべてのコンポーネントを削除すると次の画面が表示されます。



削除を行うと、「スタート」メニューの登録も削除されます。

ガイド プリンタと関連付けられているPrintianavi ネットワークポートモニタがあるとコンポーネントを削除できません。プリンタの接続先ポートを変更し、処理を継続してください。

ポートの追加

ここでは、ネットワークポートの追加方法について説明します。
ネットワークポートを追加すると、LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷することができます。

まず、下記の方法でポートの追加方法を選択してください。

プリンタのプロパティから印刷先ポートを追加する場合

OS によってポートの追加ダイアログまでの操作が異なります。

操作については、「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（132 ページ）参照

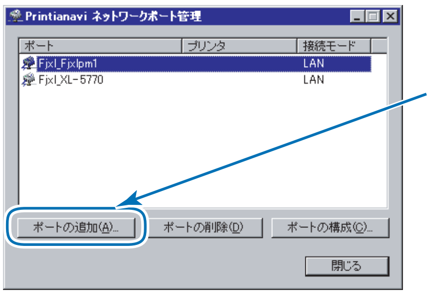
Printianavi ネットワークポート管理から印刷先ポートを追加する場合

1　*Windows を起動する*

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2　*〔スタート〕から〔プログラム〕（Windows XP/Windows Server 2003のときは〔すべてのプログラム〕）〔Printianavi〕〔ネットワークソフトウェア2〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕の順に選択する*

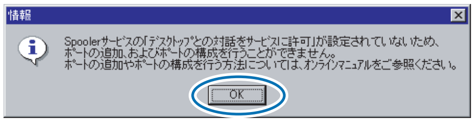
「Printianavi ネットワークポート管理」が起動します。



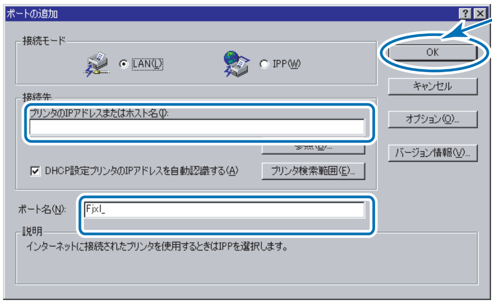
3　*〔ポートの追加〕をクリックする*

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを外している場合、以下のメッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックします。



Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付け、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。
Spooler サービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉(185 ページ)参照



4 接続先、ポート名を設定し〔OK〕をクリックする

1 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定する。(各 XXX は 0 〜 255 の範囲の半角数字)
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタのホスト名を指定する。(最大 255 バイト文字)

2 システムに登録する任意のポート名を日本語 / 半角英数字を含め、63バイト文字または全角 31 文字以内で指定する。

ガイド

- ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。
- 本プリンタは「接続モード」の「IPP」に対応していません。

ネットワーク上にあるプリンタの一覧を表示する

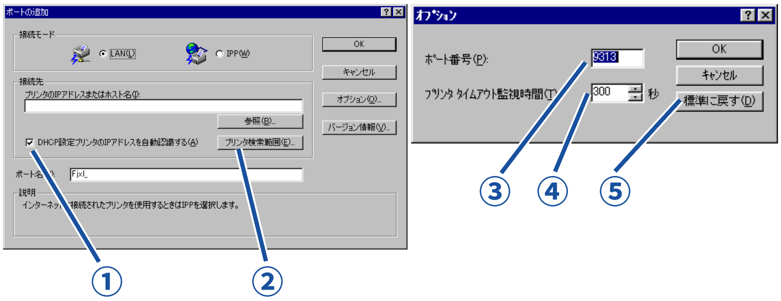
〔ポートの追加〕ダイアログで IP アドレスを設定する際、〔参照〕をクリックすると、ネットワーク上に接続されている XL プリンタ装置を、〔プリンタの一覧〕に表示することができます。

設定したい IP アドレスを選択して〔OK〕をクリックすると、「接続先」に反映することができます。



プリンタとの通信に必要な情報を設定する

プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は、〔ポートの追加〕ダイアログで〔オプション〕をクリックし、必要箇所を入力し〔OK〕をクリックします。



① DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する	チェックを付けると、接続先プリンタの DHCP 自動取得の設定にあわせて IP アドレスで通信するか MAC アドレスが一致したプリンタと通信するかを自動判別します。 【DHCP からの IP アドレス自動取得】 ・設定のとき MACアドレスが一致するプリンタと通信します。DHCP による動的な IP アドレス割り当てによりプリンタの IP アドレスが変更されても、前回通信したプリンタを検索し、自動的に新しい IP アドレスで通信を行います。 ・解除のとき MAC アドレスの一致 / 不一致にかかわらず、接続先で指定したIPアドレスで通信します。 チェックを外すと、つねに接続先で指定した IP アドレスで通信します。通常はチェックを付けたままで問題ありませんが、DHCPサーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定し、MAC アドレスの一致 / 不一致にかかわらず、接続先で指定した I P アドレスで通信したい場合はチェックを外してください。なお、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定していない場合は、チェックは外さないでください。
② プリンタ検索範囲	ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を指定するダイアログを表示します。 詳細設定については、「プリンタの検索範囲を設定する」（162 ページ）参照

③ ポート番号	プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。通常は、初期設定の9313のままにします。変更する場合は、プリンタ側の印刷ポート番号と同じ値にしてください。プリンタ側のポート番号は、次の操作で確認できます。 *1* オフライン状態でオペレータパネルの「メニュー」スイッチを押す *2*「▶」スイッチを押して「LAN　セッテイ」を表示する *3*「▼」スイッチを押し、「▶」スイッチで「TCP/IP セッテイ」を表示する *4*「▼」スイッチを押し、「▶」スイッチで「ポートバンゴウ2」を選択して「▼」スイッチを押す ➡ オペレータパネルの操作については、『プリンタ編』「第６章　オペレータパネルを操作する」（80 ページ）参照
④プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる時間を 60 ～ 7200 秒の範囲で設定します。 初期設定：300 秒
⑤ 標準に戻す	このダイアログの設定値を初期設定に戻します。初期設定は以下のとおりです。 ・ポート番号：9313 ・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

ガイド

・ポートの作成時（または変更時）に接続先のIPアドレス（またはホスト名）を〔参照〕から指定せず直接入力し、一度も通信を行っていない場合は、プリンタ側の設定が取得できないため、初回通信時は入力されたIPアドレス（またはホスト名）で接続します。

・「DHCP設定プリンタのIPアドレスを自動認識する」にチェックを付けているとき、プリンタのDHCP自動取得の設定が前回通信から変更されていた場合は通信後、次回接続時から変更された設定に従って動作します。

例）前回接続したときは「DHCPからのIPアドレス自動取得：解除」だったが、今回接続した結果「DHCPからのIPアドレス自動取得：設定」になっていた場合

1 前回の通信結果から、IPアドレスで接続します。

2 IPアドレスで接続したプリンタと通信（印刷）します。

3 「2」で接続したプリンタのMACアドレスを記録します。

4 **次回接続プリンタが「DHCPからのIPアドレス自動取得：設定」のとき**

→MACアドレスが一致するプリンタに接続

次回接続プリンタが「DHCPからのIPアドレス自動取得：解除」のとき

→IPアドレスで接続

通常の運用では問題ありませんが、プリンタの交換や他部署や他のグループに移動する場合に注意が必要です。

・「ネットワークソフトウェアのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、〔プリンタの追加〕ダイアログで「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LANポートの追加」で設定したLANポートを指定してプリンタドライバをインストールします。

プリンタドライバのインストールについては、
「第2章　ネットワークを利用せずにプリンタに接続する」（13ページ）参照
「第3章　ネットワークを利用してプリンタに接続する」（25ページ）参照

ポート名を変更する

「ポート名」には初期設定として「Fjxl_」＋「プリンタのIPアドレスまたはホスト名」が設定されます。
必要に応じて変更してください。（日本語 / 英数を含め半角63文字または全角31文字以内）

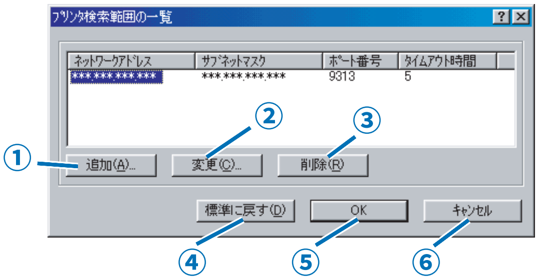
ガイド

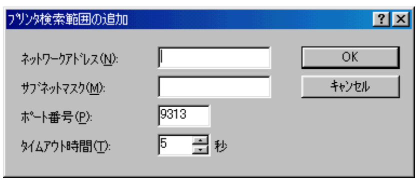
・バックスラッシュ、円記号(\)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。
・Windows 95/98/Meの場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

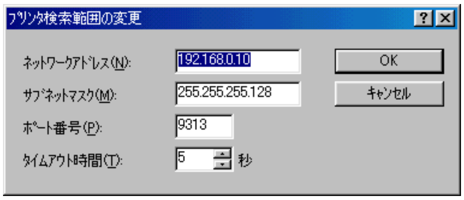
プリンタの検索範囲を設定する

ネットワークに接続されているプリンタを検索するための条件（検索範囲）を設定することができます。検索範囲を指定するダイアログを表示させるには、次の操作を行います。

・〔ポートの追加〕の〔プリンタ検索範囲〕をクリックする



①〔追加〕ボタン	検索範囲を追加します。 このボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。  各項目を設定して〔OK〕をクリックすると、設定した内容が、〔プリンタ検索範囲の一覧〕ダイアログに追加されます。

②〔変更〕ボタン	検索範囲の内容を変更します。 このボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。  変更内容を入力して〔OK〕をクリックすると、設定した内容が〔プリンタ検索範囲の一覧〕ダイアログに反映されます。
③〔削除〕ボタン	登録されている検索範囲を削除します。一覧から削除する検索範囲を選択してこのボタンをクリックします。ただし、***.***.***.*** は削除できません（設定するパソコンと同一のネットワークセグメント（検索範囲）であるため）。
④〔標準に戻す〕ボタン	一覧に表示されている情報をすべて削除し、初期設定を表示します。 初期設定： ・ネットワークアドレス ***.***.***.***(*1) ・サブネットマスク ***.***.***.***(*1) ・ポート番号 9313 ・タイムアウト時間 5 秒 *1：　設定するパソコンと同一ネットワークセグメント（検索範囲）です。
⑤〔OK〕ボタン	設定した内容をシステムに反映し、〔プリンタ検索範囲の一覧〕ダイアログを閉じます。
⑥〔キャンセル〕ボタン	設定した内容を無効にし、〔プリンタ検索範囲の一覧〕ダイアログを閉じます。

第7章

こんなときには

この章では、セットアップや運用時のソフトウェアに関する問題が発生した場合の対処方法や、留意事項について説明します。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング ... 166
セットアップ時のトラブルシューテング 166
運用時のトラブルシューティング 172
ソフトウェアに関する留意事項 188
Windowsをアップグレードする場合 188
Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境で使用時の留意事項 189
ACPIの動作について 190
旧バージョン・レベルとの混在運用について ... 191
旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項 ... 193

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

セットアップ時のトラブルシューテング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現象》

プリンタをTCP/IPのLAN環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対処》

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認する

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000のとき

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi〕〔ネットワークソフトウェア2〕〔セットアップ〕の順に選択します。セットアップ画面で「変更」を選択して〔次へ〕をクリックし、「Printianaviネットワークポートモニタ」にチェックがついているか確認してください。

Windows XP/Windows Server 2003のとき

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔プログラムの追加と削除〕をダブルクリックします。インストールされているアプリケーションの一覧に「Printianaviネットワークポートモニタ」が表示されているか確認してください。

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されないとき
インストールとポートの作成を行います。

インストール方法の詳細
「ネットワークソフトウェアのインストール」（142ページ）参照

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されたとき
仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。

ポートの追加方法の詳細
「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（132 ページ）参照

「Printianavi Network Port」を複数作成したい

《現象》

1 台目のプリンタは Printianavi ネットワークポートモニタのインストール時に作成したポートを使用した。2 台目以降のプリンタのポートを作成したい。

《対処》

仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティから「Printianavi Network Port」を追加します。

ポートの追加方法の詳細
「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（132 ページ）参照

プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な3つの現象（メッセージ）について説明します。

《現象 1》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対処》

製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示される画面です。
インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM のプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

「第 2 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（13 ページ）参照
「第 3 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（25 ページ）参照

このまま Windows の CD-ROM をセットしてインストールを続行すると、OS 添付のプリンタドライバがインストールされます。
OS 添付のプリンタドライバは最低限の印刷は可能ですが、Printianavi 機能、およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

お願い

OS 添付のプリンタドライバをインストールしたときは、プリンタドライバを更新してください。

「プリンタドライバの更新」（136 ページ）参照

《現象 2》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された。

《対処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。
〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現象 3》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対処》

クライアントの OS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。
クライアントの OS により、次の操作をしてください。

クライアントが Windows 95/98/Me/NT4.0 のとき

1 添付のCD-ROMをクライアントにセットして、〔OK〕をクリックします。

2 プリンタの製造元とモデルを選択する画面では〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROM にあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

クライアントが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

〔キャンセル〕をクリックして、ネットワークインストールを中止します。LPT：などの仮のポートで通常のインストールを行ってから、ポートを変更してください。

「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（132 ページ）参照

ガイド

サーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で Windows 95/98/Me/NT4.0のクライアントが複数台あるときは、追加（または代替）ドライバをインストールしておくと便利です。

「第 4 章　プリンタ共有の設定」の「サーバ側の設定」参照
（Windows95/98/Me は 64 ページ、NT4.0 は 67 ページ、2000/XP/Windows Server 2003 は 71 ページ）

《現象 4》

「管理者権限がないため、メッセージ連携サービスを停止状態とします」というメッセージが表示された。

《対処》

Windows NT4.0をサーバとし、Windows 2000/XP/Windows Server 2003クライアントの環境や、Windows NT4.0のスタンドアロンの環境で管理者以外でログオンして、メッセージ連携サービスを登録しようとすると表示されるメッセージです。〔OK〕をクリックし、ネットワークインストールを行ってください。

・Windows NT4.0のとき
プリンタドライバをインストール後、管理者権限を持つユーザ名でログオンし、〔Printianavi〕ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。

1 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択します。
2 使用するプリンタのアイコンを選択し〔ファイル〕-〔プロパティ〕の順に選択します。
3 〔Printianavi〕ダイアログを表示し、「メッセージ連携サービスの設定」をクリックします。
4 〔メッセージ連携サービス〕ダイアログで〔操作〕-〔開始〕の順に選択します。

・Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき
〔Printianavi〕ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。このとき、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力してください。

1 〔スタート〕-〔プリンタとFAX〕（Windows 2000のときは、〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕）の順に選択します。
2 使用するプリンタのアイコンを選択し〔ファイル〕-〔プロパティ〕の順に選択します。
3 〔Printianavi〕ダイアログを表示し、「メッセージ連携サービスの設定」をクリックします。
4 〔メッセージ連携サービス〕ダイアログで〔操作〕-〔開始〕の順に選択します。

《現象 5》

Norton Internet Security で「低危険度」の警告メッセージが表示された。

《対処》

ダイアログを閉じてインストールを継続してください。プリンタドライバのインストールに問題はありません。

➡ 運用中に Norton Internet Security の警告メッセージが表示された場合の対処方法は「印刷時やプリンタドライバの設定変更時に NortonInternet Security の警告画面が表示される」（186 ページ）参照

IP アドレスを設定したら通信ができなくなった

《現 象》

IP アドレス設定ユーティリティ 2 を使用して、プリンタに IP アドレスを設定したら、通信ができなくなった。

《対処》

IPアドレスを設定したときの値が正しくないと、通信は行えません。プリンタのオペレータパネルを操作して LAN 設定を初期化し、設定し直してください。

LAN 設定の初期化は、次の操作で行います。

1 オフライン状態でオペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、プリンタをセットアップモードにします。
2 「▶」スイッチを押し、「LAN セッテイ」を表示します。
3 「▼」スイッチを 1 回「▶」スイッチを 3 回押し、「LAN ショキカ」と表示します。
4 「▼」スイッチを 1 回押して「セッテイ」と表示させ、「設定」スイッチを押します。

「ショキカチュウ」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷できない

《現象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処１》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。
次の４点を確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。
・プリンタケーブル、またはLANケーブルが正しく接続されていますか。
・プリンタがエラー状態になっていませんか。
　プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。
・プリンタ切替器を使用していませんか。
　プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりする恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処２》

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。
LAN 設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。

LAN 設定の一覧の印刷方法の詳細
「LAN 設定の一覧を印刷する」（28 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、または LPR 印刷のとき

次の３点を確認してください。

・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
　「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

・TCP/IP 状態コードは「０」（正常）になっていますか。
「０」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。

「１」のとき .... IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「２」のとき .... DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、LAN 設定の一覧を印刷してください。
「３」以上のとき ... DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCPサーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しいIPアドレスやサブネットマスクを設定し直してください。

IPアドレス設定ユーティリティを使って設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。

・IP アドレスは正しく設定されていますか。
IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法の詳細
「IP アドレスの設定」（29 ページ）参照

NetWare 印刷のとき

LAN 設定の一覧を印刷し、NetWare設定の次の２点を確認してください。

・NetWare 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、オペレータパネルで「有効」に変更してください。
詳細は、『プリンタ編』「第７章　設定値を変える」（93 ページ）参照

・NetWare の各種設定が NetWare サーバの設定と一致していますか。
詳細および設定方法は、『オンラインマニュアル』「NetWare 編」参照

《対処３》

プリンタドライバの設定を確認します。
サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。
・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか
・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

「第５章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

お使いの OS によって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。

Windows 95/98/Me のとき ...〔プリンタのプロパティ〕の〔詳細〕ダイアログ

Windows NT4.0/2000/XP/
Windows Server 2003 のとき ..〔プリンタのプロパティ〕の〔ポート〕ダイアログ

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき（Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のみ）
印刷したLAN設定の一覧と、IPアドレスおよびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。
それぞれ次のダイアログで確認できます。

IP アドレス（注）..〔ポートの設定〕または〔ポートの構成〕
ポート番号 ....〔オプション〕
ポート番号がプリンタのポート番号1と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

注：ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用する IP アドレスで確認してください。

・「LPR Port」で接続のとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のみ）
次の２点を確認してください。
-〔ポート〕ダイアログの〔ポートの構成〕をクリックし、IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
-〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処４》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択します。
2 〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。
3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、〔プリンタ〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

Windows XP/Windows Server 2003 のとき

1 〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕の順に選択します。
2 〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。
3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、〔プリンタ〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

《対処５》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJシリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE：」に変更してください。

《対処６》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Meでプリンタポート（LPT1：）から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。次の手順で確認します。

1〔プリンタのプロパティ〕で〔詳細〕ダイアログを表示します。

2〔スプールの設定〕をクリックして「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」と「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。

「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 95のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイスマネージャ〕をクリックし、「ポート（COM&LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの変更〕の順にクリックします。

4「一覧からドライバを選ぶ」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

5「すべてのハードウェアを表示」を選択した後、製造元の一覧から「スタンダードポート」を選択します。

6 モデルの一覧から「プリンタポート」をダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows 95でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

・Windows 98のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイスマネージャ〕をクリックし、「ポート（COM/LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。

ウィザードの最初の画面では〔次へ〕をクリックします。

4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。
5 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「標準ポート」を選択します。
6 モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows Me のとき
1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。
2 〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM と LPT）」の〔プリンタ　ポート（LPT1)」をダブルクリックします。
3 〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面で「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)」を選択し、〔次へ〕をクリックします。
4 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。
5 「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して、〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

《対処７》

プリントサーバ上に Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている、またはWindows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていませんか。
ファイアウォール機能が有効になっている場合、クライアントからの印刷ができません。
ソフトのファイアウォール機能を無効にするか、ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。

・プリントサーバ
・印刷を実行するパソコン
・ステータスの表示先に指定するパソコン
・プリンタ

印刷できない、または別のプリンタに出力される

《現象》

Printianavi Network Port で LAN に接続したプリンタに印刷を行ったが、応答なしエラーとなり印刷できない、または別のプリンタに出力される。

《対 処》

次の手順でポートの設定を確認してください。

1 Windows を起動します。

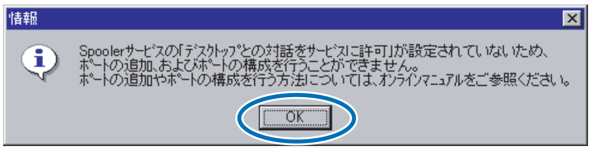
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi〕〔ネットワークソフトウェア 2〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕の順に選択します。

3 変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックが外れている場合、以下のメッセージが表示されます。
〔OK〕をクリックします。



Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを付け、必要な操作を行った後、再度ポートの構成を行ってください。

➡ プリンタ Spooler サービスの設定方法については「ポートが追加できない」の < 対処 >（185 ページ）参照

4 〔ポートの設定〕ダイアログで〔参照〕をクリックします。

5 プリンタの一覧で、選択されているプリンタが正しいか確認します。

選択されているプリンタのモデル名やMACアドレスが別のプリンタのものでないか確認してください。
別のプリンタに接続されている場合や選択されているプリンタがなく、「設定したIPアドレスまたはホスト名に対応したプリンタ装置が見つかりませんでした。プリンタ装置の電源を確認するか、または設定したIPアドレスまたはホスト名の確認をしてください。」というメッセージが左下に表示されている場合は、正しい接続先のプリンタを選択し〔OK〕をクリックしてください。

一覧に正しい接続先のプリンタが見つからない場合は、次の内容を確認してください。
・プリンタの電源やネットワークケーブルが正しく接続されているか
・プリンタに IP アドレスが正しく設定されているか
・ルータを経由した先にプリンタが接続されている場合は、ポートの検索範囲の設定にルータの先のネットワークアドレスが追加されているか

6 ポートの設定画面で、「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」の設定を確認します。

プリンタのIPアドレスをDHCPで動的に割り当てている場合は、プリンタが取得する IP アドレスがいつも同じとは限らないため、本機能のチェックは必ず付けてください。
チェックを外すと常にIPアドレスが一致したプリンタに接続するため、印刷先がそのつど変わったり、見つからない場合は応答なしになったりしてしまいます。

本機能のチェックを外すのは、IP アドレスを固定で割り当てている場合のみにしてください。通常は、チェック付けたままでも通信先のプリンタの設定によって自動判別するのでチェックを外す必要はありません。

Printianavi のメッセージが表示されない

《現象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianavi のメッセージが表示されない。

《対処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

「第５章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

・Printianavi に対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/PやESC/Page）で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。
また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。
添付のCD-ROMに収められたプリンタドライバを使用してください。

・NetWare 印刷、または LPR 印刷ではありませんか。
Windows 95/98/Meは〔詳細〕ダイアログ、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003は〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがNetWareのプリントキュー、またはLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。

・Printianavi を使用する設定になっていますか。
〔ポート〕ダイアログの〔接続ポート〕で「Printia Network Port」を選択している場合、「双方向サポートを有効にする」チェックが付いているか確認してください。

・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「ステータスを最前面に表示する」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。

詳細はプリンタドライバのヘルプまたは「〔Printianavi〕ダイアログ」（122 ページ）参照

・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
〔Printianavi〕ダイアログの「ステータスの表示先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「印刷を実行したコンピュータ」に変更してください。

・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。

Windows 95/98/Meのとき ..	〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。
Windows NT4.0/2000/XP/ ..... Windows Server 2003のとき	〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。

・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003で区切りページを指定していませんか。
本プリンタではWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

・サーバのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003以外ではありませんか。
PrintianaviはWindows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003対応です。また、クライアントがPrintianavi対応でも、Printianaviに対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi機能はお使いになれませんのでご了承ください。

- Windows NT4.0のサーバからWindows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
  この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi機能が正常に動作しません。プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。
  「プリンタドライバの削除」(138ページ)参照
  「ドライバインストーラによる方法」（76ページ）参照
- Windows NT4.0のSpoolerサービスの設定で「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックが外れていないか確認してください。
  この場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。
  Spoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付けると正常に機能します。

  1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックします。
  2 〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックします。
  3 「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付け、〔OK〕をクリックします。
  4 〔停止〕をクリックし、Spoolerサービスを停止します。
  5 〔開始〕をクリックし、Spoolerサービスを開始します。
  6 〔閉じる〕をクリックします。

- クライアント上にNorton Internet Securityなどのファイアウォールソフトがインストールされている、またはWindows XP/Windows Server 2003のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていませんか。
  ファイアウォール機能が有効になっている場合、Printianaviのメッセージがプリントサーバ上に表示されます。ソフトのファイアウォール機能を無効にするか、ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。
  - プリントサーバ
  - 印刷を実行するパソコン
  - ステータスの表示先に指定するパソコン
  - プリンタ

プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現象》

プリンタドライバの設定画面やPrintianaviネットワークマネージャから〔プリンタ状態表示〕が行えない。また、〔プリンタ状態を設定値に反映する〕で情報の取得に失敗してしまう。

《対処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知などPrintianaviのメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianavi のメッセージが表示されない」(180 ページ）を参照してください。

〔プリンタ状態表示〕および〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。

・プリンタドライバを更新せずにPrintianavi ネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか（Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき）

「旧バージョン・レベルとの混在運用について」(191ページ) 参照
「プリンタドライバの更新」(136 ページ）参照

・Windows NT4.0 の Spooler サービスの設定で「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックが外れていないか確認してください。この場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付けると正常に機能します。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックします。
2 〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックします。
3 「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」にチェックを付け、〔OK〕をクリックします。
4 〔停止〕をクリックし、Spooler サービスを停止します。
5 〔開始〕をクリックし、Spooler サービスを開始します。
6 〔閉じる〕をクリックします。

印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現象》

アプリケーションから印刷を行ったが､印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存されている設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は、〔プリンタのプロパティ〕（Windows 95/98/Me）や〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0)、〔印刷設定〕（Windows 2000/XP/Windows Server 2003）で設定を変更しても反映されません。
印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

「第５章　プリンタドライバの設定」（79 ページ）参照

消耗品の交換を通知するＥメールが送信されない

《現 象》

消耗品の交換時期になっても、Ｅメールが送信されない。

《対 処 1》

DHCP 環境で運用している場合、電源投入直後はプリンタが IP アドレスを取得できないことがあります。この場合、電源投入直後に検出した交換情報は通知できません。再送待ち時間後（30 分）に発信されます。

《対 処 2》

Ｅメールの設定が正しいか確認してください。送信元アドレス、送信先アドレスは、@ 以下を含むアドレスすべてを指定する必要があります。

ポートが追加できない

《現象 1》

Windows NT4.0 で、CD-ROM の「ネットワークでプリンタを使う」からインストールを行い、ポートを追加しようとすると、ダイアログでメッセージが表示され、ポートが追加されない。

《現象 2》

Windows NT4.0 で、Printianavi ネットワークポート管理からポートを追加しようとしたらメッセージが表示され、ポートが追加されない。

《対処》

WindowsNT4.0 の Spooler サービスの設定で「デスクトップとの対話をサービスに許可」がチェックされていないと上記のエラーメッセージが表示され、ポートが追加できません。以下の手順に従い、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックし、再度ポートの追加を行ってください。

1 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックします。
2 〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックします。
3 「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックした後、〔OK〕をクリックします。

ガイド　ポートの追加およびポートを構成した後に、Spoolerサービスの設定を元に戻す場合は、「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを外してください。

4 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックします。
5 〔停止〕をクリックし、Spooler サービスを停止します。
6 〔開始〕をクリックし、Spooler サービスを開始します。
7 〔閉じる〕をクリックします。

「ポートの追加」（156 ページ）参照

印刷が開始されるまでに時間がかかる

《現象》

最初の１ページ目が印刷されるまでに数10秒から１分以上かかる。

《対処》

Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている、またはWindows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていると､印刷が開始されるまでに時間がかかることがあります。ソフトのファイアウォール機能を無効にするか､ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。

・プリントサーバ
・印刷を実行するパソコン
・ステータスの表示先に指定するパソコン
・プリンタ

印刷時やプリンタドライバの設定変更時にNorton Internet Security の警告画面が表示される

《現象》

Norton Internet Security をご使用の環境で、以下の現象が発生する場合があります。

・プリンタドライバのインストール時
　Norton Internet Securityの警告画面が表示される

・印刷した場合
　- Norton Internet Securityの警告画面が表示される
　- 印刷が行えない、または印刷が開始されるまでに時間がかかる

・プリントサーバ経由で､印刷またはステータス表示を他のコンピュータに表示させた場合
　- ステータス表示画面から、印刷中止、再開ページ指定ができない
　- 「ステータスの表示先」にプリントサーバ以外を指定しても、プリントサーバにステータスが表示される

・｢プリンタ状態表示｣ または ｢プリンタ状態を設定値に反映する｣ 機能を使用した場合
　Norton Internet Securityの警告画面が表示される

・「メッセージ連携サービス」ダイアログを開いた場合
- Norton Internet Securityの警告画面が表示される
- 「メッセージ連携サービス」が「停止」状態になる（この場合、「メッセージ連携サービス」を「開始」に変更できません。）

《対処》

プリントサーバ、印刷を実行したコンピュータ、ステータスの表示先に指定するコンピュータで、Norton Internet Securityの「ファイアウォール」の設定を選択し、「ホームネットワーク」の信頼ゾーンに次の機器のIPアドレスをすべて登録してください。

・プリントサーバ
・印刷を実行するコンピュータ
・ステータスの表示先に指定するコンピュータ
・プリンタ

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

Windowsをアップグレードする場合

Windowsをアップグレードする場合、XLプリンタドライバおよびXLプリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除（アンインストール）してからアップグレードを行ってください。
各ソフトウェアは、アップグレード完了後、再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずにWindowsをアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について、以下で説明します。

プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態でWindowsのアップグレードを行うと、Windows添付のドライバに置き換わる、またはアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。
この状態では、Printia XLドライバが提供している機能が使用できない、または正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。
プリンタドライバを更新してください。

「プリンタドライバの更新」（136ページ）参照

Printianaviネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態でWindowsのアップグレードを行うと、Printianaviのポート（Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなる場合があります。この場合は、ネットワークポートモニタを削除（アンインストール）してから、最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境で「Printia LASERプリンタユーティリティ」CD-ROMに納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者グループのメンバーとしてログオンしてください。
一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者グループのメンバーとしてログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

ネットワーク経由でのドライバインストールについて

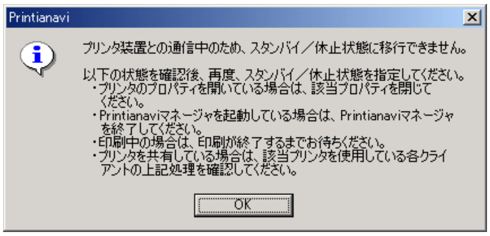
クライアント／サーバ運用で、クライアントにWindows 2000、サーバにWindows NT4.0を使用した場合、サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi機能が正常に機能しません。
また、クライアントにWindows 2000、サーバにWindows 95/98/Meを使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。
上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

Windows 2000/Windows Server 2003クラスタ環境について

Windows 2000/Windows Server 2003クラスタ環境での動作は保証していません。

ACPI の動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。



パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- **印刷中のとき**
  印刷が終了するまでお待ちください。
- **プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を開いているとき**
  プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を閉じてください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくます。このときは、次の操作を行ってください。

- **プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき**
  エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。
- **Printianaviネットワークマネージャの状態表示やネットワークの設定でエラーになったとき**
  サーバが通常状態に復帰した後に、〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックして表示を更新してください。
  ネットワークの設定を行う場合は、再度設定してください。

旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-6010/5810/5710/5510/5310、XL-6700/6100/5730/5720/5340/5330/5320 および XL-6200/5750/5350/5250 を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版 CD-ROM に添付のバージョン以降に更新してください。

とくに注意が必要な組み合わせ

とくに注意が必要な組み合わせについて説明します。

Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

・Windows 2000/XP/Windows Server 2003環境でPrintianaviネットワークポートモニタ V8.1L10 をインストールする際は、プリンタドライバを必ず最新版に更新してください。古いプリンタドライバと組み合わせると、プリンタの状態を正しく取得できません。

・Printianavi ネットワークポートモニタ V8.1L10 の持つ IPP 印刷機能は、IPP サポートプリンタとの組み合わせで使用できます。詳細は、添付の CD-ROM 内「pnavi」フォルダの「portmon.txt」を参照してください。

Printianavi ネットワークマネージャと対応プリンタ

サポート対象プリンタは添付のCD-ROM 内「pnavi」フォルダの「manager.txt」を参照してください。

詳細表示をサポートしていないプリンタでは、〔プリンタ情報〕ダイアログのステータス情報は簡易表示で表示されます。

エラー時の用紙サイズ、給紙カセット位置、カバー種類は表示されません。

詳細は、添付の CD-ROM 内「pnavi」フォルダの「manager.txt」を参照してください。

更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

・Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
・Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46 ページ）参照

『オンラインマニュアル』「第６章　プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」参照

Printianavi ネットワークマネージャ

Printianavi ネットワークマネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

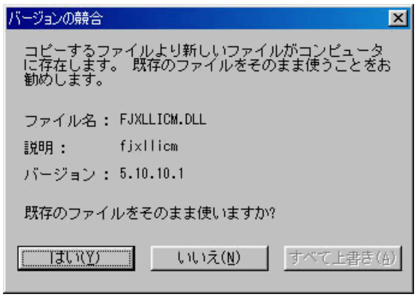
・Printianavi ネットワークマネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（46 ページ）参照

『オンラインマニュアル』「第６章　プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」参照

旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項

XL-6700のプリンタドライバがインストールされている環境に、旧バージョンのプリンタドライバをインストールすると､「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示され､既存のファイルをそのまま使用するかどうかの選択を求められます。この場合､「はい」を選択してください。



付　録

この章では、プリンタを使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

ネットワーク用語の解説 196

Printianavi の機能概要 198

Printia XL ドライバ 198

ネットワークソフトウェア 199

MetaFrame／Windowsターミナルサービス環境での利用について 200

確認環境 200

Printianavi 使用時の注意事項 201

HyperPrint の概要 202

RepoAgent の概要 203

かんたんバーコード Lite の概要 204

プリンタドライバの入手方法 205

プリンタドライバのバージョンを確認する方法 206

ネットワーク用語の解説

BPP（Business Printer Protocol）

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル（TCP/IPを使用）です。
プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、LPR印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IPアドレスの自動割り付けシステムです。クライアントがTCP/IP通信を行うときに、必要に応じてサーバからIPアドレスをもらい、通信終了後にはサーバにIPアドレスを戻します。IPアドレス設定ユーティリティはDHCPを利用してプリンタへのIPアドレス割り当てを実現しています。

LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003では、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR印刷ではPrintia navi機能は使用できません。

MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータをMIB（Management Information Base：管理情報ベース）といいます。
本プリンタはMIB-ⅡおよびPrinterMIBをサポートしています。プリンタに添付されているCD-ROMにはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmib.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これをSNMP管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

• SNMPメッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説　明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ → エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ → エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント → マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント → マネージャ

なお、本プリンタではSetRequestはサポートしていません。

Printianaviの機能概要

Printianaviは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のPrintia XLドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。

また、ネットワークソフトウェアをあわせてインストールすることにより、LANやインターネット環境への対応や複数のプリンタを管理することができます。

ここでは、Printia XLドライバおよびネットワークソフトウェアのPrintianavi機能の概要を説明します。

Printia XLドライバ

機　能	概　要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙づまりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。 (再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります。)
印刷ログの採取	印刷結果をログに記録します。 (参照や詳細設定は、同時にインストールされる印刷ログビューアから行えます。)
オプション情報の自動設定	プリンタメモリや両面ユニットなど、プリンタに装着されているオプションの情報を取得し、プリンタドライバに自動で設定します。
消耗品ログの採取・Eメールの送信	消耗品の交換時期を記録（ログ）します。また、必要に応じて指定した送信先に消耗品の交換時期をEメールで通知します。 (ログの参照や詳細設定は、同時にインストールされる消耗品ログビューアから行えます。)

Printia XLドライバがもつPrintianavi機能についての詳細は、プリンタドライバのヘルプ、または「第5章　プリンタドライバの設定」（79ページ）を参照してください。

ネットワークソフトウェア

Printianavi ネットワークポートモニタ

機　能	概　要
LAN 直結印刷	Printia XL ドライバの持つ Printianavi 機能をサポートしたまま LAN ケーブルで接続したプリンタに直接印刷することができるようになります。 LAN（TCP/IP）環境およびインターネット接続（IPP）での印刷をサポートしています。 ※ 本プリンタは、IPP 印刷に対応していません。
ポートの管理	Printianaviネットワークポートモニタのポートの設定や追加／削除を専用ツールから行うことができます。

Printianavi ネットワークマネージャ

ネットワークに接続された複数のプリンタ管理を、パソコン上から一括して行えるようにします。

機　能	概　要
ステータス表示	プリンタの状態を参照することができます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます。

Printianavi ネットワークマネージャについての詳細は、『オンラインマニュアル』「第 8 章　プリンタ管理機能（Printianavi ネットワークマネージャ）参照

Printianavi　IP アドレス設定ユーティリティ 2

プリンタに IP アドレスを設定します。
設定方法については、「IP アドレスの設定」（29 ページ）を参照してください。

MetaFrame ／ Windows ターミナルサービス環境での利用について

Printia XL ドライバ（バージョン 10．00 以降）は、MetaFrame および Windows ターミナルサービス環境下で使用することができます。
ここでは、富士通株式会社で行った確認環境、ならびに Printianavi をご使用になる上でご注意いただきたい事項について説明します。

なお、確認環境などは随時更新されます。最新の情報につきましては、FMWORLD.NET の「プリンタ製品の Citrix MetaFrame/Windows ターミナルサービス対応状況について」をご覧ください。

http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/hard/printer/metaframe/PrinterMetaFrame.html

確認環境

以下に示す環境で動作確認を行っております。

プリンタ接続形態

プリンタマッピングにより自動作成されるプリンタへ印刷を行う環境
この場合、あらかじめクライアント環境の端末にプリンタケーブルや、ネットワークで直接接続されたプリンタを定義しておく必要があります。

MetaFrame を使用した環境

● サーバ環境

- Microsoft® Windows Server™ 2003 ＋ターミナルサービス /Citrix® MetaFrame XP™ 1.0 FR3
- Microsoft® Windows® 2000 Server(SP4)+ ターミナルサービス / Citrix® MetaFrame XP™ 1.0 FR3
- Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 Terminal Server Edition(SP6)/MetaFrame© 1.8(SP4)

● **クライアント環境**

・Microsoft® Windows® XP Professional/ICAクライアント7.00.17535
・Microsoft® Windows® 2000 Professional(SP3)/ICA クライアント 7.00.17535
・Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0(SP6a)/ICA クライアント 7.00.17535
・Microsoft® Windows® 98 SecondEdition/ICAクライアント7.00.17535
注：サーバ環境との通信プロトコルは「TCP/IP」のみを確認しています。

MetaFrame を使用しない環境

● **サーバ環境**

・Microsoft® Windows Server™ 2003+ ターミナルサービス
・Microsoft® Windows® 2000 Server(SP4)+ ターミナルサービス

●**クライアント環境**

・Microsoft® Windows® XP Professional/ リモートデスクトップ接続クライアント Version 5.1.2600.1106
・Microsoft® Windows® 2000 Professional(SP3)/ ターミナルサービスクライアント Version 5.00
・Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0(SP6a)/ ターミナルサービスクライアント Version 5.00
・Microsoft® Windows® 98 SecondEdition/ ターミナルサービスクライアント Version 5.00

Printianavi 使用時の注意事項

・MetaFrame環境で使用する場合、Printianaviによる印刷中のステータス表示は、クライアント端末側のウィンドウとして表示されます。ターミナルウィンドウや他のコンピュータ上への表示指定は行えません。
・マッピングプリンタへの印刷時にPrintianaviによる印刷中のステータス表示を行いたくない場合は、マッピングされたXL-6700の〔Printianavi〕ダイアログで印刷中のステータス表示を「表示しない」にするか、クライアント端末にインストールしているXL-6700の「双方向機能」を無効としてください。

HyperPrintの概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。

「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

特　長

● 印刷コストの削減
- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存

● アプリケーション導入コストの削減
- データを確認するためのアプリケーションが不要
- アプリケーションのバージョン/レベルなどの整合性への意識不要

● 業務の効率化
- E-Mailによる資料配布の電子化
- 送付先のパソコン環境を意識することが不要
- 帳票作成時と同様の鮮明度

動作環境

● 対応OS

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

● 対応パソコン

FMVシリーズ、AT互換機およびレガシーレスPC

「HyperPrint お試し版」の機能制限

- プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
- プレビュー表示30回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgentの概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。

さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

● 帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上
ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

● 多彩な帳票設計
以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
罫線、網かけ、文字装飾、バーコード(11種)、画像、
データ内容に応じた小計/見出し/改ページの自動挿入など

● 容易なアプリケーション連携
アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータをCSVテキスト形式で出力し、RepeAgentを呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSVテキストはUnicodeにも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveXコントロール、Javaクラスの4種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	64MB 以上
ディスプレイ	解像度 800 × 600 以上(1024 × 768 以上を推奨)
ハードディスク	空き容量 23MB 以上
プリンタ	Windows から印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨)

「RepoAgent お試し版」の機能制限

・お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。
・用紙の背景に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。

かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコード Lite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

特　長

以下のバーコードを作成することができます。

・JAN 標準
国際的規格のPOSシンボルです。多くの商品に使用されています。

・JAN 短縮
JANの短縮版です。標準版を印刷できないような小さな商品向けです。

・NW-7
各種会員カードの管理用として使用されています。

・カスタマ
平成10年から導入されている郵便番号用です。

動作環境

対応 OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	32MB 以上(推奨)

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示したURLよりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FMWORLD.NET URL: http://www.fmworld.net/

ガイド

- 「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Webブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付のCD-ROMには、製品出荷時での最新版ドライバが収められており、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

プリンタドライバのバージョンは、以下の方法で確認できます。

●Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

1 〔スタート〕-〔設定〕-〔プリンタ〕の順に選択する

2 使用するプリンタのアイコンをクリックする

3 プリンタのプロパティを表示する

・Windows 95/98/Me
〔ファイル〕メニュー -〔プロパティ〕をクリックする

・Windows NT4.0
〔ファイル〕メニュー -〔ドキュメントの既定値〕をクリックする

・Windows 2000
〔ファイル〕メニュー -〔印刷設定〕をクリックする

4 各タブの左下にある〔バージョン〕をクリックする

●Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1 〔スタート〕−〔プリンタと FAX〕を選択する

2 使用するプリンタアイコンをクリックする

3 〔ファイル〕メニュー -〔印刷設定〕の順に選択する

4 各タブの左下にある〔バージョン〕をクリックする

索　引～プリンタ編

記号

136/LM設定 104
1バイト系ゼロ 103
2バイト系ゼロ 103

A

ACKタイミング 114
ANK文字 100, 103
　—ピッチ 107

C

CRコード 100, 102, 105

D

DPIエラー解除 108

E

EGモード設定 102, 125
EPモード設定 100, 124
ESC/Pageモード 96
　—キャラクタコード一覧表 209
　—コマンド一覧表 201
　—の印刷条件を設定する 102
ESC/Pモード 96
　—キャラクタコード一覧表 208
　—コマンド一覧表 199
　—の印刷条件を設定する 100
Ethernetタイプ 116

F

FFコード 102

H

HEXダンプ印刷 78, 113, 121

I

INIT受信 114

J

JIS-90第一水準漢字一覧表 217
JIS-90第二水準漢字一覧表 220
JIS漢字コードについてのご注意 223

L

LAN
　—ケーブルコネクタ 7
　—経由の接続 40
　—初期化 117
　—設定 115, 131
　—に接続するときの注意事項 41
　パソコンとLANの両方に接続したときの
　　留意事項 43
LFコード 102
LM位置設定 104

O

OHPフィルム 25

P

PC-PR201系プリンタとの違い 14
PC-PR201モード 96
　—キャラクタコード一覧表 213
　—コマンド一覧表 204
　—での違い 223
　—の印刷条件を設定する 103
PCモード設定 103, 126
Printianavi
　—使用時のネットワーク接続形態 ... 42
　—使用時の留意事項 42
Printia XLドライバで印刷する 10

T

TCP/IP 設定 116

V

VF 専用登録域 109
VF モード設定 106, 127
Virtual FM モード 96
　―キャラクタコード一覧表 216
　―コマンド一覧表 206
　―での違い 227, 228
　―の印刷条件を設定する 106

ア

アフターサービス 231

イ

移動
　近くに移動する 73
　プリンタを移動するとき 72
イメージパターン 102
印刷
　―いろいろな印刷のしかた 10
　―可能領域 198
　―状態 78, 79
　―指令 105
　―設定 96, 123
　―品質が低下したとき 149
　―部数を一時的に変更する 84
印刷方向 78, 96, 197
　―スイッチ 9
　―を一時的に切り替える 81
印字濃度調整 115, 131
インタフェース
　―仕様 196
　―タイミング 113

ウ

運搬
　梱包して運搬する 76

エ

液晶ディスプレイ 9
　―の表示内容 78
エミュレーション設定 96, 122
エミュレーションモード
　―で印刷する 11
　―を切り替える 11, 12
　―を使う上での留意事項 13
エラーコード 102
エラーメッセージ 153

オ

オーバーマーク印刷 107
オプション
　―取り付け上のご注意 162
　―の取り付け 161
　―品 16
　―用コネクタ 7
オフセット排紙 111
オフライン状態 80
オペレータパネル 9, 7
　―を操作する 80
オンライン
　―スイッチ 9
　―ランプ 9
オンライン状態 80

カ

改行コード 102
改ページ 102
　―コード 102
書出し桁位置設定 104
拡張給紙ユニット 16
　―を取り付ける 173
　―を取り外す 178
拡張スタッカユニット 17
　―を取り付ける 183
　―を取り外す 188
各国文字 104

カバーA 8
紙づまり 136
　―の主な原因 137
　―の取り除きかた 137
環境設定 .... 109，129
漢字一覧表
　JIS-90 第一水準漢字一覧表 217
　JIS-90 第二水準漢字一覧表 220
漢字書体 .... 100，104，106
漢字文字サイズ .... 104，106
官製はがき 25

キ

機能コード一覧 199
キャラクタコード一覧表
　ESC/Page モードキャラクタコード一覧表 . 209
　ESC/P モードキャラクタコード一覧表 .. 208
　PC-PR201 モードキャラクタコード一覧表 . 213
　Virtual FM モードキャラクタコード一覧表 216
給紙位置 100
給紙カセット 7
　―1～3に用紙をセットする 53
　―4、5に用紙をセットする 56
給紙口 .... 78，79，97
　―スイッチ 9
　―を一時的に切り替える 82
給紙トレイ 7
　―印刷 111
　―サイズ 97
　―に用紙をセットする 51
　―の点検 141
　―番号 103
給紙方法と用紙のサイズ 24
強制印刷 90
行ピッチ 107
切り替えコマンドの使い方 13
禁止文字 107

ク

グラフィックモード 105

コ

コード系 105
交換
　プロセスカートリッジの交換 59
コネクタピン配列 196
コピー枚数 98
コマンド
　切り替えコマンドの使い方 13
コマンド一覧表
　ESC/P モードコマンド一覧表 199
　ESC/Page モードコマンド一覧表 201
　PC-PR201 モードコマンド一覧表 204
　Virtual FM モードコマンド一覧表 .. 206

サ

サプライ用品 21

シ

自動 CR & LF 105
自動給紙 109
縮小印刷 .... 78，97
　―を一時的に変更する 84
仕様
　インタフェース仕様 196
　基本仕様 194
状態表示 .... 78，79
消耗品 .... 78，79

ス

スケーラブル文字 107
スムージング 109
寸法
　プリンタの寸法 31

セ

セイコーエプソン
　—LP-8000S との違い 14
　—VP-1000 との違い 13
清掃
　プリンタの清掃 68
設置
　—上のお願い 30
　—手順 32
設定
　—スイッチ 9
　—の変更 118
セットアップ
　—項目一覧 122
　—項目について 95
　—の操作方法 118
接続
　LAN 経由の接続 40
　電源コードの接続 44
　パソコンと接続するときの留意事項 . 42
　パソコンとの接続 38
前面カバー 8

ソ

双方向プリンティングシステム 42

タ

タイマー監視 111
タッチ音 110
縦余白設定 .... 101，105，108

チ

中止
　印刷を中止する 89

ツ

通風口 7

テ

データ
　—なし印刷 110
　—保証 110
　—ランプ 9
定着器 8
手順
　設置手順 32
テスト印刷 .... 95，120，122
電源
　—を入れる 48
　—を切る 49
電源コード
　—コネクタ 7
　—の接続 44
電源スイッチ 7

ト

動作モード 78
　—を切り替える 96
登録 .... 115，131
綴じしろ
　—方向 98
　—モード 98
　—量 98
トナーセーブ 109
　—補正 113

ハ

排紙
　—止め 7
　—トレイ 7
排出スイッチ 9
バイセントロモード 113
パソコン
　—インタフェース .... 78，79
　—と LAN の両方に接続したときの留意事項 43
　—との接続 38
　—に接続するときの留意事項 42
パワーセーブ時間 112

ヒ

ビジーディレイ 114
描画位置 79

フ

ブザー 110
復帰改行 102
復帰コード .... 102，105
不定形サイズ 97
プリンタ LAN アダプタ 19
プリンタ RAM モジュール 17
　―を取り付ける 163
　―を取り外す 165
プリンタケーブル 20
　―コネクタ 7
プロセスカートリッジ 8
　―の回収サービス 21
　―の交換 59
　―の取り扱いと保管 67
　―を取り付ける 64
　―を取り外す 62
プロトコル 116

ホ

ポート１設定 113
ポート切替時間 112
保守モード .... 115，131
補助機能設定 .... 112，130

ミ

未印刷データを強制的に印刷する 90
右マージン位置 100
未定義文字 102

メ

メッセージランプ 9
メニュー印刷 .... 95，120
　―設定モード 84
メニュースイッチ 9
メモリ
　―オーバー解除 103
　―不足解除 112

モ

文字コード 100
　―体系 106

ユ

優先文字 107

ヨ

用紙
　―位置設定 104
　―関係 197
　―の保管上のご注意 27
　給紙方法と用紙のサイズ 24
　使用できない用紙 26
　使用できる用紙 24
用紙サイズ .... 78，79
　―を一時的に変更する 84
用紙のセット 50
　給紙カセット１～3 に用紙をセットする .. 53
　給紙カセット 4、5 に用紙をセットする .. 56
　給紙トレイに用紙をセットする 51
横余白設定 .... 101，106，108

ラ

ラベル紙 25

リ

リセット
　―スイッチ 9
　プリンタをリセットする 89
両面印刷 98
　―を一時的に変更する 84
両面ユニット 17
　―の点検 143
　―を取り付ける 167
　―を取り外す 170

索　引～ソフトウェア編

A

ACPI の動作について 190
Adobe Reader のインストール 6

B

BPP 196

C

CD-ROM のご紹介 5

D

DHCP 196

E

EMF でスプールする 111

H

HyperPrint の概要 202

I

IP アドレス設定ユーティリティ 2
　による設定 30
IP アドレスの設定 29

L

LAN
　―設定の一覧を印刷する 28
　―による接続とインストール 26
LAN ケーブル
　―の接続 27
LPR 196
　―印刷の設定 53

M

MetaFrame ／ Windows ターミナルサービス環境
　での利用について 200
MIB 196

N

N-up 99, 101
N-up 印刷 101
NDPS 60
NetWare5 60

P

Printia XL ドライバ 198
Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 ... 199
Printianavi ダイアログ 122
Printianavi ネットワークポートモニタ 199
Printianavi ネットワークマネージャ . 199
Printianavi の機能概要 198

R

RepoAgent の概要 203
RFC 197

S

SNMP 197
Systemwalker PrintMGR と連携する ... 122

ア

明るさ 109

イ

イメージサイズの調整 99
印刷位置の微調整 113
印刷イメージを 180 ° 回転して印刷する .. 112
印刷オプションダイアログ 111
印刷先ポートの追加と変更 132
印刷の終了を通知する 127
印刷中のステータス表示 .... 123，124
印刷手順 80
印刷の終了を通知する 123
印刷面 .... 99，103，104
印刷ログを残す 123
インストール
　―の手順と設定の概要 11
　ネットワークソフトウェアと
　　　プリンタドライバのインストール 46
　ネットワークソフトウェアのインストール .. 142
　プリンタドライバのインストール ... 16，20

オ

オペレータパネルによる設定 40
オンラインヘルプ
　―の見かた 8
オンラインマニュアル
　―の使いかた 7
　―の見かた 6

カ

解像度 109
概要
　インストールの手順と設定の概要 ... 11
　ネットワークを利用して
　　　　プリンタを接続する 12
　ネットワークを利用せずに
　　　　プリンタを接続する 12
　プリンタを共有する 12
拡大／縮小印刷 95
拡大縮小 .... 89，95
拡張スタッカ 114
　―のさまざまな使いかた 119
　―を使った印刷 116
　大容量排紙スタッカとして使う 120
　マルチソータとして使う 121
　メールボックスとしてつかう 119
拡張スタッカの管理 114
片面印刷
　―時の詳細設定 104
　―時の用紙出力方向について 106
片面時に白紙ページを印刷する 105
かんたんバーコード Lite の概要 204

キ

基本設定ダイアログ 89
給紙カセット数 114
給紙口情報リスト 91
給紙方法 90
旧バージョン・レベルとの混在運用について .. 191
共有
　プリンタ共有の設定 63
　プリンタを共有する 12
共有プリンタ
　―の Printianavi 動作について 128

ク

グラフィックスダイアログ 109

コ

更新時の注意事項 192

シ

写真をきれいに印刷する 109
状態
　プリンタの状態を見る 82
状態表示
　プリンタの状態表示 91

ス

ステータスアイコン 91
ステータスの表示先 122
ステータスを最全面に表示する 123
スムージングする 109

セ

設定の一覧
　LAN 設定の一覧を印刷する 28
接続
　パソコンとの接続 14
　プリンタの接続方法を変更するとき 132

ソ

装置オプションダイアログ 114
装置構成情報リスト 91
ソフトウェアに関する留意事項 188

タ

ダイアログ
　Printianavi ダイアログ 122
　印刷オプションダイアログ 111
　基本設定ダイアログ 89
　グラフィックスダイアログ 109
　装置オプションダイアログ 114
　便利な設定ダイアログ 99

チ

中止
　印刷を中止する 83
　オペレータパネルから中止する 84

テ

定形用紙のサイズをチェックする 112
定形横置き用紙を縦置きにする 112
ディザ 109

ト

とじしろ位置 .... 103，104
とじしろ量 .... 103，105
トナーセーブする 109
トラブルシューティング
　運用時のトラブルシューティング .. 172
　セットアップ時のトラブルシューティング .. 166
　ソフトウェアに関するトラブルシューティング ... 166

ネ

ネットワークインストール 74
ネットワークソフトウェア
　―のインストール 142
　―とプリンタドライバのインストール .. 46
ネットワーク用語の解説 196

ハ

排紙方法 90
パソコンのメモリを節約して印刷する ... 111
パラレルインタフェース
　―による接続 14

フ

複数部数印刷 97
部数 .... 90，97
部単位印刷 97
　―時の注意事項 98
部単位印刷機能 .... 97，114
部単位に印刷する .... 90，97
太字を強調する 112
プリンタ状態メッセージ 91
プリンタドライバ
　―で設定できる内容 88
　―の更新 136
　―の削除 138
　―の入手方法 205
　―のバージョンを確認する方法 206
プリンタ名 91

プリンタメモリ 114
プリントサーバのPrintianavi設定で
動作する 114
プロテクトモードで印刷する 111
プロパティの開きかた 86

ヘ

ページ配置 101
ページ枠を付ける 101
便利な機能ダイアログ 99

ホ

ポート
　ーの追加 156
ポート変更による方法 76

メ

メッセージ連携サービス
　ーの警告を表示する 115
　ーの設定 123, 130

モ

文字と図形を白黒2値で印刷する 109
文字をイメージとして印刷する 112
文字を高速に印刷する 112

ヨ

用紙サイズ 89, 95
用紙種類 89
用紙方向 89

リ

両面印刷 102
　ー時の用紙出力方向について 106
両面時に白紙ページを印刷する 103
両面ユニット 114

ページプリンタ　XL-6700

取扱説明書

B1WY-4421-05-00

発行日　　2004年2月

発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。